



# 回復の礎

教師用手引き  
宗教コース 225

コーナーストーンコース





# 回復の礎：教師用手引き

宗教225

発行

末日聖徒イエス・キリスト教会  
ユタ州ソルトレーク・シティー

表紙—「メルキゼデク神権の回復」ウォルター・レーン画

本書に関するご意見，ご提案をお寄せください。誤りのご指摘も含め，以下までお送りください。

Seminaries and Institutes of Religion Curriculum Services

50 E. North Temple St., Floor 8

Salt Lake City, Utah 84150-0008

USA

電子メール：[ces-manuals@ldschurch.org](mailto:ces-manuals@ldschurch.org)

あなたのお名前，住所，ワード名とステーク名をご記入ください。イエス・キリスト  
手引きの題名を必ず明記してください。その後，ご意見・ご提案をお書きください。

© 2015, 2016 Intellectual Reserve, Inc.

All rights reserved.

印刷：アメリカ合衆国

バージョン2, 2015, 2016年6月

英語版承認：2014年8月

翻訳承認：2014年8月

原題：**Foundations of the Restoration Teacher Manual**

Japanese

12556 300

# 目次

回復の礎 教師用手引き	v
1 不思議な驚くべき業	1
2 最初の示現	6
3 モルモン書の出現	11
4 モルモン書—わたしたちの宗教のかなめ石	17
5 神権の回復	22
6 教会の組織	27
7 永遠の福音を宣べ伝える	32
8 末日のイスラエルの集合	38
9 生ける預言者に従う	44
10 真理を探求する	50
11 教義と聖約における主の声	57
12 わたしたちの時代に加えられた聖文	61
13 「示現」	67
14 カートランド神殿と神権の鍵	72
15 迫害のさなかでの強さ	77
16 死者の贖い	82
17 ノーブーでの福音の教え	87
18 扶助協会と教会	93
19 永遠の結婚と家族の教義	99
20 多妻結婚	105
21 ジョセフ・スミスの預言者としての使命	113
22 預言者ジョセフ・スミスの殉教	119
23 大管長会の継承	124
24 ノーブーからの退去と西部への旅	131
25 ユタ戦争とマウンテンメドローの虐殺	139
26 神権についての啓示	146
27 イエス・キリストの再臨のために世界を備える	152
28 救いの業を速める	157
配布資料	163



# 回復の礎 教師用手引き

## 宗教教師に求められること

教える準備をするときは、宗教教育セミナー・インスティテュートの目的を理解することが重要です。

「わたしたちの目的は、以下のことができるよう、青少年とヤングアダルトを助けることです。イエス・キリストの教えと贖いについて理解しそれに頼る。神殿の祝福を受ける資格を得る。天の御父とともに永遠の命にあずかるため、自分自身と自分の家族と周りの人々を備える。」（『福音を教え学ぶ—宗教教育セミナー・インスティテュートの教師ならびに指導者用手引き』 x）

この目的は、イエス・キリストの福音に従って真摯に生活し、生徒に福音を効果的に教え、クラスまたはプログラムを適切に管理運営することによって達成できます。これらの方法によって備え、福音を教えるとき、聖霊の影響を受けるにふさわしい状態となります（教義と聖約42：14参照）。

これは、信仰を強め、改心を深めることができるように、生徒が御霊によって学ぶことを助ける機会です。イエス・キリストの福音の真理と重要性を明確にし、理解して感じ取るとともに、その偉大な教義と原則を生かすように生徒を導くとき、生徒がこれらを達成する援助をすることができます。

『福音を教え学ぶ』ハンドブックは、教育過程を理解し、教室で効果的に教える方法を学ぶための必要不可欠な資料です。このハンドブックは、頻繁に参照することが推奨されています。

## このコースの目的

本コース、回復の礎（宗教225）は、標準聖典、末日の預言者の教え、および教会の歴史から見いだすことができる、イエス・キリストの教会の回復の進展に関連する根本的な啓示、教義、歴史的な出来事、および人物について学ぶ機会を生徒に与えるものです。本コースは、教会の教義と歴史を正確に理解するうえで必要となる教義上の基礎と歴史的背景を生徒に提供します。生徒は、真理を探し求め、参照元となる資料の妥当性と信頼性を判断し、真理と誤りを見分ける能力を向上させます。生徒は、自らの生活と状況に関連する方法で、聖文、および教会の教義と歴史を学びます。ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910—2008年）は、回復の真実性について次のように証しています。



「この教会は、イエス・キリストの回復された教会です。わたしたちは一つの民として、末日聖徒と呼ばれています。わたしたちは、すでにもろもろの天は開かれ、幕が開き、神が語られ、イエス・キリストが御姿を現され、それに続いて神聖な権能が回復されたことを証します。……

神の驚くべき業を通じて、この回復されたイエス・キリストの教会に関する証と権能と教義が授けられたことを、神に感謝します。

これこそ、わたしたちが世に伝えなければならない偉大なメッセージです。わたしたちは高慢な思いでこれを伝えようというわけではありません。わたしたちは、謙遜な思いで、しかし、同時に厳粛な思いと疑いの余地のない真心から、これを証します。」（「わたしたちの信仰の驚くべき基盤」『リアホナ』2002年11月号、78-81）

生徒がイエス・キリストへのさらなる信仰と、回復された福音に対するより強固な証を育てるとき、生徒は神聖な聖約を交わして守る決心を強くし、これまで以上に回復のメッセージを分かち合う備えを整えることとなります。

## 生徒に求められること

インスティテュート卒業のための単位を取得するには、生徒は各レッスンの生徒用資料セクションにリストアップされている聖文、総大会の話、およびその他資料を読む必要があります。生徒は出席規定を満たし、コース内容についての高い理解度を示さなければなりません。

## この手引きのレッスン構成

本コースは、2学期制コース向けに考案されたもので、28のレッスン（1クラス50分）で構成されています。1週間に2回クラスがある場合は、1回のクラスで一つのレッスンを教えます。1週間に90-100分のクラスが1回のみ開講される場合は、1クラスで2回分のレッスンを行います。各レッスンは大まかに4つの項から成っています

- はじめに
- 背景となる読み物
- 教えるための提案
- 生徒用資料

### はじめに

このセクションには、レッスンのトピックと目的についての簡単な紹介が記載されています。

### 背景となる読み物

このセクションでは、末日の預言者からのメッセージなど、レッスンの対象となる教義、原則、および福音の真理をよりよく理解するために役立つリソースが提案されています。



## 教えるための提案

教えるための提案セクションには、何を、どのように教えるかを知るために役立つ資料が含まれています（『福音を教え学ぶ』のセクション4.3.3および4.3.4も参照）。提案されている学習活動は、生徒が神聖な真理を明確にし、理解して、それらを生かすことができるように考案されています。これらの提案は、各自の教え方、および生徒たちの必要や状況に応じて適応させていくため、提案の全てを使用、または一部のみを使用にとどめてもよいでしょう。レッスン資料をどのように適応させるかを検討するときは、十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老の次の勧告に従うようにします。



「パッカー会長は度々、まず最初に身に付けてから適応させるようにと教えてくれました。生徒に教える規定のレッスンをしっかりと学んでおけば、それを御霊に従って適応させていくことができるようになります。しかし、この柔軟性について話すとき、身に付けるよりも先に適応することから始めてしまうという危険が存在します。バランスが必要です。これは頻繁に起きるチャレンジです。しかし、まず最初にしっかりと身に付けてから、状況に合わせて適応させるというアプローチは、正しい見解を維持するよい方法です。」（“A Panel Discussion with Elder Dallin H. Oaks” [宗教教育セミナー・インスティテュート衛星放送2012年8月7日]、lds.org/broadcasts）

本コースには、複数の言語で読むことができると思われる教会指導者による声明が含まれています。教える準備を行うときは、トピックに沿った教会指導者によるその他の利用可能な声明を使用することによってレッスンを適応させてもよいでしょう。

教えるための提案セクションには、教義または原則についての記述が少なくとも一つ太字で記載されています。生徒がこれらの教義や原則を見だし、学んだ事柄を分かち合うときに生徒が使う言葉は、手引きに書かれているものとは異なる場合があります。使う言葉が異なる場合でも、答えが間違っていると思わせないように気をつけましょう。しかし、生徒の発言をより正確にできる場合は、生徒が理解したことを明確にできるように注意深く助けましょう。

このカリキュラムは、福音を教え学ぶことの基本をテーマ別コースに組み入れる方法の手本となるものです（『福音を教え学ぶ』10, 23–31, 38–41）。セミナーとインスティテュートは、今後数か月の間に『宗教教育インスティテュートで聖典を教え学ぶ』と呼ばれる文書を発行する予定です。これは、福音を教え学ぶことの基本をテーマコースに組み入れる方法をさらに詳しく説明するものです。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、福音をテーマ別に学ぶことによってもたらされる幾つかの恩恵について次のように説明しています。

「全体を通読する方法は基本的な知識を得るのに、そして、トピック別に研究する方法は知識を深めるのに役立ちますが、霊的な知識をさらに加えてくれるのが、関連性、パターン、テーマを探しながら聖文を注意深く調べ（ることです。これによって）、救いの計画の理解ととらえ方が広がります。

わたしの見解では、聖文の中から関連性、パターン、テーマを熱心に探すことは、キリストの言葉を『よく味わう』ことでもあります。この方法を実践するならば、霊の貯水池の水門が開き、主の御霊が理解に光を注ぎ、聖文への感謝の念が増し、他の方法では到達できない高いレベルの霊的な意が心に生じてきます。この方法で聖文を注意深く調べていくと、贖い主という岩の上に築き、この末日の悪の嵐に堪える力が得られるのです。」（「生ける水の源」〔ブリガム・ヤング大学ファイヤサイド、2007年2月4日〕，3，<https://www.lds.org/broadcasts/archive/ces-devotionals/2007/01?lang=jpn>）

本手引き内の内容の一部は、『教義と聖約および教会歴史セミナー手引き』の内容に基づいています。

### 生徒用資料

このセクションには、レッスンで強調されているトピックに対する生徒の理解を深める聖句、教会指導者の話、およびその他資料がリストアップされています。クラスに来る前にこれらの資料を読んでおくことを課題とし、読むように励まします。これらの靈感を受けた資料を研究するとき、生徒はクラスの話し合いに参加する準備が整うだけでなく、コースのトピックについてさらに幅広く、深く理解できるようになります。学期の最初、生徒に『生徒用資料』の全リストを配ります。

### 教える準備をする

主は、教える準備をするための助けを与えてくださいます。準備をするときは、自分に対して次の質問を尋ねると役に立つ場合があります。

- 聖霊の導きを受けるために祈ったか。
- 割り当てられた聖文と背景となる読み物を研究したか。
- カリキュラムを読み、生徒たちの必要を満たすように適応させたり調整する箇所があるかどうか判断したか。
- 生徒が課題の生徒用資料を最大限に生かしていることを確実にするために、どのようにフォローアップできるか。
- レッスンに十分に参加できるよう各生徒を助けるには何ができるか。

以下の提案も役に立つ場合があります。

- クラスの前に課題の聖句や記事を読むように生徒を励ます。
- 生徒が学習者としての役割を果たすことを期待する。
- 教義と原則を自分の言葉で説明し、それに関する経験を分かち合い、知っていることや感じたことを証する機会を生徒たちに頻繁に与える。
- 各クラス、および日々使用する学習活動やアプローチに変化を持たせる。
- 生徒が互いに教え、学び合う特権と責任を持つ、御霊を招く学習環境を作る（教義と聖約88：78，122参照）。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は次のように教えています。



「生徒による選択の自由は聖霊による導きを受け入れるため、御霊が十分に関与してくださることをお約束します。……生徒が真理を言葉にすると、彼らの魂の中でその真理が立証され、個人の証が強められるのです。」（“To Understand and Live Truth”〔リチャード・G・スコット長老との夕べ、2005年2月4日〕、3、si.lds.org）

## 障がいを持つ生徒のためにレッスンを適応させる

教える準備をするときは、特定の必要性がある生徒に配慮します。活動や想定を調整して、彼らが成功できるようにします。

さらにアイデアやリソースを入手するには、[disabilities.lds.org](https://disabilities.lds.org)の障がいに関するリソースページ、および宗教教育セミナリー・インスティテュートのポリシーマニュアルにある「障がいを持つ生徒のための適応クラス」というタイトルのセクションを参照します。



## 第1課

# 不思議な驚くべき業

### はじめに

歴史上、天の御父は、完全な福音を回復しイエス・キリストの教会を設立する聖なる権能を授かる預言者たちを召して、背教の時代に終止符を打たれました。ジョセフ・スミスは、わたしたちの神権時代におけるこの預言者でした。神が預言者を通して、ど

のように民を導き教会を設立されるかを理解することは、生徒たちが回復の必要性を深く理解して、回復について隣人たちに教えるための大きな力を育む助けとなるでしょう。

### 背景となる読み物

- M・ラッセル・バラード「最初の示現が結んだ実」『リアホナ』2007年5月号, 80-82
- ゴードン・B・ヒンクレー「時の流れの頂で」『リアホナ』2000年1月号, 87-89
- ニール・A・マックスウェル「最初より」『聖徒の道』1994年1月号, 21-22
- 『わたしの福音を宣べ伝えなさい—伝道活動の手引き』31-36

### 教えるための提案

**アモス8：11-12；ジョセフ・スミス—歴史1：5-10**

#### 大背教と回復の必要性

ホワイトボードに次のことを書いて、レッスンを始めます。

飢饉＝

一人の生徒に、アモス8：11-12を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには一緒に黙読してもらい、**飢饉**という言葉がどのような象徴として使われているかを確認してもらいます。

- アモスが起ると預言したのは、どのような飢饉でしたか。（ホワイトボードの「飢饉＝」の隣に、生徒たちの答えを書きます。）
- 飢饉のせいで人々はどうするだろうと、アモスは預言しましたか。
- 「主の言葉を聞くこと」の飢饉が地上に起こっているという証拠として、あなたはどのようなことを見たことがありますか（アモス8：11）。

歴史上、アモス8：11にある預言が何度も成就しそうであったが、重要な成就は大背教として知られていることを説明します。生徒たちに、アモス8：11-12の近くの空白部分に**大背教を含む背教**と書くことを勧めるのもよいでしょう。



次の説明を表示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。生徒たちに、大背教を導いた幾つかの要因を見つけてもらいます。

「イエス・キリストの死後、悪い人々は使徒たちと教会員を迫害し、多くを殺しました。使徒たちが死んだことによって、神権の鍵と、管理する神権の権能は地上から取り去られました。それまで使徒たちは福音の教えを純粋に保ち、教会員のふさわしさの秩序と標準を維持していました。使徒たちがいなくなったことにより、時間がたつにつれて福音の教えはゆがめられ、教会の組織、また、バプテスマや聖霊の賜物の授与などの、神権の儀式が許可なしに変えられていきました。

啓示や神権の権能がないため、人々は人間の知恵に頼って、聖文とイエス・キリストの福音の原則と儀式を解釈するようになりました。間違った概念が真理として教えられました。父なる神、御子イエス・キリスト、聖霊の真の属性と特質に関する、多くの正しい知識が失われました。イエス・キリストを信じる信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物に関する教義はゆがめられ、あるいは忘れ去られました。キリストの使徒たちに授けられた神権の権能は、もはや地上からなくなったのです。」（『わたしの福音を宣べ伝えなさい—伝道活動のガイド』35）

- この説明によると、大背教に導いた幾つかの要因は何でしょうか。
- 大背教が実際に起こったことを理解することは、なぜ重要なのでしょうか。（生徒たちが使う言葉はまちまちでしょうが、次の原則を認識していることを確認します。大背教があったことを知ることは、福音の回復の必要性を認識する助けとなる。）

この大背教の期間に、天の御父が、「すべての人に与えられる」キリストの光を通して（モロナイ7：16）、『聖句ガイド』また福音が真実であることを証する聖霊の力を通して、御自身の影響を地上に与え続けられたことを説明します（「聖霊」scriptures.lds.org参照）。その時代には、地上で御父の助けを求める多くの男性や女性に、靈感をお与えになりました。マルチン・ルターやウィリアム・ティンダルのようなキリスト教改革者は、キリスト教徒が聖書に見いだされる理想的な生活に近づく助けとなるよう努めました。ヨーロッパや北アメリカの宗教改革者、哲学者また政治家さえもが力を尽くし、世界各地における人間の尊厳と信教の自由に対する気運を高めました。これらの重要な発展にもかかわらず、神は御自身の教会を完全に回復してはおられませんでした。（『わたしの福音を宣べ伝えなさい』45–169参照）

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910–2008年）の次の言葉を表示して、生徒に声に出して読んでもらいます。



「何世紀にもわたってもろもろの天は封印されたままでした。善良な人々が、そうです、少なからぬ数の偉大ですばらしい人々が、その礼拝の方法や教義の体系を、正したい、強めたい、改善したいと努めてきました。わたしはそのような人々に心から敬意を表したいと思います。こうした人々の勇氣ある行動のおかげで、世界はどれほど良くなったことでしょうか。しかし彼らの働きが靈感に導かれたものであると信じるものの、それでももろもろの天が開くまでには、あるいは神の

現われを受けるまでには至りませんでした。」（「わたしたちの信仰の驚くべき基盤」『リアホナ』2002年11月号, 80）

1820年に少年ジョセフ・スミスが正しい教会を探し求めたが、それを見つけることはできなかったことを、生徒たちに思い起こしてもらいます。ジョセフ・スミス—歴史1：5–10を生徒たちに黙読してもらい、大背教によって起こった試練を述べている聖文を探してもらいます。

- その頃の霊的な問題に対してジョセフ・スミスが引用したのは、どんな聖句でしたか。
- ジョセフ・スミスを取り巻く宗教的混乱の結果として起こった感情を、彼はどのように説明していますか。

ジョセフ・スミスの真理の探求が、最初の示現と彼が預言者として召されるといふ結果に結びついたことを、生徒たちに思い起こしてもらいます。（これらは次のレッスンで話し合います。）預言者ジョセフ・スミスの召しと福音の回復は、神によって定められた歴史上繰り返されるパターンに従っていることを指摘します。例えば、エノクの召し（モーセ6：26–32参照）およびノアの召し（モーセ8：17–20参照）は、このパターンに従っていました。このパターンについての次の説明を表示して、生徒の一人に読み上げてもらいます。

「聖書の歴史には、神が預言者に語られたときのことが多く記されています。また背教が起きたときのことも多く記録されています。背教に満ちたそれぞれの時代に終止符を打つとき、神は、新たに預言者を召すことで、御自身の子供たちに愛を示してこられました。そしてイエス・キリストの福音を回復し、再び教えるために、預言者に神権の権能をお授けになったのです。本質的に、預言者は地上にいる神の家族を見守る管理者の務めを果たします。このように預言者に導かれた時代を神権時代と呼んでいます。」（『わたしの福音を宣べ伝えなさい』33；『聖句ガイド』「背教」も参照）

- 初期の神権時代に見られたパターンに倣って、どのようにジョセフ・スミスを通して福音の回復がなされたのでしょうか。（生徒たちはそれぞれの言葉を使うでしょうが、次の教義を認識していることを確認します。背教の時代の後で、神は預言者を召し、福音を回復して再び教える権能をお授けになる。生徒たちは、この教義も理解することが望めます。ジョセフ・スミスは、わたしたちの神権時代のために、福音を回復するように神に召された。）
- このパターンを理解することは、他の信仰を持つ人に福音の回復を説明するためにどのように役立ちますか。

最初の示現においてジョセフ・スミスは、正しい教会が地上に存在していないことと完全な福音が回復される必要があることを学んだということを強調します。聖書は大背教の預言を含んでいるが、この背教が起こったことの最も重要な証は、ジョセフ・スミスが預言者に召されて、完全な福音が回復されたことです。

## 2ニーファイ27：25－26；教義と聖約1：12－30

### 福音の回復は、「不思議な驚くべき業」である

末日に、主が御自身の福音を地上に回復された理由の幾つかに関連する聖文を、説明します。

回復の時のこの世の靈的状态について主が述べておられることを探しながら、2ニーファイ27：25－26にある、回復についてのイザヤの預言を生徒たちに黙読してもらいます。これらの靈的状态を述べている言葉や表現に印をつけるよう、提案してもよいでしょう。（注—聖文から学び取りそれを維持するために有効な方法は、重要な言葉や聖句に印をつけることです。）十分な時間を取った後で、見つけ出したことを分かち合ってもらいます。

- 福音の回復が「不思議な驚くべき業」といわれるのは、なぜだと思いますか。
- あなたが見つけた、回復についての「不思議な」そして「驚くべき」ことは何ですか。（生徒たちが答えていく中で、「不思議な驚くべき業」としての福音の回復は、教義と聖約の中に頻繁に出てくるテーマの1例であることを述べます。「テーマとは、書物全体を織り成す糸のように、繰り返し登場し、全体をまとめる特徴や概念のことです。」〔デビッド・A・ベドナー「生ける水の源」（ブリガムヤング大学ファイヤサイド、2007年2月4日）、6、<https://www.lds.org/broadcasts/archive/ces-devotionals/2007/01?lang=jpn>〕）

主が福音の回復をもたらすために与えられた理由を探しながら、教義と聖約1：12－17をクラスの半分の生徒に研究してもらいます。他の半分の生徒たちには、福音の回復が神の子供たちをどのように祝福するかについて調べながら、教義と聖約1：18－30を研究してもらいます。（注—教義と聖約1：30は、第6課の中で他よりも詳細に研究されるようにします。）

十分な時間を取った後で、見いだしたことを分かち合ってもらいます。生徒たちが次の真理を理解していることを確認します。福音の回復は、キリストを信じる人々が信仰を強め、末日の苦難に打ち勝つ助けとなる。

預言者ジョセフ・スミス（1805－1844年）の次の言葉を声に出して読む。



「〔預言者たちは〕わたしたちが生きている時代を、喜びに満ちた期待を持って待ち望み、すばらしい喜びに満ちた期待に胸を高鳴らせながら、このわたしたちの時代について歌い、書を記し、預言しました。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』186）

- 過去の預言者たちが、わたしたちが生きている時代を待ち望んだのはなぜでしょうか。（生徒たちが認識すると思われる一つの考えは、回復は世界中に広まり、世界をイエス・キリストの再臨に備えるということです。）

ゴードン・B・ヒンクレー大管長の次の言葉を表示して、数人の生徒に順番に読み上げてもらいます。



「兄弟姉妹の皆さん、わたしたちが今何を手にしているのかわかっていますか。わたしたちは、人類史上最大のドラマの舞台に立っていることをご存じですか。すでに過ぎ去った全ての出来事をしのぐ、まさに最高の山場に来ているのです。……

古代の人々が語り、預言者や使徒たちが預言した、全能の神の末日の業もたらされているのです。それが今ここにあるのです。わたしたちには分からないけれども、神の英知のうちにある理由があって、わたしたちはこの栄光の時代に地上に来る特権が与えられました。……

今持っているものや知っていることがあるならば、今よりも良い人間になるべきです。今よりもキリストに似た者となり、人を赦し、人のために尽くし、周りの全ての人に思いやりを示すべきです。

歴史の偉大さと荘厳さに畏敬の念を抱きながら、わたしたちはあらゆる時代の頂点に立っています。これは過去の全ての出来事が指し示してきた、最後の背教です。わたしはこれらが真実であることを証します。」（「時の流れの頂で」『リアホナ』2000年1月号、89参照）

- 「わたしたちはあらゆる時代の頂点に立っています」という言葉は、あなたの中にどんな思いや感情を呼び起こしますか。
- あまり個人的でないものがあれば、あなたの生活の中から、イエス・キリストの福音の回復についてあなたの証を強めた経験を分かち合ってください。
- 福音の回復へのわたしたちの感謝を、どのように表わすことができますか。

## 生徒用資料

- イザヤ29：13-14；アモス8：11-12；2ニーファイ27：1-5，25-26；教義と聖約1：12-30；ジョセフ・スミス—歴史1：5-10
- ゴードン・B・ヒンクレー「時の流れの頂で」『リアホナ』2000年1月号、87-89

## 第2課

# 最初の示現

### はじめに

高価な真珠にあるジョセフ・スミスの最初の示現の記録は、教会についての誤った情報を正すために書かれました。その生涯を通じて、預言者ジョセフ・スミスは最初の示現の幾つかの記録を提示しています。これらの記録は、その経験に対するわたしたち

の理解を深め、回復への信仰を強めてくれます。この課は、生徒たちがこの比類ない重要な出来事について証を持つことの重要性を理解する助けとなります。

### 背景となる読み物

- ゴードン・B・ヒンクレー「わたしたちの信仰の驚くべき基盤」『リアホナ』2002年11月号, 78–81
- 「最初の示現の記録」福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics?lang=jpn>

### 教えるための提案

#### ジョセフ・スミス—歴史1：1–2

#### 預言者は誤った情報を正すために最初の示現について書き記した

ジョセフ・スミスは1838年に公式な歴史を書き始めたことを説明します。ジョセフ・スミス—歴史として知られている高価な真珠の一部は、かなり長い歴史から抜粋されたものです。

一人の生徒に、ジョセフ・スミス—歴史1：1–2を読んでもらいます。クラス全員と一緒に黙読してもらい、ジョセフ・スミスが自分の歴史を用意した理由を調べてもらいます。

- 1節によると、教会の初期の頃に人々の間で何が広められていましたか。
- 教会に敵対する情報を擁護する人々の意図は何でしたか。
- わたしたちの時代に存在する、この状況と類似していることは何ですか。

信仰を損ねる目的で、教会に関する偽りや誤解を招く情報を広める個人やグループが、今でも存在し続けていることを説明します。

- ジョセフは自らの歴史を書いた理由を何だと言っていますか。（「世間の考えを正すためであり、また、真相を知ろうとするすべての人に、わたしが事実を知っている範囲で、……知らせるためである。」〔ジョセフ・スミス—歴史1：1〕）
- 回復について「真相を知ろうとするすべての人」がジョセフ・スミスじきじきの記録を信頼することが重要なのはなぜですか。生徒たちはそれぞれの言い方をするでしょうが、**預言者の説明を信頼することが、偽りや誤解を招く情報にだまされることを避ける助けになることを理解しているか確認します。**

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老が語った次の言葉を表示して、生徒たちにそれを黙読してもらいます。





「いつの時代にも、教会の評判を落とし信仰を失わせようとする人々があります。今日、彼らはインターネットを使います。」

教会に関する情報の中には、いかに説得力のあるものであっても、断じて真実ではないものがあります。」（「信仰の試し」『リアホナ』2012年11月号, 41）

- 最初の示現、福音の回復、そしてその他の教会歴史にある出来事に関する真実を知るための個人的な研究において、わたしたちはどのような資料を探し出し信頼すべきでしょうか。それはなぜでしょうか。（生徒たちが次の原則を理解するように助けてください。偽りや誤った情報に欺かれることを避けるためには、真実を求める人々は、インターネット検索から入ってくる情報を含めて、聞いたり読んだりする情報をただ受け入れるのではなく、教会とその歴史についての信頼できる情報源を探し出すべきです。

教会を批判する人々は、ジョセフ・スミスが最初の示現が起こってから何年もその示現の経験を記録しなかったとあって、最初の示現の真実性に反論していることを説明します。14歳の少年ジョセフ・スミスは、彼が最初に話した人々に反発されてから、最初の示現について話すことを控えていたことを説明します（ジョセフ・スミス—歴史1：21–26参照）。そうすることがふさわしいと感じたときに、彼はその経験を記録しました。幾つかの神聖な経験は、御霊の促しを受けたときのみに分ち合われるべきであることを明確に教えながら、救い主はペテロ、ヤコブ、ヨハネに、人の子が死人の中からよみがえるまでは、今見たことを誰にも話してはならないと命じられました（マタイ17：9参照）。

### 最初の示現の記録

注—この課のこの部分を教えるときに、ジョセフ・スミス—歴史1：8–20に関するこの課の最後のセクションを教えるために、適切な時間を残します。

直筆によってあるいは筆記者の手助けによって、ジョセフ・スミスは、最初の示現についての少なくとも4つの記録を筆記しました。さらに、この示現の幾つかの説明は、ジョセフ・スミスと同時代にいた人たちによって記録されました。それぞれの記録は、ジョセフの経験を異なった観点で捉えながらも、ジョセフが見たことや聞いたことの重要な要素は共有しています。なぜさまざまな記録における違いがあるのかを説明する助けとなるように、生徒たちに次のことを考えてもらいます。

- これまでに得た重大な意義深い経験について考えてください。聞き手が誰なのかによって、自分の経験についての説明がどのように変わり得るでしょうか。自分の経験について、いつ話すかまたなぜ話すかによって、それはどのように変わり得るでしょうか。

生徒の一人に次の言葉を読み上げてもらい、一つの経験が複数回語られるときに、どんなことが予想されると歴史家たちが言っているかを聞いてもらいます。

「強調点や細かな点で自然と相違が生じるものの、最初の示現のさまざまな記録の話の筋は一貫しています。歴史家は、人はある経験について長年にわたってさまざまな所でそれぞれ違った聴衆に、何度も話を繰り返すとき、毎回、強調点が異なり、詳細も異なってくることを想定しています。確かに、最初の示現についてのさまざまな記録間の違いと似たような違いが、ダマスコへの途中でパウロが受けた示現や変貌の山での使徒たちの経験に関する複数の聖文の記録にも存在します〔使徒9：3-9；22：6-21；26：12-18；マタイ17：1-13；マルコ9：2-13；ルカ9：28-36〕。しかしそうした違いがあっても、全ての最初の示現の記録において基本的な一貫性があります。話を繰り返すことにおける違いは、架空の話である証拠だと誤って主張する人もいます。それとは対照的に、あまりよく記録されていなかったときに比べ、豊かな歴史的記録により、わたしたちはこの特筆すべき出来事についてさらに学ぶことができます。」（「最初の示現の記録」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics?lang=jpn>）

記録における違いについての一つの例として、「1832年の記録は若者としての至らなさに赦しを求めるジョセフ・スミスの個人的な物語がさらに強調されているのに対し、1838年の記録は『教会の起こりと発展』で始められているように、示現に焦点が当てられています。」（「最初の示現の記録」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics?lang=jpn>）課題の読み物は、最初の示現のそれぞれの違いについてさらに詳細に分析されている福音のテーマの記事「最初の示現の記録」を含むことを、生徒たちに覚えておいてもらいます。それぞれの記録が最初の示現についてのわたしたちの知識をどのように高めるかをさらに理解するために、レッスン以外の文献を研究するよう生徒たちに勧めます。（注一「生徒の読み物」に基づいて、レッスンの前に課題を読むことの大切さを、生徒たちに覚えておいてもらいます。そうすることが、生徒たちがクラスの話し合いに貢献する助けとなるでしょう。）

- 最初の示現についての複数の記録は、どのようにこの神聖な出来事の真正さを擁護し、わたしたちの理解を深めることができるでしょうか。（最初の示現の複数の記録は、不十分な記録であったら学べないような、この神聖な経験についてのより多くのことをわたしたちに学ばせてくれることを生徒たちが理解するよう助けます。）

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910-2008年）の次の言葉を表示して、生徒に声に出して読んでもらいます。



「新約聖書において4人の福音の記録者が、そのときの自分の理解力で自分の目的に合わせて出来事を記したことに抱く不安に比べ、預言者ジョセフ・スミスが最初の示現について幾つかの書き方をしたことにはまったく不安を感じません。」（「神が私たちに下さったのは、臆する霊ではなく……」『聖徒の道』1985年2、3月号、21参照）

最初の示現が真実であることと、預言者ジョセフ・スミスを通して福音が回復されたことについての証をします。

## ジョセフ・スミス—歴史1：8-20

### 教会の真正さは、最初の示現の真実性に委ねられている

数人の生徒に交代でジョセフ・スミス—歴史1：8-15を読んでもらいます。

- 自分の疑問への答えを見いだすために、ジョセフ・スミスがした幾つかのことは何でしたか。
- サタンはなぜジョセフ・スミスが祈るのを阻止しようとしたと思いますか。

数人の生徒に交代でジョセフ・スミス—歴史1：16-19を読んでもらいます。

- 16-17節からわたしたちが学ぶことのできる、幾つかの重要な真理は何ですか。（生徒たちが答える中で、天の御父とイエス・キリストがジョセフ・スミスに御姿を現されたとき、永遠の真理が地上に回復されたことを強調します。）

七十人会長会のタッド・R・カリスター長老の次の言葉を表示して読み上げます。この言葉を読みながら、聖文の中のカリスター兄弟が強調している真理に、生徒たちが印をつけるように提案してもよいでしょう。ジョセフが学んだ真理をジョセフ・スミス—歴史1：16-19の近くに書き込むことを提案してもよいでしょう。（注—聖文に印や注釈をつけることを覚えることは、生徒たちの成長の助けとなる重要な聖文研究技術です〔『福音の教授と学習—宗教教育セミナー・インスティテュートの教師ならびに指導者用手引き』21〕。）



「ジョセフ・スミスは、地上にキリストの教会を回復するために主に油注がれた人でした森を出たジョセフは、やがて、当時のキリスト教界でほとんど教えられていなかった4つの基本的な真理を学びます。

まず、ジョセフは父なる神と御子イエス・キリストが別個の独立した御方であることを知りました。……

二つ目は、御父と御子が栄光を受けた骨肉の体を持っておられるということです。……

ジョセフ・スミスが学んだ3つ目の真理は、神が今も人に語りかけておられ、天は閉じられていないということです。……

ジョセフ・スミスが学んだ4つ目の真理は、当時イエス・キリストの完全な教会は存在しなかったということです。」（「ジョセフ・スミス—回復の預言者」『リアホナ』2009年11月号、35-36）

- 天の御父とイエス・キリストに関するこれらの真理を知り、理解することは、なぜ不可欠だと思いますか。
- それらの真理の必要性は、少年ジョセフ・スミスがお祈りをするをサタンが妨げようとした理由を説明するときに、どのような助けになるでしょうか。

ジョセフ・スミスの最初の示現の重要性を強調するために、ゴードン・B・ヒンクレー大管長の次の言葉を表示して、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「わたしたちの民の強さは、その示現が真実であることにあります。その出来事が実際に起きたか、起きなかったか、どちらかなのです。もし起きなかったとすれば、この業は間違っています。もし起きたのなら、天の下で、最も重要で最もすばらしい業ということになります。……

……1820年に、家庭用の聖書でヤコブの手紙からの一節を読んでいた少年の祈りにこたえて、あの栄光に満ちた現われがもたらされたのです。『あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせず惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。』（ヤコブの手紙1：5）

この比類のない、すばらしい経験に、教会の真正さがかかっています。」（「わたしたちの信仰の驚くべき基盤」『リアホナ』2002年11月号，80）

- 教会の真正さは、ジョセフ・スミスの最初の示現とどのように関わっていますか。
- ジョセフ・スミスが父なる神とその御子イエス・キリストにまみえたことの証を得るのは、なぜ大切なのでしょう。（生徒たちはさまざまな答えをするかもしれませんが、次の原則が明確であることを確認してください。ジョセフ・スミスが父なる神と御子を見たという証を得るときに、わたしたちは福音の回復の真実性を知ることできる。）

レッスンを締めくくりながら、最初の示現の個人の証を持つことの重要性を強調します。啓示という岩の上に築かれるこの個人の証は、わたしたちがジョセフ・スミスと教会についての誤った情報に直面するときに、信仰を強く保つ助けとなります。ジョセフ・スミスが真理を学んだ方法は、わたしたちにも役立つことを証します。わたしたちは真理を探究し、聖文を読み、深く考え、そして最終的に神に尋ねることができます。そうすれば神は答えてくださるでしょう。（ヤコブの手紙1：5）。御父と御子がジョセフ・スミスに御姿を現されたという証をどのように得るのか、生徒たちに深く考えてもらいます。時間が許せば、一人か二人の生徒に最初の示現の証をどのようにして得たのかを分かち合ってもらいます。

## 生徒用資料

- ジョセフ・スミス—歴史1：1–26
- ゴードン・B・ヒンクレー「わたしたちの信仰の驚くべき基盤」『リアホナ』2002年11月号，78–81

## 第3課

# モルモン書の出現

### はじめに

主は天使モロナイを遣わし、モルモン書の翻訳のためにジョセフ・スミスを備えさせました。実際の翻訳の過程について、ほとんど知らされていませんでした。ジョセフ・スミスは、「神の賜物と力によって」モルモン書が翻訳されたと言いました（モルモ

ン書の序文, 1830年版）。証人に関する律法によると（2コリント13：1参照）、主は、数人を古代の記録の証人にされました。彼らの証は、全世界に対してモルモン書の信頼性を強めています。

### 背景となる読み物

- ニール・A・マックスウェル, “By the Gift and Power of God,” **Ensign**, 1997年1月号, 36–41
- 「モルモン書の翻訳」福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics?lang=jpn>
- 「『モルモン書』の出現と神権の回復」『時満ちる時代の教会歴史』（教会教育システム手引き）第5章, 59–66

### 教えるための提案

#### ジョセフ・スミス—歴史1：30–35, 42–54

#### 神の賜物と力により翻訳された

一人か二人の生徒に、1823年9月21日の夜に少年ジョセフ・スミスが天使モロナイを訪れたことについて覚えていることを手短かに述べてもらいます。必要であれば、次の情報を分かち合います。

「1823年9月21日の夜、ジョセフはニューヨーク州パルマイラにあった、家族が住む丸太造りの家の屋根裏の寝室で床に就いた。しかし、部屋にいた他のきょうだいたちが眠った後も目を覚ましていて、自分に対する神の御心をもっと知ろうとして真剣に祈った。……

祈りの答えとして、ジョセフは室内に光が現れるのを見た。その光は明るさを増していき、ついに部屋は、『真昼のときよりも明るく』なった。ベッドの傍らに『この上なく美しい白さ』の衣を着た一人の天の使者が現れ、空中に立った（ジョセフ・スミス—歴史1：30–31）。この使者は、ニーファイ人の最後の預言者であるモロナイであった。モロナイはモルモン書が書き記された版を幾世期も前に埋めており、この神聖な記録に関する鍵を持っていた（教義と聖約27：5参照）。モロナイは、神がジョセフの罪を赦し、彼のなすべき業を備えておられることを告げるために遣わされたのであった。この業の一部として、ジョセフは近くの丘に行くように求められた。そこには金版に書き記された神聖な記録が隠されていた。……ジョセフはその記録を翻訳して世にもたらすことになっていた。

翌日、ジョセフはモルモン書の版が埋められている丘に行った。その場所でジョセフはモロナイと会い、版を見たが、4年間はそれらを受け取ることはないと言われた。……



1827年9月22日、エマはジョセフとともに丘に行き、モロナイが版を預言者の手に渡している間、近くで待っていた。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』57, 59）

生徒たちに、モルモン書のタイトルページを開いてもらい、この古代の記録がどのように出現して翻訳されることになったかという情報を探しながら、最初の段落を入念に調べてもらいます。生徒たちが読み終わった後で、見つけたことを分かち合ってもらいます。（生徒たちは次の真理を認識することが望まれます。モルモン書は、神の賜物と力により翻訳された。）

一人の生徒に、ジョセフ・スミス—歴史1：34–35を読んでもらいます。クラス全員と一緒に黙読してもらい、主が、ジョセフ・スミスがモルモン書を翻訳するのを助けた一つの方法を調べてもらいます。

- これらの聖句によると、古代の記録を翻訳するときに主がジョセフ・スミスを助けた一つの方法は何ですか。（主は翻訳のためにウリムとトンミムを授けられました。）

モルモン書を翻訳するときにジョセフ・スミスが使ったもう一つの道具は、小さな卵形の石で「聖見者の石」とも呼ばれ、金版を受け取る何年も前に彼が見つけたものだったことを説明します（「モルモン書の翻訳」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics?lang=jpn>参照）。歴史的記録は、預言者が翻訳のためにウリムとトンミムを使っていたこともあれば、聖見者の石を使っていたこともあることを示しています。

次の言葉を読み上げて、ウリムとトンミムや聖見者の石を通じて、主が英語に翻訳されたモルモン書を預言者に啓示されたことを、生徒たちが理解するように助けてください。

「翻訳の過程についてその詳細を述べるように強く求められたとき、ジョセフは、それは『神の賜物と力によ〔り〕』行われたと何度か繰り返し、またあるときは『モルモン書の出現に関する詳細の全てを世の人々に告げるつもりはありません』と付け加えました。

それにもかかわらず、翻訳の様子を目にした筆記者たちや他の人々は、その過程について洞察を与える多くの記述を残しました。幾つかの記録では、ジョセフは版の文字を研究したと述べられています。ほとんどの記録は、ジョセフは『ウリムとトンミム』（解読器または聖見者の石）を使用したと述べていますが、多くの記録によると、彼は単一の石を使用しています。これらの記録によれば、ジョセフは、翻訳器か聖見者の石のどちらかを帽子の中に入れ、外部からの光を遮断するためにその帽子に顔を押し付けて、その用具に現われた英語の言葉を読み上げました。ここで述べられている過程は、モルモン書の一節を思い起こさせます。その節では、神は『暗闇の中で輝いて光を放つ一つの石を』用意されると述べられています〔アルマ37：23–24〕。（「モルモン書の翻訳」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics?lang=jpn>）

主の助けは、ジョセフ・スミスがモルモン書を翻訳している短い時間においても明らかであったことを説明します。十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソ

ン長老が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「ジョセフがモルモン書を翻訳するためにかかった時間が短かったことを考えてください。1828年の4月から6月まで作業して、マーティン・ハリスが紛失した116ページをジョセフは翻訳しました。ジョセフは、筆記者のオリバー・カウドリとともに、1829年4月7日火曜日に再び翻訳を始めました。原稿はその年の6月30日、85日後に完成しました。もちろん、翻訳の作業に全ての時間を費やしたわけではありませんでした。……控えめに見積もっても、預言者と筆記者が現在の版で531ページになるこの書物の翻訳のために作業した日には65日以下でした。（ジョン・W・ウェルチ, Ensign, 1988年1月号, 46-47参照）1日平均8ページという計算になります。1冊の書物を自分が翻訳するときや、モルモン書を読む計画を立てるときに、これを考えてみてください。」（“A Treasured Testament,” Ensign, 1993年6月号, 61-62）

- モルモン書の出現が起こるための、「神の賜物と力によ〔る〕」幾つかの方法とは何でしたか。
- モルモン書の出現を取り巻く全ての詳細を知らないならば、この書物が真実であるとするのようにして知ることができますか。（わたしたちは、その翻訳に関する全ての詳細を知らなくても、モルモン書の霊的な証を受けることができます。）
- あなたがモルモン書の証を得る助けとなるものは何ですか。

一人の生徒に、ゴードン・B・ヒンクレー大管長の次の言葉を読んでもらいます。



「まず、モロナイです。彼がもたらした金版からモルモン書が翻訳されました。これは何と比類なきすばらしいことでしょう。金版についてのジョセフの話は驚嘆すべきものです。信じがたい話であり、疑うことは容易です。モルモン書は、彼自身の力で書かれたのでしょうか。兄弟姉妹、それはわたしたちの手元にあり、誰もが見、触れ、読めるようになっています。その由来について説明するあらゆる試みは、ジョセフが述べたもの以外、失敗に終わりました。彼はほとんど無学でした。にもかかわらず、非常に短い時間でそれを翻訳しました。出版されたページ数は英文で500枚を超えるものでした。...

長年、批評家たちはモルモン書についての説明を試みてきました。彼らはそれを批判しました。彼らはそれをあざ笑いました。にもかかわらず、モルモン書はそれらをものともせず読み継がれ、今日、その影響は歴史上かつてないものとなっています。」（「山から切り出された石」『リアホナ』2007年11月号, 85）

- モルモン書が真実であることを信じようと苦闘している人を助けるために、何と言ってあげられるでしょうか。

モルモン書は神の賜物と力により出現したことを証します。

## 教義と聖約第17章

### 三人の証人の証と八人の証人の証

モルモン書を翻訳している間に、ジョセフは、主が古代の記録の証人を指名されることを知ったということを説明します。（2ニーファイ27：12-13；エテル5：2-5参照）。そのとき、オリバー・カウドリ、デビッド・ホイットマーとマーティン・ハリスのそれぞれが、これらの特別な証人になりたいという望みを述べました。教義と聖約第17章は、これらの男性たちへの主の教えを含んでいます。

数人の生徒に、教義と聖約17：1-6を順番に声に出して読んでもらいます。証人たちが版を見た後で何をするように主が命じられたかを調べながら、クラス全員に黙読してもらいます。生徒たちが、分かったことを分かち合ったあとで、次のことを質問します。

- この3人が主から版を見せていただけるようになるために、まず昔の預言者のように信仰を示さなければならなかったのは、なぜだと思いますか。
- 3-5節によると、版を見た後で、これらの証人たちはどのような責任を負いましたか。
- 主がわたしたちにモルモン書の真実性を明らかにされるとき、わたしたちはどのような責任を負いますか。（生徒はおそらく次の原則を見いだすでしょう。**神聖な真理に対する証を得たら、それについて証する責任がある。**〔教義と聖約88：81も参照〕）この原則は、わたしたちが聖文の中に見いだすパターンの一つの例でもあることを述べてもよいでしょう。「パターンとは、何かを繰り返し行ったり、作ったりするときの見本となるやり方、お手本、あるいは基準です。」〔デビッド・A・ベドナー「生ける水の源」（ブリガム・ヤング大学ファイヤサイド、2007年2月4日）、5、<https://www.lds.org/broadcasts/archive/ces-devotionals/2007/01?lang=jpn>〕
- 真理を証することは、どうしてわたしたちの信仰を示すことになりますか。

生徒の一人に、三人の証人との経験についてのジョセフ・スミスの記録を読み上げてもらいます。

「マーティン・ハリスと、デビッド・ホイットマーと、オリバー・カウドリとわたしは、森に入って行き、この大いなる特権を授かるために、熱意を込めて敬虔に祈りをささげた。……2度試みてから、マーティン・ハリスは自分がいるから願いが聞き入れられないのだと考え、その場から引き下がると申し出た。彼が引き下がって、わたしたちが再びひざまずいて祈りをささげるやいなや、天使〔モロナイ〕がわたしたちの前に立った。彼は、手に版を持っていた。天使はわたしたちが見て、そこに刻まれている文字をはっきりと識別することができるように、版を一枚一枚めくった。……頭上で輝く光の中から、次のように言う声が聞こえた。『この版は神の力によって現され、神の力によって翻訳された。あなたがたが目にしたものの翻訳は正確である。わたしはあなたがたに命じる。今見聞きしたことを証しなさい。』

さて、わたしはデビッドとオリバーとをその場に置いてマーティン・ハリスを捜しに行った。すると、マーティンはかなり離れた所で熱心に祈っていた。ところ

が彼はわたしを見るとすぐに、願いがまだ主に聞かれないと言い、たった今わたしたちが経験した版を見るという祝福に、彼もあずかることができるよう、ぜひ一緒に祈ってほしいと懇願した。言われるままに祈りに加わった。すると、ついに願いが聞き届けられた。まだ祈り終わらないうちに、同じ示現が開かれたのだ。少なくともわたしには再び示現が開かれ、わたしは同じことをもう一度見聞きした。それと同時に、マーティン・ハリスは大変な喜びようで、こう叫んだのである。『これでいい、これでいい。この目で見た、この目で見た。』」（History of the Church, 第1巻, 54–55で引用）

ジョセフはホイットマー家に戻って、両親にこう語りました。「主がああ版を、わたしの他に3人の人にお見せになったのです。彼らも天使を見たのですから、わたしが話してきたことが真実であると証しなければならぬのです。わたしが人々を欺こうとしているのではないことを、彼らは身をもって知ったのです。自分にはとても堪えられない、大きな重荷を取り除かれたような気分です。これからは彼らとその一部を負うことになるのです。もう自分がこの世でまったくの一人きりではないことが、心からうれしいのです。」（ルーシー・マック・スミス, History, 1844–1845年, 第8巻, 11, josephsmithpapers.org/paperSummarylucy-mack-smith-history-1844-1845）

- この経験をして、ジョセフ・スミスが心からうれしかったのはなぜだと思いますか。（彼はもはや、版と天の御使いについてのたった一人の証人ではありませんでした。）

その他の8人の証人も、版を見る機会にあずかったことを説明します。

クラスの半分に「三人の証人の証」を読んでもらい、他の半分に「八人の証人の証」を読んでもらいます。どちらもモルモン書の序文のページにあります。生徒たちに、証人の経験の重要な要素を調べてもらいます。十分な時間を取った後で、分かったことを分かち合ってもらいます。

- 三人の証人と八人の証人の経験は、どのように違いますか。（三人の証人は神の声を聞き天使を見たが、版に触れることはできなかった。八人の証人は、ジョセフ・スミスから版を見せられたが、それらに触れることはできなかった。三人の証人は、より霊的な経験をしたが、八人の証人は版の存在についての、より物質的な証を持った。）
- 複数の証人がいることが、モルモン書の出現にとって非常に重要なのはなぜだと思いますか。

三人の証人たちや八人の証人たちの何人かは、後に教会を離れてしまったことに気づいていない生徒がいるかもしれません。一人の生徒に、十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老が述べた次の言葉を読んでもらいます。



「考えられる反対意見全てから計られても、モルモン書に対する三人の証人の証は力強くそれに立ち向かっています。……よく知られているように、教会の他の指導者を巻き込む不和やねたみのために、三人の証人はそれぞれ、証言が公表されてからおよそ8年のうちに、末日聖徒イエス・キリスト教会から破門されています。……しかしどの人も……その生涯の終わりのときまで、誰一人として公表された

証言を曲げたり、その真実性に陰を落とすようなことは言ったりしませんでした。

さらに、彼らの証言は他の証人による証言と矛盾するところがありません。人はその証を拒絶するかもしれませんが、しかし、ばかにされたり、不利な状況に立たされたりするというのにもかかわらず、3人の善人が一致して、生涯この公表された証言に固執し続けたというのは、どのように説明できるでしょうか。モルモン書自体と同様に、善良で正直な人たちが何を見たか、その証言の中で厳肅に明言しているということが、一番の説明なのです。」（「証人マーティン・ハリス」『リアホナ』1999年7月号，42参照）

- 教会を破門された後でさえも、彼らが決して証を否定しなかったという事実によって、三人の証人の証はどのように強められていると思いますか。（オリバー・カウドリとマーティン・ハリスは、後にもう一度バプテスマを受けたことを説明します。）

生徒たちに教義と聖約17：6に戻ってもらい、この聖句がモルモン書の真実性についての最も偉大な証を含んでいることを強調します。この聖句は、あなたがたの神が生きているように確かに、モルモン書は真実であるという、神御自身の証を含んでいます。

モルモン書に対する自分の証をモルモン書に載せることができるようになったと生徒に想像してもらいます。生徒たちが自分の証に加えようと思っていることを分かち合ってもらいます。

生徒たちに、次のレッスンの前にモルモン書についての証を誰かと分かち合うように勧めます。

## 生徒用資料

- 教義と聖約17；ジョセフ・スミス—歴史1：29–54
- ニール・A・マックスウェル，“By the Gift and Power of God,” **Ensign**, 1997年1月号，36–41

## 第4課

# モルモン書—わたしたちの宗教のかなめ石

### はじめに

モルモン書はわたしたちの宗教のかなめ石であり、わたしたちの時代にこの地上に神がイエス・キリストの福音を回復されたという証拠です。エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899–1994年）は、次のように教えました。モルモン書は「キリストについてのわたしたちの証のかなめ石です。わたしたちの

教義のかなめ石です。証のかなめ石です。」（「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 5参照）。生徒たちがモルモン書についての自分の証を強めていくときに、その真正さを反証しようとするに人々に対して防備を固めることができます。

### 背景となる読み物

- エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 4–7
- ジェフリー・R・ホランド「魂の安寧」『リアホナ』2009年11月号, 88–90
- 「モルモン書とDNAの研究」福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics?lang=jpn>

### 教えるための提案

#### 教義と聖約17：6；19：26；20：5–12

モルモン書は、神がこの時代に真理を回復されたことを証明するものです。

クラスが始まる前に、ホワイトボードの上に次の表と質問を掲げてきます。

1820年	最初の示現が授けられた
1823年	モロナイが訪れ始めた
1829年	神権が回復された
1829年6月	モルモン書の翻訳が完了した
1830年4月6日	教会が設立された

- 福音の回復におけるモルモン書の役割に関わる一連の出来事から、わたしたちは何を学ぶことができますか。（モルモン書は教会が回復される前に完成していました。それは、福音の広まりに重要な役割を果たしました。）

教会が1830年4月に設立されたとき、モルモン書の印刷はちょうど完成しており、その2週間より以前に販売が広告されていました。生徒たちに、モルモン



書の内容とモルモン書が証明していることが何かを調べてもらいながら、教義と聖約20：8－12を黙読してもらいます。見つけた箇所に印をつけるよう生徒に勧めるとよいでしょう。（注—この課を通じて、聖文の中に彼らが見つけた重要な真理に印をつけるように勧めてもよいでしょう。）生徒に答えてもらった後、次の空欄を含む文をホワイトボードに書きます。

モルモン書が、世界に向けて証明していることは.....

時間を十分に取ってから、次の質問をします。

- あなたが読んだことに基づいて、ホワイトボードに書いた言葉を完成するとどのようになりますか。（生徒たちはそれぞれの言い方をしますが、次の真理を認識していることが望まれます。モルモン書は、聖文が真実であること、神がわたしたちの時代に御自身の御業を行う人々を召して靈感を与えたこと、そして神は変わることがないことを世界に証明している。）
- 神がわたしたちの時代に御自身の御業を行う人々を召して靈感を与えることを、モルモン書はどのように証明していますか。
- ある人が、モルモン書が真実であることを知るようになるとき、その人は預言者ジョセフ・スミスについてどんな知識を得ますか。

生徒たちに、教義と聖約17：6と19：26に共通することを探してもらいながら、この二つの節を黙読してもらいます。

- この二つの節に共通することは何でしょうか。（モルモン書の真実性についての主の宣言）
- 主が、モルモン書の真実性についての御自身の証を述べられたことを知ることは、あなたにとってどんな価値がありますか。

### モルモン書はわたしたちの宗教のかなめ石である

次の真理をホワイトボードに書きます。わたしたちの行動は、わたしたちの心の思いと願望から起こる。

- この言葉はどういう意味でしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長（1899－1994年）の次の言葉を表示して、生徒に声に出して読んでもらいます。



「モルモン書がわたしたちの宗教のかなめ石であるということには、3つの意味があります。キリストについてのわたしたちの証のかなめ石です。わたしたちの教義のかなめ石です。証のかなめ石です。」（「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号、5参照）



クラスを小グループに分けます。それぞれのグループに次のトピックを一つずつ割り当てて、話し合ってもらいます。モルモン書はどのように「キリストについてのわたしたちの証のかなめ石」なのでしょう。どうして「わたしたちの教義のかなめ石」なのでしょう。またどうして「証のかなめ石」なのでしょう。（一つのトピックを二つ以上のグループに割り当てる必要があるかもしれません。）次の配付資料をそれぞれのグループに配り、自分たちが話し合うトピックに適した話を使ってもらいます。

## モルモン書—わたしたちの宗教のかなめ石

### 「キリストについてのわたしたちの証のかなめ石」



「モルモン書は、わたしたちが行う全てのこののかしら石であるイエス・キリストに対する、わたしたちの証のかなめ石となるものです。モルモン書はイエスの実在を証しています。……そこにある主についての証は明快かつ純粋で、力があります。今日キリスト教界の多くは救い主の神性を否定しています。彼らは、主の奇跡的な誕生や、完璧な生涯、栄光ある復活の真実性に疑いを抱いているのです。モルモン書はそれら全てが真実であることを分かりやすく、誤解の余地のない言葉で教えています。贖いの教義をこれほど完全に説明している書物は他にありません。」（エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 5参照）

### 「わたしたちの宗教のかなめ石」



「モルモン書には救いに必要な完全な教義が収められているということなのです。そして、その教義は分かりやすく簡単で、子供でさえも救いと昇栄の道を学ぶことができます。……モルモン書には救いの教義が広範囲に理解できるようになる内容がたくさん含まれています。」エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 6参照

### 「証のかなめ石」



「モルモン書は証のかなめ石です。かなめ石を取り外したらアーチが崩れ落ちるように、この教会の全ては、モルモン書が真実かどうかにかかっています。……モルモン書が真実ならば……回復とそれに付随する全てのことを受け入れなければなりません」（エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 6参照）。

十分な時間の後、グループで話し合った内容を発表してもらいます。

生徒たちにモルモン書についてどのように感じたか、またモルモン書が自分自身の証にとってどのようなかなめ石になったかを分かち合ってもらって、この課のこの部分を締めくくります。

### 敵対者は、モルモン書の誤りを立証しようとする

一人の生徒に、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老が述べた次の言葉を読んでもらいます。



「この書物は、〔180年以上〕にわたって調査されて攻撃を受け、否定され、細部まで調べ上げられ、標的にされ、非難を浴びてきました。これほどの書物は近代の宗教史にはおそらくなく、どの宗教史においてもきつとないでしょう。この書物は今なお立っています。モルモン書の起源については、イーサン・スミスやソロモン・スポルディングの書物を基にしているという説から、錯乱した被害妄想者が天才的な悪人だから書けたという説まで、成功することのない理論が生まれ、おうむ返しに繰り返されては消えていきました。モルモン書について、このような、率直に言えば哀れと言うほかない結論の中で、検証に耐えたものは一つとしてありません。なぜなら、無学な若い翻訳者ジョセフが示した答え以外に答えはないからです。この点について、わたしは曾祖父が短くまとめた言葉に共鳴しています。『悪人にこのような本は書けない。この本が真実であって、神から命じられるのでなければ、善良な人も書くことはできないのだ。』」（『魂の安寧』『リアホナ』2009年11月号、89参照）。

- 教会に対する現代の敵対者が、頻繁に教会の評判を落とそうとすることを覚えておくことは、なぜ重要ですか。
- ホランド長老の曾祖父の言葉は、モルモン書の真実性をどのように立証していますか。

一例として、教会の現代の敵対者が、モルモン書の評判を落とすための一つの方法は、モルモン書の人々とアメリカ原住民のつながりを、DNA鑑定による証拠を使って覆そうとすることだということを説明してもよいでしょう。生徒たちが、この問題について疑問を持っていたら、福音のテーマの次の記事を読むように勧めます。「モルモン書とDNAの研究」（この記事は <https://www.lds.org/topics?lang=jpn> で見つけることができる。）

### あなたが知っていることが真実であるということに、しっかりとしがみついてください

生徒たちに、友達や誰かが、モルモン書の真実性に反すると思われることを聞いたと言った場合を想像してもらいます。

- あなたなら友達に何と助言しますか。
- モルモン書が真実であるというあなたの証は、モルモン書の批判に直面したときにどのような助けとなりますか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老が述べた次の言葉を読んでもらいます。



「恐れや疑いがあるとき、困難なときには、たとえ小さくとも既に得ている土台にしがみついてください。……問題が発生したときに、なかなか解決しないときに、既に知っていることに固くしがみついて、新たな知識を得るまで、強くあってください。」（「『主よ、信じます』」『リアホナ』2013年5月号，93-94）

- モルモン書の真正さについて疑問を持ったときに、ホランド長老の言葉をどのように役立てることが出来ますか。（生徒たちはさまざまな答えを述べるでしょうが、次の原則を強調してもよいでしょう。福音について疑問や疑いに直面したときには、既に真実だと知っていることに固くしがみついて、さらなる研究を通して答えを見つけられることや、神が将来答えを明らかにしてくださることを信じるべきである。）
- モルモン書やモルモン書の内容について既に知っている真実は何ですか。どのようにしてその知識を得ましたか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長の次の言葉を表示して、生徒の一人に読み上げてもらうことでこのレッスンを締めくくります。



「末日聖徒は全て生涯この書物を学び続けるべきです。さもなければ、自分自身を危険にさらし、人生に信仰と知識の一致をもたらすものをなおざりにしていることになるのです。モルモン書を読んでキリストの岩を基にして立ち、鉄の棒にしっかりつかまっている改宗者と、そうでない改宗者との間には大きな隔たりがあります。（「モルモン経は神のみ言葉である」『聖徒の道』1989年5月号，7）

- モルモン書を頻繁に研究することは、あなたの信仰を覆そうとする人々から、どのようにあなたを守ってきましたか。

モルモン書の真実性を証します。モルモン書が自分の生活にどのような影響を与えてきたかという点について考えてもらいます。モルモン書の研究を優先するために何が出来るかについて考えてもらいます。モルモン書の証を強めたいと願う人は、モルモン書を読みその真実性について祈ることで強めることができるというモロナイの約束を、モロナイ10：3-5の中に見いだしてください。

## 生徒用資料

- 教義と聖約17：6；19：26；20：5-12
- ジェフリー・R・ホランド「魂の安寧」『リアホナ』2009年11月号，88-90

## 第5課

# 神権の回復

### はじめに

1829年5月15日、バプテスマのヨハネがジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに現れて、アロン神権を回復しました。それから間もなくして、古代の使徒ペテロと、ヤコブとヨハネがジョセフとオリバーに現れて、メルキゼデク神権を回復しました。メル

キゼデク神権は教会の全ての職務の権能を持ち、全ての霊的な事柄をつかさどります。この課は、生徒たちが、メルキゼデク神権の指示の下に教会がどのように機能しているかを理解する助けとなります。

### 背景となる読み物

- トーマス・S・モンソン「神権—神聖な賜物」『リアホナ』2007年5月号、57–60
- ダリン・H・オクス「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014年5月号、49–52
- ラリー・C・ポーター，“The Restoration of the Aaronic and Melchizedek Priesthoods,” **Ensign**, 1996年12月号、30–47

### 教えるための提案

**ジョセフ・スミス—歴史1：68–71；教義と聖約13：1章**

**バプテスマのヨハネはアロン神権を回復した**

バプテスマの写真（「バプテスマを受けている青年」〔『福音の視覚資料集』103；LDS.orgも参照〕）および聖餐が執り行われている写真（「聖餐の祝福」〔『福音の視覚資料集』107；LDS.orgも参照〕）を表示します。これらの神聖な儀式を受ける機会を持たなかったら、自分の生活はどのように違っているか、生徒たちに述べてもらいます。アロン神権の回復のおかげで、これらの儀式が幾つかの祝福を与えてくれることを、生徒たちに心に留めてもらいます。

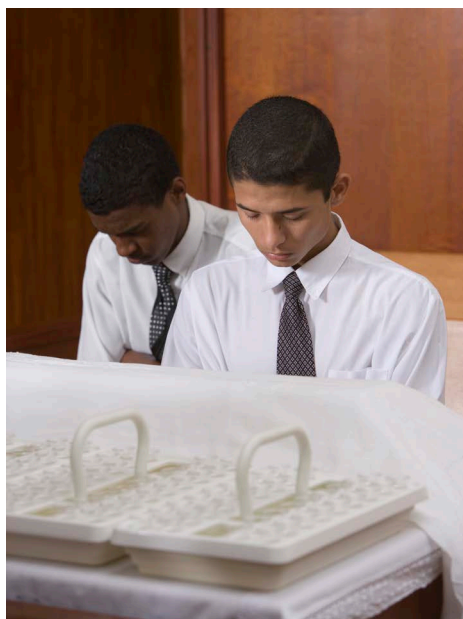
一人の生徒に、ジョセフ・スミス—歴史1：68を読んでもらいます。クラス全員と一緒に黙読してもらい、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは何をしていたときにバプテスマについて主に尋ねたのかを確認してもらいます。見つけたことを発表してもらいます。





一人の生徒に、ジョセフ・スミス—歴史1：69を読んでもらいます。使者（バプテスマのヨハネ）の言葉も、教義と聖約第13章に記録されていることを述べます。生徒に次の質問をします。

- ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリにとって、天の御使いから神権を授かることが必要だったのはなぜですか。（そのとき、地上で神権の鍵を持っている者は誰もいなかった〔信仰箇条1：5参照〕。）



ジョセフ・スミス—歴史1：70–71を読むように生徒に言います。これらの聖句は、預言者ジョセフ・スミスがこの神権時代で初めて神権を行使した人であることを明らかにしていると説明します。バプテスマのヨハネがなぜジョセフ・スミスとオリバー・カウドリにバプテスマを施さなかったのか、また二人が互いに神権を授け合うように命じられたのはなぜなのだろうかと思う人もいるでしょう。新しい神権時代に地上に神権の権能を回復するためには、正しい権能を持つ天の使者が必要でしたが、一旦権能が回復されると、バプテスマや聖任のような全ての地上での儀式は、人間によって執り行われることとなります。さらに、ジョセフとオリバーが互いに神権を授け合うというバプテスマのヨハネの教えは、「儀式とバプテスマを正しい関係〔または正しい順位〕の中に位置づけました。」（ジョセフ・フィールディング・スミス、**Doctrines of Salvation**, ブルース・R・マッコンキー編, 全3巻〔1954–1956年〕, 第3巻：91）

ホワイトボードに次の質問を書きます。

アロン神権は、わたしたちがイエス・キリストの贖罪の祝福にあずかるように、どのように助けますか。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老が述べた次の言葉をあなたが読み上げている間に、生徒たちにこの質問について考えてもらいます。





「アロン神権が『天使の働きの鍵』と『悔い改めとバプテスマと罪の赦しの鍵』を持つとはどういう意味でしょうか。その意味はバプテスマと聖餐の儀式の中に示されています。バプテスマは罪の赦しのための儀式です。そして、聖餐はバプテスマの聖約と祝福の更新です。どちらの儀式も、最初に求められるのが、悔い改めです。……

〔わたしたちのうちで〕バプテスマを受けた後、まったく罪のない生活をしてきたという人は誰もいません。誰であっても、バプテスマの後、さらに自分を清める備えをしなければ、霊的な事柄に関して死んでしまうのです。

……

わたしたちは罪を悔い改め、打ち砕かれた心と悔いる霊をもって主のみもとに来るように、また聖約に従って聖餐にあずかるよう命じられています。わたしたちがそのようにしてバプテスマの聖約を更新するなら、主はバプテスマの清めの効果を更新してくださいます。……

この事柄におけるアロン神権の重要性は、いくら強調しても足りないほどです。罪の赦しに関係するこれらの重要な段階の全ては、バプテスマによる救いの儀式と聖餐によるその更新の儀式を通してなされます。」（「アロン神権と聖餐」『リアホナ』1999年1月号、41－42参照）

生徒たちに、ホワイトボードに書かれている質問に対する答えを発表してもらいます。罪の赦しのためのバプテスマを含み、アロン神権がイエス・キリストの贖罪のたくさんの祝福にあずからせてくれることを証します。

**ジョセフ・スミス—歴史1：72；教義と聖約84：19－22；107：8，18－19**

**ペテロ、ヤコブ、ヨハネはメルキゼデク神権を回復した**

生徒の一人にジョセフ・スミス—歴史1：72を読み上げてもらい、クラス全員と一緒に黙読してもらいます。生徒たちがこの聖文の内容を広く理解するのに助けるために、バプテスマのヨハネが訪れて間もなく、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリがペテロ、ヤコブ、ヨハネからメルキゼデク神権を授けられたことを説明します。これは、1829年5月にサスケハナ川の近くで起こりました（ラリー・C・ポーター，“The Aaronic and Melchizedek Priesthoods,” *Ensign*, 1996年12月号，30－47参照）。教会が組織されてから、預言者は、神権の教義と目的についての他の啓示を受けました。神権は、教義と聖約の全体にわたる共通のテーマです。

これらの聖句がメルキゼデク神権の権能をどのように述べているかを調べながら、生徒たちに、教義と聖約84：19と107：8，18－19を静かに研究してもらいます。これらの聖文に、他の参照箇所を示すメモを書き込むよう提案してもよいでしょう。（注—状況を思い描くことは、聖文の内容をより鮮明に、かつ現実的にするために役立ちます。）十分な時間を取った後、メルキゼデク神権について学んだことを分かち合ってもらいます。生徒たちが答えていく中で、次の聖文をホワイトボードに書き出します。

福音を教える

王国の奥義の鍵を持つ

神の知識の鍵を持つ

教会の霊的祝福の鍵を持つ

啓示を受ける鍵を持つ

天の衆群と親しく交わり、御父と御子とともに住むための鍵を持つ

次の真理を強調して、ホワイトボードに答えをまとめてもよいでしょう。メルキゼデク神権は、教会の儀式と霊的祝福の鍵を持っている。生徒たちがホワイトボードに書かれた聖文をもっとよく理解できるように、以下の質問のいくつか、または全てについて話し合います。

- メルキゼデク神権が「福音を教える」幾つかの方法には、どんなものがありますか。（教義と聖約84：19）（答えは、特別な儀式を教えることや教会を管理し指導することを含んでもよいでしょう。）
- メルキゼデク神権は「王国の奥義の鍵.....を持つ」とは、何を意味していると思いますか。（教義と聖約84：19）「神の奥義とは、啓示によってのみ知ることのできる霊的な真理である」ことを説明してもよいでしょう  
〔『聖句ガイド』「神の奥義」<https://www.lds.org/scriptures/study-helps?lang=jpn>〕。他の奥義の中でも、この聖句は、ジョセフ・スミスに程なく明らかにされた神殿の儀式と、それらはメルキゼデク神権の権能により教えられなければならないということを述べています。神殿において、ふさわしい教会員は、そこで執り行われる儀式に参加しそれに関する聖約を守ることで、「神の奥義」の幾つかを学ぶことができます。
- メルキゼデク神権は、わたしたちが「神の知識」を得るように、どのようにして助けますか。（教義と聖約84：19）（わたしたちは、メルキゼデク神権により執り行われる儀式に参加するときに、神の知識を得ます。）

生徒たちが「神の知識」という言葉を理解する助けとなるように、大管長会のジェームズ・E・ファウスト管長（1929–2007年）の次の言葉を読んでもよいでしょう。



号, 52参照)

「神の知識の鍵とは何でしょうか、またそれは誰でも得られるのでしょうか。神権なしには、完全な神の知識はあり得ません。預言者ジョセフ・スミスは、『メルキゼデク神権という経路を通じて、全ての知識、教義、救いの計画、そしてあらゆる重要な事項が天から明らかにされます』と述べました〔『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』108〕。（「神の知識の鍵」『リアホナ』2004年11月

一人の生徒に、教義と聖約84：20–22を読んでもらいます。メルキゼデク神権を通して全ての教会員が享受できる霊的祝福を調べながら、クラス全員と一緒に黙読してもらいます。その後、次の質問をします。

- メルキゼデク神権によってのみ執り行うことのできる儀式は何ですか。  
(確認, メルキゼデク神権の授与, 神殿の儀式, 子供の命名と祝福の儀式, 病人の癒やしの祝福, 祝福師の祝福, 召しのための任命。)
- 神権の儀式は, どのように人が「神性の力」(神のようになる力)を経験するのを助けますか。
- メルキゼデク神権への聖任は, 神の御顔を拝するために, わたしたちをどのように備えることができますか。
- 神権の儀式は, あなたがもっと神のようになるために, どのように助けられましたか。
- あなたの神権への感謝と証を強めたその他の経験は, 何でしたか。

神権の祝福についてのあなた自身の証を分かち合うことを考えてください。生徒たちに, 神権指導者からの指示に自分を一致させるために何ができるかを考えてもらいます。

### 生徒用資料

- ジョセフ・スミス—歴史1:68–72; 教義と聖約13:1; 84:18–22; 107:1–19
- トーマス・S・モンソン「神権—神聖な賜物」『リアホナ』2007年5月号, 57–60

## 第6課

# 教会の組織

### はじめに

預言者ジョセフ・スミスの啓示の中で、主は御自身の教会が1830年4月6日に設立されるとお命じになりました（教義と聖約20章前書き；教義と聖約20：1参照）。この啓示は、救い主の教導についてすばらしい理解力を持つ教会員にも与えられました。教義

と聖約1：30に記録されている啓示に、主は、回復された教会を「全地の面に〔ある〕唯一まことの生ける教会」として確認されました。それは、末日にあつて、わたしたちの人生に教会が果たす重要な役割を強調していました。

### 背景となる読み物

- ヘンリー・B・アイリング「まことの生ける教会」『リアホナ』2008年5月号，20–24
- 「イエス・キリストの教会の設立」『時満ちる時代の教会歴史』第6章，第2版（教会教育システム手引き）67–69
- ボイド・K・パッカー「唯一真の教会」『聖徒の道』1985年8月号，79–82
- ジェフリー・G・キャノン「わたしの教会を建てなさい—教義と聖約18，20，21，22」啓示の背景，2013年1月3日，[history.lds.org](http://history.lds.org)

### 教えるための提案

#### 教義と聖約20：1–3

#### イエス・キリストの教会の回復

新約聖書の時代にイエス・キリストによって設立された教会について、生徒たちが知っていることを尋ねることで、このレッスンを始めます。その後、次の質問をします。

- 使徒たちの死後、イエス・キリストの教会に何が起こったと、わたしたちは信じていますか。
- それは、イエス・キリストの教会を回復する必要性をどう説明していますか。

生徒の一人に次の言葉を読み上げてもらいながら、クラス全員に、新約時代にイエス・キリストにより設立された教会の重要な特徴を、末日聖徒イエス・キリスト教会を組織することでどのように回復したかを聴き取ってもらいます。

「モルモン書の発売が公表されてからわずか11日後の1830年4月6日、約60名の人々がニューヨーク州フェイエットにあるピーター・ホイットマー・シニアの丸太造りの家に集まった。その場でジョセフ・スミスは教会を正式に組織した。教会は、後に啓示により末日聖徒イエス・キリスト教会と名付けられた（教義と聖約115：4参照）。御霊が大いに注がれた、喜びに満ちた出来事であった。聖餐が執行され、信者はバプテスマを受け、聖霊の賜物を授かり、男性は神権に聖任された。集会の間に受けた啓示の中で、主はジョセフ・スミスに教会の指導者とし

て、すなわち『父なる神の御心とあなたがたの主イエス・キリストの恵みによって、……聖見者、翻訳者、預言者、イエス・キリストの使徒、教会の長老』として指名された（教義と聖約21：1）。イエス・キリストの教会が再び地上に設立されたのであった。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』8-9）

生徒たちに、回復されたイエス・キリストの教会について、新約時代と同じ特徴を幾つか述べてもいます。

教義と聖約を読むときに、それぞれの章の前書きを読むことが役に立つことを説明します。これは、啓示の歴史的な流れを認識する助けになります。一人の生徒に、教義と聖約20章の前書きを読んでもらいます。（2013年版の教義と聖約〔英語版〕は、1981年版には含まれていなかった歴史的な情報が前書きに加えられてことを述べてもよいでしょう。）教義と聖約20：1-3を声に出して一人の生徒に読んでもらいます。他の生徒には、福音の回復についての理解を深めながら、一緒に黙読してもらいます。質問します。

- 福音の回復に関するどのような真実が、これらの聖文の中で教えられていますか。（生徒が見つかるであろう教義の一つは、次のようなものでしょう。ジョセフ・スミスが神に召され、イエス・キリストの教会を組織するよう命じられた。）

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910-2008年）の次の言葉を読み上げます。



「ジョセフ・スミスと彼の仲間たちは、ニューヨーク州フェイエットのピーター・ホイットマーの丸太造りの家に集まり、イエス・キリストの教会を組織しました。……

会員6人から始まり、今や非常に大きな信奉者の集まりとなりました。……その静かな村から、今や地上の160もの国々に広がっています。……それは目覚ましい発展です。この国に住む人よりも国外に住む教会員のほうが多いのです。それもまた驚くべきことです。アメリカの地を離れて、このような速さで、ここまで広まった教会は他にありません。……これは前例のない現象なのです。」（「教会は前進する」『リアホナ』2002年7月号、4参照）

- 末日における教会の発展の速さについて、あなたはどんなことに驚いていますか。
- 現在も主の教会が発展し続けていくために、わたしたち一人一人はどのように力を尽くせばよいでしょうか。

### 教義と聖約20：17-37, 68-69

#### イエス・キリストの教会の教義と、バプテスマを受けた会員の義務

教義と聖約第20章は、初期の教会員に教会の規定と聖約として知られていました。この章は、イエス・キリスト教会の教義と教会員の義務に関する主の教えを多く含んでいます。この啓示は、初期の教会の大会で読み上げられました。

生徒たちに、自分が1830年の教会の新会員で、イエス・キリスト教会の会員として信じるべきことを知りたいと願っていると想像してもらいます。回復された主の教会の会員一人一人が知っておくべき重要な教義を調べながら、教義と聖約20：17-28をクラスの半分の生徒に黙読してもらい、他の半分の生徒に29-36節を黙読してもらいます。見つけた箇所に印をつけるように勧めてもよいでしょう。

十分な時間の後で、生徒たちが見つけた真理を分かち合ってもらい、その真理が自分にとってなぜ重要なのかを説明してもらいます。ホワイトボードに次の真理を書き出すことを考えます。啓示を通して、主は御自身の福音を基盤とする教義と原則を明らかにされる。

クラスの半分の生徒に教義と聖約20：37を読み、バプテスマを受けることを望む人たちに求められる条件を探すように言います。他の半分の生徒には、バプテスマを受けた後のわたしたちに、主が望まれることを調べながら、教義と聖約20：68-69を読んでももらいます。これらの聖句に見いだされる教えは、教会員が従う明白なパターンを成していることを述べます。

次の質問についてクラス全員で話し合います。

- バプテスマを受けられるようになるには、その人は何をしなければなりませんか。（生徒たちは次のことを認識することが望まれます。バプテスマを受ける前に、人は謙遜になり、悔い改め、進んでイエス・キリストの御名を受け、最後まで主に仕える決心をしなければならない。）
- バプテスマを受けた後、主はわたしたちに何を望まれていますか。（生徒の答えはさまざまかもしれませんが、次の原則が含まれるでしょう。バプテスマを受けた後で、わたしたちは信仰深い歩みと会話により主にふさわしさを示す。）
- 「信仰深い歩みと会話によって……示す」とはどのような意味だと思いますか。（教義と聖約20：69）
- 「主の前に聖く歩む」教会員にはなぜ祝福が与えられるのでしょうか。（教義と聖約20：69）

時間が許せば、教義と聖約第20章に記録されている教義と教会が実践していることは、モルモン書にも述べられており、全ての神権時代においてイエス・キリストの教会に、基本的に同様に存在することを理解できるように助けていることを述べてもよいでしょう。例えば、教義と聖約20：17-36に述べられている教義は、モルモン書にも述べられています。同様に、教義と聖約20：73-80に記録されている儀式と実践は、モルモン書にも述べられています。

## 教義と聖約1：30

### 「唯一まことの生ける教会」

わたしたちの時代の多くの人々は、神の目から見れば、全ての教会は真実で等しく正しいと考えていることを説明します。しかし、末日聖徒イエス・キリスト教会が組織されてから約1年半、主は教会についての重要な説明をなさいました。生徒に、教義と聖約1：30を黙読してもらいます。その後、次の質問をします。



- 主は回復された教会について何と述べておられますか。（生徒たちは次の真理を言い表すことが望まれます。末日聖徒イエス・キリスト教会は、地上にある唯一まことの生ける教会である。）
- 末日聖徒イエス・キリスト教会が「全地の面に〔ある〕唯一まことの生ける教会」とあるということは、あなたにとってどのような意味がありますか。（生徒たちが答える前に、この教義は、わたしたちが他の人よりも優れているという意味ではないということを、生徒たちに心に留めてもらうとよいでしょう。）

大管長会ヘンリー・B・アイリング管長と十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の次の言葉を表示して、生徒の一人に読み上げてもらいます。他の生徒たちには、末日聖徒イエス・キリスト教会が「唯一まことの生ける教会」と考えられているのはなぜなのかを調べながら、一緒に黙読してもらいます。



「この教会はまことの教会、唯一まことの教会です。この教会には神権の鍵があるからです。この教会においてのみ、主は使徒ペテロの時代になされたように、地上でも天でも結び固める力を授けておられます。それらの鍵はジョセフ・スミスに回復され、ジョセフはさらに、それらを十二使徒定員会の会員に授ける権能も与えられました。」（ヘンリー・B・アイリング「まことの生ける教会」『リアホナ』2008年5月号, 20）



「主は末日聖徒イエス・キリスト教会が、『全地の面に唯一まことの生ける教会』であると宣言されました（教義と聖約1：30）。この回復された教会は救い主の教会であるので真実の教会です。主は『道であり、真理であり、命』です（ヨハネ14：6）。そして、この教会が生ける教会であるのは、聖霊の働きと賜物のおかげなのです。」（デビッド・A・ベドナー「聖霊を受けなさい」『リアホナ』2010年11月号, 97）

- アイリング管長とベドナー長老の言葉によって確認される真理は、末日聖徒イエス・キリスト教会と、地上のその他全ての教会との間の違いをどのようなものとしているのでしょうか。（それは主の教会であり、聖霊の働きと賜物があり、そこには神権の鍵があります。生徒たちに、この真理を教義と聖約1：30の横の余白に書き込むように言ってもよいでしょう。）

十二使徒定員会ボイド・K・パッカー会長は、教義と聖約1：30から引用して、教会について神が述べられたことがそれほど重要なのはなぜかを教えていることを説明してください。一人の生徒に、パッカー会長の次の言葉を読んでもらいます。



「この教義を譲歩してしまうならば、回復の正当性を主張することはできません。……

わたしたちが、唯一まことの教会の教義を創り出したのではありません。それは主からもたらされたのです。わたしたちについて誰が何を考えようと、わたしたちがどんなに生意気に見えようと、わたしたちに対するどんな批判を受けようと、耳を傾ける全ての人々に教えなければなりません。……

他の教会には真理がないと主張しているのではありません。主は、他の教会には『神を敬うさま』があると述べられました。この教会に改宗する人は、現に知っている真理のうえに、さらに真理を付け加えられるのです。」（「唯一真の教会」『聖徒の道』1986年1月号，81参照）

- この教義は回復の必要性をどのように明らかにしていますか。

生徒たちに、末日聖徒イエス・キリスト教会が真実の教会であることを、自分で知るにはどうしたらよいのかを説明してもらいます。

## 生徒用資料

- 教義と聖約1：30；20：1-3，17-37，68-69
- ヘンリー・B・アイリング「まことの生ける教会」『アホナ』2008年5月号，20-24

## 第7課

# 永遠の福音を宣べ伝える

### はじめに

教義と聖約は、ジョセフ・スミスを通じて主から特定の教会員へ宛てた啓示を含み、会員たちに悔い改めて主の選民を集めるよう命じておられます。宣教師たちが預言者ジョセフ・スミスに召され、主の御

手に使われるものとなるにつれて、教会は急速に発展しました。教会員は今、福音を分かち合うことで助力するという責任に気づいてそれを果たすときに、伝道活動の祝福を受けているのです。

### 背景となる読み物

- ニール・L・アンダーセン「これは奇跡です」『リアホナ』2013年5月号、77-80
- L・トム・ペリー「人々をわたしのもとに連れて来なさい」『リアホナ』2009年5月号、109-112

### 教えるための提案

#### 教義と聖約29：4-7；33：2-7

#### 主は御自身の子供たちを集めるために僕を召される

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910-2008年）の次の言葉を表示して、生徒に声に出して読んでもらいます。



「伝道活動は神の王国にとって活力源です。それは教会を発展させる最も重要な活動です。この奉仕のおかげで、教会は現在の大きさに至ったのです。」（「伝道活動」、『第1回世界指導者訓練集会』2003年1月11日、17）

- あなたの意見として、伝道活動は、どうして「教会の活力源」と考えられるのでしょうか。

回復の初期において、誰もが、主の御業に貢献するにはどうしたらよいのか分かるように、自分に代わって啓示を求めてほしいと預言者に頼んだことを説明します。これらの啓示は、一人に関して授けられることも、また複数の人たちに授けられることもありました。教義と聖約第33章は、次の二人の人たちに代わって授けられた例であることを説明します—エズラ・セアとノースロップ・スイート。

数人の生徒に、交代で教義と聖約33：2-7を声に出して読んでもらいます。主が伝道活動におけるわたしたちの役割に使う言葉、フレーズ、または象徴を調

べながら、クラス全員と一緒に黙読してもらい、末日において福音を告げ知らせる重要性を強調します。

- 主はどのような象徴を用いましたか。（生徒の答えを聞きながら、彼らの回答をホワイトボードに書くとよいでしょう。）
- これらの象徴は、伝道活動におけるわたしたちの役割をどのように教え、福音を告げ知らせることの重要性を強調していますか。

生徒たちに、6節を注意深く研究してもらい、わたしたちが隣人に福音を告げ知らせるときに何を成し遂げることができるかを確認してもらいます。その後で、生徒たちに分かったことを自分の言葉で述べてもらいます。（生徒たちはそれぞれの言葉を使うかもしれませんが、次の原則を認識していることが望まれます。イエス・キリストの福音を隣人に告げ知らせるときに、わたしたちは主の選民を集める助けとなる。この啓示に従って、エズラ・セアは、ジョセフ・スミスや他の人々が説く福音を聞くように「倉を〔人々で〕満たした」ということを説明してもよいでしょう（**Documents**, 第1巻：1828年7月－1831年6月, **The Joseph Smith Papers**, Documents series, 第1巻〔2013年〕, 206参照）。

十二使徒定員会ブルース・R・マッコンキー長老（1915－1985年）のイスラエルの集合についての次の定義について、生徒たちと分かち合います。



「イスラエルの集合とは、主が御自身の選ばれた民にかつて与えられたことを信じ、受け入れ、生活に調和させることにあります。……福音を信じ、教会に加わり、王国に入ることを含みます。」（**A New Witness for the Articles of Faith**〔1985年〕, 515）

生徒の一人に、教会が組織された後で最初に召された数人の宣教師についての次の記録を読み上げてもらいます。これらの初期の宣教師たちが、どのようにして何人かの主の選民を集めることに成功したかを、クラス全員に聴き取ってもらいます。

「〔1830年の秋に〕、主はジョセフ・スミスに、オリバー・カウドリ、ピーター・ホイットマー・ジュニア、パーリー・P・ブラットおよびザイバ・ピーターソンが『レーマン人のところへ行き、福音を宣べ伝え』なければならないことを示された（教義と聖約28：8；30：5－6；32：1－3）。これらの宣教師たちが旅した行程は1,500マイルに達し、……さまざまなインディアンの部族の中で少しの間教えを説いた。しかし、宣教師たちが最も成功を収めたのは、彼らがオハイオ州カートランド地域に立ち寄ったときだった。ここで彼らは、シドニー・リグドン率いる改革バプテスト会の人々を中心とする約130名の改宗者にバプテスマを施し、翌年には何百人もの教会員が集合することになる地を開いた。また宣教師たちは、後にシオンの町が築かれることになるミズーリ州ジャクソン郡においても、入植者たちの間でいくらかの改宗者を得た。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』150参照；リチャード・ディルワース・ラスト「レーマン人への伝道—教義と聖約28, 30, 32」啓示の背景, 2013年2月22日, [history.lds.org](http://history.lds.org)も参照）

北オハイオでのこれらの改宗者は、その当時の教会員の2倍以上だったことを説明します。

生徒たちに、教義と聖約29：4-7を黙読して、「主の選民」の定義を見つけてもらいます。

- 救い主は、主の選民とはどのような人だとおっしゃっていますか。

北アメリカを出て奉仕した最初の宣教師の働きは、主が選民を集めるときに御自身の僕をどのように使われるかという、劇的な模範を含んでいることを生徒たちに説明します。一人の生徒に、以下の要約を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには一緒に黙読してもらいながら、ヒーバー・C・キンボール長老への預言者ジョセフ・スミスの助言を聴いてもらいます。

「十二使徒定員会の……ヒーバー・C・キンボールは、次のように回想している。『1837年6月1日頃、カートランド神殿で……座っていると、預言者ジョセフがやって来て、こうささやきました。「ヒーバー兄弟、主の御霊がわたしにささやきました。『わたしの僕ヒーバーをイギリスに遣わして、わたしの福音を宣言させ、その国に対して救いの門を開かせなさい。』』』そのような業について考えると、キンボール長老は圧倒される思いだった。『自分は神の僕の中で最も弱い者の一人であると感じていました。わたしは現地へ着いたら何を言えばよいのかジョセフに尋ねました。するとジョセフは、主のもとに行くように言いました。そうすれば主はジョセフ〔を導いた〕のと同じ御霊によってわたしを導き、わたしを通して語られるだろうということでした。』

預言者はまた、カートランドにいたオーソン・ハイド、ウィラード・リチャーズ、ジョセフ・フィールディング、カナダのトロントにいたアイザック・ラッセル、ジョン・スナイダー、ジョン・グッドソンにも召しを与えた。これらの兄弟たちはキンボール長老とともにイギリスで伝道することになった。彼らはニューヨーク市で合流すると、1837年7月1日、ギャリック号という船でイギリスへ向かった。この北米以外における最初の伝道では、宣教師がイギリスで働いた最初の年に、約2,000人の改宗者が教会に加わった。キンボール長老は、喜びながら預言者に次のように書いている。『神に栄光があるように、ジョセフ。もろもろの国民の中であって、主はわたしたちとともにおられます。』

十二使徒によるイギリスでの2度目の伝道が、ノーブーの預言者から指示された。ブリガム・ヤングの指揮の下で、この伝道にはほとんどの十二使徒が参加した。使徒たちは1839年の秋に出発し、1840年にイギリスに到着した。そして伝道を開始し、1841年までに6,000人以上の改宗者を教会にもたらした。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』327, 329参照）

- ヒーバー・C・キンボールは、預言者ジョセフ・スミスからどんな助言を受けましたか。
- 福音を分かち合おうと努めていて、主の助けを経験したときのことを話します。

教義と聖約4：1－7；18：10－16；31：1－12；34：5－6；39：20－23；88：81

### 警告を受けた人は皆、その隣人に警告しなければならない

教義と聖約は、伝道活動に加わる責任や祝福を教会員に繰り返し思い起こさせるということを説明します。隣人と福音を分かち合うというわたしたちの責任は、教義と聖約に記録された啓示の中で繰り返されているパターンとテーマです。パターンとテーマを学び認識することは、読む人にキリストの言葉をもっと味わわせてくれます。」（デビッド・A・ベドナー「生ける水の源」〔ブリガム・ヤング大学ファイヤサイド、2007年2月4日参照〕、<https://www.lds.org/broadcasts/archive/ces-devotionals/2007/01?lang=jpn>）

教義と聖約88：81を黙読してもらい、その後で現在の教会員にどのように当てはまるかを自分の言葉でまとめてもらいます。（生徒たちが述べるかもしれない答えの一つは、イエス・キリストの福音を受け入れる全ての人々には、隣人とそれを分かち合う責任があるということです。）

次の表をホワイトボードに表示するか、書き写します。クラスを3つのグループに分け、聖句を一つずつ割り当てます。生徒たちに割り当てた聖句を読んでもらい、福音を分かち合うことと約束された祝福を調べてもらいます。

	責任	祝福
教義と聖約4：1－7		
教義と聖約18：10－16		
教義と聖約31：1－12		

時間を十分に取ってから、生徒たちが見つけたことをクラス全員と分かち合ってもらいます。

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。福音を分かち合うという個人個人の責任についての、ベドナー長老のお話をクラス全員に聴いてもらいます。



「イエス・キリストの献身的な僕は、これまで、またこれから、常に雄々しい宣教師であり続けます。宣教師はキリストの弟子であり、キリストが贖い主であられることを証し、キリストの福音の真理を宣べ伝えます。

イエス・キリストの教会は、これまで、またこれからも、伝道し続ける教会です。救い主の教会の会員一人一人は、主から使徒へ与えられた神聖な務めが果たされるように助けるといふ厳粛な義務を引き受けています。その務めについて、新約聖書にこう記されています。



『それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、

あなたがたに命じておいたいっさいのことを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。』（マタイ28：19-20）

末日聖徒は、主イエス・キリストについて、また、主の回復された福音についてあらゆる国のあらゆる人々に教えるというこの責任を、真剣に捉えています。

……

確かに、わたしたちはこのメッセージをあらゆる国民、部族、国語の民、民族に携えていくという厳粛な責任を負っていると感じています。」（「きてごらんなさい」『リアホナ』2014年11月号、107参照）

- 救い主の教会の会員は、なぜ伝道活動を厳粛な責任として捉えるべきなのでしょうか。

十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。クラス全員と一緒に黙読してもらい、福音を分かち合うことにもっと熱心になるよう考えるべきなのはなぜかを、よく考えてもらいます。



「福音の中心にあるのは、わたしたちの主、救い主の贖罪です。贖罪は、罪を洗い清め、癒やし、永遠の命をもたらす力を授けます。贖罪がもたらす、想像をはるかに超える祝福は全て、福音の原則に従って生活し、福音の儀式を受ける人、すなわち、イエス・キリストを信じる信仰を持ち、悔い改め、バプテスマと聖霊を受け、最後まで耐え忍ぶ人々にのみ与えられます。わたしたちが世界の人々に伝えるすばらしい伝道のメッセージとは、全ての人類が救い出され、良い羊飼い、すなわちイエス・キリストの羊の群れに入るように招かれているということです。

わたしたちの伝道のメッセージは、回復について知ることによって強固なものになります。わたしたちは、神が昔と同じように今日も御自身の預言者に語られることを知っています。また、神の福音が、回復された神権の力と権能によって教えられていることも知っています。今日地球上に住む全ての人に対し、これほど偉大で、永遠に重要な意味を持つメッセージは他にありません。」（「人々をわたしのもとに連れて来なさい」『リアホナ』2009年5月号、110）

- わたしたち一人一人が福音を分かち合うことに熱心になるべきなのはなぜだと思いますか。（答えは次のことを含むことが望まれます。わたしたちが隣人と福音を分かち合うとき、イエス・キリストの贖罪の祝福にあずかる方法をその人たちに教えている。）

生徒たちに、教義と聖約34：5-6；39：20-23を読んで、主がわたしたちに隣人と福音のメッセージを分かち合うように命じられたもう一つの重要な理由を探してもらいます。（生徒たちはそれぞれの言葉を使うかもしれませんが、次の真理を認識していることが望まれます。隣人と福音のメッセージを分かち合うときに、わたしたちは彼らがイエス・キリストの再臨に備えられるように助けている。）

- 福音の永遠の重要性を理解することが、わたしたちとは違う信仰を持つ人たちと福音を分かち合おうという気持ちにさせるのはどうしてでしょうか。
- あなたが、隣人と福音のメッセージを分かち合った経験を述べてください。

生徒たちに深く考える時間を数分与えて、福音を分かち合うために何ができるかを書き出してもらいます。例えば、知っている人の中で現在教会の会員ではない誰かの名前を書いて、その人と福音を分かち合うことができます。数人の生徒たちに、行おうと考えていることを分かち合ってもらいます。隣人と福音を分かち合う機会のために、自分が受けた思いに基づいて行動すること、そして毎日祈ることを勧めます。

## 生徒用資料

- 教義と聖約4：1-7；18：10-16；29：4-7；31：1-12；33：2-7；34：5-6；39：20-23；88：81
- ニール・L・アンダーセン「これは奇跡です」『リアホナ』2013年5月号，77-80

## 第8課

# 末日におけるイスラエルの集合

### はじめに

教会を設立してから1年以内に、主は聖徒たちがオハイオ地域に集まるよう命じられました（教義と聖約37：3）。そのときから、末日聖徒は、生ける預言者に従い、生きるための安全な場所を築くために、別々の場所に集合していました。このレッスン

では、生徒たちは、主が御自身の民を強めるために彼らを集め、神殿の祝福を含むさらに大きな祝福を受ける備えをさせたことを学びます（教義と聖約84：4参照）。

### 背景となる読み物

- ラッセル・M・ネルソン「散らされたイスラエルの集合」『リアホナ』2006年11月号、79-82

### 教えるための提案

**教義と聖約38：31-33；39：15；95：8；110：9**

#### オハイオに集まるように告げられる

教義と聖約の後ろにある地図「アメリカ合衆国のニューヨーク、ペンシルベニア、オハイオ州地域」（教会歴史の地図3），またはこの地域の別の地図を掲示します。



生徒たちに、回復に関する次の重要な出来事の大まかな場所を認識してもらいます。最初の示現（ニューヨーク州マンチェスター），神権の回復（ペンシルベニア州ハーモニー），および教会の設立（ニューヨーク州フェイエット）。

その後で、数人の生徒に次の言葉を順番に読み上げてもらいます。

「カートランドで新たに改宗した牧師、シドニー・リグドンとその友人でまだ新会員ではないエドワード・パートリッジは、預言者ジョセフ・スミスに会って教会の教えをさらに詳しく聞こうと思っていた。1830年12月、二人は250マイル以上の道のりをニューヨーク州フェイエットに出向き、ジョセフ・スミスと会った。二人はジョセフに、自分たち並びにカートランドの聖徒たちへの主の御心を知りたいと願った。その答えとして、主は彼らに『オハイオに集まる』ようにとの啓示を授けられた（教義と聖約37：3）。1831年1月2日にホイトマーの農場で開かれた教会の3回目の、そしてニューヨーク州での最後の大会で、主は「オハイオに集まるようにとの」聖徒たちへの指示を繰り返された。……これが今の神権時代になって初めての集合の呼びかけである。……

……約68人のコールズビル支部の会員が1831年の8月中旬、オハイオへと向かった。主の命令に対して同じように従順であったのが、フェイエット支部からの80人の聖徒と、マンチェスター支部からの50人の聖徒である。彼らは1831年の5月に家を離れた。……5月中旬までにニューヨーク州の教会の支部の全てがエリー湖を渡り、オハイオ州のフェアポート港に到着、同胞である聖徒たちの出迎えを受けて目的地であるカートランドとトンプソンの町に向かった。これが末日におけるイスラエルの集合の始まりである。」（『わたしたちの受け継ぎ—末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』16－18）

一人の生徒に、教義と聖約38：31－33を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには一緒に黙読してもらいオハイオに集まるという命令に従うならば、聖徒たちがどのように祝福されることになっていたのか確認してもらいます。生徒たちは4つの祝福を見つけるはずです。（1）「敵の力から逃れ」る。（2）「義にかなった民として〔神〕のもとに集められる〔。〕」（3）神の律法を与えられる。（4）「高い所から力を授けられる〔。〕」生徒たちに、聖句の中のこれらの4つの祝福に番号をつけるように勧めるとよいでしょう。（注—聖句のリストを見つけることは、生徒が主と預言者が強調している主要点を見つけ出すために役立つ。）

ホワイトボードに、主は、主の民を保護し、霊的に強めるために彼らをお集めになると書く。聖文の中の集合の教義は、しばしば保護することに関連していることを述べてもよいでしょう。「関連性とは、概念、人物、事柄、出来事などの関係やつながりのことです。聖文には関連性のある事柄がたくさんあります。」（デビッド・A・ベドナー「生ける水の源」〔ブリガム・ヤング大学ファイヤサイド、2007年2月4日〕、4、<https://www.lds.org/broadcasts/archive/ces-devotionals/2007/01?lang=jpn>）

主が古代のイスラエルをシナイ山に連れて行かれて、主の律法を授けられたのと同様に、主は、この神権時代に末日の聖徒たちが主の律法を受けることができるように、聖徒たちがオハイオに集合するよう指示されたということを説明します（教義と聖約38：32参照）。オハイオで、主は御自身の律法を教会に明らかにされました（教義と聖約第42章前書き参照）。その後、次の質問をします。

- 同じ信仰と標準を共有している人々との集合は、あなたがサタンの力から自分自身を守るうえで、どのような助けとなりますか。
- 神の律法を与えられることは、わたしたちが霊的に強められるために、どのような助けとなりますか。

- オハイオで聖徒たちが「高い所から力を授けられる」ということは、何を意味していると思いますか。

「高い所から力を授けられる」という約束された祝福は、オハイオでの聖徒たちの集合の5年後にカートランド神殿が完成されたときに、成就し始めたことを説明します。天の使者たちは、完成された神殿を訪れて、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに神聖な儀式を執り行うために必要な鍵と権能を回復しました。神殿の奉献のときに、多くの聖徒たちに御霊が注がれました。そして神殿の中で、少数の聖徒たちが、神殿の洗い清めと油注ぎを受けました。数年後にノーブーで神殿のエンダウメントの儀式が聖徒たちに執り行われたときに、力が授けられるという約束がさらに果たされました。ノーブーで与えられた預言者ジョセフ・スミス（1805–1844年）の次の言葉を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「世のさまざまな時代に、神の民が……集められたのはどのような目的のためだったのでしょうか。……第一の目的は、主のために宮を建て、それによって、主がその民に主の宮の儀式と主の王国の栄光を明らかにし、救いの道を教えることがおできになるようにすることでした。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』416）

- 主がお命じになったとおりに、末日の聖徒たちが集合して神殿を築くときに、神は末日の聖徒たちをどのように祝福したことが分かりましたか。

### 教義と聖約45：62–67

#### 主が新エルサレム、またはシオンについて説明される

ニューヨークの聖徒たちがオハイオに集合してから程なく、多くの誤った新聞記事やうわさが、教会について中傷したり不正確な説明をしたりしました。この頃に、預言者ジョセフ・スミスは、平和で安全な集合場所が定められているという啓示を受けました。

一人の生徒に、教義と聖約45：62–67を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、聴きながら、主が「西の地」に集まるよう聖徒に命じた理由を探してもらいます（教義と聖約45：64）。以下の質問をすることを考えます。

- 主は何が「あなたがたの戸口まで近づいている」とおっしゃったのですか。「あなたがたの戸口まで」という言葉は、あなたにとって何を意味するのでしょうか。
- 西の地へと集合するとき、主が聖徒たちに行ってほしいことは何でしたか。
- 聖徒はなぜ富を集めなければならなかったのでしょうか。（「受け継ぎ」とは、聖徒が住み、主を礼拝する場所を指すことを説明します。）
- 聖徒の受け継ぎの地は何と呼ばれることになっていたのでしょうか。

聖典の中でシオンという言葉は、幾つかの意味を持っていることを説明します。時にはこの言葉はシオンの民を指し、その民は「心の清い者」と説明されています（教義と聖約97：21）。他の箇所では、シオンは全世界に広がる教会



全体とそのステーキを指します（教義と聖約82：14参照）。シオンという言葉は具体的な地理上の場所を指すこともあります。教義と聖約45：66-67の中で、シオンは聖徒たちが築いて集合する具体的な町を示し、また新エルサレムをそう呼ぶこともあります（3ニーファイ20：22；21：23；エテル13：1-8；『聖句ガイド』「シオン」も参照）。次の質問について話し合う。

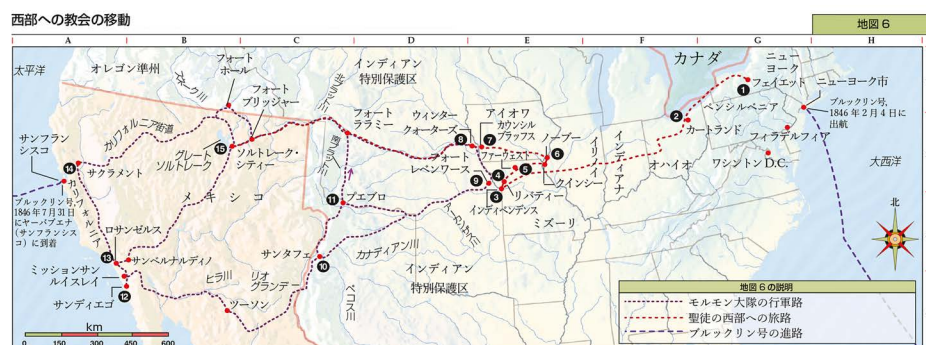
- 主は新エルサレム、またはシオンについてどのように説明されましたか。生徒は異なった言葉を使うかもしれませんが、おそらく次の教義を見つけるでしょう。新エルサレムは平和と安全の地であり、主の栄光がそこにある。）
- 教会員であることは、シオンにある安全と平和を、あなたにどのようにもたらしてきましたか。

1831年6月にオハイオ州カートランドで開かれた教会の第4回大会の終わりに、主はジョセフ・スミスと他の長老たちに、二人一組で福音を宣べ伝えながら、ミズーリへおよそ900マイルの旅をするようにお命じになったことを説明します（教義と聖約52章、節の要約参照）。到着した後、預言者は、ミズーリ州のインディペンデンスを「中心の場所」として、ミズーリ州を「約束の地〔そして〕シオンの町のための場所」として定めているという啓示を受けました（教義と聖約57：1-3）。その後2年ほどの間に、何百人もの末日の聖徒たちが熱心にシオンを建設し、ミズーリ州のジャクソン郡地域に移住しました。残念なことに、教会員と地域の他の市民との間の紛争が増し、ついに暴力的な状況になりました。1833年11月から12月に、聖徒たちはジャクソン郡の家を離れることを余儀なくされました。

## 教義と聖約115：5-6

### 神の民は今日、シオンのステーキに集っている

さらに加えられた安全と平和の地に集うために、聖徒たちが力を尽くしていたことを説明するに当たって、教義と聖約の後にある地図「西部への教会の移動」（教会歴史地図6）を表示してください。



西部のミズーリ州同様に、聖徒たちがついにはオハイオ州のカートランドを離れることを余儀なくされたことを説明します。1839年、聖徒たちはイリノイ州のノーブーに集合し始めました。彼らはそこで大きな町を築き上げたのです。しかし預言者ジョセフ・スミスの死の後で、教会員たちは再び自分たちの家を離れることを余儀なくされました。彼らは、ロッキー山中を越えて、北アメリ



カ西部に広がる定住地を築き上げ、ソルトレークシティーに教会本部を設立したのです。

生徒に、教義と聖約115：5-6を黙読してもらいます。その後、次の質問をします。

- これらの聖句によると、シオンのステークに集う人々には、どんな祝福が約束されていますか。（答えは次の真理を含んでいることが望まれます。わたしたちは邪悪なものからの防御そして避け所としてシオンのステークに集合している。）
- シオンのステークは、教会員の自国における防御と避け所をどのように提供することができますか。
- あなた自身のワードや支部で聖徒たちと集うときに、強められている、または守られていると感じるのはどんなときですか。

シオンのステークに集うことが今日の教会員にとってどんな意味があるのかを、生徒たちがさらに理解する助けとなるように、ダリン・H・オークス長老の次の言葉を表示して、生徒の一人に読み上げてもらいます。



「この最後の神権時代の初期には、カートランド、ミズーリ、ノーブー、山々の頂など、合衆国のさまざまな場所でシオンの集合が行われました。これらの集合は全て将来建てられる神殿を目指していました。多くの教会員がいるほとんどの国においてステークが誕生し神殿が建設されている今、わたしたちは一つの場所に集合するのではなく、自国のステークに集合するよう命じられています。忠実な人々はそこで、主の宮における永遠の祝福にあずかることができます。……このようにして、シオンのステークは『防御のためとなり、また嵐と激しい怒りが全地にありのままに注がれるときに、その避け所となる〔。〕』」（教義と聖約115：6）」（「再臨への備え」『リアホナ』2004年5月号、7-8）

一人の生徒に、スペンサー・W・キンボール大管長（1895-1985年）が述べた次の言葉を声に出して読んでもらいます。



「さて、イスラエルの集合は、真実の教会に加わり真実の神の知識にあずかることでなされます。……ですから、回復された福音を受け入れる人、また自分が住んでいる国の聖徒たちとともに自国の言語で今主をさがめ求める人は誰でも、イスラエルの集合の律法に従っており、この末日における聖徒たちに約束された祝福の全てを受け継ぐ者なのです。」（The Teachings of Spencer W. Kimball, エドワード・C・キンボール編〔1982年〕439）

- あなたのこれまでの人生の間に教会が建設した神殿の数に、何が起きているか考えたことがありますか。
- 会員であることによって、ステークや地域のシオンで、どのように祝福されてきましたか。聖なる神殿によって、どのような祝福を受けましたか。

信仰を持ってシオンのステークに加わり、聖なる神殿で礼拝することで得られる霊的な守りや強さを、隣人が受けられるよう助けるためにできることを、生徒たちに考えてもらうことで締めくくります。生徒たちが受けることのできる、御霊の導きに従って行動するように勧めます。

### 生徒用資料

- 教義と聖約37：1-3；38：31-33；39：15；45：62-67；95：8；110：9；115：5-6
- ラッセル・M・ネルソン「散らされたイスラエルの集合」『リアホナ』2006年11月号，79-82

## 第9課

# 生ける預言者に従う

### はじめに

教会が設立された日、主は預言者の言葉を心に留める人々に霊的な安全を約束されました（教義と聖約21：4-6参照）。それから間もなく、主は、教会員が欺かれることがないように、預言者のみが教会の全てに対する啓示を受ける権能があることを明らか

にされました（教義と聖約28：1-7参照）。預言者は聖典を明らかにする権能も持っています。これらの真理を理解することは、この末日におけるさらなる霊的な安全をもたらします。

### 背景となる読み物

- ラッセル・M・ネルソン「預言者を支持する」『リアホナ』2014年11月号、74-77
- エズラ・タフト・ベンソン，“Fourteen Fundamentals in Following the Prophet”〔ブリガムヤング大学デボーションナル，1980年2月26日〕，speeches.byu.edu；「予言者に従う14の原則」『聖徒の道』，1981年6月号，1-8も参照

### 教えるための提案

#### 教義と聖約21：1-6

#### 預言者の言葉を心に留める

そのときどきで、わたしたちが教会の大管長のことをどんな肩書きで呼んでいるか、生徒たちに質問します。ホワイトボードに生徒の答えを書きます。その後、一人の生徒に教義と聖約21：1を声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読してもらいます。ホワイトボードに、その他の肩書きをリストアップします。その後、次の質問をします。

- この聖句の中の肩書きのそれぞれは、教会の大管長の役目をどのように表していますか。

教義と聖約第21章に記録されている啓示は、教会が設立された日に明らかにされたことを説明することで、この内容を生徒たちが理解できるように助けます。（注—生徒たちが聖文の内容を学んで理解するとき、自分たちが読んでいることの意味と重要性をさらに理解するようになります。）その後、次の質問をします。

- 初期の教会員にとって、預言者としてのジョセフ・スミスの召しが、他の教会の指導者たちの役割と明らかに違っていることを知ることは、なぜ重要でしたか。

一人の生徒に、教義と聖約21：4-5を声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読してもらいます。その後、次のことについて話し合ってもらいます。

- 預言者の勧告を心に留めるには、忍耐や信仰が必要なきがあるのはなぜでしょうか。

必要ならば、預言者ハロルド・B・リー（1899–1973年）の次の言葉を生徒たちと分かち合います。



「わたしたちは、主が預言者を通じて下された言葉や戒めに、聞き従うことを学ばなければなりません。……教会の幹部からのメッセージを快く思えないこともあるかもしれません。あなたの政治上の見解や社会観と相いれないものもあるでしょう。また、あなたの社会生活を多少なりとも犠牲にしなければならないようなメッセージかもしれません。しかし、忍耐と信仰をもって、主御自身の口から出ているように、これらの教えに耳を傾ける人々に対しては、次のような約束がなされています。『地獄の門もあなたがたに打ち勝つことはない……。そして、主なる神はあなたがたの前から闇の力を追い払い、また、あなたがたのためと、神の名の栄光のために天を震わせるであろう。』（教義と聖約21：6）」（『歴代大管長の教え—ハロルド・B・リー』88–89

御霊に導かれるままに、次のことを説明します。

1. 末日聖徒として、わたしたちは預言者を完璧な人間と信じているわけではありません。しかし、主が教会を墮落させることをお許しになることは決してないのです（公式の宣言一と、「『宣言』に関するウィルフォード・ウッドラフ大管長の三つの説教からの抜粋」を参照）。
2. わたしたちは啓示が続くことを信じ喜んでいますが。教会の歴史において、かつて広く受け入れられていた従前の預言者の勧告や教え、または実践したことを後に変更することが必要になり、預言者が分かりやすく述べる時がありました。例えば、教会の初期の頃に、会員はカートランド、オハイオ、またはミズーリのジャクソン郡のような、中心的な一つの場所に集まるように勧められていました。今日、教会員は地元のステーキや地区に集まるように勧められています。

一人の生徒に、教義と聖約21：6を読んでもらいます。クラス全員と一緒に黙読してもらい、預言者の言葉を心に留める人々に与えられる約束を確認してもらいます。見つけた箇所を印を付けるよう生徒に提案してもよいでしょう。その後、次の質問をします。

- 預言者の言葉を心に留める人々に与えられる祝福をどのようにまとめますか。（生徒はさまざまな言葉で表現するかもしれませんが、おそらく次の原則を発表するでしょう。預言者の言葉を心に留めるなら、サタンから守られる。震わせるという言葉の中には、支柱や容器から何かを取り外したり、出したりするという意味もあることを説明してもよいでしょう。そのことから、6節の一つの解釈は、「[わたしたちの] ために」天が震える、と、啓示や祝福は生ける預言者に従う者のうえに「取り外されて」注がれる、と言えるでしょう。）

大管長会ヘンリー・B・アイリング管長の次の言葉を表示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「信仰深い人々にとって、預言者の勧告の中に安全への道を求めるのは当然のことです。預言者が語る時、信仰の弱い人々は単に賢人が良いアドバイスを与えていると考えます。……

……預言者の勧告を受け入れないという選択をすると、わたしたちが立つ土台が変わり、わたしたちは今までよりもっと危険な状態にさらされます。預言者の勧告を受け入れなければ、後に与えられる靈感に満ちた勧告を受け入れる力が弱まるのです。」（「助言の中に安全を見いだす」『聖徒の道』1997年7月号，28参照）

- わたしたちが預言者の勧告を受け入れないと、「わたしたちが立っているこの土台が」なぜ「もっと危険な状態に」なってしまうのでしょうか。このことが真実であることを示す例には、どんなことがありますか。
- あなたやあなたの知人が、生ける預言者の勧告を心に留めたことにより祝福されたのは、どんなときでしたか。
- 預言者の勧告を心に留めるという原則は、今日のわたしたちの宗教や道徳や社会問題に、どう当てはまりますか。

教義と聖約21：6で約束された祝福を求めるために、何をしなければならないかよく考えるように生徒に勧めてください。生ける預言者の言葉を熱心に心に留めるときに、今から永遠にわたって偉大な祝福を受けるという安心を生徒に与えてください。預言者の勧告を心に留めるということは、彼らの言葉に盲目的に従うことを意味するのではないことを説明します。

ハロルド・B・リー大管長が述べた次の言葉を読み上げます。



「わたしたち末日聖徒にとっては、指導者に従い、彼らの勧告を受け入れるだけでは十分ではありません。わたしたちには、指導者たちの神聖な任務について、自分自身で揺るぎない証を得るという大きな責任があるのです。また彼らがわたしたちに告げるのは天の御父の御心であるという証を得ることも求められています。」（『歴代預言者の教え—ハロルド・B・リー』，46-47）

### 教義と聖約28：2，6-7；43：1-7

#### 主は秩序をもって啓示をお授けになる

教会が組織されてから間もなくして、何人かの教会員はサタンの企みに欺かれて、偽りの預言者の指示を与えたことを説明します。一人の生徒に、教義と聖約第28章の見出しを声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読してもらおう（ジェフリー・G・キャノン「すべてのことは秩序正しく行わなければならない：教義と聖約28，43」，啓示の背景シリーズ，2013年4月4日，[history.lds.org](http://history.lds.org)も参照）。その後、次の質問をします。

- 教会員がハイラム・スミスの仮想の啓示を信じ続けていたとしたならば、どのような問題が起こり得たでしょうか。

時間を取って、生徒に教義と聖約28：2，6-7を調べてもらおう。その後、次の質問をします。

- 主からのこのメッセージは、教会の大管長の役割をどのように明らかにしていますか。（生徒は次の教義を挙げるでしょう。大管長は教会全体のために啓示を受けることのできる唯一の人である。）

この教義に関する生徒たちの理解を深めるため、一人の生徒に教義と聖約第43章の歴史的背景を声に出して読んでもらう。

1831年2月に、ハブル夫人という名の女性がオハイオ州カートランドの聖徒たちのところにやって来ました。彼女は、自分は女預言者であり、教会のために啓示を受け、モルモン書が真実であることを知っており、自分は教会で教師になるべきだと主張しました。彼女は何人かの聖徒を惑わしました。ジョセフ・スミスとその他の人々は、彼女の影響と、聖徒たちの間にあるその他の偽りの啓示について心配しました。預言者は、どうするべきかを主に何う決心をし、現在教義と聖約第43章に記録されている啓示を受けました（“The Joseph Smith Papers”の Document シリーズにある Documents, Volume 1: July 1828–June 1831 Vol. 1 を参照）。

生徒に教義と聖約43：1–7を黙読し、無窮の、または永遠の罰を主がどのように定義しておられるかを見つけるように言います。見つけた箇所に印を付けるよう生徒に提案してもよいでしょう。また、これらの聖文を教義と聖約28：2と相互参照するように提案してもよいでしょう。第28章に記録された啓示が、ニューヨーク州の聖徒に対するもので、第43章に記録された啓示がカートランドの聖徒に対するものであったことを指摘します。その後、次の質問をします。

- 教義と聖約第43章に記録された啓示が与えられたとき、教会全体に対する戒めと啓示を受けるように召されていたのは誰ですか。
- これらの聖句からどのような教義を学べるでしょうか。（生徒はさまざまな言葉で表現するかもしれないが、生徒は次のような教義を見いだすだろう。教会全体のための啓示を受けるように召される人は、一度に一人のみである。教会の大管長の言葉を心に留める人々は、欺かれることがない。）

十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老の次の言葉を紹介する。



「主が御自身の御心を人類に示される方法には秩序があります。わたしたちは皆、自分自身が管理する範囲において、主に願い求めて啓示を受ける権利があります。親は自分の家族のために、ビショップはゆだねられた人々のために、そして大管長会は教会全体のために啓示を受けることができます。……預言者ジョセフ・スミスはこう述べています。

『教会のいかなる会員であっても、あるいはいかなる人であっても、自分よりも高い権能を持つ人々のために指示を受けることは、神の摂理に反します。』〔『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』197〕（「神がこれまでに啓示されたすべてのことを信じる」『リアホナ』2003年11月号、85–88）



- 神からの啓示が常に神権を通して授けられるということを知ることが、あなたが欺かれないための助けとなるのはどうしてですか。この知識は、どうしてあなたの人生に平穩をもたらすことができるのでしょうか。
- 主の啓示のパターンは、どのように教会の秩序を保っていますか。

### 教義と聖約90：1-6

#### 主は教会の秩序を定められた

教会が発展するに従い、主は預言者ジョセフ・スミスに、教会の神権者と会員を組織するうえで指示を与えられたことを説明します。

次の言葉を読み上げるか、要点を述べます。

「教会員の数が増加するにつれて、預言者は神権の職についての啓示を続けて受けるようになった。預言者は主の指示により、自らを長とし、シドニー・リグドンを第一顧問、フレデリック・G・ウィリアムズを第二顧問とする大管長会を組織した。また十二使徒定員会と七十人第一定員会も組織している。さらに、ビショップや顧問、大祭司、祝福師、高等評議員、七十人、長老も召して聖任した。また預言者は、教会最初のステークも設立した。」（『わたしたちの受け継ぎ—末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』，25）

大管長会は、教会の特別な位置にあることを説明します。生徒たちに教義と聖約90：1-6を調べてもらい、大管長会の特定の責務を特定してもらおう。（大管長会は「王国の鍵を持って」おり〔2節〕，これによって教会に「神託〔が〕...与えられる」〔4節〕）。生徒たちが答えていく中で、「神託」という言葉が、神から神の預言者を通じて与えられる啓示を示していることを説明する必要があるかもしれません。

一人の生徒に、十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老の次の言葉を読んでもらいます。生徒たちに、教会の教義が制定される二つの方法を聞き取ってもらいます。



「1954年、当時大管長会顧問であったJ・ルーベン・クラーク・ジュニア管長は、教会で教義が知らされる方法と大管長が持つきわめて重要な役割について説明しています。大管長会と十二使徒定員会の会員について次のように述べました。『一部の中央幹部には特別な召しが与えられていることを覚えておく必要があります。彼らは特別な賜物を持っています。預言者、聖見者、啓示者として支持されており、それによって、人々を教えることに関して特別な霊的な祝福を受けています。彼らは、大管長が持つ全てにわたる力と権能の下で、神の思いと望みをその民に宣言する権利と力と権能を持っています。……」

大管長は自分に与えられる啓示を基に、教義を宣言しあるいは解釈します（例として、教義と聖約第138章参照）。また、教義の説明は、大管長会と十二使徒定員会が合同で評議して行う場合もあります（例として、公式の宣言二参照）。」（「キリストの教義」『リアホナ』2012年5月号，86-90）

- 「神の思いと望み」をこの世に示す権能を、誰が持っているか覚えていることが重要なのはなぜですか。

生徒たちに、生ける預言者たちや使徒たちのメッセージから学んだことを考えてもらい、クラスを終了します。これらのメッセージがどのように自分たちを祝福したかという証を、生徒たちに分かち合うことを勧めます。

## 生徒用資料

- 教義と聖約21：1-6；28：2，6-7；43：1-7；90：1-6，16。
- ラッセル・M・ネルソン「預言者を支持する」『リアホナ』2014年11月号，74-77

## 第10課

# 真理を探求する

### はじめに

「最良の書物から知恵の言葉を探し求め、研究によって、また信仰によって学問を求めなさい。」（教義と聖約88：118）このパターンに従うことは、学習プロセスにおいて個人が聖霊の助けを得るにふさわしくなるために役立ちます。今日、インターネットやその他の情報源により、教会の教義、歴史、および社会問題に対する見解についてのおびただしい

情報が提供されているが、その情報には真実であるものもあれば、誤ったものや、誤解を招くものもあります。このため、真理と誤りを見分けるために聖霊に頼ることがわたしたちにとって特に重要になっています。適切な情報源を見だし、使用する学習は、このプロセスの一環です。

### 背景となる読み物

- ディーター・F・ウークトドルフ「真理とは何か」（教会教育システムディボーションナル、2013年1月13日）lds.org/broadcasts
- 「福音を学ぶ」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics?lang=jpn>

### 教えるための提案

#### 教義と聖約88：118、121－126

#### 学ぶためのパターン

オハイオ州カートランドで開かれた預言者の塾の次の説明を声に出して読みます。

「1833年、預言者とカートランドにいたある聖徒たちのグループが、福音を研究する類まれな機会を得た。その年の1月、預言者は主の命令に従って預言者の塾を組織した（教義と聖約88：127－141参照）。それは、神権者たちが教え導く務めに備えて訓練を受けるため、また福音を宣べ伝える備えをするためであった。塾は、預言者が住んでいたニューエル・K・ホイットニーの店の2階の部屋で開かれた。約25人の兄弟たちが出席した部屋は縦11フィート（約3.4メートル）、横14フィート（約4.3メートル）ほどの広さしかなかったが、福音を研究する特権にあずかるために、何百マイルも旅して来る者もいた。参加者の多くが、後に使徒や七十人、またその他の教会指導者となっている。時々言語を研究することもあったが、預言者とその他の兄弟たちはおもに福音の教義を学ぶことに重点を置き、早朝から夕方まで熱心に研究を続けた。この塾は約4か月間続き、後にカートランドやミズーリにおいても同じような塾が開かれ、何百人もの人々が出席した。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』261）

教義と聖約第88章には、預言者の塾に参加する人に対する主からの指示が記録されていることを説明します。生徒に教義と聖約88：118を黙読し、主が定められた学習のパターンを探してもらいます。その後、次の質問について話し合います。

- 「研究によって、また信仰によって学問を求めなさい」とはどのような意味を持つと思いますか。

- このパターンに従うことは、わたしたちが学習する能力をどのような方法で向上させることができると思いますか。（生徒はさまざまな答えを挙げると思われますが、**学習プロセスに信仰を取り入れるときに、主の助けを得るにふさわしくなる**ということを確認してください。）

数人の生徒に、教義と聖約88：121–126を順番に読んでもらいます。これには、預言者の塾に対する主のさらなる指示が記録されています。クラスには一緒に黙読してもらい、信仰によって学ぶ方法を理解するために役立つ原則を探してもらいます。見つけた箇所に印を付けるよう生徒に提案してもよいでしょう。生徒がこれらの原則を見つけるたびに、それらをホワイトボードに書いていくことを検討します。また、それぞれの聖典のこれらの節の横にある余白に、「信仰によって学ぶ方法を教える原則」という文を書き込むように提案してもよいでしょう。（注—聖典の余白にメモを書き込むことは、生徒が重要な原則を見つけたり覚えるために役立ちます。）時間があれば、アルマ32：28、41–43およびヨハネ7：17で、さらなる原則を生徒に探してもらうこともできます。

- これらの節で教えられている原則に従って生活することは、わたしたちが研究、および信仰によって学ぶためにどのように役立ちますか。（生徒が答えたら、これらの原則に従うことが、御霊の助けのためにふさわしくなることに役立つと強調してもよいでしょう。）
- 主の御霊がともにいてくださるためのふさわしさを得ると、御霊はわたしたちの真理の探求にどのような影響を及ぼされますか。

## 教義と聖約91：1–6

### 真理と誤りを見分ける

大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長の次の声明を掲示して、生徒の一人に声を出して読んでもらいます。



「世界の歴史上、今ほど簡単に多くの情報に接することができるようになった時代はありません。しかし、その情報の中には真実のものも、偽っているものもあり、その多くは一部が真実だという程度です。

その結果、世界の歴史上、今ほど、真理と誤りを正しく識別する方法を知ることが大切になってきた時代はありません。」（「真理とは何か」、[教会教育システムディビジョナル, 2013年1月13日], 3, [lds.org/broadcasts](https://www.lds.org/broadcasts))

- わたしたちが真理と誤りを見分けることを学ばなかった場合に起こり得る結果にはどのようなものがありますか。

ホワイトボードに次の質問を書きます。

どうすれば真理と誤りを正しく見分けることができるでしょうか。

教義と聖約第91章に記録されている啓示が、聖書外典で読んでいる事柄が真理かどうかを見分ける方法をジョセフ・スミスに教えていることを説明します。一人の生徒に第91章の前書きを声に出して読んでもらい、残りの生徒には一緒に黙読してもらいます。次に、クラス全体で教義と聖約91章を調べるときに、ホワイトボードに書いた質問について考えるように勧めます。

聖書外典が、ユダヤ人の神聖な書物を集めたものであることを説明します。これらの書物は、ヘブライ語聖書（旧約聖書）には元々含まれていなかったが、キリストの時代の少し前に聖書のギリシャ語翻訳版に包含されました。初期のキリスト教徒が何世紀も後に聖書の書物を編集したとき、彼らは聖書外典の書物を聖書の付録として組み込みました。一部のキリスト教は聖書外典の書物を聖文と見なしているが、他のキリスト教ではこれらが靈感を受けた書物であるとは考えていません。ジョセフ・スミスが靈感訳の作成に使用した聖書には聖書外典が含まれていました。ジョセフは、聖書の翻訳にこれらの書物を含めるべきかどうかを主に尋ねました。

一人の生徒に、教義と聖約91：1-3を声に出して読んでもらいます。

- ジョセフは聖書外典について何を学びましたか。（書き入れられたものとは、写本に挿入された内容のことであり、時には原文が改悪される結果となることを説明しなければならない場合があります。）

別の生徒に、教義と聖約91：4-6を声に出して読んでもらいます。

- 4-6節の勧告は、わたしたちが読んでいる内容の真理と誤りを見分け、信頼性を見極めるためにどのように役立ちますか。（生徒はさまざまな言葉で表現すると思われるが、ここでは生徒が**聖霊は、読んだ内容が真実であるかどうかをわたしたちが知るよう助けてくださる**という真理を見いだすようにします。）

インターネットから得られる豊富な情報により、真理と誤りを正しく見分ける方法を知るために霊の識別の賜物（教義と聖約46：23参照）をわたしたちそれぞれが持つ必要がますます高くなっていることを説明します。（わたしたちの生活の中で識別の賜物が非常に重要である理由についてさらに詳しく知るには、『リアホナ』2006年12月号、15-20にあるデビッド・A・ベドナー長老の記事「観察が鋭い」を参照する。）



十二使徒定員会のスティーブン・E・スノー長老による次の声明のコピーを生徒それぞれに配る。生徒たちに最初の2段落を読んでもらい、わたしたちが教会の歴史と教えについて読む情報を評価することに関するスノー長老の勧告を調べてもらう。

## 教会歴史にバランスよく取り組む



七十人のスティーブン・E・スノー長老は次のように述べています。

「良い情報、悪い情報、真実の情報、誤った情報など、さまざまな情報をインターネットから簡単に取り出せるようになりました。その中には教会歴史に関する情報も含まれています。教会歴史についての情報をたくさん読むことができますが、大切なことは、読んだ内容を文脈の中で理解するということです。オンラインの情報の一部が抱えている問題は、それが文脈から切り離されて

ており、全体像が分かりにくいという点です。

教会を困らせようとする情報は、ほとんどの場合非常に主観的で、不当です。わたしたちは、より客観的に当教会の信条や歴史について記した情報源を求めるべきです。一部のウェブサイトは非常に悪意があり、物議を醸すような形で情報を発信します。教会員であるなしにかかわらず、広く認められていて評判の高い歴史家がかかわっている情報源を探しましょう。

若い人の中には、インターネット上の反モルモン資料に驚き、ショックを受ける人がいます。そのようなものに負けない強さをまだ身に付けていないためです。将来起こることに対して自分自身を備え、強めるという霊的な側面に十分な時間を割いてこなかったかもしれません。突如困難な経験が襲ってきたときには、いつも言われている基本的なことを行うことが重要です。すなわち、継続して聖文を研究し、祈りを通して天の御父と意義深い交わりを持つことです。これらの基本的なことにより、人はあらゆる困難に備えることができます。オンラインで偶然目にする反モルモンの記事にも備えることができるのです」。(“Balancing Church History,” *New Era*, 2013年6月号, 21–22)

- わたしたちは、教会の歴史と教えについての情報源の信頼性を慎重に評価する必要がありますが、教会について読む事柄の信頼性を評価するためには、どのようにスノー長老の教えを活用することができますか。

生徒にスノー長老の声明の第3段落を黙読してもらいます。その後、次の質問について話し合います。

- スノー長老の勧告は、あなたの信仰を試すような情報に遭遇したときにどのように役立ちますか。

### 疑問が生じたときに信仰を維持する

教会員は、教会の教義、歴史、社会問題に対する見解について、疑問を持ったとき、疑念さえ持つ場合があることを説明します。生徒に、ディーター・F・ウークトドルフ管長による次の声明を伝えます。



「疑問を持つのは自然なことです。率直な疑問という種は発芽して、理解という大木に育つことがしばしばあります。重大な疑問や慎重に扱うべき疑問について真剣に考えたことのない教会員がまれにいます。教会の目的の一つは、時にはそれが猜疑心や疑念という荒地にまかれた種であるとしても、信仰の種を養い育てることです。」(「ともに集いましょう」『リアホナ』2013年11月号, 23)





それぞれの生徒に、疑問や疑念がある人のための教会指導者の勧告が書かれた配付資料『真理と誤りを見分ける』を配ります。生徒に配付資料の声明を黙読してもらい、疑問や疑念に信仰を持って臨むために役立つ原則を見つけてもらいます。十分な時間を取ってから、配付資料で読んだ事柄が教会の教義、歴史、または社会問題に対する見解について疑問や疑念を持っている人をどのように助けるか生徒に説明してもらいます。

レッスンの終わりに、この人生では答えを見つけることができない疑問も生じることがあるが、わたしたちが戒めを守り、正しい情報源、特に生ける預言者の言葉を研究して、祈りによって導きを求め、忍耐と信仰を行使するときに、最も大きな疑問に対する答えを見つけることができることを強調します。

疑問に対する真理と答えを見いだすための主の導きを感じたときの経験を生徒に分かち合ってもらいます。

配付資料の声明を見直し、レッスンからの勧告に従い、研究と信仰によって学ぶように努力するよう生徒を励まします。

## 生徒用資料

- 教義と聖約88：118－26；91：1－6
- ディーター・F・ウクトドルフ「真理とは何か」（教会教育システムディボーションナル，2013年1月13日），lds.org/broadcasts

### 真理と誤りを見分ける

全ての福音の神権時代では、悪の力が神と神の御業に対立してきましたが、神の業がくじかれることはありません。この末日では、石が山から切り出され、「全地に満ちるまで転がり進」みます（教義と聖約65：2）。しかし、教会の個々の会員が惑わされることもあるため、わたしたちは「常に目を覚ましていて祈らなければなりません。」（3ニーファイ18：18）



「福音のすべてが回復されているこの時代に、完全な真理を探すために地図にない海や標識のない道路を旅する必要は、皆さんにもわたしにもないのです。愛に満ちた天の御父が道を計画してくださいました。そして、常に変わる事のない道案内を備えてくださいました。それは従順です。神の戒めに従順になることによって、真理を知り、人が抱く最大の疑問への答えを得ることができます。」（トーマス・S・モンソン「従順は祝福をもたらす」『リアホナ』2013年5月号，89）



「ですから、……愛する友人の皆さん、自分の信仰について疑いを持つ前に、その疑いを疑ってみよう心からお願いします。疑念のとりこになって、神の愛や平安、主イエス・キリストの信仰のもたらす賜物を遠ざけてしまうことのないようにしなければなりません。」（ディーター・F・ウークトドルフ「ともに集いましょう」『リアホナ』2013年11月号, 23）



「サタンは大いなる詐欺師であり、『兄弟らを訴える者』（ヨハネ12：10）であり、『偽りの父』（ヨハネ8：44参照）であって、わたしたちを打ち破るために、欺こうと絶えず努めています（教義と聖約50：3参照）。……

すでに真理を受け入れている人に対して、悪魔の最初の計略は疑いの種をふくらませることです。例えば、悪魔は、教会に関してそれまでに学んだことと相いれない情報に出会った数多くの教会員をつまづかせてきました。

そのような瞬間を経験することがあったら、この情報化時代にあって、どんなことについても、またあらゆることについて、あらゆる時に、あらゆる場所、疑いを作り出す人は大勢いるのだということを忘れないでください。

……

印刷されて出回っているとか、インターネットに書かれているとか、度々繰り返されているとか、支える人たちが強力なグループを構成しているといった理由だけでは、真理を構成することにならないのだということを、いつも心にとどめることは良いことです。

時には、真実ではない要求や情報が、いかにも信頼できそうな様子で提示されることがあります。……

一見、今矛盾しているように見えることも、もっと信頼できる情報を求めたり、受けたりしたときには、完全に理解できるようになるかもしれません。」（ディーター・F・ウークトドルフ「真理とは何か」（教会教育システムディボーションナル, 2013年1月13日）, [lds.org/broadcasts](http://lds.org/broadcasts)）



「神の計画に関するわたしたちの知識、および神の言葉や生ける預言者の教えによって与えられた根拠を現代の習慣や提案と比較することから始めるとき、……永遠に安全な場所に身を置くことができると知っています。」（ダリン・H・オックス, “As He Thinketh in His Heart” [ダリン・H・オックス長老との夕べ, 2013年2月8日], [lds.org/broadcasts](http://lds.org/broadcasts))



「恐れや疑いがあるとき、困難なときには、たとえ小さくてもすでに得ている土台にしがみついてください。……問題が発生したときに、なかなか解決しないときに、すでに知っていることに固くしがみついて、新たな知識を得るまで、強くあってください。」（ジェフリー・R・ホランド「主よ、信じます」『リアホナ』2013年5月号，93-95）



「心から真理を求めている人には、インターネット上の情報には誤りもあることを知らせる方がいいでしょう。どんなに説得力のある情報でも誤りは誤りです。」（ニール・L・アンダーセン「ジョセフ・スミス」『リアホナ』2014年11月号，28）



「霊的な疑問に対する答えは、心をかたくなにすることなく、信仰をもって願い求め、受けると信じ、戒めを忠実に守る人に与えられます。」（ポール・V・ジョンソン，“A Pattern for Learning Spiritual Things”〔CES宗教教育者への説教，2012年8月7日〕，[si.lds.org](http://si.lds.org)）



「離反者の目を通して……教会を研究することは、イエス・キリストを理解するためにユダをインタビューするようなものです」（ニール・A・マックスウェル，“All Hell Is Moved”〔ブリガム・ヤング大学ディボーションナル，1977年11月8日〕，3，[speeches.byu.edu](http://speeches.byu.edu)）。

## 第11課

# 教義と聖約における主の声

### はじめに

教義と聖約は、末日の預言者に神が語られること、および神がイエス・キリストの再臨のためにこの世を備えておられることの証拠です。教義と聖約に記録された啓示を読むときに、わたしたちはイエス・

キリストの声を聞くことができます。教義と聖約の重要性を理解するとき、わたしたちは地球上のあらゆる富よりもその教えを重んじるようになります。

### 背景となる読み物

- エズラ・タフト・ベンソン「モルモン書と教義と聖約」『リアホナ』2005年1月号、8-12

### 教えるための提案

#### 教義と聖約の序文

#### 教義と聖約における主の声

エズラ・タフト・ベンソン大管長による次の声明を掲示します。一人の生徒にそれを声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読してもらいます。



「モルモン書は人々をキリストのもとへ導き、教義と聖約は神の王国、すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会、『全地の面に〔ある〕唯一まことの生ける教会』に人々を導きます（教義と聖約1：30）。わたしはそのことをはっきりと知っています。

モルモン書はわたしたちの宗教の『かなめ石』であり、教義と聖約は、末日に続けて与えられる啓示とともに、『かさ石』とすることができます。主はこのかなめ石とかさ石の二つに承認の印を押しておられます。」（「モルモン書と教義と聖約」『リアホナ』2005年1月号、8-10）

- 教義と聖約では、教会、そして個々の会員に対するこの書物の重要性を示されているどのような記述を見つけましたか。

生徒にそれぞれの聖典で、教義と聖約の最初の部分にある教義と聖約の序文を開いてもらいます。二人の生徒に1および3段落目を順番に声を出して読んでもらい、残りの生徒には一緒に黙読してもらいます。クラス全員に、教義と聖約が他の聖典とは異なる点を探してもらい、序文が主の声に耳を傾けることに重点を置いていることに注意を向けてもらいます。その後、次の質問をします。

- 教義と聖約は、他の標準聖典とはどう違いますか。
- 序文では、「主イエス・キリストの声」について何が書かれていますか。  
（生徒たちが、教義と聖約を研究するときに、主イエス・キリストの声を認識することを学ぶことができるという点を理解するように助けます。「主

の声」という表現、またはその変形が教義と聖約で40回以上繰り返されること〔例えば、教義と聖約1：2；18：35－36；76：30を参照〕、および「主なる神は、このように言う」という表現が教義と聖約で60回以上繰り返されること〔例えば、教義と聖約36：1；56：14〕を説明します。）主の声を聞くことは、教義と聖約の重要なテーマです。

生徒に十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老（1926－2004年）による次の声明を掲示します。一人の生徒にそれを声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読してもらいます。



「主が語られるのを『聞く』機会が最も多い聖典はどれかと尋ねられたら、多くの方はまず最初に新約聖書を思い出すでしょう。新約聖書は、メシアの偉業と多くの教義がまとめられたすばらしい書物です。しかし、教義と聖約では、わたしたちは主の御言葉だけでなく、主の声も受けるのです。まるで主が語られているのが「聞こえて」くるようです。」（「教義と聖約：主の声」, Ensign, 1978年12

月号, 4)

- 教義と聖約を研究することによって主の声を聞き、認識することを学ぶことは、あなたの生活にどのような違いを生じるのでしょうか。

生徒に、教義と聖約の序文の第8段落を数分調べてもらいます。生徒に、教義と聖約に記録されている教義を見つけてもらいます。十分な時間を取ってから、次の質問をします。

- 教義と聖約を「教会にとって全地の富よりも価値あるもの」としているものは何ですか。

七十人のスティーブン・E・スノー長老の教義と聖約に記録された啓示についての話を生徒に教えることを検討します。



「これらの靈感を与える啓発的な啓示を通して、教義と聖約は重要な教義を教え、繰り返します。……ジョン・A・ウィッツオー長老（1872－1952年）は、『末日聖徒イエス・キリスト教会によって教えられた全ての教義は、教義と聖約で説明されているか、予表されています。わたしが知る限りでは、教会によって教えられた教義で、この書の中で何らかの方法または形で記述されていないものはありません。』と書いています。また、教義と聖約は『我々の神聖な書物の中でも、教会の全ての教義の完全な概説であると主張できるものは他にない』〔“The Message of the Doctrine and Covenants” (1969), 117〕ため、必要不可欠であると述べています。」（“Treasures the Doctrine and Covenants,” Ensign, 2009年1月号, 52)

生徒たちに、教義と聖約の研究がそれぞれの生活をどのように祝福したかを分かち合ってもらいます。

## 教義と聖約1：1-17；5：10

### 教義と聖約の背景

教義と聖約第1章に記録されている啓示は、もともとジョセフ・スミスの啓示の最初の集大成であった『戒めの書』の序文として主から与えられたものであることを説明します。この啓示の一群は後に、さらに多くの預言者の啓示、および**Lectures on Faith**（信仰講話）とともに教義と聖約として出版されました。第1章では、わたしたちの時代におけるこの聖典の必要性について書かれています。一人の生徒に、教義と聖約第1章の前書きを声に出して読んでもらいます。次の質問をして、生徒たちがこの章の前書きを分析できるよう助けます。

- 長老たちの特別大会では何が決議されましたか。（その時点までにジョセフ・スミスが受けた啓示を書物として出版すること。この書物はもともと戒めの書と呼ばれていたが、後に教義と聖約と呼ばれるようになったことを思い出してもらいます。）

数人の生徒に、教義と聖約1：1-5を声に出して順番に読んでもらいます。その後、次の質問をします。

- これらの節では、イエス・キリストは誰に語っておられますか。
- あなたなら、これらの節に記録された主なメッセージをどのように要約しますか。
- 主はどのような方法で全ての人々に警告を与えられましたか。（生徒は、主は御自分が選んだ弟子たちを通じて全ての人々に警告されるという教義を見いだすだろう。）

一人の生徒に、教義と聖約1：12を声に出して読んでもらいます。その後、次の質問をします。

- 12節によると、主がこの世に備えるよう求めておられるのは、どの出来事に対してでしょうか。（「主は近い」とはイエス・キリストの再臨を意味していることを説明するとよいでしょう。）（生徒が答えた後、聖文を明確にし、理解を深めるため、常に脚注を参照するように勧めてもよいでしょう。）

生徒に、わたしたちが住む世界についての主の描写を探しながら教義と聖約1：14-16を黙読してもらおう。見つけた事柄を生徒に発表してもらってから、17節を読み、主が14-16節で描写されている問題に対応するために何をされたかを説明してもらいます。

一人の生徒に、教義と聖約5：10を声に出して読んでもらい、クラスには一緒に黙読してもらいます。その後、次の質問について話し合います。

- ジョセフ・スミスの特別な召しについて、この文章から何を学ぶことができますか。（生徒は、主は、御自身の言葉をこの世に伝えるためにジョセフ・スミスを召されたという真理を見いだすでしょう。）

一人の生徒に、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老による次の声明を読んでもらいます。





「ジョセフ（スミス）の残した最大の偉業は、変わる事のない啓示の遺産です。一度限りの、証拠も結果も見えないような啓示ではありません。「あらゆる善良な人の心にゆっくりと浸透する穏やかな靈感」でもありません。……忠実な末日聖徒の学者である友人が簡潔に述べたように、『古い価値観を打ち破ろうとした啓蒙思想家の合理的な考え方によって、キリスト教の土台が攻撃されたときに、ジョセフ・スミスは〔完全に、独りで〕近代のキリスト教を啓示によって本来あるべき姿に戻したのです。』 「〔リチャード・L・ブッシュマン, “A Joseph Smith for the Twenty-First Century,” *Believing History* [2004年], 274]」 (「預言者, 聖見者, 啓示者」『リアホナ』2004年11月, 6)

- このレッスンは、教義と聖約の目的と重要性に対する理解をどのように深めましたか。
- 教義と聖約は、ジョセフ・スミスの神の預言者としての神聖な召しについてのあなたの証をどのように強めましたか。

教義と聖約に記録された教義、原則、および真理について証を述べたい生徒がいるかどうか尋ねてから、クラスを終了します。

### 生徒用資料

- 教義と聖約の序文』；教義と聖約1：1–39；5：10。
- エズラ・タフト・ベンソン「モルモン書と教義と聖約」『リアホナ』2005年1月号, 8–12

## 第12課

# わたしたちの時代に加えられた聖文

### はじめに

主は今も、聖霊を通じて主の御言葉と御心を主の僕に明らかにすることによって、わたしたちに神聖な教えを与えてくださいます。神は引き続き現代の預言者に語られることから、正典も開かれたままで

す。聖書のジョセフ・スミス訳、およびアブラハム書といったわたしたちの時代に加えられた聖文は、福音に対するわたしたちの理解を裏づけ、明確化し、拡大してくれます。

### 背景となる読み物

- ジェフリー・R・ホランド「だれも主とともにいなかった」『リアホナ』2008年5月号, 86–88
- 「アブラハム書の翻訳と史実性」福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics?lang=jpn>
- エリザベス・マキ「ジョセフ・スミス訳聖書：教義と聖約第45, 76, 77, 86, 91章」, 啓示の背景シリーズ, 2013年3月20日, [history.lds.org](http://history.lds.org)

### 教えるための提案

#### 末日の聖典

生徒に、友人から「なぜモルモンは聖書以外の聖典を持っているの？聖書には神の完全な御言葉が載っていると思ったのだけど」と誠実な態度で質問された場合を想像してもらいます。このような質問をされたことがある生徒に手を挙げてもらいます。この質問にどう答えたか、および他の人に聖典について証したときにどのように感じたかを数人の生徒に話してもらいます。

ホワイトボードに正典と書きます。十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老とダリン・H・オークス長老による次の声明を掲示して、それを二人の生徒に順番に声に出して読んでもらいます。生徒たちには、これらの声明の文脈における正典という言葉の意味を聞き取ってもらいます。



「クリスチャンの中には、ほとんどの場合は聖書に対する純粋な愛から、聖書以外に認められた聖典は存在し得ないと主張する人々がいます。他の宗派に属する友人たちは、啓示を集めた正典は完結したとして、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員がモルモン書、教義と聖約、高価な真珠を大切にしていること、また神の油注がれた預言者と使徒が今も導きを受けているというわたしたちの聖なる証に心を閉ざしています。」（ジェフリー・R・ホランド「わたしの言葉〔は〕……決して絶えることがない」『リアホナ』2008年5月, 91）



「大多数のクリスチャンは、キリストの死から間もなく、聖文として使われていた啓示を集めた権威ある正典を神が閉じてしまわれたと信じ、そのときからそれに匹敵する啓示は存在しなくなったと信じています。しかしジョセフ・スミスは、正典は完結しておらず、開かれたままであると教え、それを身をもって示しました（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』195を参照）。……

……ジョセフ・スミスは、神が既存の正典に新たに付け加えることによって子供たちをお導きになると教えました。モルモン書はその一つです。教義と聖約と高価な真珠に記された啓示も同様です。」（ダリン・H・オークス「わたしたちの教会の基本的教義」『リアホナ』2011年1月、26）

- 「正典」とはどういう意味ですか。（「正式に認められ、権威あるものとみなされた神聖な書物。末日聖徒イエス・キリスト教会では、正典は標準聖典と呼ばれ、この中には『旧新約聖書』『モルモン書』『教義と聖約』『高価な真珠』が含まれる」〔『聖句ガイド』、「正典」、scriptures.lds.org〕。）
- 末日聖徒が開かれた正典を信じているというのはどういう意味でしょうか。（生徒たちは異なる表現を使うと思われるが、**神の権威ある御言葉は、聖書だけに含まれているのではない**〔信仰箇条1：9を参照〕という真理を生徒が理解できるようにします。）
- 主が今も末日の預言者に対して聖文を明らかにされ続けておられると信じることは、どのような違いを生みますか。

**教義と聖約42：56；45：60–62；76：15–19；93：53；94：10**

### 聖書のジョセフ・スミス訳

ホワイトボードに次の真理を書きます。

預言者ジョセフ・スミスを通じて、主はわたしたちの真理についての知識を裏づけ、明確化し、拡大する追加の聖文を明らかにしてください。

一人の生徒に、教義と聖約第35章の前書きを声に出して読んでもらいます。他の生徒には一緒に黙読してもらい、この章に記載されている啓示を受けたとき、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンが何をしていたかを探してもらいます。

- この啓示を受けたとき、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンは何に取り組んでいましたか。

聖書のジョセフ・スミス訳が何かについて説明するため、一人の生徒に次の2段落を声に出して読んでもらいます。

1830年の夏頃、主は預言者ジョセフ・スミスに聖書を翻訳するよう命じられました。ジョセフ・スミスは、聖書のある言語から他の言語へ翻訳したのではなく、翻訳元となる元の聖書原稿も持っていませんでした。その代わりに、ジョセフは欽定訳聖書の節を読み、研究した後、聖霊から受ける靈感に従って聖書への修正と書き加えを行いました。したがって、この翻訳は従来の翻訳というよりも、むしろ靈感を受けた改訂版です。

ジョセフ・スミス訳は、欽定訳聖書の少なくとも3,000節を対象とするに及びました。これらの訳の違いには、（意味や文脈を明確にする、またはモーセ書など預言者の記述を回復するための）追加、削除、節の並べ替え、特定の章の完全な再編が含まれます。ジョセフ・スミス訳についての詳しい情報については、**Bible Dictionary**、または『聖句ガイド』の「ジョセフ・スミス訳 (JS)」を参照する。

ホワイトボードに以下の表を書き写します。

<p>教義と聖約45：60－62</p> <p>教義と聖約42：56，脚注1</p> <p>教義と聖約76：15－19</p> <p>教義と聖約93：53</p>	<p>教義と聖約35；76；77；86；91の前書き</p> <p>教義と聖約94：10</p>
---	--

生徒たちを二つのグループに分けます。各グループに、聖書のジョセフ・スミス訳についての情報を探しながら、どちらかの欄にある資料を調べてもらいます。十分な時間を取った後、学んだことを分かち合ってもらいます。その後、次の質問をします。

- この翻訳作業は、ジョセフ・スミスの霊的な教育と福音の真理の回復においてどのような影響があったと思いますか。

生徒がジョセフ・スミスの聖書の翻訳による教会への影響の真価を理解することができるように、「年代順に見た目次」（教義と聖約の最初に記載されている）を開き、預言者はおもに1830年6月から1833年7月の間に翻訳作業を行ったことを説明します。その後、次の質問をします。

- 1830年6月から1833年7月の間、何章分の教義と聖約が与えられましたか。（預言者は、この時代の教義と聖約の一部となる74の啓示を受けた。）

また、高価な真珠に掲載されているモーセ書およびジョセフ・スミスーマタイもジョセフ・スミスによる聖書の翻訳の一部であり、この時期に与えられたことを指摘してもよいでしょう。モーセ書は、創世記の最初の8章のジョセフ・スミス訳です。ジョセフ・スミスは、エノクについての節を訳したとき、聖書の内容がどれだけ失われているかに気がつきました。欽定訳聖書には、エノクについて109語が収録されているが、モーセ書には5240語が収録されています（訳注：語数は英語版の単語数）。

- この時期に与えられた啓示の数の多さは、福音の回復でジョセフ・スミス訳が担った役割について何を示唆していると思いますか。
- この時期に与えられた教義と聖約の章を見ると、この時期に明らかにされた重要な教義には何がありますか。（この時期に明らかにされた重要な教義の例は、第29章、第42章、第45章、第76章、第88章、および第93章に記録されている。）

以下を掲示し、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。

「聖書の翻訳は、預言者自身の霊的な教育において、また福音の真理の回復が展開されていく中で重要な役割を果たした。旧約および新約聖書を改訂しながら、ジョセフは聖句の意味を明らかにする啓示や、聖句についてさらに詳しく解説する啓示をしばしば受けた。こうして預言者は主から多くの教義を授けられた。その中には現在教義と聖約第74章、第76章、第77章、第86章、第91章に載っている教えや、教義と聖約の他の多くの章の一部となっている教義が含まれる。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』, 208）

主が教義と聖約のほとんどの部分をジョセフ・スミスによる聖書の翻訳の直接的な結果として明らかにされたことを証してください。また、ジョセフ・スミス訳の一部が欽定訳聖書の1979年LDSバージョンに追加され、これらの重要な啓示が教会員の生活を祝福するために活用しやすくなったことを説明してもよいでしょう。

### アブラハム書

生徒たちに、アブラハム書の前書きをざっと読んでもらいます。アブラハム書の内容についてクラスと簡単に話し合います。次に、1835年の夏に、マイケル・チャンドラーという名前の人物がエジプトのミイラ4体と古代エジプト文字が書かれたパピルスの巻物をオハイオ州カートランドに持ち込んだことについて説明します。ミイラとパピルスの巻物は、教会員によって買い取られました。具体的な翻訳方法は分かっていないが、預言者ジョセフ・スミスはエジプトのパピルスを手に入してから数か月間、記述の一部を翻訳しました。1842年の3月初旬、アブラハム書の一部が**Times and Seasons**（タイムズ・アンド・シーズンズ）と呼ばれる教会の新聞で公開されました。アブラハム書は、その後『高価な真珠』で公開されました。

アブラハム書の由来に関し、次の概要について話します。生徒には、翻訳プロセスについて知っていることを聞き取るようにしてもらいます。

アブラハム書の信憑性に対する一般的な反論は、原稿（パピルス）がイエス・キリスト生誕の約2000年前に生きたアブラハムによって記述されるには新しすぎるというものです。ジョセフ・スミスは、パピルスがアブラハム自身によって書かれたものであること、またはパピルスがアブラハムの時代からのものであることについては一切主張しませんでした。「古代の記録は写しとして、あるいは写しの写しとして伝えられました。モルモン書の預言者であり歴史家であるモルモンとモロナイがそれ以前の民の書き物を書き直したように、アブラハムの記録は、後

年の筆者たちによって編集された可能性があります。」（「アブラハム書の翻訳と史実性」福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics?lang=jpn>）

翻訳中、預言者ジョセフ・スミスは、その後破損されたパピルスの部分の作業を行っていた場合もあることから、「現在あるのはジョセフが所有していたパピルスのほんの一部にすぎないため、彼の翻訳の能力を評価しようとすることはおそらく無益」です（「アブラハム書の翻訳と史実性」）。また、ジョセフ・スミスによるこれらの記述の慎重な調査が、「以前聖書を研究していたときにモーセの生涯について啓示を受けたように、パピルス进行研究することで、アブラハムの生涯における重要な出来事と教えについて啓示」を受けるためにジョセフを導いた可能性もあります（「アブラハム書の翻訳と史実性」）。ジョセフ・スミスがどのようにアブラハム書を翻訳したかははっきりと分かっていないが、翻訳が神の賜物と力によって行われたことは分かっています。

- 預言者ジョセフ・スミスによって使用できるようになった追加の聖文が、どのように神の計画と神の子供たちについてのわたしたちの理解に貢献しているかについての例をいくつか挙げてください。

生徒たちが教義的に重要なアブラハム書を研究するとき、聖霊がその重要性和真偽を証明してくださることを証してもよいでしょう。

### 教義と聖約1：38；68：3-5

#### 継続する啓示は生ける預言者を通じて与えられる

一人の生徒に教義と聖約1：38を、別の生徒に教義と聖約68：4を声に出して読んでもらいます。これらの聖句から何を学んだか生徒に尋ねます。（生徒たちは、主の僕が聖霊の力で語るとき、彼らの言葉は主の御心を伝えるという原則を見いだすでしょう。）

- 主が今も引き続き啓示を豊かに与えてくださることについて、感謝の気持ちを感じた経験はありますか。

教会では、末日の預言者に対する特定の啓示は、同意の律法によって正典化される（聖文として受け入れられる）ことを説明します（教義と聖約26：1-2参照）。教会の会員は、啓示を聖文に加えることについて、預言者と使徒を支持するように求められます。例えば、1978年10月の総大会で、教会の会員は全てのふさわしい男性会員に神権を付与した公式の宣言二を正典として使用することにおいて、預言者と使徒を支持しました。

生徒に、正典が閉じられており、神から追加の聖文を受けることはできないと考える人に何を言えばよいかを近くに座っている人と話し合ってもらいます。

わたしたちの時代でも天が開いており、主は引き続き主の御言葉を明らかにされることについての証を強くするには何ができるかを熟考するように生徒に伝え、クラスを終えます。

### 生徒用資料

- 教義と聖約1：38；42：56；45：60-62；68：3-5；76：15-19；93：53；94：10



- ジェフリー・R・ホランド「だれも主とともにいなかった」『リアホナ』2008年5月号, 86-88

## 第13課

# 「示現」

### はじめに

預言者ジョセフ・スミスに与えられたこの示現は、現在教義と聖約第76章に記録されており、栄えの階級を含めた死後の生活の基礎的な理解を得ることが

できます。この示現からは、天の御父とイエス・キリストのみもとで再びともに住むために行わなくてはならない事柄も学びます。

### 背景となる読み物

- L・トム・ペリー「救いの計画」『リアホナ』2006年11月号、69-72
- マシュー・マクブライド，“The Vision’: D&C 76”，啓示の背景シリーズ，2013年3月11日，[history.lds.org](http://history.lds.org)

### 教えるための提案

#### 教義と聖約第76章

#### 死後の生活についての基礎的な理解

1830年当時、多くのキリスト教徒は天国と地獄についての二つの一般的な信念のどちらかを持っており、これらはときに「伝統的」および「普遍的」な見解として表現されていたことを説明します。「伝統的」な見解では、単に天国は義人のものであり、地獄は神に従わない人のものでした。「普遍的」な見解は、神は罪人を永遠に罰することはなく、全ての人間が最終的には神の王国に救われるというものです。当時、イエス・キリストの教会の会員は、天国と地獄について他のキリスト教徒と大差ない知識しか持っていませんでした。

1832年2月、ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンは、末日聖徒の死後に関する理解と信仰を大幅に変えた示現を経験しました。教義と聖約第76章に記録されているこの示現は、神の愛、憐れみ、正義、および裁きの複雑なつながりを明らかにし、天の御父の計画についてより完全に理解するための扉を開きました。長い間、初期の教会員は、この示現を単に「示現」と呼んでいました。

（マシュー・マクブライド“‘The Vision’: D&C 76”，啓示の背景シリーズ，2013年3月11日，[history.lds.org](http://history.lds.org)を参照）

一人の生徒に、教義と聖約第76章に記録されている内容を簡単に説明してもらいます。ウィルフォード・ウッドラフ大管長（1807-98）の次の声明を掲示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「教義と聖約には、かつて人類に与えられた中で、最も厳粛な、最も神々しい宣言がまとめられています。特に〔第76章の中の〕あの「示現」は、ただそれだけで、人類がこれまでに読んだどの書物のどの啓示よりも、大いなる光と真理と真実を明らかにしています。それは人の現在の状態、人がどこから来て、なぜここにいて、どこへ行くこうしているのかを、はっきり理解できるようにしてくれます。この啓示を通して、誰もが自分の行く末と将来を知ることができます。」（『歴代大管長の教え—ウィルフォード・ウッドラフ』120-121）

一人の生徒に、教義と聖約第76章の前書きを声に出して読んでもらいます。一人の生徒に、教義と聖約76：15-19を声に出して読んでもらいます。

- ジョセフとシドニーは、何をしていたこの啓示を受けることになりましたか。
- 聖文を研究し、深く考えることの価値について彼らの経験から何を学ぶことができますか。（生徒が聖文について熟考することと、啓示を受けることのつながりを見いだすようにします。）

注—聖文について深く考えることは、御霊がわたしたちに真理を明らかにする機会をより多く与えてくれる貴重な聖文研究スキルであることを強調します。

### 教義と聖約76：1-10

#### 忠実な者に対する約束

一人の生徒に、教義と聖約76：1-4を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、黙読しながら、イエス・キリストを説明する言葉や文を見つけてもらいます。見つけた箇所に印を付けるよう生徒に提案してもよいでしょう。これらの節で説明されている救い主の属性は、聖文リストの例であることを説明します。聖文リストとは、「一連の関連する考え、概念、教えのことである。教師と生徒にとって、聖文中にリストを探すことは、記録者が強調している要点を明確にするのに役立つ。」（『福音を教え学ぶ』23）教義と聖約第76章には、多くの聖典リストが含まれていることを指摘します。

- 1-4節にあるイエス・キリストの属性の中で、あなたにとって最も意味深いものはどれですか。それはなぜですか。

生徒に教義と聖約76：5-10を黙読してもらい、忠実な者に対する主の約束を見つけてもらいます。6-10節にある約束のリストに注意するように生徒を促します。主の約束を強調するため、このリストの項目に印を付けるように勧めてもよいでしょう。

- 5節によると、主の憐れみ、品位、そして栄光を経験するには、何をする必要がありますか。

これらの節から、わたしたちが主を恐れ、義をもって主に仕えるとき、主はわたしたちに栄光を与え、憐れみを示してくださいという原則を生徒たちが見いだすことができるように助けます。主を「畏れる」という言葉は、この文脈では主を崇敬するという意味であることを生徒に伝えます。

生徒たちがこの原則をより深く理解できるように、次の質問をします。

- 5-10節から見いだした約束の中で、特に受けたいと思うものはどれですか。それはなぜですか。
- その祝福を受けるには何をしなくてはならないと思いますか。

しばらく時間を取って、これらの祝福がなぜ追求するに値するかを深く考え、自分たちがどれだけ義と真理をもって主を崇敬し、主に仕えているかを評価してもらいます。

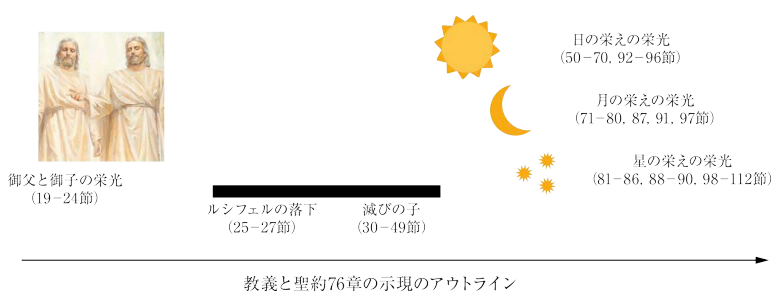
11節からの第76章の残りの部分は、「栄光において……すべての理解を超え」た「主の王国の奥義」（114節）が記録されていることを指摘します。この啓示

は、感嘆すべき永遠の事柄におけるわたしたちの理解のために示され、まだ見ぬ未来について教え、これまで知らなかった事柄を伝えてくれます。

## 教義と聖約76：19－24

### 御父と御子の示現

教義と聖約第76章には、一連の示現が記録されていることを説明します。これらの示現でジョセフ・スミスとシドニー・リグドンが見た事柄の概要を生徒に説明するため、付属の画像を見せる、または各生徒にそのコピーを配ります。この図にあるそれぞれの項目は、一つの示現に焦点を合わせたものであることを説明します。



その日にジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに示された示現の一つは、御父と御子の独り子、イエス・キリストの示現であったことを指摘します。次の参照聖句と質問を掲示するか、ホワイトボードに書き写します。

この啓示からイエス・キリストについてどのような真理を学べますか。  
これらの真理のうち、どの真理を証することができますか。これらが真実であることがどうして分かるでしょうか。

生徒に教義と聖約76：19－24を黙読してもらい、ホワイトボードに書き出した質問をどのように答えるか考えてもらいます。時間を十分に取ってから、質問に対する答えを生徒に発表してもらいます。生徒の答えはそれぞれ異なると思われるが、次の原則を確実に理解するようにします。イエス・キリストは、生ける栄光を受けた御方である。イエス・キリストは御父の独り子である。イエス・キリストはこの世界、およびその他の世界の創造主である。この世界、およびその他の世界の住民は、神の息子と娘たちである。

救い主についての自分の証を述べることを検討します。

## 教義と聖約76：25－113

### 救いの計画

第76章の25－113節が、救いの計画についてのすばらしい真理について教えていることを説明します。生徒に、図にリストされているこれらの節のグループを一つ選んで、それらをざっと読んでもらいます。生徒たちを二人一組に分け、読んだ節から学んだ事柄、または靈感を受けた事柄について話し合ってもらいます。その後、クラス全体で次の質問について話し合います。

- 教義と聖約第76章は、人生と死についてのどの基礎的な教義を学ぶために役立ちますか。（生徒は異なる言葉を使うと思われるが、**教義と聖約第76章は、死後の生活について、および天の御父とイエス・キリストのみもとで再びともに生活するためには何をしなくてはならないかについての基礎的な理解を深めてくれることを生徒たちが理解するようにします。**）

ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた示現の中でも最も重要な示現の一つが日の栄えの王国についてのものであったことを説明します。生徒に、教義と聖約76：50－53を黙読してもらい、日の栄えの王国に入るための要件のリストを見つけてもらいます。これらの聖文にある要件に、印または番号を付けることを提案してもよいでしょう。生徒が見つけた事柄を発表した後、次のような質問をします。

- 「イエスの証」を受け入れるとはどういう意味だと思いますか。（主の贖いをもたらす使命に信仰を持ち、主の戒めに従って生活する。）
- 「信仰によって勝利を得」とはどういう意味だと思いますか。（イエス・キリストに対する信仰を行使し、信仰を持って最後まで堪え忍ぶことによって、誘惑や罪に打ち勝つ。）
- 「約束の聖なる御霊により結び固められている」とはどういう意味だと思いますか。（約束の聖なる御霊でもある聖霊は、わたしたちが主の福音の救いの儀式を正しく受け、交わした聖約を忠実に守ったことについて御父に証明してくださる。）

これらの節には、日の栄えの王国の高い所に上げられた住民が受ける祝福の多くが挙げられていることを説明して、教義と聖約76：54－70を要約します。しばらく時間を取って、約束された祝福、または生徒自身にとって特に意味深い状態に注意しながらこれらの節を読んでもらいます。

- 忠実な者に約束された祝福で、あなたにとって特別な意味があるものはどれですか。それはなぜですか。
- 69節は、日の栄えの王国を受け継ぐ者の生活における救い主の役割を理解するためにどのように役立ちますか。（わたしたちは皆、どれだけ努力したとしても、日の栄えの王国を受け継ぐために必要な事柄の全てを行うことはできない。主の贖いの犠牲によってのみ、わたしたちはそれぞれの罪から清くされ、完全とされる。）
- 教義と聖約第76章に記録されている救いの計画についての真理を知ることとは、人生でより良い選択を行うためにどのように役立ちますか。

ボイド・K・パッカー会長による次の声明を掲示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「福音の計画の知識がなければ、罪は自然で無邪気であり、正当化さえできるものであるように思われます。真理を知る、つまりこの計画を知ること以上に、わたしたちを敵から守ってくれる強力な保護はありません。」（Our Father's Plan』〔1994年〕27）

- 教義と聖約第76章にある真理についての知識は、悪魔の影響からわたしたちを守るために、どのように役立ちますか。
- 天の御父の計画についての知識は、あなたをどのような方法で保護し、祝福しましたか。

一人の生徒に、教義と聖約76：114－117を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、一緒に黙読しながら、自らを清くする者に対して与えられる約束を探してもらいます。その聖句にある約束を生徒に説明してもらいます。

生徒が答えた後、教義と聖約第76章に記録された示現についての預言者ジョセフ・スミス（1805－1844）による次の声明を掲示します。



「許されるならば、そして人々にそれらを受け入れる準備ができていならば、示現の中でわたしに示された王国の栄光についてこれまでよりも何倍も詳しく説明することができるだろう。」（“History of the Church,” 第5巻, 402）

生徒がクラスで学んだ事柄を生かすことができるように、次の未完の文を掲示するか、ホワイトボードに書きます。

教義と聖約第76章を研究した後、  
わたしは.....ことを知っています。  
わたしは.....したいと思います。  
わたしはこれから.....ます。

これらの文を完成させて紙に書いてもらいます。自らの選択が、日の栄えの王国を受け継ぐため、および教義と聖約第76章で約束されているその他の祝福を受けるために自分をふさわしくしてくれるかどうかを考えるよう生徒を励まします。今日クラスで話し合った真理について証を述べます。

## 生徒用資料

- 教義と聖約第76章
- L・トム・ペリー「救いの計画」『リアホナ』2006年11月号、69－72



## 第14課

# カートランド神殿と神権の鍵

### はじめに

3年近くにおよぶ苦勞と金銭的な犠牲のあと、カートランド神殿は1836年3月27日に奉獻されました。奉獻には奇跡的な出来事が伴い、1週間後には、天使がジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに神権

の鍵を回復しました。これらの鍵は、この教会の際立った特性であり、教会に集う何百万人もの人々を祝福してきました。

### 背景となる読み物

- ジェフリー・R・ホランド「最も際立った特性」『リアホナ』2005年5月号, 43–45
- デビッド・A・ベドナー「名と地位を立派に維持する」『リアホナ』2009年5月号, 97–100
- 「カートランドでの栄光の日々, 1834–1836年」『時満ちる時代の教会歴史生徒用資料』第2版（教会教育システム手引き）の第13章, 153–168

### 教えるための提案

#### 教義と聖約109：1–28

#### カートランド神殿の建築のために犠牲を払った聖徒たち

生徒にカートランド神殿の写真を見せます（『福音の視覚資料集』117番参照。LDS.orgも参照）。カートランド神殿を建築するために、聖徒たちが3年近くも労働し、犠牲を払ったことを説明します。そうすることにより、聖徒たちは、主の戒めを守るならば「建てる力を持つ」（教義と聖約95：11）という主の約束の成就を目の当たりにしました。1836年3月27日に行われた神殿の奉獻には、約1,000人の人が参加しました。ジョセフ・スミスが啓示によって受けた奉獻の祈りは、教義と聖約第109章に記録されています。

何人かの生徒に、交代で教義と聖約109：1–5を声に出して読んでもらいます。クラスには一緒に黙読してもらい、神殿を建築するために聖徒が払った犠牲について説明する箇所に特に注意するように勧めます。その後、次の質問をします。

- ジョセフ・スミスは、聖徒の犠牲を説明するために、どのような表現を使用しましたか。

聖徒たちが払った犠牲について生徒がより良く理解できるように、一人の生徒に次の概要を声に出して読んでもらいます。

1833年6月から1836年3月の間、主の宮を建築して完成させるため、男性も女性もともに助け合って働きました。石工に携わる者もいれば、石を運ぶ者、糸を紡いで労働者のために衣服を編む者、そして主の宮のためにカーテンを作る者もいました。これらの人々は、「人の子がその民に御自身を現す場所を得られるように」（教義と聖約109：5）全てを行いました。ジョン・タナーなど、神殿の建築のために財産のほとんどを費やした末日聖徒もいました。カートランド神殿の建築費用は全体で最大4万米ドルに上った可能性があり、これは当時非常に高額でした。費用と犠牲にもかかわらず、聖徒たちは主の戒めに従うための勤労において忠実でした（教義と聖約95：11参照）。カートランド神殿は愛の労苦であり、従順、犠牲、そして信仰の試しでもありました。

- 今日、神殿の祝福にあずかるには、どのような犠牲を払う必要がありますか。
- 主の御業を行うために犠牲を払うとき、わたしたちの生活にはどのような祝福がもたらされますか。

この質問に答える助けとして、中央若い女性会長会第一顧問キャロル・B・トーマス姉妹による声明を掲示します。一人の生徒に声を出して読んでもらいます。



© Busath.com

「犠牲は驚くべき原則です。わたしたちが時間と才能、そして全ての所有物を進んで差し出すと、礼拝の最も理想的な形の一つとなります。犠牲を通して、人々の間の深い愛、そして救い主イエス・キリストに対する深い愛を養うことができます。犠牲を通して心を変えることができます。犠牲をささげることによって、御霊に近く生活するようになり、世俗的な事柄への欲望を抑えることができます。」（「犠牲—永遠の投資」『リアホナ』2001年7月号、79）

生徒に教義と聖約109：12-13および20-21を黙読してもらい、この祈りの中で神殿の神聖な性質がどのように提唱されているかを探してもらいます。これらの聖句の中で最も印象に残った事柄を生徒に分かち合ってもらいます。

奉獻の祈りの中で、ジョセフ・スミスが主に具体的な祝福を願い求めたことを生徒に伝えます。数人の生徒に、交代で教義と聖約109：12-15、22-28を声に出して読んでもらいます。クラスには一緒に黙読してもらい、神殿でふさわしく礼拝する人々にもたらされる祝福を探してもらいます。印象に残る重要な言葉や表現に印を付けるように勧めてもよいでしょう。その後、次の質問について話し合います。

- 見つけ出した祝福の中で、自分にとって最も意味深いものはどれですか。それはなぜですか。
- これらの節から、どのような教義や原則を何を学ぶことができるでしょうか。（生徒たちが、神殿で信仰をもって礼拝するとき、この世の悪に対してより強い保護と力を受けることができるという原則を見いだせるようにします。）

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の声明を掲示して、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「現在サタンが猛威を振っていること……イエス・キリストの御名を喜んで受けること、そして聖なる神殿で名と地位を立派に維持する人々に約束されている守りの祝福に照らし合わせて〔教義と聖約109：24–28〕を考えてください。重要なことに、聖約がもたらすこうした祝福はあらゆる世代が永遠にわたって得られるものです。これらの聖文が自分の生活や家族にとってどのような意味を持つかを繰り返し研究し、祈りの気持ちで深く考えるように勧めます。

神殿での礼拝と業を妨げたり疑わせたりする悪魔の働きに驚くことはありません。悪魔は主の宮の清さと力を忌み嫌っているからです。そして神殿の儀式と聖約によってわたしたちが受ける守りはルシフェルの邪悪なはかりごとにとって大きな障害なのです。」（「名と地位を立派に維持する」『リアホナ』2009年5月号、97–100）

- 神殿で礼拝する結果としてもたらされる霊的な力の高まりをどのように感じ取りましたか。

生徒たちに、神殿で信仰をもって礼拝する者に約束されている祝福をより多く受けるには何ができるかを深く考えてもらいます。聖句と預言者の言葉について深く考えるとき、心と精神が主からの靈感を受け入れやすい状態になることを生徒に思い出してもらいます。

### 教義と聖約第110章

#### カートランド神殿に現れたイエス・キリスト、モーセ、エライアス、およびエリヤ

奉献当日に前後して、神があふれふほどの霊的なしるしでカートランド神殿を建築するための聖徒たちの犠牲に報いてくださったことを説明します。時間があれば、『時満ちる時代の教会歴史生徒用資料』第2版（教会教育システム手引き）の第13章、「カートランドでの栄光の日々、1834–36年」にある記述を幾つか読みます（特に、163–166の「ペンテコステの日々」というタイトルの箇所）。これらの中でもおそらく最も重要な出来事が、神殿奉献1週間後の1836年4月3日に起ったことを生徒に伝えます。

一人の生徒に、教義と聖約第110章の前書きを声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読してもらいます。その後、次の質問をします。

- この示現は誰に与えられましたか。ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは、この示現が与えられる前に何をしていましたか。

教義と聖約第110章の最初の10節には、カートランド神殿を受け入れることを宣言するためにジョセフ・スミスとオリバー・カウドリの前に姿を現された救い主について、彼らに与えられた輝かしい示現が記載されています。生徒にこれらの節を黙読してもらい、救い主と神殿の両方に関する重要な真理を探してもらいます。時間を十分に取ってから、次の質問をします。

- これらの聖句の中で、あなたにとって意味深い箇所はどこですか。それはなぜですか。

- 6節によると、救い主は「わたしのすべての民の心を喜ばせなさい」と言われました。その当時、聖徒たちに喜ぶ理由があったのはなぜだと思いますか。

救い主の示現が終わった後、一連の示現が続いたことを説明します。これらの示現には、モーセ、エライアス、およびエリヤが一人ずつジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに現れました。

ホワイトボードに次のように書きます。

モーセ：教義と聖約110：11

エライアス：教義と聖約110：12

エリヤ：教義と聖約110：13-15

生徒たちを3つのグループに分けます。各グループを、ホワイトボードに書いた名前の一つに割り当てます。生徒たちに対応する聖句を研究し、回復された特定の神権の鍵について学んでもらいます。十分な時間を取った後で、生徒たちが見つけたことを分かち合ってもらいます。

次の説明は、読んだ事柄に対してより深い理解を生徒たちに提供することができます。対応する聖句について話し合った後、一人の生徒に次の各声明を声に出して読んでもらいます。

**モーセ：**イスラエスの集合の鍵は、地の四方に福音を宣べ伝えることを指揮する権能を与える。「神の子供たちを最初に受け継ぎの地に導いたモーセが、回復された教会にイスラエルの集合の鍵をゆだねたことは適切であった。」（ラッセル・M・ネルソン「散らされたイスラエルの集合」『リアホナ』2006年11月号、82。注28）

**エライアス：**「アブラハムの時代に生活していたと思われるエライアスと呼ばれた人。エライアスは、1836年4月3日にカートランド（オハイオ州）神殿でジョセフ・スミスとオリバー・カウドリにアブラハムの福音の神権時代を約束した。」（Bible Dictionary, "Elias"）「エライアスが携えてきたのは「アブラハムの福音」です。それは偉大なアブラハムの契約であり、忠実な者たちが永遠に増し加えられるという約束です。日の栄えの結婚を通して彼らの子孫が浜の真砂のように、また空の星のように増えるのです。」（ブルース・R・マッコンキー「王国の鍵」『聖徒の道』1983年5月号、36）

**エリヤ：**「エリヤに授けられたこの結び固めの力は、この世と永遠にわたって夫と妻、そして子どもを両親に結びつける力です。これは、全ての福音の儀式に存在する拘束力のある力です。……救いに関する儀式の全てはこの力によって結び固められます。（二人のもとに）現れ、この力を回復することはエリヤの使命だったのです。」（ジョセフ・フィールディング・スミス, *Elijah the Prophet and His Mission* [1957年] 5）

教義と聖約110：16を声を出して読み、生徒たちには一緒に黙読してもらいます。読んでいるときに、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに約束された

事柄を見つけ出してもらいます（「この神権時代の鍵」）。その後、次の質問をします。

- 16節によると、これらの鍵が回復されたことから何がわかりますか。（再臨が近づいている。）
- 16節を念頭において、「主の大いなる恐るべき日」の前にモーセ、エライアス、およびエリヤによって回復された鍵が回復されなければならなかった理由を考えてください。
- あなたはこれまでにこれらの神権の鍵によってどのような祝福を受けてきましたか。（生徒が答えた後、**伝道の業、永遠の家族、そして神殿の業の鍵は、わたしたちが自らを、そしてこの世をイエス・キリストの再臨のために備える助けとなる**という原則を述べて、これらの鍵の回復の重要性を要約します。）

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老による次の声明を掲示して、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「神の神権が、その鍵と儀式、神聖な起源、そして地上でつなぐことが何でも天でつながれる能力とともに、神のまことの教会にとって**独特で不可欠な**ものであり、それがなければ末日聖徒イエス・キリスト教会は存在しないということです。」（「最も際立った特性」『リアホナ』2005年5月、43）

これらの神権の鍵が回復されたことによって自分の人生がどのように祝福されてきたかを分かち合います。神権の鍵が、末日聖徒イエス・キリスト教会を地上にあるその他全ての教会から一線を画す際立った特性であることを証してください。

## 生徒用資料

- 教義と聖約109：1-28；110：1-16
- デビッド・A・ベドナー「名と地位を立派に維持する」『リアホナ』2009年5月号、97-100

## 第15課

# 逆境の中での強さ

### はじめに

1837年から1838年の間、カートランド、オハイオ、ミズーリ北部の教会の指導者と会員の中で、あら探し、抗争、背教の気運が広がっていました。預言者ジョセフ・スミスに対して、公然と反抗する人も出てきたことで、問題はエスカレートしました。

初期の聖徒たちの経験から、反対するものに直面したときに、義にかなって生活し、主の僕を支持するならば、霊的な強さを与えられることを学ぶことができます。

### 背景となる読み物

- 「背教の苦い実に警戒する」『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』315–326
- ジェフリー・R・ホランド「リバティーの監獄の教訓」（教会教育システムファイヤサイド、2008年9月7日）<https://www.lds.org/broadcasts/watch/ces-devotionals/2008/01?lang=jpn&vid=2274929641001>
- ニール・L・アンダーセン「信仰の試し」『リアホナ』2012年11月号、39–42

### 教えるための提案

#### 教義と聖約112：10–15

#### カートランドでの背教

ホワイトボードに次の言葉を書きます。**怒り、短気、妬み**生徒に、このような感情を持ったときのことについて考えてもらいます。

以下の話を表示し、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。トーマス・B・マーシュがボードに書いた感情を持ったときの状況を説明してもらいます。

1835年トーマス・B・マーシュは使徒に召されて間もなくして、十二使徒定員会会長に任命されました。1837年春、マーシュ会長は、十二使徒の一人のパーリー・P・プラット長老が、マーシュ会長の指示もなく、イングランドに伝道に出る計画を立てていたことを知りました。ミズーリにいたマーシュ会長は、伝道の計画を統一できるように、プラット長老と他の十二使徒に手紙を書いて、1837年7月24日にオハイオ州カートランドで会合を持つことを伝えました。しかし、会合の1か月前に、十二使徒定員会の他の二人の会員であるヒーバー・C・キンボール長老とオルソン・ハイド長老は、預言者ジョセフ・スミスから伝道の召しを受け取って、イングランドに向けて出発してしまいました。マーシュ会長は、十二使徒定員会の会員が自分を無視してイングランドで福音を宣べ伝えていることについて、憤りを感じたようでした。

- この状況の中で、マーシュ会長はホワイトボードに書いた感情を避けるために何ができたでしょうか。



- そのような感情に、思いや行動を支配されることにはどのような危険があるでしょうか。（このような感情は聖霊に逆らうことであり、しばしばもっと深刻な罪を犯すことになることを指摘します。）

続けて次の話を読んでもらいます。

マーシュ会長は、自分の問題を預言者ジョセフ・スミスに打ち明け、助言を求めました。その答えとして、主は教義と聖約第112章に記録されている啓示を与えられました。

1837年7月、主がこの啓示を与えられたとき、教会は不一致と対立と背教に覆われていました。高慢と貪欲によって、公然と預言者ジョセフ・スミスを非難する者や、その権能について疑問を持つ者もいました。教会員（十二使徒定員会の会員を含む）の中には、ジョセフ・スミスを大管長から解任させようとする者さえいました。

- どんな感情を持つことによって、教会員は真理に対する証をなくし、公然とジョセフ・スミスに反抗するようになったのでしょうか。

生徒に教義と聖約112：10-12, 15を読んでもらい、主がマーシュ会長と他の十二使徒に与えた「教会員が指導者に対して批判的にならないように助けてくれる」勧告の言葉を見つけてもらいます。

見つけたことを発表するように生徒たちに言います。その後、次の質問をします。

- これらの節の勧告は、教会員が指導者に対して批判的にならないようにするのにどのように役に立ちますか。（生徒が答えるとき、次の原則を理解できるように助けます。謙遜になるなら、主はわたしたちを導き、わたしたちの祈りにこたえてくださる。教会を統治する鍵を持つ指導者を支持するように主は求めておられる。生徒が15節の相互参照聖句として、教義と聖約84：35-38を調べるよう提案してもよいでしょう。十二使徒を戒めるための勧告は、十二使徒定員会会長に与えられたものであって、個人の会員には当てはまらないことを指摘してもよいでしょう。）



この課の最後にある配付資料を配ります。小さなグループに分かれて、各々のグループに、「カートランドでの背教—教会の指導者に忠実に従うことの必要性」の項と一緒に読んでもらいます。この項の最後にある質問についてグループで話し合ってもらいます。

ヒーバー・C・キンボール管長（1801-1868年）の次の言葉を提示し、話し合っ、この課のこの部分を終わってもよいでしょう。



「かつてジョセフ・スミス兄弟がノーブーで授けてくれた鍵を皆さんに授けましょう。すなわち、背教への第一歩はこの教会と王国の指導者への信頼を失うことから始まり、そのような気持ちを抱いていることが認められる人は必ず背教への道を進んでいくことが分かるでしょう。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』318）

預言者や他の教会指導者に忠実に従うことの重要性を強調するために、当時十二使徒定員会の会員であったブリガム・ヤング（1801–1877年）の次の経験を読みます。



「ブリガム・ヤング大管長はカートランドにいたときに、神殿の敷地内で預言者ジョセフ・スミスに対して陰謀をたくらんでいた背教者の一団に出会った。そのときの模様をヤング大管長はこのように述べている。『わたしは立ち上がり、分かりやすい言葉で力強くジョセフが預言者であることを告げました。わたしには彼らが預言者を気の済むまでのしり、中傷することは分かっていました。しかし、彼らは神の預言者として彼の召しを反故にすることはできません。できるのは自分たちに与えられた権利を反故にすることです。預言者と神につながる糸を自ら断ち切り、地獄に沈むのです。』」『歴代大管長の教え—ブリガム・ヤング』87

## 教義と聖約121：1–10, 16–17；122：1–9

### ミズーリ北部での反抗

生徒たちは小さいグループに分かれたまま、配付資料の第2項「ミズーリ北部での抗争—逆境によく耐え忍ぶことを学ぶ」を読んでもらいます。この項には、教会員がミズーリ北部から追放され、ジョセフ・スミスがリバティーの監獄に監禁される原因となった幾つかの行動について書かれていることを説明します。この項の最後にある質問について、グループで話し合ってもらいます。

生徒が配付資料を読み終えたら、教義と聖約121–123章には、ジョセフ・スミスがリバティーの監獄に監禁されていたとき、監禁の終わり頃に聖徒たちに宛てて書いた手紙が記録されていることを伝えます。

数人の生徒に、交代で教義と聖約121：1–6を声に出して読んでもらいます。生徒に預言者が主に尋ねた質問を探してもらいます。

- どんな質問がありましたか。

一人の生徒に教義と聖約121：7–10, 16–17；122：7–9を読んでもらいます。他の生徒たちには目で追って読んでもらい、ジョセフ・スミスの嘆願に主がこたえられたことによって、絶え間ない敵からの迫害に対して立ち向かうために、ジョセフがどのように強められたかを考えてもらいます。

生徒にこれらの節から学んだ教義と原則を話してもらいます。（以下のような答えが考えられます。現世での逆境によく堪え忍ぶなら、神は現在と永遠にわたってわたしたちを祝福してくださる。主の僕を非難する人は罪の僕である。試練のときに、救い主の贖罪に頼り、主が忠実に堪え忍ばれた模範を思い起こすことによって、わたしたちは強められる。）

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「基本的に、試練はつらいものです。苦悩や混乱を伴い、眠れぬ夜を過ごし、涙で枕をぬらすこともあります。しかし、試練が靈的に命取りになる必要はありません。わたしたちが聖約を無視したり、神の家から遠ざかったりする原因にするべきではないのです。……

猛烈な炎が鉄を鋼に変えるように、わたしたちの信仰が大変な試しに遭うときも忠実であり続けるなら、わたしたちは靈的に洗練され、強められるのです。」（「信仰の試し」『リアホナ』2012年11月号、41-42）

自分の持つ信仰に対する試練や逆境に遭うときに、神がわたしたちを強めてくださることを覚えておくために何をしてきたか、またこれから何をすることができるかについて、生徒たちに考えてもらいます。生徒たちに、試練のときに神に頼ることについての経験や考えについて分かち合ってもらう時間を取ります。

## 生徒用資料

- 教義と聖約112：10-15；121：1-10，16-17；122：1-9
- ニール・L・アンダーセン「信仰の試し」『リアホナ』2012年11月号、39-42

## 逆境のときも強さを保つ

### カートランドでの背教—教会指導者に忠実に従う必要性

1837年、オハイオ州カートランドの聖徒たちには経済的な問題がありました。聖徒たちが経済的にもっと自立するのを助けるために、ジョセフ・スミスと他の教会指導者たちは、「カートランド安全協会」と呼ばれる銀行のような会社を設立しました。この時期は経済不況が広がっていたため、合衆国中の銀行が破綻しました。「カートランド安全協会」も1837年秋に破綻しました。投資した200人の人々は、投資金額のほぼ全てを失い、ジョセフ・スミスの損失は他の誰よりも大きかったです。「カートランド安全協会」は教会から資金を受けていませんでしたが、聖徒の中には、「カートランド安全協会」を教会の銀行と見なし、教会の財政問題としてジョセフ・スミスに非難する人もいました。ジョセフ・スミスのことを墮落した預言者と呼ぶ人さえ出てきました。しかし、銀行の破綻にかかわらず、お金を失った他の多くの人たちは、信仰を持ち続け、預言者に忠実であり続けました。

多くの聖徒たちの間で、背教やあら探しの気運が広がり始めました。1838年6月までに、約200人から300人の背教者が教会を去りました。その中には、4人の使徒、モルモン書の三人の証人、大管長会の一人が含まれていました。しかし、ブリガム・ヤングのように、ほとんどの聖徒たちはこの試しの時期に信仰をもって応えました。彼らは主に強められ、自分たちの証に忠実であり続けました。この背教の時期に教会を去った人たちのうち何人かは、後に教会に戻り、再び主の教会に加わることを望みました。その中には、オリバー・カウドリ、マーティン・ハリス、ルーク・ジョンソン、フレデリック・G・ウイリアムズがいました。

このカートランドでの混乱のさなか、幾人かの背教者がジョセフ・スミスを殺害しようと企てていました。御霊により警告されて、1838年1月12日の夜の間に、ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンは逃れました。敵は数日間二人を追跡したが、

主が二人を守られました。1838年3月14日、二人は家族とともにミズーリ州ファーウェストに到着しました。

グループで次の質問について話し合います。

- わたしたちの生活の中で、逆境に遭うときにどのように対応すればよいかについて、これらの出来事からどのような原則を学べますか。教会に反対する人たちに対してどのように対応すればよいかについて、これらの出来事からどんなことが学べますか。
- 他の人たちが教会の指導者を批判するのを聞いたとしても、わたしたちは指導者に忠実であり続けるために何ができますか。
- 預言者に従ったことで、どのように祝福を受けてきましたか。

### ミズーリ北部での抗争—逆境によく耐え忍ぶことを学ぶ

1837年と1838年に、ファーウェストで不満を抱いた教会員や破門された人たちが、教会と教会の指導者に対して訴訟を起こして嫌がらせを始めました。1838年6月、シドニー・リグドンは「塩の説教」として知られる熱烈な説教を浴びせかけました。彼はマタイ5：13を用いて、次のように言いました。「もし塩の効き目がなくなったら、もはや、何の役にも立たず、ただ外に捨てられるだけである。つまり、離反者は聖徒たちの中から追放されるべきであるということである。」2週間後の7月4日の説教で、シドニー・リグドンは、「絶滅するまでの戦い」となっても自分たちを守ることを約束しました。どちらの説教も、「平和を訴えなさい」（教義と聖約105：38）という主の教えに矛盾するよう見えるにもかかわらず、出版され、末日聖徒ではない人たちに大きな警戒心を生じさせました。

この間、 Sampson・アバードという名の改宗者が、「ダイナツ」という襲撃集団を結成する仲間に加わる人たちに、秘密の誓いを立てさせました。アバードは部下たちに、神の王国を築くためだと言って、ミズーリの人たちに対して、強盗、略奪をさせました。アバードは自分の指示が大管長会からのものであると部下たちに信じ込ませました。真実は後に発覚し、アバードは破門されました。アバードの行動によって教会のイメージは大きな損失を被り、預言者がリバティーの監獄に監禁される一因となりました。

1838年10月、教会員とミズーリの民兵との間の抗争で、双方に数人の死者が出ました。抗争の誇大な報告が、ミズーリ州の知事であるリルバーン・W・ボグズ知事に届き、知事は悪名高い「撲滅令」を発しました。この命令には次のようなことが書かれています。「もしも公益のために必要であれば、モルモン教徒を敵として取り扱い、撲滅するか、本州より追放しなければならない。」（*History of the Church*, 第3巻, 175で引用）間もなく、ファーウェストは末日聖徒の5倍の数の民兵に取り囲まれました。ジョセフ・スミスと他の指導者たちは、リバティーの監獄に冬の間ずっと監禁されました。残りの聖徒たちはミズーリ州を離れることを余儀なくされました。

グループで次の質問について話し合います。

- これらの出来事から、わたしたちが逆境によく耐え忍ぶためにどんな原則を学べますか。
- 危機的状況や反対するものに遭ったとき、救い主の模範に従うことがどうして重要だと思いますか。このような救い主の模範に従わなかった聖徒たちがいたことで、ミズーリ北部ではどんなことが起きましたか。
- ある人の言葉や行いによって、他の人が教会に対して肯定的な見方を持つようになったのを見たことがありますか。

## 第16課

# 死者の贖い

### はじめに

時満ちる時代における全てのものの「回復」の一部として、主は預言者ジョセフ・スミスを通して、死者の贖いの教義を回復されました。この教義は「ここにも少し、そこにも少し」回復されました。死者の贖いの業は、生者にとっても死者にとっても救い

に不可欠です。また預言者ジョセフ・スミスはこの業に携わることの重要性を次のように教えました。「わたしたちがこの世で神から受けている最も大きな責任は、死者を捜し求めることです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』475）

### 背景となる読み物

- リチャード・G・スコット「死者を贖う喜び」『リアホナ』2012年11月号、93–95
- D・トッド・クリストファーソン「死者の贖いと、イエスへの証」『リアホナ』2001年1月号、10–13
- 「シオンの山において救う者となる」『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』第41章、469–478
- マシュー・S・マクブライド「死者のためのバプテスマに関する手紙—教義と聖約第127章、128章」啓示の背景、<https://history.lds.org/article/doctrine-and-covenants-baptisms-for-the-dead?lang=jpn>

### 教えるための提案

#### 教義と聖約137章

#### 預言者ジョセフ・スミスの日の栄えの王国に関する示現

次の歴史的背景を生徒に紹介します。

「1823年11月、ルーシー・マック・スミスとジョセフ・スミス・シニアの第1子であるアルビン・スミスが、突然重い病気にかかり、危篤に陥った。アルビンは25歳のたくましく有能な青年であり、その骨身を惜しまない働きは家族の経済的な安定に大きく貢献していた。母親はアルビンについて『息子は並外れた善良さを備えた若者であり、その高潔さと寛大さをもって、生涯のあらゆる瞬間に周囲の人々に祝福をもたらした』と語っている。……

死が迫っていることを知ったアルビンは、弟たちと妹たちを呼び寄せて、一人一人に言葉をかけた。ジョセフは間もなく18歳になろうとしており、まだ金版を受け取っていない。アルビンはジョセフにこう言った。『善良であって、記録を手に入れるためにできる限りのことをしてほしい。与えられる指示に忠実であり、全ての戒めを守りなさい。……』

アルビンが世を去ったとき、家族はニューヨーク州パルマイラの長老派の牧師に葬儀の司式を依頼した。アルビンはその牧師の信徒ではなかったため、牧師は説教の中で、アルビンは救いを得ることができないと断言した。ジョセフの弟ウイリアム・スミスは、次のように回想している。『〔牧師は〕……〔アルビンは〕教会員でなかったので地獄に行ったと、とても強い調子で言いました。しかしア



ルビンは善良な人であり、父は牧師のその言葉を好ましく思いませんでした。』」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』401）

- アルビンが亡くなった当時、死者の贖いについての教義がまだ回復されていなかったため、スミス家が心配したことはアルビンの救いについてだったでしょう。

この課では、主が死者の贖いについての教義をここにも少し、そこにも少し回復されたことを学ぶことを生徒に伝えます。聖徒に教義と聖約137章の前書きを黙読してもらいます。この啓示は、カートランド神殿の奉獻の数か月前に与えられたことを伝えます。（2013年版〔英語〕の教義と聖約では、137章の前書きに若干の変更が加えられたことを指摘してもよいでしょう。）

一人の生徒に、教義と聖約137：1–6を声に出して読んでもらい、他の生徒には目で追ってもらいます。次の質問について話し合います。

- ジョセフ・スミスは日の栄えの王国で誰を見ましたか。（生徒たちはこの啓示が与えられたときに、ジョセフ・スミスの両親が生きていたかどうかに関心を持つかもしれません。実際は、この啓示が与えられたとき、ジョセフの父親はジョセフとともに部屋にいました。）
- 6節によれば、アルビンが日の栄えの王国にいることにジョセフはなぜ驚いたのでしょうか。（この啓示が与えられたのは、ジョセフが死者のための贖いについての教義を知る数年前のことであることを指摘してもよいでしょう。）

一人の生徒に、教義と聖約137：7–9を声に出して読んでもらいます。他の生徒に目で追ってもらい、神がその子供たちを救う計画を末日聖徒が理解できるように助けてくれた教義を探してもらいます。

- アルビンのようにイエス・キリストの福音を知る機会も、バプテスマの儀式を受ける機会もなく亡くなった人のために、神は御自分の計画の中でどんなことを準備しておられるでしょうか。（生徒たちが考えを分かち合っているとき、以下の教義を確認できるように助けます。福音を知らずに死んだ人で、もし福音を聞いていたら受け入れたであろう人は皆、日の栄えの王国を受け継ぐことになる。）
- この教義は、天父の性質とその子供たちへの愛について、どのようなことを教えていますか。
- この教義から慰めを受けたのはいつですか。あなたが伝道中に教えた人など、この教義を理解することで慰めを得られた人にいつ出会いましたか。

## 教義と聖約124：30–34；127：5–8；128：1–18；138：28–37

### 死者のための身代わりの儀式

預言者ジョセフ・スミスは、1840年8月15日シーモア・ブランソンの葬儀で初めて死者のためのバプテスマの教義について話しました。それは、聖徒たちがイリノイ州ノーブーに定着して間もなくのことでした。教会員はこの教義が啓示されたことを知ったとき、驚き、胸が高鳴りました。この教義が明らかにさ



れてから数か月間、聖徒たちはミシシッピ川の近くで亡くなった愛する人たちの身代わりのバプテスマを行いました。（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』403；『時満ちる時代の教会歴史生徒用資料』第2版〔教会教育システム手引き〕参照）

- この説教は、天父がその子供たちをお救いになる計画への理解を深めるためにどのような助けとなりましたか。（生徒たちが答えるとき、次の真理をホワイトボードに書きます。バプテスマの救いの儀式は、生きている間に福音を受け入れなかった人たちに施すことができる。）
- もしこの時代に預言者ジョセフ・スミスが死者のためのバプテスマについて話すのを初めて聞いたなら、あなたはどのように反応すると思いますか。

1841年10月イリノイ州ノーブーにおける総大会で、預言者ジョセフ・スミスが次のように宣言したことを説明します。「主は、主の家でバプテスマの儀式が行えるようになるまで、バプテスマの儀式を行わないように望んでおられます。」（教義と聖約124：29–34参照）1841年11月8日、当時十二使徒定員会会長のブリガム・ヤングが、未完成のノーブー神殿の地下に置かれたバプテスマフォントを奉献し、教会員は死者のための身代わりのバプテスマの儀式を執行し始めました。

生徒に教義と聖約127章の前書きを読んでもらいます。127章は預言者ジョセフ・スミスから聖徒たちへ送られた手紙であること、またその手紙には、死者のために施したバプテスマの儀式について記録をつけるようにとの指示が与えられていました。約1週間後、ジョセフは死者のためのバプテスマについての手紙を再び書き送りました。それは教義と聖約128章に記録されています。

ホワイトボードに次の聖句の参照箇所を書きます。（かっこ内の言葉を書かないように注意します。それらは教師のための資料です。）

**教義と聖約127：5–7；128：8**（儀式が神権によって執行され、適切に記録がつけられるなら、儀式は地上でも天でもつながれる。）

**教義と聖約128：6–7**（身代わりの儀式の記録は、死者の裁きのために開かれる数々の書物のうちの一つである。）

**教義と聖約128：15, 17–18**（亡くなった先祖のための救いはわたしたちの救いに欠かせない。）

ホワイトボードに書いた各々の聖句を読んでもらいます。死者の贖いのための神の計画について理解を深める教義を探してもらいます。ボードに書いた各々の聖句が教えている、死者の贖いについての教義を言ってもらいます。何人かの生徒に、ホワイトボードの聖句の横にその聖句が教えている教義を書いてもらいます。教義と聖約127章と128章に記録されている啓示は、福音の回復においてよく見られるパターンを表しています。つまり、主は、一度に全てではなく、ここにも少し、そこにも少し啓示を与えられます。

これらの啓示が与えられた何年も後、主は死者の贖いについての計画をさらに理解できるようにしてくださいました。1918年、ジョセフ・F・スミス大管長は、死者の贖いに関する啓示を受けました。この啓示は、1918年初めに大管長が自分の息子であるハイラム・M・スミスが亡くなったことを悼んでいたときに受けたものです。そのとき、ハイラム・M・スミスは十二使徒として働いていました。

生徒に教義と聖約138：28－37を読んでもらい、死者の贖いに関して、ジョセフ・F・スミス大管長に啓示された真理を見つけてもらいます。

- これらの節で教えられている死者の贖いについての真理は何ですか。（生徒が見つけた真理を分かち合っている間、生徒が次の真理を理解できるようにします。イエス・キリストの指示の下、義にかなった使者たちが霊界の獄にいる人たちに福音を教えている。）
- これらの真理は、アルビン・スミスのように福音の儀式を受けることなく亡くなった人が日の栄えの王国の受け継ぎを得ることを理解するうえで、どのような助けとなっているのでしょうか。

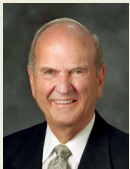
十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の次の言葉を、声に出して読みます。



「キリストの回復された教会の会員であるわたしたちは、自分の先祖を探し出し、先祖のために福音の救いの儀式を行うという、聖約を伴う責任を負っています。『わたしたちをほかにしては彼らが全うされることはな[い]。』（ヘブル11：40；『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』475も参照）そして、『わたしたちの死者なしには、わたしたちも完全な者とされることはないのです。』（教義と聖約128：15）」 「子孫の心は向かうであろう」『リアホナ』2011年11月号，25)

- なぜ死者の贖いの業をわたしたちの生活で優先事項とすべきなのでしょう
- 自分の亡くなった親族のために救いの儀式を施すことは、死者と自分たちが完全になるためにどのような助けになるのでしょうか。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が述べた次の言葉を声に出して読みます。



「神殿・家族歴史活動には幕のかなたの人々に祝福をもたらす力がありますが、生者にも同じ祝福をもたらす力があります。この活動に携わる人々を精錬する力です。彼らは文字どおり、先祖と家族を高く上げる助けをしているのです。」（「先祖と愛によって結ばれる」『リアホナ』2010年5月号，93)

- 死者の贖いに関する教義は、イエス・キリストの贖いが無限に行き渡ることをどのように証しているのでしょうか。

十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老が述べた次の言葉を声に出して読みます。



「主は預言者ジョセフ・スミスに、バプテスマの神聖な儀式に関する壮大な教義を啓示されました。他のキリスト教会諸派において、人の行く末というものは、死をもって絶対的かつ永遠に決まると教えていたときに、この光がもたらされたのです。彼らは、バプテスマを受けた者には終わりのない喜びが報いとして与えられるが、それ以外の人たちは贖われる望みがないまま永遠の苦痛を受けると教えていました。……

この栄光に満ちた教義は、イエス・キリストの贖罪が完全であることを示すもう一つの証です。イエスは、悔い改めた人は誰でも救いにあずかることができるようにしてくださいました。主は贖罪によって死に打ち勝ち、ふさわしい死者が身代わりによって全ての救いの儀式を受けられるようにくださったのです。」（「死者を贖う喜び」『リアホナ』2012年11月号，93）

- どのような経験が、死者の贖いの業に携わることの大切さについて、あなたに教えてくれましたか。
- 死者の贖いの業に携わることによって、あなたの証はどのように増し加えられましたか。（数人の生徒に、答えを発表してもらいます。）

家族歴史の探求や、神殿の身代わりの儀式など、素晴らしい死者の贖いの業にどのように携わることができるか考えるように生徒たちに勧めます。現代の神殿の業を通して、天父と全ての子供たちが救いに必要な全ての儀式にあずかることができるという証を述べます。

## 生徒用資料

- 教義と聖約124：30–41；127：1–9；128：1–18；137：1–10；138：28–37
- リチャード・G・スコット「死者を贖う喜び」『リアホナ』2012年11月号，93–95

## 第17課

# ノーブーでの福音の教え

### はじめに

聖徒がイリノイ州ノーブーで過ごした最初の数年間は平和で豊かな生活でした。このとき預言者ジョセフ・スミスは、啓示を受け、末日聖徒イエス・キリスト教会に特有の幾つかの教義を教え、明らかにしました。これらの啓示には、神殿の目的、天父のよ

うになるというわたしたちの神聖な可能性、信仰簡条の中の幾つかの教義が含まれます。この課では、生徒たちが預言者ジョセフ・スミスの偉大さとわたしたちの神聖な可能性について理解するのを助けま

### 背景となる読み物

- 「永遠の父なる神」『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』第2章, 37–44
- 「ノーブーにおける教義上の進展」『時満ちる時代の教会歴史生徒用資料』第20章, 第2版（教会教育システム手引き）251–262
- 「神のようになる」福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics/becoming-like-god?lang=jpn>

### 教えるための提案

#### 信仰簡条

#### 福音の教義についての重要な教え

イリノイ州ノーブーにおいて、ジョセフ・スミスは、モルモンについての情報を要請してきた『シカゴ・デモクラット』紙の編集者ジョン・ウェントワース氏宛てに書簡を書きました。この書簡の中で、預言者は末日聖徒の歴史を述べるとともに、後に「信仰簡条」として知られるようになる教義の簡潔な簡条書きを記しました。（書簡の全文は『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』437–445に載せられています。）

十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「〔信仰簡条〕は教会における最も重要で、確かに最も簡明な教義の声明の一つです。イエス・キリストの福音の研究に方向づけを与えるガイドとしてこれらを用いるならば、回復された真理についての証を世に述べる備えができることでしょう。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として大切にしている基本的な心情を易しく、率直に、心を込めて宣言できるようになるでしょう。」「信仰簡条に含まれている教義と原則」『リアホナ』2013年11月号, 48

- ペリー長老はどのようなことを教えているでしょうか。（生徒たちがペリー長老の教えについて話しているときに、次の真理が理解できるように助けます。信仰箇条が教えている教義を学ぶなら、他の人にわたしたちの信条を述べるための備えがもっとよくなるようになる。）
- 信仰箇条を使って、他の人が福音を理解するのを助けたことがありますか。

生徒たちに信仰箇条を静かに読んでもらいます。時間を十分に取ってから、次の質問について話し合います。

- 信仰箇条のどの箇条が特に好きですか。それはなぜですか。
- 信仰箇条の中の教義はあなたをどのように導き、ジョセフ・スミスが神の預言者であったという証を強める助けとなっていますか。

### 教義と聖約124：25－28, 37－42

#### 神殿の儀式の回復

聖徒たちがイリノイ州ノーブーに定着した後、預言者ジョセフ・スミスは神殿を建てるように命じられました。オハイオ州カートランドで神殿が建てられたときと同様に、神殿建設には末日聖徒の多大な犠牲が必要でした。

数人の生徒に、教義と聖約124：25－28, 37－42を順番に声に出して読んでもらいます。他の生徒たちに目で追って読んでもらい、聖徒たちにとって神殿が必要であった理由についての主の教えを見つけてもらいます。これらの節を分析する前に、モーセとその民によって建てられた天幕について話します。モーセの民は死者のためのバプテスマは行っていませんでした。救い主がお亡くなりになった後に霊界で教えを施すまで、死者のための業はなされていませんでした。その後、生徒に質問します。

- これらの節の主の教えによれば、ノーブーの聖徒たちにとってなぜ神殿が必要だったのでしょうか。（生徒が答えている間、次の教義を強調します。幾つかの救いの儀式は、神殿で施される限り主に受け入れられる。）

カートランド神殿は、おもに権能の鍵の回復のために建てられたことを生徒に伝えます（ジョセフ・フィールディング・スミス、**Doctrines of Salvation**, ブルース・R・マッコンキー編、全3巻〔1954－1956年〕第2巻、242）。ノーブー神殿では、これらの神権の鍵が、生者と、死者の身代わりのためのバプテスマといった救いの儀式のために行使されました。ジョセフ・スミスは亡くなる前の2年間、少数の忠実な会員にエンダウメントを授けました。ジョセフはまた、夫婦が永遠にわたって結ばれる結び固めの儀式について教えました。

- 教義と聖約124：39には、どんな神殿の儀式について述べられていますか。

一人の生徒に、以下の文章を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちに神殿の儀式が天父の計画でなぜ重要なのかについて耳を傾けるように勧めます。

「主の〔ノーブーに神殿を建てるという〕命令に応じて、預言者と聖徒たちは可能な限り速やかに行動を起こし、主の宮の建設に取りかかった。しかし預言者は、建設には何年も要することを理解していた。また同時に、聖徒たちが神殿の

全ての祝福を必要としていることも承知していた。そこで、1842年5月4日、神殿は完成していなかったが、ジョセフ・スミスは少数の忠実な兄弟たちにエンダウメントを執行した。

兄弟たちは、預言者の赤れんが造りの店の2階にある大きな部屋に集まった。……

預言者の記録には次のように記されている。『店の2階で一日を過ごしました。……スプリングフィールドのジェームズ・アダムズ將軍、祝福師のハイラム・スミス、ニューエル・K・ホイットニービショップとジョージ・ミラービショップ、そしてブリガム・ヤング会長、ヒーバー・C・キンボール長老、ウィラード・リチャーズ長老とともに評議会を開き、彼らに神権の原則と位を教え、洗いと油注ぎとエンダウメントを行い、アロン神権に属する鍵からメルキゼデク神権の最も高い位に属する鍵を授けました。また、日の老いたる者に関する位と、人が長子の教会のために用意されている祝福の全てを手にし、上って行って永遠の世でエロヒムの前に住むことを可能にする、全ての計画と原則を示しました。古代の物事の秩序が再び地上に設けられたのは、この評議会においてでした。』 『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』 413-414

生徒に質問します。

- 神殿の儀式が回復されることはなぜ必要だったのでしょうか。

生徒が答えるとき、次の十二使徒定員会ロバート・D・ヘイルズ長老の言葉を読んで、よく理解できるように助けます。



「神殿の第一の目的は日の栄えの王国における昇栄に必要な儀式を行うことです。神殿の儀式はわたしたちを救い主へと導いてくれ、イエス・キリストの贖罪を通してもたらされる祝福を与えてくれます。」（「神殿の祝福」『リアホナ』2009年10月号、14）

- あなたの生活は神殿の儀式の回復によってどのような祝福を受けてきましたか。

来週1週間どのようにすれば主の宮での礼拝を生活の中でもっと優先することができるかについてよく考えるように生徒に勧めます。

**詩篇82：6；マタイ5：48；ヨハネ10：32-34；ローマ8：16-17；2ペテロ1：3-4；1ヨハネ3：2-3；教義と聖約93：11-20；132：20**

### わたしたちの神聖な可能性

聖書には古代の預言者がわたしたちの神聖な可能性について書いた言葉が記録されていることを説明します。次の参照聖句をホワイトボードに書き、生徒にそのうちの幾つかを読んでもらい、永遠の可能性について教えていることを探してもらいます。詩篇82：6；マタイ5：48；ヨハネ10：32-34；ローマ8：16-17；2ペテロ1：3-4；1ヨハネ3：2-3これらの聖句を研究する間、相互参照したり、関連づけたりすることを生徒に勧めます。

十分な時間を取ってから、次の質問をします。



- わたしたちの可能性についてこれらの聖句からどんなことが学べるでしょうか。（生徒たちの表現のしかたが違って、次の教義を理解するべきである。天父の子供として、わたしたちは天父のようになる可能性がある。）
- わたしたちの神聖な可能性について説明しているのは、これらの聖句のどの語句ですか。

わたしたちの神聖な可能性について、現代の聖典でも教えられていることを伝えます。一人の生徒に次の聖句を声に出して読んでもらいます。教義と聖約 93：11-13, 19-20；教義と聖約132：20生徒が次の教義を理解できるように助けます。救い主のように、わたしたちは恵みに恵みを受けて成長し、御父の全てを受けることができるようになる。



1844年4月の総大会におけるジョセフ・スミスの最も重要な説教の一つについて話します。この説教の中で、預言者はその頃亡くなったキング・フォレット兄弟について思いをはせました。この説教は後に「キング・フォレット説教」として知られるようになりました。配付資料「キング・フォレット説教からの抜粋」を全ての生徒に配ります。この説教の抜粋を読んで、なぜわたしたちが神の性質について理解しようと努めなければならないかを説明している語句に下線を引いてもらいます。

### 「キング・フォレット説教からの抜粋」

預言者ジョセフ・スミス（1805-1844年）は次のように教えています。



「もし、人が食べ、飲み、眠ることの他に何も学ばず、神の計画について何も理解していないならば、それは野獣と同じです。野獣は食べ、飲み、眠ることだけを考えていて、神については何も知りません。しかし、もしわたしたちが全能者の靈感によって理解できなければ、野獣と同等の知識しか持っていないことになるのです。神の性質を理解しなければ、人は自分自身を理解することができません。……

わたしが第1に目指しているのは、唯一の、知恵あるまことの神の性質と、神がどのような御方であられるかを知ることです。……

神御自身、かつては今のわたしたちのようであられました。そして今は昇栄した御方であって、かなたの天で御座に着いておられます！これは大いなる奥義です。もし今日幕が裂けて、この世界を軌道の上に保ち、あらゆる世界と万物を御自身の力によって支えておられる大いなる神が御自身を現されたならば、わたしは申し上げますが、もし今日皆さんが神を目にしたならば、皆さんは神が人に似た形をしておられること、すなわち、体、形、姿が全て皆さん自身のようであられることを知るでしょう。なぜなら、アダムは神の姿、形に、神にかたどって創造されたのであり、神から教えを受け、人が人と語り、親しく交わるように、神とともに歩き、語り、言葉を交わしたのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』40）

「ですから、これが永遠の命です。すなわち、唯一の、知恵あるまことの神を知ることです。そして皆さんはどのようにして自ら神々となり、王とな

り、神に仕える祭司となるか学ばなければなりません。……低い階級から別の階級へ、小さな能力から大きな能力へ、恵みから恵みへ、高みから高みへと進んで行き、ついには死者の復活に達し、永遠の燃える火の中に住み、永遠の力をもって座に着いている人々のように、栄光のうちに座に着くことができるようになるのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』221）

次の質問をして、生徒がこれらの教えを分析できるように助けます。

- 神の特質や性質について、また、天の御父である神とわたしたちの関係について学ぶことは、なぜ重要なのでしょうか。
- 天父のようになる過程はどのようなものですか。

生徒たちが自分たちの神聖な可能性をより深く理解するために、ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910–2008年）の次の言葉を見せます。一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「福音の全ての目的は、わたしたちがより高いレベルまで前進し、向上し、ついには神のようになることです。預言者ジョセフ・スミスはキング・フォレット説教の中で、この偉大な可能性について明確に述べています〔History of the Church, 第6巻, 302–317参照〕。後にロレンゾ・スノー大管長も強調しています。つまり、神が今日あられるごとく、人もいつの日か神のごとくになるという雄大で比類ない教義です〔The Teachings of Lorenzo Snow, クライド・J・ウィリアムズ編（1984年）, 1参照〕。

教会に敵対する人々は、わたしたちがこの教えを信じていることを批判してきました。それに対するわたしたちの答えは次のとおりです。つまり、この高尚な教えが永遠の父なる神の偉大さを少しも損なうわけではありません。神は全能の御方です。また、世の創造主であり統治者であります。神は全てのものの中で最も偉大であり、その事実はいつのときでも変わりません。地上の父親がその息子や娘たちが人生で成功してほしいと願っているように、天の御父は子供たちが御自分のようになり、神のような強さと知恵をもって御自分の横に輝き立つことを望んでおられます。」（「ボールを落とさないように」『リアホナ』1995年1月号, 55–56）

この教えを理解するために、生徒に次の質問をします。

- 天父とわたしたちの神聖な可能性について知っていることによって、わたしたちの生活にはどのような違いが生じるのでしょうか。
- 今日話合ったこと（信仰箇条、神殿の儀式、わたしたちの神聖な可能性）について考えるとき、これらの真理を理解することによって、預言者ジョセフ・スミスへの感謝の気持ちはどのように増すのでしょうか。これらの真理を理解することは、神の性質と、天の御父である神とわたしたちの

関係を理解するのにどのように役に立つでしょうか。（生徒が感じたことを書く時間を取ります。）

あまりにも個人的なことでなければ、書いたことについて少し証したり、分かち合ったりしてもらいます。この課で教えていることやジョセフ・スミスが偉大な啓示者であることについての証を述べて、レッスンを終わります。

### 生徒用資料

- 詩篇82：6；マタイ5：48；ヨハネ10：32－34；ローマ8：16－17；2ペテロ1：3－4；1ヨハネ3：2－3；教義と聖約93：11－22；124：25－28, 37－42；132：20－24
- 「永遠の父なる神」『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』第2章, 37－44

## 第18課

# 扶助協会と教会

### はじめに

「扶助協会は、女性たちが信仰を深め、義になつた人格を築き、家族と家庭を強め、困っている人に手を差し伸べるのを助けることにより、永遠の命の祝福に備えられるように〔します〕。」（「扶助協会の目的」lds.org/callings/relief-society/

purposes) この課では生徒が扶助協会の設立とその目的について理解を深めることができるように助けます。女性には神の王国を築くために、女性特有の機会と責任があることも学びます。

### 背景となる読み物

- ダリン・H・オックス「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014年5月号, 49–52
- M・ラッセル・バラード「男性と女性と神権の力」『リアホナ』2014年9月号, 32–37
- ジュリー・B・ベック「扶助協会に関する預言者のビジョン—信仰, 家族, 扶助」『リアホナ』2012年5月号, 83–85

### 教えるための提案

#### 教義と聖約第25章

#### 主のエマ・スミスに対する指示

スペンサー・W・キンボール大管長（1895–1985年）の次の声明を掲示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「終わりの時に教会に大きな発展がもたらされようとしています。その多くは、世界中にいる善良な女性たち……が大勢教会に引き寄せられることが理由となって起きるでしょう。これがどの程度の規模になるかは、教会の女性たちがどの程度まで義を反映した生活を送り、自分をしっかりと表現できるか、また、どの程度まで世の中の女性と良い意味で区別され、異なって見られるかによって決まるでしょう。」（『歴代大管長の教え—スペンサー・W・キンボール』223–224）

- この言葉について考えるとき、どのような思いを持ちますか。
- 義になつた生活して幸福であることの良い模範となっている女性を知っていますか。彼女たちを知る人たちの生活とどのように違う生活をしているのでしょうか。

この課では、扶助協会が回復されたイエス・キリストの教会の天父の娘や息子たちに祝福をもたらす方法を中心に学ぶことを告げます。

教義と聖約25章を開き、章の前書きを見て、この啓示の中で主が話しかけておられる人見つけてもらいます。それから3節を声に出して読みます。主の目から

見ると、エマ・スミスは「選ばれた婦人」であったことを説明します。ノーブーでの最初の女性の扶助協会の集会で、ジョセフ・スミスは、「選ばれたとはある業のために選ばれたという意味である」ことを説明しました。ジョセフはまた、エマ・スミスに与えられた啓示は、「エマ・スミス〔扶助〕協会の会長に選ばれたことによって成就した」と述べました（**History of the Church**, 第4巻, 552–553で引用）。クラスを半分に分け、一方に教義と聖約25：4–9を読んでもらい、残りの半分には教義と聖約25：10–15を読んでもらいます。主がエマ・スミスに与えられた責任や召しを見つけてもらいます。これらの責任の一覧を作ったり、聖典に印をつけてもらうとよいでしょう。十分に時間を取った後、数人の生徒に見つけたことを発表してもらいます。

- これらの責任を果たすことで、教会の発展にどのように貢献できるでしょうか。
- エマ・スミスが主の戒めに従うなら、主はエマにどんな祝福を約束されたのでしょうか。

一人の生徒に、教義と聖約25：16を声に出して読んでもらいます。

- これはエマ・スミスに与えられた啓示ですが、エマに宛てた主の言葉はどんなふうにならわたくしに当てはめることができるでしょうか。（この啓示の中で教えられている従順や他の福音の原則は、全ての人に当てはめることができます。〔注—聖句を自分自身の経験に当てはめることは、大切な聖典研究の技術です。この技術を用いることによって、自分たちの経験と聖文の中に出てくる人たちの経験が類似しているところに気づく助けとなります。〕）

聖徒たちがこの質問に対する答えを分かち合うとき、次の真理を理解できるように助けます。もし忠実に戒めを守り、主から与えられた責任を果たすならば、わたしたちは義の冠を受ける。この真理についてのあなたの証を述べるとよいでしょう。

### 扶助協会は回復されたイエス・キリスト教会の重要な位置をしめる

主は教会を組織するに当たって、ここにも少し、そこにも少しと啓示をお与えになりました。この過程の一部として、主はエマ・スミスに大変重要な召しをお与えになりました。一人の生徒に次の扶助協会が組織されたときの短い話を読んでもらいます。生徒に、預言者ジョセフ・スミスの扶助協会に対するビジョンが女性の初期のビジョンをどのように膨らませたかについて耳を傾けるように言います。

末日聖徒の女性たちは、ノーブーで教会の中に自分たちの組織を恵みとして与えられました。その発端は、サラ・グレインジャー・キンボールの指導の下、何人かの女性たちが、神殿の建設のために働く男性のために行ったシャツ作りでした。女性たちは正式に組織を作ることを決意し、エライザ・R・スノーにその規約を起草する責任を依頼しました。相談を受けた預言者ジョセフ・スミスは、この規約はすばらしいが、もっと良い方法で組織することを提案しました。1842年3月17日、預言者とジョン・テーラーとウィラード・リチャーズの指示の下、20人の女性が「赤れんが造りの店」の2階に集まり、そこで、預言者ノーブー女性扶助協会を組織しました。エマ・スミスがこの組織の会長に選ばれ、彼女を「選ばれた婦人」と述べた啓示が成就しました（教義と聖約25：

3)。預言者は後に、この組織の目的は、「貧しい人を助け」、「人を救う」ことだと述べました。（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』452）

1842年4月28日、預言者は再び姉妹たちと集会を持ちました。預言者は、扶助協会は神権の秩序によって指示を受けることを述べ、それから次のように宣言しました。「わたしは今、神の名によって皆さんのために鍵を回します。これから後、この扶助協会には喜びがあり、知識と英知が注がれるでしょう。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』451）

生徒たちに、少し時間を取って [josephsmithpapers.org/paperSummary/Nauvoo-relief-society-minute-book](http://josephsmithpapers.org/paperSummary/Nauvoo-relief-society-minute-book)にある「初期の扶助協会の集会」を読むように指示するとよいでしょう。

- 扶助協会の可能性についての預言者のビジョンは、サラ・キンボールの原案をどのように膨らませたものでしたか。
- 預言者ジョセフ・スミスが述べた「わたしは今、神の名によって皆さんのために鍵を回します」とはどういう意味だと思いますか。（扶助協会は神権の鍵を持つ者の神権指示の下に組織されました。）

元中央扶助協会会長のザイナ・D・H・ヤング姉妹（1821–1901年）の扶助協会の目的についての次の言葉を提示して、3人の生徒たちに読んでもらいます。他の生徒たちに目で追って読んでもらい、この言葉は扶助協会の目的についてどんなことを教えているか考えてもらいます。



「扶助協会は約半世紀前にジョセフ・スミスによって組織されました。聖なる神権の規範に倣って、神権指導者の指示の下、貧しい人や困っている人に物質的な祝福を与え、弱った人を励まし、過ちを犯している人を正し、また、女性が同情心や慈愛をさらに伸ばし、またそれらを使って、人類家族の贖いの業においてさらによいことをなせる霊的な力や強さを得る機会を持つことができるようにするためです。」（ザイナ・D・H・ヤング, “First General Conference of the Relief Society,” *Woman’s Exponent*, 1889年4月15日, 172）



Busath.com

「預言者ジョセフ・スミスは、扶助協会の目的を定義し、……姉妹たちに自らの目的を教ええました。扶助協会は今日も預言者、聖見者、啓示者によって導かれている組織です。」（ジュリー・B・ベック「扶助協会—聖なる業」『リアホナ』2009年11月号, 110）

「主の預言者たちが長老や大祭司に自らの目的と義務を絶えず教えてきたように、預言者は扶助協会の姉妹たちにもビジョンを伝えてきました。預言者の勧告によれば、扶助協会の目的は明らかに、信仰と個人の義を増し加える、家族と家庭を強める、困っている人々を見つけ出し、助けることです。信仰、家族、扶助というこの3つの簡潔な言葉が教会の姉妹たちに対する預言者のビジョンを表すようになりました。」（ジュリー・B・ベック「扶助協会に関する預言者のビジョン—信仰、家族、扶助」『リアホナ』2012年5月号, 83）



- 扶助協会の目的は教会全体にどのような祝福をもたらすでしょうか。（生徒たちは次の真理を理解します。扶助協会は信仰と個人の義を増し加え、家族と家庭を強め、困っている人を見つけ出して助けることによって、慰めを与えることである。女性たちがこれらの目的を達成するときに教会全体に祝福をもたらします。）
- 扶助協会がその目的をどのように達成するのを見てきましたか。

次の言葉を提示し、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。

「預言者ジョセフ・スミスは次のように宣言しました。『女性たちがこのように組織されるまでは、教会は決して完全に組織されていませんでした。』〔『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』451〕……

ジョセフ・スミスだけでなく、末日のその他の預言者も扶助協会が組織されたのは御霊に導かれた回復の一部であり、これによって教会の女性は互いに仕え合い、教会全体に祝福をもたらすために宗教上の職に召されていると証しています。第6代大管長であるジョセフ・F・スミス大管長はこう語りました。『この組織は女性と男性に救いをもたらすために、神によって作られ、神によって承認され、神によって組織され、神によって聖任されました。』〔『歴代大管長の教え—ジョセフ・F・スミス』184〕」（『わたしの王国の娘—扶助協会の歴史と業』7）

- この言葉は、扶助協会が福音の回復においてどのような役割を果たしていると教えていますか。（生徒が答えているときに、表現が違っていても、生徒は次の真理を理解するべきです。扶助協会はイエス・キリストの教会の回復の中で神から靈感を受けた部分である。この原則をホワイトボードに書きます。）
- 扶助協会の組織が回復の一部であることを知ることで、あなたの生活にどのような違いをもたらされるでしょうか。
- 女性が教会における召しに携わることは、教会が完全に組織されることについてどのような助けとなるでしょうか。

### 女性と神権

女性が神権の職に聖任されないことに疑問を持つ人たちがいることを伝えま。女性が神権の職に召されない理由は分からないが、女性は教会の召しにおいても、家庭においても神権に携わっていることをわたしたちは知っていることを強調します。



十二使徒定員会ダリン・H・オクス長老の次の言葉の資料を各々の生徒に配付し、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。女性が神権の権能をどのように行使しているか説明するように言います。

### 女性と神権

十二使徒定員会のダリン・H・オクス長老は次のように述べています。



「当時十二使徒定員会会長であったジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、次のように述べています。『姉妹たちは神権が与えられておらず、神権が姉妹たちに授けられていないとはいえ、主が姉妹たちに権能を与えておられないという意味ではありません。……わたしたちの救いに関連があつて絶対に必要な特定の事柄を教会内で行うために、男性あるいは、姉妹に与えられている権能があります。姉妹たちが主の宮で行う業などがそれです。彼女たちには幾つかの大いなるすばらしい事柄を行う権能が与えられています。それは主にとって神聖であり、神権を持っている男性によって与えられる祝福と同様に完全に拘束力を持っています。』〔‘Relief Society—An Aid to the Priesthood,’ Relief Society Magazine, 1959年1月号, 4〕

その重要な話の中で、スミス大管長は、女性に権能が与えられていると繰り返し語り語っています。女性たちにこう語っています。『皆さんは権能をもって語ることができます。主が皆さんに権能を与えられたからです。』またこうも語っています。扶助協会には『たくさんの事柄を行う力と権能が与えられています。姉妹たちが行う業は神の権能によって行われます。』もちろん、神殿でも、あるいはワードや支部でも、女性や男性によって行われる教会の業は、神権の鍵を持っている人々の指示の下に行われます。扶助協会について語りながら、スミス大管長は次のように説明しています。こうして『〔主は〕この偉大な組織をお与えになりました。それにより、ワードのビショップの指示の下で奉仕する力を受け、……人々の霊的および物質的必要に心を配るためです。』〔‘Relief Society—An Aid to the Priesthood,’ 4–5〕 ……

わたしたちは普通、教会の召しにおいて女性は神権の権能を持っているとは言いません。では、それは何の権能と言えるのでしょうか。女性は—若くても年を取っていても—専任宣教師として福音を宣べ伝えるように任命されるとき、神権の働きをなす神権の権能が与えられるのです。女性が神権の鍵を持っている人の指示の下で教会の組織の中で役員や教師として務めを果たすように任命されるときも同様です。神権の鍵を持っている人から受ける職や召しにおいて働く人は誰でも、割り当てられた義務を果たす際に神権の権能を行使するのです。」（「神権の鍵と権能」『リアホナ』2014年5月号, 50–51）

- オークス長老の言葉から、教会での女性の役割や責任について、どんな真理を学べるでしょうか。（答えている間、生徒たちは次の真理を理解すべきです。女性は教会で奉仕するように召しを受けるとき、その責任を果たすための神権の権能が授けられる。）

クラスで話し合った真理について、生徒の理解と感じたことを深めるために、ペアになって次の質問について話し合ってもらいます。

- 女性が貢献していることが本当に重要であることを表すために、教会の女性について語る内容をどのように改善できるでしょうか。

主の王国の弟子としての女性の影響力や女性が行う業について思ったことを分かち合ってもらいます。レッスンで感じたことに基づいて、特に日常生活にお

いて扶助協会の重要性を高めることによって、行動するように生徒たちを励まします。

### 生徒用資料

- 教義と聖約25章
- ジュリー・B・ベック「扶助協会に関する預言者のビジョン—信仰，家族，扶助」『リアホナ』2012年5月号，83－85

## 第19課

# 永遠の結婚と家族の教義

### はじめに

イエス・キリストの福音は、結婚と家族は神により定められているという教義を強調しています。預言者ジョセフ・スミスは、結婚した夫婦は復活後も夫妻であり続けることができると教えています。主からの啓示は、昇栄を受けるには「結婚の新しくかつ

永遠の聖約」（教義と聖約131：2）が必要であることを明らかにしています。この課では、永遠に続く結婚のために、夫婦は神権の鍵を持った人から結び固められ、義にかなった生活をしなければならないことを学びます。

### 背景となる読み物

- ラッセル・M・ネルソン「日の栄えの結婚」『リアホナ』2008年11月号，92-95
- デビッド・A・ベドナー「結婚—神の永遠の計画に不可欠なもの」『リアホナ』2006年6月号，50-55
- ジョシュア・J・パーキー，“Why Temple Marriage?” **New Era**, 2013年8月号，30-32

### 教えるための提案

#### 教義と聖約49：15-17；131：1-4

#### 「結婚の新しくかつ永遠の聖約」

注—この課を教えるときは、家庭生活でつらい思いをしていたり、結婚や子供を持つことに関して苦しみや悲しみを経験している人たちに配慮します。レッスンを教える準備をするとき、これらの生徒たちにとって必要なことを考えます。

1831年オハイオ州カートランドにて、リーマン・コプリーという人が教会に加入したことを生徒に伝えます。キリスト再出現信者連合会の信者は、その独特の礼拝方法のために一般的に「シェーカー派」と呼ばれていました。歌ったり、踊ったり、音楽に合わせて手をたたきながら体を揺らしていたためです。リーマン・コプリーは福音を信じていましたが、シェーカー派の教えの幾つかも信じていました。彼はジョセフ・スミスを訪問し、その訪問の結果、1831年5月7日に主は現在教義と聖約49章として知られている啓示をお与えになりました。（教義と聖約の前書きでは、日付が1831年3月となっていますが、歴史家は最近、より正確な日付が1831年5月7日であることを確認しました。）

シェーカー派は結婚を否定し、完全な独身主義（結婚や性的な関係を避けること）が正しいと信じていました。主は啓示によってこの誤った教義を正し、リーマン・コプリーと他の人々に、シェーカー派の人々に福音を宣べ伝えるように命じられました。

生徒たちに、教義と聖約49：15－17を読んで、結婚と家族の重要性について主が言われたことを見つけてもらいます。以下を質問します。

- これらの節では、結婚について主は何を教えておられるでしょうか。（生徒たちが、**男女の間の結婚は神によって定められたものである**という教義を見いだせるようにします。）
- 結婚が神により定められたものであって、これは「地がその創造の目的にかなうためであ」とは、どういう意味だと思いますか。（生徒の答えは、次の真理を含むべきです。**夫と妻は子供をもうけるように命じられている。地球は神の子供たちが家族として住む場所を与えるために創造された。**）
- これらの節が教えている真理を理解することは、結婚に関する教会の教えを説明するのにどのように役に立つでしょうか。

数年後、聖徒たちの永遠の結婚と家族についての教義の重要性に対する理解が大きく進みました。1843年5月16日、ジョセフ・スミスはイリノイ州レイマスを訪れました。ジョセフはベニヤミン・ジョンソン、メリッサ・ジョンソンの家に滞在していたときに、永遠の結婚について教えました。預言者がレイマスで与えた教えの幾つかは、教義と聖約第131章に記録されています。一人の生徒に、教義と聖約131：1－4を声に出して読んでもらい、次の質問をします。

- 日の栄えの王国の最高の階級を得るためには、何をしなければならないでしょうか。（生徒たちは次の教義を理解すべきです。**日の栄えの王国の最高の階級を得るためには、結婚の新しくかつ永遠の聖約に入らなければならない**。ここでの「新しく」という言葉は、この聖約がわたしたちの時代に新しく回復されたという意味であることを説明します。「永遠の」という言葉は、この聖約が常に存在しており、永遠にわたって続くことを意味します。これらの定義をそれぞれの聖典の余白に書くよう生徒に提案してもよいでしょう。）
- わたしたちの時代では、男女はどのようにこの「新しくかつ永遠の結婚」に入りますか。

男女がこの新しくかつ永遠の結婚に入ることができるのは、聖なる神殿の中だけであることを強調します。神殿の外で結婚する人たちは、結婚式の宣言に「この世においても永遠の世においても」という言葉が含まれることがありますが、神はこれらの結婚を永遠のものとして受け入れておられません。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が語った次の言葉を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。生徒たちに、ネルソン長老が永遠の結婚がなぜそんなに大切か教えていることを見つけるように勧めます。



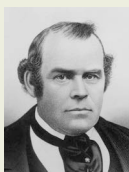
「結婚に関しては世界中で議論され、さまざまな形にねじ曲げられた結婚が存在しています。わたしが使徒として、このテーマでお話する目的は、男女の間の結婚が神聖であり、神によって定められたものであると宣言することです。わたしは神殿結婚の美点についても断言します。それは、創造主がその子供たちにお与えになった結婚の中で最も気高く、永続する結婚です。

救いは個人的な事柄ですが、昇栄は家族の事柄です。……

永遠の命の資格を得るために、わたしたちは天の御父と永遠の聖約を交わさなければなりません〔教義と聖約132：19参照〕。すなわち、神殿結婚には夫婦間だけでなく、神との協力関係も含まれるのです〔マタイ19：6参照〕。「日の栄えの結婚」『リアホナ』2008年11月号、92-95)

- 「救いは個人的な事柄ですが、昇栄は家族の事柄です」とはどのような意味だと思いますか。
- 永遠の結婚では「神との協力関係」も含まれるとはどのような意味でしょうか。結婚において神との協力関係を持つことがどうして重要だと思いますか。（結婚においてのみ、人は他の人と神と聖約を交わします。他の全ての聖約においては、自分と神との間に聖約が交わされます。）
- 永遠の結婚と家族についての回復された教義は、人が愛と永遠の結婚を築く望みをどのように高めるのでしょうか。

十二使徒定員会のパーリー・P・プラット長老（1807-1857年）はこの回復された教義が彼に与えた影響について話しています。一人の生徒に次の話を読んでもらいます。



「最愛の妻とこの世においても永遠の世においても固く結ばれると教えてくれた人、それはジョセフでした。……この愛情はさらに強めることができ、その愛情の中で永遠に進歩成長できると教えてくれたのも、二人が永遠に結ばれるので、子孫が天の星のように、海辺の砂のように数限りなく増えると教えてくれたのも、ジョセフでした。……昔から心の中には愛情がありましたが、その理由は知りませんでした。今や—高められた—清い心で愛することができるようになりました。」（Autobiography of Parley P. Pratt, パーリー・P・プラット・ジュニア編〔1938年〕, 297-298)

レッスンを続ける前に、次の事柄について短く話し合おうとよいでしょう。

「自分には何の落ち度もなく、結婚の望みがあるにもかかわらず、独身の教会員がいます。このような境遇に置かれている人は、神が『神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるよう』にしてください。常にふさわしくあるならば、いつの日か、現世にあってか、来世にあってか、永遠の家族関係によってもたらされる全ての祝福にあずかることができます。」（『真理を守る』76)



## 教義と聖約132：1-21

### 昇栄に欠かせない永遠の結婚

ジョセフ・スミスが教義と聖約第131章に記録されている教えを与えた2か月後、教義と聖約第132章として知られる啓示を口述したことを伝えます。一人の生徒に、教義と聖約第132章の前書きを声に出して読んでもらいます。多妻結婚の慣習については次回のレッスンで学ぶことを伝えます。別の生徒に、教義と聖約132：3-6を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちに目で追って読んでもらい、結婚の新しくかつ永遠の聖約に入ることの重要性を示している語句を見つけてもらいます。次の質問について話し合います。

- これらの節のどの語句が永遠の結婚の重要性を明らかにしていますか。
- この教義を拒むと、結果はどうなりますか。（罰の定めを受けるとは、人が永遠の進歩ができなくなるという意味であることを説明してもよいでしょう。）

注—数分間取って、（今教義と聖約132：3-6で用いたように）鍵になる語句を見つけることは、重要な聖典学習技術であることを指摘します。聖典を研究するとき、語句に気をつけ、理解することは重要です。3-6節では、次の語句を理解することが重要です。「受け入れて……従う」、「従わなければならない」、「もしその聖約に従わなければ、あなたがたは罰の定めを受ける」、「だれもこの聖約を拒[むことはできない]」。これらの語句の幾つかは、聖文の中の概念と概念のつながりの例でもあります。つながりは概念と概念の関係または結びつきを表しています。例えば、3節は、備える、受け入れる、従うという概念のつながりを示しています。

生徒に教義と聖約132：7-8を、黙読してもらい、夫と妻が、この世を終えた後も夫婦として暮らせるようにするための主の律法の条件を探してもらいます。

- これらの節によれば、永遠に続く結婚に必要な条件とは、どのようなことでしょうか。（生徒が答えるとき、**聖約が適切な神権の権能によって交わされ、約束の聖なる御霊によって結び固められるとき、その聖約は永遠に続く**という原則をホワイトボードに書きます。）

約束の聖なる御霊についての次の定義を伝えます。「聖霊は約束の聖なる御霊である（使徒2：33）。聖霊は人の義にかなった行いや儀式、聖約を、神に受け入れられるものとして確認される。約束の聖なる御霊は、救いの儀式が適切に執行されたこと、またそれに伴う聖約が守られていることを御父に証される。」（『聖句ガイド』「約束の聖なる御霊」scriptures.lds.org）

生徒がこの原則をさらに深く理解するために、十二使徒定員会のブルース・R・マッコンキー長老（1915-1985年）の次の言葉を見せてもよいでしょう。



「結び固めるとは、認可する、義認する、もしくは承認することである。このように、約束の聖なる御霊により結び固められる行為は、聖霊により認可される行為であり、主によって承認される行為である。また義務を引き受けた人は、そのなした事柄について聖霊から義と認められる。契約を交わす者は、義にかなう行いにより神

の承認を受けるにふさわしい者でなければ、この認可、承認の結び固めを受けることができない。」（Mormon Doctrine, 第2版〔1996年〕, 361–362）

教義と聖約132：19–21に記録されているように、主は、永遠の結婚に必要な条件と祝福を続けて述べておられます。生徒にペアに分かれてこの聖句について研究してもらいます。各々のペアに二つのリストを作ってもらいます。（1）永遠に続く結婚に必要な条件。（2）これらの条件を満たしたときに受けられる祝福。完成したリストは次の事柄が含まれているべきです。

### 永遠に続く結婚に必要な条件

結婚は、主の律法と「新しくかつ永遠の聖約」に従って執り行われなければならない。

結婚は、「約束の聖なる御霊」により結び固められなければならない。

結婚は、神権の鍵を持つ人によって執行されなければならない。

結婚した夫婦は、神の聖約に従わなければならない。

### 受ける祝福

結婚した夫婦は、第一の復活に出て来る。

結婚した夫婦は、王位、王国、公国、および力、主権、全ての高い所と深い所を受け継ぐ。

その結婚は、肉体の死後も、完全に効力がある。

結婚した夫婦は、天使のそばを通り過ぎる。

結婚した夫婦は、全ての事柄について昇栄と栄光を受ける。

結婚した夫婦は、「とこしえにいつまでも子孫が満ちて続く」状態となる（彼らの家族と子孫は永遠にわたって続く。彼らは永遠に増え続ける）。

結婚した夫婦は、神々となり、終わりが無い。

結婚した夫婦は、全てのものの上にあり、一切の権威を持ち、全てのものが彼らに従う。

生徒たちが永遠の結婚に必要な条件とその祝福についてさらに理解を深められるように、次の質問について話し合います。

- 結婚において「従う」とはどのような意味だと思いますか。（「従う」という言葉は、とどまる、続くという意味であることを説明するとよいでしょう。この言葉には、聖約に従って生活するという意味もあります。）
- 神殿で結び固められることだけでは永遠の結婚を得るのに十分ではないのはなぜでしょうか。
- 天父がわたしたちに約束してくださっていることを考えるときに、どんな思いや気持ちを抱きますか。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が述べた次の言葉を読みます。



「日の栄えの結婚は、永遠の命への備えの中心です。そのためには、正しい相手と、正しい場所で、正しい権能により結婚し、神聖な聖約に忠実に従う必要があります。そうすれば、神の日の栄えの王国における昇栄を確信できるのです。」（「日の栄えの結婚」『リアホナ』2008年11月号, 94）

- 教会員でない人に、「正しい場所で、正しい権能により」結婚することの重要性をどのように説明しますか。
- 永遠の結婚と家族の教義の重要性を考えると、永遠の結婚に備え、しっかりとした関係を築くために今何ができるでしょうか。

神殿での結び固めやその結び固めに伴う聖約を守るのによりよく備えるために、生活をどのように変える必要があるか生徒に考えてもらいます。永遠の結婚を望むことには、犠牲と努力を払う価値があることを証します。

### 生徒用資料

- 教義と聖約49：15–17；131：1–4；132：1–24
- ラッセル・M・ネルソン「日の栄えの結婚」『リアホナ』2008年11月号, 92–95

## 第20課

# 多妻結婚

### はじめに

一人の男性と一人の女性の間の結婚は、主が別途命じられる場合を除き、主の律法です（モルモン書ヤコブ2：27–30参照）。預言者ジョセフ・スミスは、多妻結婚の習慣を回復させるように戒めを受けました。これは、ウィルフォード・ウッドラフ大管長がこの習慣をやめるように主から靈感を受けるま

で、教会内で半世紀以上実践されました。多妻結婚は、ジョセフ・スミスとそれを実践した人々にとって信仰の大きな試しでした。生徒たちが信仰を行使するとき、生徒たちは、末日における多妻結婚の習慣が万事を元どおりにするための一環であったことを理解するようになります。

### 背景となる読み物

- 「末日聖徒イエス・キリスト教会における多妻結婚」福音のテーマ、  
<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-the-church-of-jesus-christ-of-latter-day-saints?lang=jpn>
- 「カートランドとノーブーにおける多妻結婚」福音のテーマ、  
<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-kirtland-and-nauvoo?lang=jpn>
- 「初期のユタにおける多妻結婚と家族」福音のテーマ、  
<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-and-families-in-early-utah?lang=jpn>
- 「『声明』と多妻結婚の終決」福音のテーマ、  
<https://www.lds.org/topics/the-manifesto-and-the-end-of-plural-marriage?lang=jpn>

注—これらの福音のテーマ小論には、レッスンの時間中に教えることができる内容よりもはるかに多い情報が提供されています。レッスンを準備し、指導するときにはこれを意識しておくようにしてください。

### 教えるための提案

**モルモン書ヤコブ2：27–30；教義と聖約132：1–2，34–48，54，63**

**主によって明らかにされた多妻結婚の習慣**

1831年、ジョセフ・スミスがジョセフ・スミス訳として知られる旧約聖書の靈感訳の作業を行っていたとき、ジョセフは一部の古代預言者が多妻結婚（複婚とも呼ばれる）を実践していたことを読んだと説明します。これらの古代預言者には、アブラハム、ヤコブ、モーセ、およびダビデが含まれていました。ジョセフ・スミスは、多妻結婚の実践においてこれらの預言者がどのように義とされたのかを知るため、聖文を研究し、深く考えました（教義と聖約132：1–2参照）。主は、現在教義と聖約132章として知られる啓示で、この質問に対する答えを明らかにされました。この啓示の日付は1843年7月12日となっていますが、ジョセフ・スミスは、この章にある原則についての啓示を早ければ1831年から徐々に受けていた可能性があります。

数人の生徒に、交代で教義と聖約132：34–36を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには一緒に黙読してもらい、アブラハムとサラが多妻結婚の習慣を始めた理由を探してもらいます。

- 第34節によると、サラがアブラハムに別の妻を与えた理由は何ですか。これから、多妻結婚について何を学ぶことができますか。（生徒が答えるとき、**多妻結婚は、主が命じられるときのみ**に許される習慣であるという原則をホワイトボードに書きます。）

一人の生徒に、モルモン書ヤコブ2：27、30を読んでももらいます。一人の男性と一人の女性の間の結婚は、主が別途命じられる場合を除き、主の律法であるという原則を強調します。これらの節には、多妻結婚の習慣について主がお与えになった、信仰を持つ両親のもとに産まれる子供の数を増やすことによって、「〔主〕のために子孫を起こ〔す〕」という理由も書かれています（教義と聖約132：63も参照）。

教義と聖約132：37–43に記録されているとおり、主は、人々が主の命じたとおりに多妻結婚を行うならば、姦淫の罪を犯すことにならないとジョセフ・スミスに明らかにされたことを説明します。しかし、主の預言者を通して主の戒めを受けることなく多妻結婚を実践する者は、姦淫の罪を犯すこととなります。生徒たちに、41節および54節にある**滅ぼされる**という言葉は、結婚の聖約を含む聖なる聖約を破る人は、神と神の聖約の民から引き離されるという意味であることを指摘します（使徒3：22–23；1ニーファイ22：20も参照）。

生徒たちに教義と聖約132：40を黙読してもらい、多妻結婚を実践することについて主が与えられたもう一つの理由を探してもらいます。

- 第40節によると、主は最後の神権時代に何をされますか。（「万事を元どおりにする。」）

「万事」という言葉は、以前の神権時代に明らかにされた福音の律法と儀式を指すことを説明します。末日において**多妻結婚の律法を実践する**という戒めは、**万事を元どおりにするための一環であった**という真理をホワイトボードに書きます（使徒3：20–21も参照）。

一人の生徒に、教義と聖約132：45、48を声に出して読んでももらいます。他の生徒には、一緒に黙読してもらいながら、万事を元どおりにすることの実現にジョセフ・スミスが参加することを可能にしたのは何だったかを探してもらいます。**多妻結婚を承認できるのは、教会の大管長に与えられた神権の鍵によってのみである**という原則を理解できるように生徒を助けます。



このレッスンの最後の部分にある配付資料のコピーを各生徒に配ります。一人の生徒に、配付資料の「多妻結婚」というタイトルの最初の箇所を声に出して読んでももらいます。

- 多妻結婚の習慣が啓示によって預言者ジョセフ・スミスに与えられたと知ることが、教会初期の習慣についての理解を深めるためにどのように役立ちますか。

### 信仰の試しとなった多妻結婚

クラスの半分に配付資料の「困難な戒め」というタイトルの箇所を黙読してもらいます。残りの半分には、「信仰の試し」というタイトルの箇所を読んでももらいます。次の質問について話し合います。



- 預言者ジョセフ・スミスと他の人々が多妻結婚の習慣の導入について気後れしていた理由には何があると思いますか。
- 大きな困難を乗り越えて多妻結婚の律法の実践を受け入れることができるようにジョセフ・スミス、ルーシー・ウォーカー、およびその他の人々を最終的に助けることになった、それらの人の経験とは何ですか。

数人の生徒に、配付資料の「ジョセフ・スミスと多妻結婚」というタイトルの箇所を順番に読んでもらいます。

生徒たちに、初期の教会での多妻結婚の習慣については分からないことが多くあると説明します。例えば、**結び固め**という用語についての現在の解釈は、結び固めの習慣がまだ新しく、その習慣の側面の幾つかがまだ完全に理解されていなかった1840年代における解釈とは異なります。**結び固め**という言葉を聞くと、わたしたちは自動的に**結婚**を考えますが、ジョセフ・スミスと初期の聖徒たちにとって、**結び固め**は必ずしもあらゆる意味における**結婚**、つまり夫と妻としてともに生活することを意味するわけではありませんでした。多妻結婚の習慣についての多くの詳細は秘密にされており、歴史的な記録には、わたしたちの疑問の全ての答えは書かれていません。多妻結婚の習慣についての詳しい情報について、このレッスンの最後にリストされている生徒用資料を研究するよう生徒を励まします。

多妻結婚について研究するときには、預言者ジョセフ・スミスが福音を学ぶために従ったパターンを覚えておくように念を押してもよいでしょう。ジョセフは、研究し、深く考え、祈って知識を得ました。また、生徒たちには、インターネットおよび多くの印刷物に多妻結婚についての信頼性のない情報が数多く存在することも覚えておいてもらいます。教会とその歴史について書く著者の一部には、前後関係を無視した情報を提供したり、誤解を招き得る部分的な真実を記載している人もいます。これらの記述の中には、信仰を打ち砕くためのものもあります。

## 公式の宣言一

### 主によって末日聖徒が多妻結婚を廃止すべきことが明らかにされる

多妻結婚の習慣は、聖徒たちがユタに到着してからも続いたが、その後啓示に従って廃止されたことを説明します。数人の生徒に、配付資料の「多妻結婚への反対」および「二つ目の『声明』」というタイトルの箇所を順番に声に出して読んでもらいます。

- 初期の末日聖徒は、主の多妻結婚を実践するという戒めに従ったためにどのような困難に直面しましたか。

数人の生徒に、教義と聖約にある公式の宣言一の最後の2段落と、公式の宣言一に続く「『宣言』に関するウィルフォード・ウッドラフ大管長の三つの説教からの抜粋」の最初の段落と7番目の段落を順番に声に出して読んでもらいます。その後、次の質問をします。

- ウッドラフ大管長は聖徒たちに何を教えましたか。（ウッドラフ大管長が教えた原則には以下が含まれます。主は、教会の大管長がわたしたちを誤った道へ導くことを絶対にお許しにならない。主は、教会の大管長へ啓示を与えて主の教会を導かれる。）



次の声明は、多妻結婚の習慣を廃止する決定をさらによく説明しています。



「ジョージ・Q・キャノン管長は、『声明』が出されるまでの啓示のプロセスについて述べました。『教会の大管長会も皆さんと同じように現世で経験を積まなければなりません。皆さんと同じように一歩ずつ前に進む必要があるのです。大管長会は神から啓示が与えられるときにその啓示に頼らなければなりません。主のように始めから全てを見通すことはできないのです。』また、キャノン管長は大管長会についてこう述べました。『わたしたちにできることは、神の御心を求めることです。それが明らかにされたときには、たとえそれが今までに抱いていた自分の感情に反するものであっても、神が示された道を歩み、神を信頼する以外にわたしたちの選択肢はないのです。』」（「『声明』と多妻結婚の終決」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics/the-manifesto-and-the-end-of-plural-marriage?lang=jpn>)

次の質問をしてレッスンを終わります。

- 学んだ事柄に基づいて、誰かに末日聖徒が多妻結婚を実践しているかどうか尋ねられたら、どのように答えますか。

次のゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910–2008年）の声明を伝えることを考慮します。



「もしわたしたちの教会員の中に多妻結婚を実行している者が見つかった場合、その人は教会で課すことのできる罰則の中でも最も重い罰である破門の処分を受けることになります。……1世紀以上も前に、神は、多妻結婚の実施を中止するようにとその預言者ウィルフォード・ウッドラフに明確に示されました。これはつまり、現在、多妻結婚は神の律法に反するということです。法的にも宗教的にも多妻結婚が認められている国々においてさえ、教会は、結婚は一夫一妻でなければならないと教えており、多妻結婚を実行している人々を教会員として受け入れることもしていません。」（「人々がわたしたちについて尋ねること」『リアホナ』1999年1月号、77–78）

次の文も、教会が現在実施している事柄について話し合う助けになり得ます。

「ジョセフ・スミスの教えに添って、教会は、妻を亡くした男性が別の女性と再婚するときにその女性と結び固めを受けることを認めています。さらに、会員は、この世で2度以上結婚して亡くなった男性と女性の代わりに儀式を行うことを認められており、彼らと合法的に結婚していた全ての配偶者との結び固めを行うことができるのです。来世におけるこれらの関係が厳密にどうなるのかは分かりません。多くの家族関係が来るべき世で整えられることでしょう。末日聖徒は、知恵に富んでおられる天の御父を信頼するように勧められています。御父は御自分の子供たちを愛し、子供たちの成長と救いのために全てのことを行ってくださいなのです。」（「カートランドとノーブーにおける多妻結婚」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-kirtland-and-nauvoo?lang=jpn>)

レッスンを終える前に、教会の信仰を捨てた一部の人たちが現在も多妻結婚を実践していることを生徒に伝えることが賢明である場合もあります。このような人は、今日多妻結婚を実践することが正しいかどうか祈って深く考えるよう人々に要求します。わたしたちは、主が主の預言者を通じて明らかにされた事柄に反する啓示を受けることを求めるべきではありません。主は、主の預言者を通じて教会の多妻結婚の習慣が廃止されたことを明らかにされました。今日多妻結婚を奨励する人は、いずれも主の僕ではありません。

預言者ジョセフ・スミスについての証を述べます。ジョセフ・スミスが、古代預言者のアブラハム、イサク、そしてヤコブと同じように、神から啓示を受け、それに従ったことを証してもよいでしょう（教義と聖約132：37参照）。

## 生徒用資料

- モルモン書ヤコブ2：27–30；教義と聖約132：1–3, 34–48, 54, 63；公式の宣言一
- 「末日聖徒イエス・キリスト教会における多妻結婚」福音のテーマ、  
<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-the-church-of-jesus-christ-of-latter-day-saints?lang=jpn>

### 多妻結婚を理解する

#### 多妻結婚

「末日聖徒は、一夫一妻制の結婚は主の不変の律法だと信じています。聖書の時代、主は、一人の男性対複数の女性という多妻結婚を行うよう一部の人たちに命じられました。1840年代初頭、主は啓示によって、教会員の中で多妻結婚を実施するようジョセフ・スミスに命じられました。半世紀以上にわたり、一部の末日聖徒は大管長の指示の下で多妻結婚を実施しました。」（「末日聖徒イエス・キリスト教会における多妻結婚」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-the-church-of-jesus-christ-of-latter-day-saints?lang=jpn>）

#### 困難な戒め

二人目の中央扶助協会会長であったエライザ・R・スノー（1804–1887年）は、預言者ジョセフ・スミスに結び固められました。彼女は、預言者ジョセフが弟のロレンツ・スノーに多妻結婚の原則について教えたときの経験について次のように記録しています。

「預言者ジョセフは、多妻結婚の導入に関し、彼が感じていた気持ち、教育と社会的習慣の力によって必然的に生じる嫌悪感を克服するために経験した堪え難い精神的な試練について、心の内を（ロレンツ・スノーに）打ち明けた。ジョセフは神の声、つまり彼に対する全能の神の戒めが規範となり、神聖な多妻結婚を確立する業を進めることを知っていた。ジョセフは、彼自身

の偏見と先入観だけでなく、クリスチャン社会全体からの彼への視線とも戦い、克服しなければならないことを知っていた。しかし、至高の存在であられる神が戒めをお与えになった。神には従わなければならないのである。それでも、預言者は躊躇し、抜き身の剣を携えた神の天使が彼の傍らに立ち、多妻結婚の業を進め、確立しなければ、彼の神権は剥奪され、彼は滅ぼされるであろうと言うまで、しばしば決断を据え置いた。この反論のしようがない証は、わたしの弟に述べられただけでなく、他の人にも述べられた。」（Biography and Family Record of Lorenzo Snow [1884年] , 69-70)

### 信仰の試し

多妻結婚の原則について悩んだ多くの人々は、この原則が真実であるという霊的な証を得ました。

「ヘレン・マー・キンボールによれば、ジョセフ・スミスはこう述べたそうです。『この原則の実践は聖徒たちにとって、自分の信仰を試される最も苛酷な試練となるでしょう。』それは彼女の人生の『最も苛酷な』試練の一つでしたが、『最もすばらしい祝福の一つ』でもあったと証しています。……

ルーシー・ウォーカーは、ジョセフ・スミスから妻になるように求められたときの心の動揺を回想し、記録しています。『わたしの魂のあらゆる感覚がそれに不快感を示しました。』しかし、数日眠れない夜を過ごして度々ひざまずいて祈った後、部屋が『まばゆい日の光』に似た『聖なる力に包まれ』、彼女は安らぎを覚えました。『わたしの魂はかつて一度も味わったことのない穏やかで心地良い平安に満たされました』と、彼女は述べています。」（『カートランドとノーブーにおける多妻結婚』福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-kirtland-and-nauvoo?lang=jpn>)

### ジョセフ・スミスと多妻結婚

多くの女性がジョセフ・スミスと結び固められたが、正確な人数は分かっていません。

「多妻結婚が実施された時代に、末日聖徒は、この世と永遠にわたる結び固めと永遠だけの結び固めを区別していました。この世と永遠にわたる結び固めには、現世を通しての義務と関係が伴い、一般に性的な関係も伴う可能性がありました。永遠だけの結び固めは来世だけの関係を意味していました。

……ジョセフ・スミスに結び固められた女性の何人かは後に、自分の結婚はこの世と永遠にわたるものであったと証言しており、また自分の関係は永遠だけのものであったと述べた人々もいました。

ジョセフ・スミスに結び固められた人々のほとんどは、結び固められたときに20歳から40歳の間でした。最年長のファニー・ヤングは56歳でした。最年少はジョセフの親友ヒーバー・C・キンボールとバイレイト・マレー・キンボ

ールの娘、ヘレン・マー・キンボールで、15回目の誕生日の数か月前にジョセフに結び固められました。このような年齢の結婚は今日の標準では不適切ですが、その時代には合法的であり、女性の中には10代半ばで結婚した人々もいました。ヘレン・マー・キンボールは、ジョセフとの結び固めについて、『永遠だけの』ものであったと語っています。つまり、その関係は性的な関係を伴わなかったと示唆しているのです。……

ジョセフ・スミスは、……既婚者であった何人かの女性と結び固めを受けました。この女性たちもジョセフもこれらの結び固めについて多くを説明していませんが、数人の女性が、それは永遠だけのものであったと言っています。その他の女性たちの記録は残っておらず、彼女たちの結び固めがこの世と永遠にわたるものか、永遠だけのものかは分かっていません。

この制度について幾つかのことを説明できます。これらの結び固めは、ジョセフの家族と教会内の他の家族の永遠のきずなやつながりを生み出す一つの方法を提供しました。これらのつながりは、親から子に垂直方向に、また一つの家族から別の家族に水平方向に延びました。今日、このような永遠のきずなは、神殿結婚によって達成されており、その人は自分の血縁の家族にも結び固められ、家族はこのような方法でもつながれるのです。」（『カートランドとノーブーにおける多妻結婚』福音のテーマ、  
<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-kirtland-and-nauvoo?lang=jpn>)

預言者の死後、生前一切関連のなかった多くの女性が預言者に結び固められています。

### 多妻結婚への反対

合衆国内の多くの宗教指導者と政治指導者たちが、不道徳かつ野蛮であるとして多妻結婚に反対しました。末日聖徒は、演説、本、雑誌、新聞であざ笑われました。合衆国議会は、教会が所有できる土地を制限することによって、教会員の自由を妨げ、教会に経済的な損害を与える法律を成立させました。「この議案の通過により、当局は最終的に複数の妻を持つ男性の逮捕と拘留、選挙権の剥奪、家庭でのプライバシーへの介入、公民としての他の自由の否定という行動に出ることになるのである。」（『わたしたちの受け継ぎ—末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』87-88）1890年には、何百人もの忠実な末日聖徒が服役しました。逮捕と投獄を避けるために身を隠す者もいました。これらの状況の中で、多くの家族がストレス、心痛、貧困、飢えに苦しみました。

多妻結婚の習慣のために世界中から嘲笑されても、多くの忠実な末日生徒はその習慣を擁護し、これが預言者ジョセフ・スミスを通じて神が明らかにされたものであることを知っていることと証しました。

これらの困難な状況のため、ウィルフォード・ウッドラフ大管長は祈りをもって聖徒の多妻結婚についての導きを主に願い求めました。1889年、ウッドラフ大管長は教会指導者に多妻結婚の原則を教えないように指示しました。1890年には、ウッドラフ大管長の勧告に反して行われた多妻結婚以外、多妻結婚が行われることはほとんどなくなりました。しかし、一部の人々は、教会が引き続き多妻結婚の実施を奨励しているという記事を出版していました。これらの記事は、教会にさらなる敵対心をもたらしました。1890年9月、ウッドラフ大管長は、現在教義と聖約の公式の宣言一として知られる声明を発表しました。

## 二つ目の「声明」

「『声明』（公式の宣言一）は、合衆国の法律に従うというウッドラフ大管長の意図を宣言していました。しかし、『声明』には他の国家の法律については記載がありませんでした。メキシコおよびカナダに植民地ができると、教会指導者たちはそれらの国で多妻結婚を執行するようになり、1890年10月以降もこれらの地域では多妻結婚が静かに行われていました。……1890年から1904年にかけて、特別な事情がある場合に限り、ごく少数の多妻結婚が行われました。とはいえ、合衆国内でそのような結婚が認められるかどうかは不確実でした。」（「『声明』と多妻結婚の終決」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics/the-manifesto-and-the-end-of-plural-marriage?lang=jpn>）

1904年4月の総大会において、〔ジョセフ・F・〕スミス大管長は『第2の声明』として知られる断固とした宣言を発表し、新たに多妻結婚を行う者は破門に処すこととしました。」（「末日聖徒イエス・キリスト教会における多妻結婚」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-the-church-of-jesus-christ-of-latter-day-saints?lang=jpn>）

## 第21課

# ジョセフ・スミスの預言者としての使命

### はじめに

ジョセフ・スミスの殉教後、ジョセフが殺害されたときにもいたジョン・テラー長老は、「主の預言者であり聖見者であるジョセフ・スミスは、ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた」（教義と聖約135：3）という言

葉を（おそらく数人の聖徒たちと共同で）記録して預言者を追悼しました。このレッスンは、預言者の教導の業によって古代の預言が成就されたことを聖徒が理解するために役立ちます。また、このレッスンでは、全ての神の子供たちの救いに対するジョセフ・スミスの貢献についても分析していきます。

### 背景となる読み物

- ニール・L・アンダーセン「ジョセフ・スミス」『リアホナ』2014年11月号, 28–31
- タッド・R・カリスター「ジョセフ・スミス—回復の預言者」リアホナ』2009年11月号, 35–37
- 教義と聖約135：3「ジョセフ・スミスはイエス以外のだれよりも、人類の救いに尽くした」『教義と聖約 生徒用資料』（教会教育システム手引き, 2001年）, 372–373

### 教えるための提案

#### 2ニーファイ3：1–21

#### ジョセフ・スミスの予任された使命

ジョセフ・スミスについて考えるとき、最初に何を思い浮かべるか生徒に尋ねます。数人の生徒に、預言者ジョセフ・スミスに感謝するときについて簡単に話してもらいます。

預言者ニーファイは、幾つかの勧告を記録して、それを彼の息子ヨセフに与えたことを生徒に伝えます。この勧告は2ニーファイ3章に記録されており、エジプトに連れて行かれたヨセフによるリーハイの家族と末日についての預言が含まれています。リーハイは、銅版を読むことによってこれらの預言を学んだと思われる。2ニーファイ3章で、わたしたちはエジプトのヨセフがジョセフ・スミスの末日での使命を預言していることを学びます。一人の生徒に2ニーファイ3：6–9を読んでもらいます。残りの生徒には一緒に黙読してもらい、エジプトのヨセフがジョセフ・スミスについてどのように説明したかを見つけるよう励まします。

- エジプトのヨセフがジョセフ・スミスについて説明するために使った言葉や文には何がありますか。（答えには、「えり抜きの聖見者」、「大いに尊ばれる」、「わたしの目になつた偉大な者」、「モーセのように偉大」などが挙げられるようにします。）また、各自の聖典にあるこれらの言



葉にマークをつけ、6-9節の横にある余白にジョセフ・スミスと書くように提案してもよいでしょう。)

- ジョセフ・スミスは、どのような点でモーセおよびエジプトのヨセフと似ていましたか。(『聖句ガイド』内にある) 聖書のジョセフ・スミス訳(抜粋) JS創世50:24-35も参照)
- 7-8節によると、エジプトのヨセフはジョセフ・スミスの教導の業について何を預言しましたか。(生徒たちがジョセフ・スミスは人々に主の聖約の知識をもたらし、主の業を行うために、主によって立てられるという真理を理解するようにします。)

生徒に二人一組になってもらい、2ニーファイ3:7, 11-15, 18-21を調べてもらいます。各組には、主の業の達成を助けるためにジョセフ・スミスが何をするかについてこれらの聖文に書かれている事柄をリストにしてもらいます。これらの聖句で見つけた重要な文にマークをつけることによってリストを作ることを提案してもよいでしょう。十分に時間を取った後、数人の組に見つけたことを発表してもらいます。(答えには、人々に聖約の知識をもたらし〔7節〕；モルモン書を明らかにする〔13, 18-21節〕；聖書の真実性を人々に確信させる〔11節〕；強くされる〔13節〕；および人々を救いに導く〔15節〕が挙げられるようにします。)

ブリガム・ヤング大管長(1801-1877年)の次の声明を掲示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「地の基が置かれるはるか以前に開かれた永遠の会議において、彼すなわちジョセフ・スミスは、この世界の最後の神権時代に神の言葉を人々にもたらし、神の御子の神権の全ての鍵と力を受ける人となること定められました。主は彼のうえに、彼の父親のうえに、彼の父親の父親のうえに、そしてアブラハムに至るまで、彼の先祖に目を注がれました。……主はこの家系を見守り、この家系の血統が始祖からこの人の誕生まで継承されるのを見守ってこられました。ジョセフはこの最後の神権時代を管理するよう永遠に予任されていたのです。」(『歴代大管長の教え—ブリガム・ヤング』106)

生徒たちがジョセフ・スミスの予任された使命の真理と重要性を感じる事ができるように、次のことについて話し合います。

- ジョセフ・スミスが予任され、回復の預言者となるように前世で備えられたことを知るのが重要であるのはなぜですか。

### 教義と聖約135:3

ジョセフ・スミスは「ただイエスは別として、〔他のいかなる〕人よりも……人々の救いのために多くのことを成し遂げた」

ジョセフ・スミスについて2-3文のみで証するならば、何を言う(または証する)か生徒に発表してもらいます。ジョセフ・スミスの死後、ジョセフ・スミスへの賛辞が書かれ、その後わたしたちのために教義と聖約で後世に残されたことを説明します。一人の生徒に、教義と聖約135:3の最初の文を読んでもらいます。以下を質問します。

- この聖句では、ジョセフ・スミスのどの真理について宣言されていますか。（生徒たちがジョセフ・スミスは、ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げたという真理を見いだすようにします。）

預言者ジョセフ・スミスの業と貢献を見直すため、生徒たちを少人数のグループに分けます。生徒たちに教義と聖約をざっと読んでもらい、このコースでこれまでに話し合ったレッスンを振り返ってもらいます。わたしたちに救いをもたらす、預言者ジョセフ・スミスによって回復された祝福と教義のリストを作ってもらいます。十分に時間を取ってから、生徒たちにリストから一つの事柄を選んでもらい、それが自分たちの人生にどのように影響したか、どのように救いへと導くかについてグループ内で話し合ってもらいます。

生徒たちの答えを要約するため、七十人会長会で奉仕したタッド・R・カリスター長老の声明を掲示します。一人の生徒にそれを声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読してもらいます。



「ジョセフ・スミスを通して、救いと昇栄に必要な全ての力、鍵、教義、儀式が回復されました。世界のどこに行っても、これらを手に行うことのできる場所はありません。他のどの教会にも存在しません。どんなに知的価値があると思える人の哲学、科学の本や、巡礼にも見いだすことはできません。救いは、主御自身が定められたとおり、一つの場所にしかないのです。主は、これこそ『全地の面〔における〕唯一まことの生ける教会』であると言われました（教義と聖約1：30）。」（「ジョセフ・スミス—回復の預言者」『リアホナ』2009年11月号、35）

時間を少し取って、生徒たちにジョセフ・スミスの教導の業が自らの救いにどのように寄与したかを深く考えてもらい、次の質問をします。

- 預言者ジョセフ・スミスの教導の業がなかったら、あなたの人生は具体的にどのように違っていたと思いますか。

### 教義と聖約122：1-2；ジョセフ・スミス—歴史1：33

ジョセフの名前は「良くも悪くもすべての国民……の中で覚えられる」ようになる

ジョセフ・スミスがなした多くの良い事柄にも関わらず、特に生涯の終わり間近に、彼を中傷する人が大勢いたことを生徒に伝えます。ジョセフの人生のこの側面もまた、古代預言者によって予見されていました（例えば、3ニーファイ21：10参照）。一人の生徒に、ジョセフ・スミス—歴史1：33に記載されているモロナイがジョセフ・スミスに反する人々についてジョセフに話した事柄を声に出して読んでもらいます。別の生徒に、教義と聖約122：1-2を読んでもらいます。次の質問をして、生徒たちがこれらの聖句にある真理を述べるように助けます。

- 人々がジョセフ・スミスにどの反応するかについてのこれらの聖句から学ぶ事柄は、どのように要約することができますか。（生徒たちが要約を提案するとき、世界の多くの人々がジョセフ・スミスを嘲るが、義人は彼の

教導の業によって得られるようになった祝福を探し求めるという真理を理解できるように助けます。)

- 預言者ジョセフ・スミスの死後長い年月がたった後でさえも、彼を批判する人や敵が数多く存在するのはなぜだと思いますか。(回復の証は、ジョセフ・スミスが神の業を行った預言者であったかどうかにかかっています。このため、悪魔は今もジョセフ・スミスの信頼性を傷つけようと努力し続けています。)

一人の生徒に、十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老の次の声明を声に出して読んでもらいます。



「回復の業を信じようとししない人の多くは、天にいる人が地上の人と言葉を交わすことを信じません。金版が天使によって届けられ、神の力によって翻訳されたなど、不可能だと彼らは言います。それが信じられないためにジョセフの証をすぐさま拒否します。残念ながら、中には彼の生涯について信憑性を失わせることや、預言者であった彼の人格を否定することに躍起になる人さえいます。

特に悲しいのは、かつてジョセフ・スミスを尊敬していた人がその信念を捨て、預言者であった彼を批判する側に回るときです。

ニール・A・マックスウェル長老はこう言っています。『教会から離反した人々の目を通して教会について学ぼうとするのは、ユダの言葉からイエスを知ろうとするようなものです。離反した人が語るのは常に、脱退してきた組織についてよりも、彼ら自身のことなのです。』[“All Hell Is Moved” (ブリガム・ヤング大学デイポーショナル, 1977年11月8日), 3, speeches.byu.edu] .....

救い主の再臨の日が近づくにつれ、預言者ジョセフ・スミスに関する否定的な意見が増えていきます。半端な真理や巧妙なうそが減ることはありません。皆さんの助けを必要とする家族や友人が出てきます。今こそ、皆さん自身の霊的な酸素マスクを調節し、真理を求めている人たちを助けられるよう備えをする時です。」(「ジョセフ・スミス」『リアホナ』2014年11月号, 28-30)

次の質問について話し合います。

- ジョセフ・スミスの死後長い年月がたったとしても、教会の敵は彼の信頼性を傷つけようとし続けていることに注意しておくことが役に立つのはなぜですか。
- ジョセフ・スミスが神の預言者であることを知るために真理を探究する人々を助けるには何ができますか。

ニール・L・アンダーセン長老の次の声明を掲示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「心から真理を求める人には、回復された福音が広まっているのは預言者ジョセフを通して始まった主の業が成就してきているからだと分かるはずですよ。.....

イエスは言われました。

『良い木が悪い実をならせることはないし、悪い木が良い実をならせることはできない。……

……このように、あなたがたはその実によって彼らを見わけるのである。』〔マタイ7：18, 20〕

このような説明には説得力がありますが、心から真理を求める人はそれだけに頼ってよしとするべきではありません。

信じる人々はそれぞれ、預言者ジョセフ・スミスが天から受けた使命とその人格について霊的な確認を受ける必要があります。それはどの世代でも同じです。霊に関わる質問には霊を通して神から答えが与えられます。」（「ジョセフ・スミス」『リアホナ』2014年11月号、28–30）

次の質問をして、預言者ジョセフ・スミスについての証を述べる機会を生徒に与えます。

- 末日聖徒イエス・キリスト教会の側面で、ジョセフ・スミスの預言者としての使命の証拠であると思うものは何ですか。
- 預言者ジョセフ・スミスに対する証を助けた経験はありますか。

扶助協会の4人目の会長として奉仕したバスシバ・W・スミス（1822–1910年）とブリガム・ヤング大管長（1801–1877年）による次の声明を掲示してレッスンを終えます。スミス姉妹とヤング長老は、どちらも生前のジョセフ・スミスを知っていました。一人の生徒に、これらの声明を声に出して読んでもらいます。



「福音を聞いたとき、それが真実だと分かりました。モルモン書を初めて読んだとき、それが神の靈感によるものと分かりました。ジョセフ・スミスに会ったとき、生ける神の預言者と向かい合って立っていることが分かりました。彼の権威について心の中に何の疑いもありませんでした。」（バスシバ・W・スミス『わたしの王国の娘—扶助協会の歴史と業』34で引用）



「わたしは自分がジョセフ・スミスを知っていたと思うと、ずっとハレルヤと叫んでいたい気持ちになります。ジョセフは主がお立てになって聖任され、地上における神の王国を築き上げて維持する鍵と力をお授けになった預言者です。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』495で引用）

預言者ジョセフ・スミスの証と、それを個人的またはソーシャルメディアなどで他の人に分かち合うには何ができるかを考えるよう生徒に勧めます。この証を分かち合いたいと思う人を決め、それを実行するように生徒たちを励まします。

## 生徒用資料

- 2ニーファイ3：1-21；教義と聖約122：1-2；135：3；ジョセフ・スミス—歴史1：33
- ニール・L・アンダーセン「ジョセフ・スミス」『リアホナ』2014年11月号, 28-31

## 第22課

# 預言者ジョセフ・スミスの殉教

### はじめに

預言者ジョセフ・スミスと彼の兄であるハイラム・スミスが殉教するに至ったのは、教会内の反対者と教会外の敵対者のためでした。二人の死は、モルモン書、教義と聖約、および回復されたイエス・キリストの福音に対して強力な結び固めを証に付け加え

ました。預言者ジョセフ・スミスの人生と殉教についての研究は、預言者ジョセフ・スミス、つまり末日に福音を回復するために主がお遣わしになった人物の教導の業を通じて、主が与えてくださった祝福を生徒が理解するのに役立ちます。

### 背景となる読み物

- トーマス・S・モンソン「預言者ジョセフ・スミス—模範による教師」『リアホナ』2005年11月号、67–70
- 「殉教」『時満ちる時代の教会歴史生徒用手引き』第2版（教会教育システム手引き）、272–285
- 「殉教預言者、自らの血をもって証を結び固める」『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』529–540

### 教えるための提案

#### 教義と聖約135：4–5；136：36–39

#### ジョセフ・スミス殺害を試みた敵

カーセージの監獄の写真を掲示します。1844年6月27日、預言者ジョセフ・スミスと、教会の祝福師であった兄のハイラム・スミスが、イリノイ州のカーセージにある監獄で殉教したことを生徒に説明します。殉教当時、ジョセフは38歳、ハイラムは44歳でした。

一人の生徒に教義と聖約136：36–39を声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読してもらいます。読みながら、主がジョセフ・スミスの人生と偉業をどのように述べておられるのかを見つけるように生徒を励まします。次の質問について話し合います。

- 主は、預言者ジョセフ・スミスの人生と偉業をどのように説明されましたか。（生徒の答えには次の事柄が含まれるでしょう。ジョセフ・スミスはこの神権時代における神の業のための基を据えた。預言者ジョセフ・スミスは彼の死に対しては罪がなく、神から与えられた使命を忠実に全うした。）





預言者の死によってもたらされた影響について生徒が理解できるように、次のことを伝えます。聖徒たちはイリノイ州で3年間比較的平和に暮らしていましたが、1842年には、再び迫害されるようになりました。教会の敵対者には、聖徒たちの政治的影響を恐れたイリノイ州の住民が含まれていました。その他の者は、ノーブーの経済的な成長に嫉妬し、ノーブー市自治体と民兵の力に対して批判的でした。幾つかのモルモン独特の教義や習慣についての誤解もありました。教会内の反対者と教会外の敵対者は、預言者と教会に立ち向かうために協力しました。



レッスンの最後の部分にある配付資料のコピーを各生徒に配ります。一人の生徒に、配付資料の「預言者と教会への反発」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。

預言者の死の当時に施行されていた法律によると、新聞社が破壊されたとき、どの法律に対しても違反していなかったことを説明します。十二使徒定員会のダリン・H・オックス長老が語った次の言葉を掲示します。



「このような市や州政府の行為に対して出版の自由を保証するアメリカ合衆国憲法の改正案は、1868年まで採択されておらず、実際連邦法として施行されたのは1931年になってからなのです。……先人の行為は、当時の法律や戒めや状況に照らして判断されるべきであって、我々の時代のそれを基に判断してはならないのです。」（「ジョセフ一人として預言者として」『聖徒の道』1996年7月号, 83）

- わたしたちが初期の教会の指導者の行為を考えると、オックス長老の話の最後の部分を覚えておくことが大切なのはなぜでしょうか。（ノーブー市議会議員の多くは教会員でしたが、新聞社を破壊するように命令したとき、彼らは選任された公務員という立場で行動していたことを指摘してもよいでしょう。組織としての教会は、新聞社に関して何ら措置を講じませんでした。市議会は「迷惑行為を……排除する」ために措置を講じました〔**History of the Church**, 第6章, 432で引用）。

一人の生徒に、配付資料の「無実の罪に問われたジョセフとハイラム」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。別の生徒に教義と聖約135：4を声に出して読んでもらいます。他の生徒には一緒に黙読してもらい、カーセージへの移動中にジョセフ・スミスが預言した内容を探してもらいます。

- 全ての人間は不完全であるとしても、「神に対してもすべての人に対しても、責められることがない」良心を持つには何が必要だと思いますか。（教義と聖約135：4）

ハイラム・スミスがカーセージの監獄に行く準備をしているとき、エテル12：36–38を読み、そのページを折り返したことを説明します。一人の生徒に教義と聖約135：5を声に出して読んでもらいます。これはエテル書の聖句から直接引用されるものです。他の生徒には一緒に黙読してもらいます。この聖句がハイラムにとって意味あるものであった理由を考えるよう生徒に勧めます。印象に残った言葉や文に印を付けるように提案してもよいでしょう。

- ハイラムが投獄、および死の可能性に直面していたとき、エテル書のこれらの聖句のどの言葉がハイラムにとって意味のあるものだったと思いますか。
- 「すべての人は、わたしの衣があなたがたの血で汚れていないことを知るであろう」という文はどういう意味だと思いますか。（生徒たちに5節をモルモン書ヤコブ1：19およびモーサヤ2：27と相互参照してもらい、この文の意味を探してもらいます。追加的な見解を提供する他の聖典との相互参照を学ぶことは、重要な聖文研究スキルである。）

全力を尽くして神からの召しと職務を全うしたことについて、ジョセフとハイラムがどのように感じたかを生徒に考えてもらいます。

- ジョセフとハイラムの模範から学ぶことができる事柄で、わたしたちが神から受けた責任を全うするために役立てることができるものに何がありますか。

### 教義と聖約135：1-3, 6-7

#### カーセージの監獄での殉教とジョセフ・スミスへの賛辞

一人の生徒に教義と聖約135章の前書きを読んでもらいます。（この聖文のための1981年版と2013年版の前書きの違いは、最近の学識を反映していると指摘してもよいでしょう。）数人の生徒に、教義と聖約135：1-2と、配付資料の「カーセージの監獄での殉教」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。他の生徒には一緒に黙読してもらいます。

- 「この書と『モルモン書』の証を確かなものとする」という言葉はどういう意味だと思いますか。

生徒たちが考えを発表するときに、「結び固める」とは、例えば証などを永遠に確立することという定義をホワイトボードに書きます。生徒たちが1節の横にこの定義を書くように提案してもよいでしょう。

生徒たちに、ジョセフとハイラム・スミスの殉教の知らせから学ぶ真理を探しながら教義と聖約135：3, 6-7を黙読してもらいます。

- ジョセフとハイラム・スミスの殉教の知らせからどのような真理を学びましたか。（生徒たちは次のような真理を挙げるでしょう。イエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた。モルモン書と教義と聖約は、この世の救いのために明らかにされた。）
- 預言者ジョセフ・スミスの教導の業がなければ、あなたの人生は具体的にどのように違っていたと思いますか。

一人の生徒に、配付資料の「預言者ジョセフ・スミス」というタイトルの箇所にあるダリン・H・オークス長老による声明を声に出して読んでもらいます。

- ジョセフ・スミスと近い間柄の人たちが、彼を預言者、かつ「高潔な徳高い人物」とであると見なしたことを理解することはなぜ大切ですか。

ジョセフ・スミスについての証を述べたい人がいるかどうか生徒に尋ねて、レッスンを終えます。これから数日間、預言者ジョセフ・スミスとイエス・キリ

ストの福音を回復するための彼の役割について誰かに証を述べる機会を探すように生徒を励まします。

## 生徒用資料

- 教義と聖約135：1-7；136：36-39
- トーマス・S・モンソン「預言者ジョセフ・スミス—模範による教師」『リアホナ』2005年11月号，67-70

### 預言者ジョセフ・スミスの殉教

#### 預言者と教会への反発

1844年の6月には、教会に対する憎悪がますます激化しました。イリノイ州住民の中には、州から生徒たちを追い出そうと話す者もいれば、預言者の殺害を計画する者もいました。預言者に対する陰謀を企てる者の中には、信仰を失って教会を去っていった者もいました。1844年6月7日、大管長会の第二顧問として奉仕したウィリアム・ロー、およびその他の背教者が、ノーブー・エクスポジターと呼ばれた新聞の創刊号を出しました。預言者と教会に対する市民の感情をあおるため、彼らはジョセフ・スミスとその他教会の指導者を中傷するのにこの新聞を利用しました。ノーブー市長としての役割を果たしていたジョセフ・スミスとノーブー市議会の大多数は、この扇動的な新聞が市に対する集団暴力につながると認識しました。彼らは、この新聞を公衆の迷惑であると宣言し、ノーブー・エクスポジター新聞社の破壊を命じました。

#### 無実の罪に問われたジョセフとハイラム

「市長と市議会が取った措置（ノーブー・エクスポジターの破壊）に対して、イリノイ州当局は、何の根拠もなく、騒乱罪の容疑で預言者と兄のハイラム、およびその他のノーブー市会議員を告発した。イリノイ州知事のトーマス・フォードは、彼らに郡庁所在地であるイリノイ州カーセージで裁判を受けるように命じ、また彼らの保護を約束した。ジョセフは、もしカーセージに赴いたら、脅しをかけている暴徒たちによって自分の命が大きな危機にさらされることを知っていた。

暴徒が求めているのは自分たちだけであると考えたジョセフとハイラムは、命を守るために西部へ逃れる決意をした。6月23日、二人はミシシッピ川を渡ったが、同日、ノーブーからやって来た兄弟たちが預言者を探し出し、もし預言者がカーセージの当局に出頭しなければ、軍隊が市に侵攻して来るだろうと告げた。預言者は政府役人と暴徒の両方をなだめることができればと願い、出頭することに同意した。6月24日、ジョセフ・スミスとハイラム・スミスは家族に別れを告げると、他のノーブー市会議員たちとともに馬でカーセージに向かい、翌日、カーセージにある郡当局に任意出頭した。兄弟たちは当初の容疑に関して保釈金を払って保釈されたが、その後、イリノイ州に対する反逆罪の容疑で不当に逮捕され、審理を待つためにカーセージの監獄に勾留された。当時十二使徒の中で伝道に赴いていなかったジョン・テラー長老とウィラード・リチャーズ長老が、志願して二人に加わった。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』529-530）

#### カーセージの監獄での殉教

1844年6月27日、訪問者がジョセフに拳銃を渡しました。暴徒が預言者と他の男たちが拘束されている部屋に入ろうとしたとき、ハイラムは部屋にいる皆を守ろうとして銃殺されました。ジョセフはドアに飛びつき、廊下に向かって銃を撃とうとド

アの枠の後ろに手を回しました。6弾のうち3弾のみが発砲され、暴徒の何人かが怪我を負いました。暴徒は次に半分閉じられたドアの隙間に銃をこじ入れましたが、ジョン・テラーは杖を彼らの銃の砲身に叩きつけました。

出入り口での対立が激化するにつれ、ジョン・テラーは窓から脱出を試みました。ジョンが窓から飛び出そうとしたとき、出入り口から太ももを撃たれ、外側にいた何者かにも銃弾を受けました。床に倒れたジョンは、窓の横にあったベッドの下に潜り込もうとしましたが、さらに3発の銃弾で重傷を負いました。一方、出入り口から銃が差し込まれ、ウィラード・リチャーズがそれらに杖で対抗し始めました。

ジョセフ・スミスは同じ窓から脱出しようとしていました。ウィラード・リチャーズがドアにいる暴徒をかわそうとしている間、預言者は開いた窓に飛びつきました。そのとき、ジョセフは監獄の内外からの銃弾に撃たれ、「おお、わたしの神、主よ」と叫びながら窓から地面に落ちました。監獄の中にいた暴徒たちは、ジョセフが死んだことを確認するために外に飛び出しました。カーセージに向かっていた教会員はいませんでした。誰かが「モルモンが来るぞ！」と叫び、暴徒たちは全員逃げました。

### 預言者ジョセフ・スミスへの賛辞

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は次のように語っています。



「ジョセフを最もよく知り、教会の指導的立場にあって彼に最も近かった人たちは、彼を預言者として愛し、支持しました。兄ハイラムはジョセフとともに死ぬことを選びました。殺害されたとき一緒にいたジョン・テラーは、こう語っています。

『わたしは神と天使と人々の前で証する。彼は善良で高潔な徳高い人物であり、……私的にも公的にも人格に一点のやましさもなく、神の僕として生き、死んでいった。』（The Gospel Kingdom [1987年], 355. 教義と聖約135：3も参照）ブリガム・ヤングはこう明言しています。『この地上に生を受けている人の中でわたし以上に〔ジョセフ〕のことを知っている人はいない。わたしは声を大にしてこう言う。イエス・キリストを除いて彼ほど立派な人物は存在しなかったし、これからも存在することはないであろう。』（Discourses of Brigham Young, ジョン・A・ウイツォー選（1954年）、459）」（「ジョセフ一人として預言者として」『聖徒の道』1996年7月号、84）

## 第23課

# 大管長の職の継承

### はじめに

生涯の終わりに近づいた頃、ジョセフ・スミスはこの神権時代の神権の鍵を十二使徒定員会会員に授けました。預言者の殉教後、1844年8月8日に開かれた集会で、多くの聖徒が十二使徒定員会会長であったブリガム・ヤングが教会を導くことを確信させる霊

的な現れを得ました。生徒たちが教会の大管長の職の継承に関する原則を理解するときに、生徒たちは、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長となるそれぞれの人物が主に選ばれ、備えられたという確信を持つようになります。

### 背景となる読み物

- 「大管長の職の継承」『生ける預言者の教え—生徒用手引き』（教会教育システム手引き）、39–43
- 「王国を支える十二使徒」『時満ちる時代の教会歴史生徒用手引き』第2版（教会教育システム手引き）、286–296
- ブレント・L・トップおよびローレンス・R・フレック，“The Kingdom of God Will Roll On’: Succession in the Presidency,” **Ensign**, 1996年8月号, 22–35

### 教えるための提案

#### 教義と聖約107：33；112：30–32

#### この神権時代の鍵を持つ使徒

次の質問をします。

- 末日聖徒イエス・キリスト教会の新しい大管長を選出する過程は、他の組織でリーダーを選出する方法とどのように異なりますか。

このレッスンでは、預言者ジョセフ・スミス没後における教会の指導権の移行を詳しく見ていくものであることを生徒に伝えます。死の数年前、預言者は大管長会と十二使徒定員会についての啓示を受けたことを説明します。生徒たちに教義と聖約107：33および112：30–32を調べてもらい、大管長会と十二使徒定員会の会員が持つ神権の権能についての主の説明を探してもらいます。

- 主は、大管長会と十二使徒定員会の権能をどのように説明しておられますか。（大管長会と十二使徒定員会の会員がこの神権時代の神権の鍵を持ち、十二使徒は大管長会の指示に基づいて機能するという原則を生徒が理解できるようにします。）



このレッスンの最後の部分にある配付資料のコピーを各生徒に配ります。ジョセフ・スミスが、教会を導くために十二使徒定員会会員を備えるため、人生の最後の数か月間を彼らとの度重なる集會に費やしたことを説明します。一人の生徒に、配付資料にある「1884年3月、十二使徒との集會」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。これは預言者ジョセフ・スミスが使徒とその他教会の指導者とともに開いた集會の簡単な説明で、当時



使徒であったウィルフォード・ウッドラフ大管長が語ったものであることを生徒に伝えます。読んでもらった後、次の質問をします。

- 十二使徒定員会会員への鍵の授与は、預言者ジョセフ・スミスが亡くなったときのために定員会会員を備えるためのどのような助けになりましたか。（十二使徒定員会会員は、預言者ジョセフが持っていたものと同じ神権の鍵を受けた。）
- ジョセフ・スミスがその死の前に神権の鍵を使徒に授けることが重要であったのはなぜですか。（その当時、この神権時代の神権の鍵の全てを持っていたのはジョセフ・スミスだけであった。これらの鍵を誰かに授けていなければ、それらを回復するために天使が再度地上に来る必要があった。）

### 教義と聖約124：127－28

#### 教会の大管長としてジョセフ・スミスの後を継いだブリガム・ヤング

1835年に十二使徒定員会が初めて組織されたとき、定員会は年功序列制でした。当時最年長の使徒であると考えられていたトーマス・B・マーシュが前任使徒であると見なされていました（その後、実際はデビッド・W・パッテンが最年長の使徒であったことが分かりました）。

一人の生徒に、教義と聖約124：127－28を声に出して読んでもらいます。1838年10月、マーシュ会長は信仰を捨てて教会を去り、デビッド・W・パッテンは死去したことを説明します。その後、これらの聖句にあるとおり、ブリガム・ヤングが最年長の前任使徒となりました。使徒の最初の選出から現在に至るまで、十二使徒定員会は聖任順で前任者が決められています。

1844年6月27日にジョセフとハイラム・スミスが殉教したとき、ジョン・テラーとウィラード・リチャーズを除く全ての十二使徒がアメリカ西部で伝道していたことを説明します。しかし、それから3週間のうちに全ての使徒がその悲劇的な知らせを聞き、急きょノーブーに戻りました。使徒たちが到着すると、彼らは誰が教会を導くかについて教会員の中で混乱が生じているのを目にしました。教会員の中には、指導権は当然十二使徒定員会のものになると考える者もいました。その後数か月間、何人かが教会を導く権利を有していると主張しました。二人の生徒に、配付資料の「シドニー・リグドンの主張」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちにはそれを聞きながら、もし自分がそのときにノーブーにいたら、これらの主張についてどのような懸念を持ったと思うかを考えてもらいます。

フォローアップとして生徒に次の質問をします。

- これらの人たちの主張が正当でなかった理由は何ですか。（シドニー・リグドンは大管長会の一員ではあったが、ジョセフは彼に神権の鍵を授けていなかったことを説明する必要があるかもしれません。）

一人の生徒に、配付資料の「1844年8月7日」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。クラスで次の質問について話し合います。

- 使徒職の鍵についてのブリガム・ヤングの証が重要であったのはなぜですか。（生徒が答えた後、使徒は教会を統治するために必要な神権の鍵の全てを持っているという教義をホワイトボードに書きます。）



一人の生徒に、配付資料の「1844年8月8日午前10時」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。

- 主はどのように、教会を導くために主が召されたのが誰かを知るよう聖徒を祝福されましたか。
- 今日の教会の指導者が神によって召されたと、どのようにして知ることができますか。（生徒が答えた後、わたしたちは、**聖霊を通じて、この教会を導く人物が神によって召されたという証を得ることができるという原則**をホワイトボードに書きます。）
- 今日の教会の大管長が神によって召されたという御霊の証を感じたことがありますか。

8月8日の午後2時に行われた集会で、ブリガム・ヤングと他の使徒たちが話したことを説明します。一人の生徒に、配付資料の「1844年8月8日午後2時」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。

ジョセフ・スミスが亡くなったとき、ブリガム・ヤングは前任使徒として直ちに全ての神権の鍵を行使できるようになったことを説明します。預言者の殉教から3年以上の間、十二使徒定員会がブリガム・ヤングの指示のもとで教会を統治しました。その後、1847年12月5日にブリガム・ヤングが教会の大管長として支持され、大管長会が再度組織されました。

シドニー・リグドンはペンシルベニア州ピッツバーグに居を移し、使徒、預言者、祭司、そして王のキリスト教会を組織しました。この教会は1847年には崩壊しました。また、ジェームズ・ストラングの大管長の職に対する主張は虚偽であったにもかかわらず、前十二使徒のウィリアム・E・マクレラン、ジョン・E・ページ、およびウィリアム・スミスは彼を支持しました。ストラングは、1856年に不満を抱く教徒たちによって殺害されました。

生徒たちが今日における大管長の職の継承過程を理解するのを助けるため、ゴードン・B・ヒンクレー大管長の死去に当たって十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長が語った次の声明を見せます。一人の生徒に声明を声に出して読んでもらいます。



「何が行われるかははっきりしており、ためらいはありませんでした。わたしたちは前任使徒が教会の大管長となることを知っていました。その神聖な集会において、トーマス・スペンサー・モンソンが十二使徒定員会により教会の大管長として支持されました。……聖文に記されているとおり、この地上で現在、全ての鍵を行使する権利を持つのはモンソン大管長ただ一人です。しかし、使徒であるわたしたちも全員が鍵を持っています。わたしたちの間の一人が召され、聖任され、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長となります。」（「十二使徒」『リアホナ』2008年5月号、83）

- 教会の大管長が死去するとき、常に教会の次期大管長となるのは誰ですか。（十二使徒定員会の会長である前任使徒。）

教会の大管長が教会を統治するために必要な鍵をいつ受け取るのか疑問に思う生徒もいるでしょう。全ての使徒は、使徒として初めて召されたときに全ての

鍵を授けられることを説明します。一人の生徒に、ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910–2008年）による次の声明を声に出して読んでもらいます。



「これらの鍵を行使できるのは、大管長だけに限定されているのです。大管長が死去すると、前任使徒がこの権能を行使するようになり、十二使徒会により指名を受け、この前任使徒が預言者、大管長に聖任されるのです。」（「幸福への招き」『聖徒の道』1986年7月号，49）

- 地上における主の王国が、教会大管長の死後もわずかに中断されるだけで前進することを認識するときに、どのような気持ちを感じますか。

ジョセフ・スミスがブリガム・ヤングと十二使徒定員会会員に授与したのと同じ神権の鍵が教会の大管長、大管長会の顧問、そして十二使徒定員会会員によって今日も所有されていることについて証してこのレッスンを終了してもよいでしょう。また、教会の指導者が神に召されたことについての証をどのように得たかについて話してもよいでしょう。今日話し合った真理についての証を得る、またはその証を強めることを祈り願い求めるよう生徒たちを励まします。

## 生徒用資料

- 教義と聖約107：33；112：30–32；124：127–128
- ボイド・K・パッカー「十二使徒」『リアホナ』2008年5月号，83–87

### 教会の大管長の職の継承

#### 十二使徒との集会，1844年3月

ウィルフォード・ウッドラフ大管長（1807–1898年）は次のように語っています。



「わたしは〔ジョセフ・スミス〕が世を去る前に語った最後の話を覚えています。……ジョセフは3時間ほど立ち続けていました。部屋は焼き尽くす火のようなもので満たされ、彼の顔は琥珀のように澄んでいました。ジョセフは神の力に包まれていました。彼はわたしたちの義務について語りました。この神の大いなる業の全てについて語り、そしてこう言いました。『わたしは、神がかつて地の面に住む人に授けられた、命と救いの全ての鍵、全ての力、全ての原則を、頭上に結び固められています。これらの原則とこの神権と力は、天の神が地上に確立し始められたこの大いなる最後の神権時代に属するものです。』そして十二使徒に言いました。『今わたしは、主がわたしの頭上に結び固められた全ての鍵、全ての力、全ての原則を皆さんの頭上に結び固めました。』……

このように述べた後に、ジョセフは言いました。『皆さんに申し上げます。この王国の重荷は今や皆さんの肩に置かれています。皆さんは全世界において王国を担わなければなりません。そうしなければ罰の定めを受けましょう。』」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』532）

### シドニー・リグドンの主張

大管長会第一顧問のシドニー・リグドンは、1844年8月3日にペンシルベニア州ピッツバーグからノーブーに到着した。彼は、教会員が教会の管理者を選出することができるように、8月6日火曜日に特別集会を召集した。シドニー・リグドンは、十二使徒全員がアメリカ西部の伝道から戻る前に、教会員に彼の教会の管理者としての地位を承認させるためにこの集会の召集を試みたかのように見受けられる。幸いにも、ウィラード・リチャード長老とパーリー・P・プラット長老の努力により、この集会はほとんどの十二使徒がノーブーに戻った1844年8月8日に延期された。

シドニー・リグドンは、以前ジョセフ・スミスの代弁者として召され、聖任されたことから（教義と聖約100：9）、「教会が正しい方法で治められるように取り計らう」のは彼の責任であると主張した（*History of the Church*, 第7巻, 229で引用）。

### ジェームズ・ストラングの主張

ジョセフ・スミスの死後、1844年2月にバプテスマを受けたジェームズ・ストラングは、ジョセフ・スミスがストラングを継承人として指名した手紙をジョセフから受け取ったと主張した。この手紙は偽造されたものであったが、ジョセフ・スミスの署名が記されているようにも見え、ストラングがその手紙を見せたとき、それに惑わされた教会員もいた。ストラングは、彼に天使が訪れ、鍵を与えられたとも言った。

### 1844年8月7日

ジョン・テラー長老、ウィラード・リチャーズ長老、パーリー・P・プラット長老、そしてジョージ・A・スミス長老は、シドニー・リグドンが到着したとき、すでにノーブーにいた。ブリガム・ヤングを含む残りの使徒のほとんどは、1844年8月6日の夜に到着した。翌日の8月7日、使徒たちはジョン・テラーの家に集まり、会議を行った。その日の午後、十二使徒、高等評議員、および大祭司が集まった。ヤング大管長は、聖徒たちに彼の言いたいことを伝えるようシドニー・リグド

ンに依頼した。シドニー・リグドンは、示現を見たこと、そしてジョセフ・スミス以外の誰も教会の大管長の職を継承することができないことを大胆に宣言した。次に、彼は彼自身を人々の管理者として指名することを提案した。

シドニー・リグドンが語り終えた後、ブリガム・ヤング（1801–1877年）は次のように言った。



「わたしは誰が教会を導くかについて関心はないが……一つ知っておかねばならないことがある。それはこの件についての神の御心である。わたしはこの件について神の御心を知る鍵と手段を持っている。……」

ジョセフは、彼がこの世から連れ去られる前に、彼自身が持っていた神権の職に属する全ての鍵と力をわたしたちの頭に授けた。誰も、どんな団体も、この世、そして来世においてジョセフと十二使徒の間に割り込むことはできない。

ジョセフは十二使徒に対して、『わたしは礎を築いたので、あなたたちはその上に築いていかななくてはならない。王国はあなたたちの双肩に掛かっているからである』と何度語ったことか。」（History of the Church, 第7巻, 230で引用）

### 1844年8月8日午前10時

1844年8月8日、ノーブーの聖徒たちは、教会の管理者であるというシドニー・リグドンの主張を聞くため、午前10時に集まった。シドニー・リグドンはそこに集まった何千人もの聖徒たちに対して約1時間半話し、彼が教会の管理者になるべき理由を説明した。そのうちの数人が、シドニー・リグドンのスピーチは靈感のないものであったと述べている。

ブリガム・ヤング大管長は、新しい指導者を指名するためではなく、預言者を追悼するためにノーブーに戻って来たかったと手短かに話した。ヤング大管長は、指導者と教会員の集会がその日の午後2時に行われることを発表した。会員の中には、ブリガム・ヤングが話したとき、彼の外見と声が変わり、預言者ジョセフ・スミスの外見と声になったと証言する者もいた。

エミリー・スミス・ホイトは、次のように振り返った。「説得の仕方、顔の表情、そして声がわたしの魂全体を震わせました。……ジョセフ・スミスが亡くなったことは知っていました。けれど、わたしはしばしばはっとしては、話しているのがジョセフではないかと無意識に確かめていました。それはジョセフではなく、ブリガム・ヤングでした。」（リン・ワトキンス・ジョーガンセン, “The Mantle of the Prophet Joseph Passes to Brother Brigham: A Collective Spiritual Witness,” *BYU Studies*, 第36巻, 4号 [1996–1997年], 142で引用）

ウィルフォード・ウッドラフは、「自分の目で彼を確かめなければ、それがジョセフ・スミスでないとなしを説得できる人はいなかったでしょう。これはこの二人との面識がある人なら誰でも証明できることです。」（History of the Church, 第7巻, 236で引用）

### 1844年8月8日午後2時

午後2時、この集会が大きな意味を持つものとなることを理解していた何千人もの聖徒たちが集まった。ブリガム・ヤングは、シドニー・リグドンの管理者としての

職務の提案と、彼が過去2年間にわたってジョセフ・スミスから遠ざかっていたことについて率直に話した。

「リグドン会長によって導かれることを人々が望むならば、それもよいだろう。しかし、わたしは世界全体における神の王国の鍵を持つのは十二使徒定員会であることを述べておく。

十二使徒は、神の指によって指名された。ここにブリガムあり。彼のひざがよるめいたことはあるか？彼の唇が震えたことはあるか？ここにヒーバー（C・キンボール）と残りの十二使徒あり。神権の鍵、すなわち世界の隅々まで伝えられる神の王国の鍵を持つ独立した団体である。これは紛れもない事実なのである。彼らはジョセフ・スミスの隣に立つ、教会の大管長会なのである。」（History of the Church, 第7巻, 233で引用）

多くの聖徒たちが、その午後ブリガム・ヤングが話したとき、彼の外見と声がジョセフ・スミスにそっくりであったと話しています。この奇跡に加え、多くの聖徒たちが、ブリガム・ヤングと十二使徒定員会が教会を導くために神によって召されたと聖霊が証するのを感じました。この集会の終わりに、ノーブーの聖徒たちはブリガム・ヤングを教会頭とした十二使徒定員会が教会を導くことを満場一致で支持しました。しかし、教会の会員の全てが最終的に使徒に従うことを選んだわけではありませんでした。それぞれ独自の教会を設立したシドニー・リグドンとジェームズ・ストラングなどの人物に従うことを選んだ人々もいました。

## 第24課

# ノーブーからの退去と西部への旅

### はじめに

ブリガム・ヤングの靈感を受けた指導の下でノーブー神殿の建築を完了させた聖徒たちは、ロッキー山脈の新しい生活の地への困難な旅を始める前に、この神殿で神聖な聖約を交わしました。これらの神殿の聖約は、聖徒たちがその道のりで困難に直面した

とき、彼らに力と靈感を与えてくれました。これらの忠実な聖徒たちの遺産の継承者として、わたしたちは彼らの模範から学び、他の人々が福音の祝福を享受するための道を備えることができます。

### 背景となる読み物

- ゴードン・B・ヒンクレー「信仰に忠実に」『聖徒の道』1997年7月号, 74-77
- M・ラッセル・バラード「旅について何も恐れる必要はない」『聖徒の道』1997年7月号, 68-71
- (『時満ちる時代の教会歴史生徒用手引き』第2版(教会教育システム手引き), 302-314, 329-336



## 教えるための提案

### ノーブー神殿の完成





元のノーブー神殿の写真，または新しいイリノイ州ノーブー神殿（『福音の視覚資料集』118番を参照）を掲示します。末日聖徒がノーブーを去った後，彼らが建築した神殿は1848年の火災で全焼し，次に1850年の竜巻で完全に破壊されたことを生徒たちに話します。それから約150年後，元の神殿と非常に似通った新しい神殿が建築され，2002年6月に奉獻されました。

ジョセフ・スミスの殉教後，聖徒たちは元のノーブー神殿をできるだけ早急に完成させるため，十二使徒定員会の指示の下で働いたことを説明します。次の声明を掲示し，一人の生徒に声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには，ノーブー神殿を建築するために聖徒が払った犠牲について注意して聞いてもらいます。

「1,000人以上の人々が10日おきに労働奉仕をしている。まだ少女であったルイーザ・デッカーは母親が食器とベッドキルトを売って神殿のために献金したことを印象深く覚えている。他の末日聖徒は、馬や馬車、牛、豚、穀物を神殿建設のためにささげた。ノーブーの女性たちは小銭を神殿基金としてささげるように求められた。」（『わたしたちの受け継ぎ 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』53）

エリザベス・テリー・カービー・ハワードは、たった一つの所持品をささげました。それは最近亡くなった夫の腕時計でした。「わたしは、ノーブー神殿（の建築）を助けるために時計をささげ、わたしがこの世で持っていた手放すことができるあらゆる物と最後の数ドルをささげました。全部で50ドル近くになりました。」（キャロル・コーンウェル・マドセン, *In Their Own Words: Women and the Story of Nauvoo* [1994], 180で引用）

増え続ける聖徒への迫害と、教会に敵対する者からの脅しのため、1845年9月24日、教会の指導者は次の春に聖徒たちがノーブーを去ることを発表しました。生徒に質問します。

- ノーブーを去るという判断は、聖徒たちの神殿を完成するという努力にどのように影響したと思いますか。

イリノイ州を去らなければならないことを知っていても、聖徒たちはそこを去る前に神殿を完成するため、ますます努力したことを生徒に説明します。神殿の部屋は、できるだけ早く儀式を行うことができるように、完成するたびに奉獻されました。死の前、預言者ジョセフ・スミスは男性と女性の小さなグループに対して神殿のエンダウメントの儀式を執り行いました。1845年12月10日、これらの男性と女性は、奉獻された神殿の部屋で他の教会員のために神殿の儀式を始めました。一人の生徒に次の2段落を読んでもらいます。これには、聖徒たちと指導者が、ノーブーを去る前にできるだけ多くの人が神殿の儀式を受けることができるようにしたことが書かれています。

1844年から1846年、ブリガム・ヤング大管長と十二使徒は、ノーブー神殿の完成を緊急を要する優先事項としました。神殿では、建築が終わる前でさえもエンダウメントと結び固めが行われました。ブリガム・ヤング大管長

（1801–1877年）は次のように記録しています。「聖徒たちが心待ちにしていたのは（神殿の）儀式を受けることであり、わたしたちの方ではぜひとも儀式を授けたいと思っていた。そこでわたしは昼夜神殿の中で主の業に自らをささげ、1日平均4時間以上の睡眠は取らず、帰宅するのは週に1度であった。」（**History of the Church**, 第7巻, 567で引用）

神殿で働いた男性会員に加え、「36人の女性がノーブー神殿の儀式執行者となり、1845–1846年の冬中、そこを去る前にできるだけ多くの人に儀式を執り行うため、絶え間なく働いた。36人のうちの一人であったエリザベス・アン・ホイットニーは当時を振り返り、『わたしは神殿で毎日、終了時間になるまで休むことなく働きました。その使命のために、わたし自身、わたしの時間と思いをささげました』と語っている。数十人の他の女性が衣服を洗い、このすばらしい業を肉体的に支える食事を用意した。」（キャロル・コーンウォール・マ



ドセン, “Faith and Community: Women of Nauvoo,” スーザン・イーストン・ブラック, チャールズ・D・テイト・ジュニア編, **Joseph Smith: The Prophet, The Man**, [1993年], 233–234)

1845年12月10日から聖徒たちが西部への旅に出発した日である1846年2月7日までの間に、約5,615人の聖徒がノーブー神殿でエンダウメントの儀式を受け、数多くの家族が結び固められました。

- すぐにノーブーを去ると知りながら神殿を完成させた聖徒の犠牲から何を学ぶことができますか。（生徒は、**神殿の儀式を受けることには、全てを犠牲にして義になかった努力をする価値がある**など、さまざまな原則を挙げるでしょう。これを強調するためにホワイトボードに書いてもよいでしょう。）
- アメリカ西部に安全な居住地を求めてノーブーを去り1,000マイル（約1,600キロ）以上の旅をする聖徒たちにとって、神殿の儀式を受けることはどのような準備になったと思いますか。

この質問の助けとするため、サラ・リッチ姉妹と十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老による声明を掲示し、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「もしも主の御霊の影響力と助けにより神殿で授かった信仰と知識がなかったなら、真冬に始めるこの旅はまるで暗闇の中に飛び込むようなものであり、貧しさの中で、死に向かって歩いているようなものだったでしょう。」（サラ・リッチ, **Daughters in My Kingdom: The History and Work of Relief Society** [2011年], 30)



「わたしたちの先祖である開拓者たちは、ノーブーで家族として結び固められました。……聖約が、西部への旅の間彼らの守りとなったように、わたしたちにとっても聖約を交わすことは、今現在、そして生涯にわたって守りとなります。……

困難や怒りに満ちた暴徒に遭い、ノーブーの快適な家を追われ、長くつらい旅を続けなければならなかった初期の聖徒たちにとって、神殿の儀式に参加することは証を強めるために不可欠でした。彼らは聖なる神殿で力を授けられました。夫と妻は互いに結び固められ、子供は両親に結び固められました。多くの人が旅路の途中で家族と死別しましたが、彼らにとって死が終わりではないことを知っていました。神殿において永遠に結び固められていたからです。」（ロバート・D・ヘイルズ「神殿の祝福」『リアホナ』2014年2月号, 53–54)

生徒に質問します。

- 神殿の儀式を受けることは、西部に向かう長い旅を強いられた初期の末日聖徒にどのような影響を与えましたか。（生徒が答えるとき、**神殿の儀式は、苦難と逆境に直面するときにわたしたちに守りと力を与えてくれる**という原則を理解できるように助けてください。）

- 神殿での礼拝は、試練のときにあなたやあなたの知っている人をどのように守り、強めましたか。

主の宮での礼拝を通じてよりすばらしい霊的な守りと力を見いだすために何ができるかを生徒に深く考えてもらいます。

## 教義と聖約第136章

### 西部に旅した聖徒への主の指示



教会歴史地図6「西部への教会の移動」を開き、ノーブーとウィンタークォーターズを見つけてもらいます。過度の降雨と必需品不足のため、1846年2月にノーブーを去った聖徒たちは、アイオワ州を横断する300マイル（約483キロ）の旅に4か月を費やしました。この時期、モルモン大隊として知られるようになった500人を超える末日聖徒の男性たちが、合衆国とメキシコの戦争中、ブリガム・ヤング大管長の呼びかけに応じてアメリカ陸軍での兵役に服しました。このうちの何人かは、妻と子供たちとともに旅をしました。兵役に就くことで、貧しい教会員は西部へ旅するための費用を賄うことができましたが、多くの家族は一時期に夫や父親なしで西へと向かうことになりました。このような理由で、教会の指導者は1847年の春までロッキー山脈に向かう西への旅を中断することを決定しました。聖徒たちは、彼らがウィンタークォーターズと呼んだ場所に居留しました。ブリガム・ヤングが教義と聖約136章に記録されている啓示を受けたのはこの場所でした。

数人の生徒に、交代で教義と聖約136：1-5を声に出して読んでもらいます。残りの生徒たちには一緒に黙読してもらい、主が西への旅を続ける準備のために聖徒に指示された事柄を見つけてもらいます。

- 部隊はどのように組織されましたか。この組織によって、聖徒たちは旅の途中どんな助けを受けたと思いますか。
- この組織には、今日教会が組織されている方法とどのような類似点がありますか。（生徒が答えた後、主は、一人一人が導かれ、手助けされるように主の聖徒たちを組織されるという真理をホワイトボードに書きます。）
- 4節は、聖徒たちが主の御心を達成しようと努力する際にどのようにして力を受けるかについて、何を示唆していますか。

生徒たちに教義と聖約136：6-11を静かに調べてもらい、西部への旅の間、互いに世話をし合い、貧しい人や助けの必要な人たちを援助するために、聖徒た

ちがどのように組織されることになったかを見つけてもらいます。時間を十分に取ってから、次の質問をして、話し合いを促します。

- 6－11節で、互いに助け合い、困っている人を助ける聖徒たちの義務を示す言葉や文はどれですか。（6, 7, 9節にある「備え」「準備」という言葉を強調してもよいでしょう。これにより、「繰り返しに気付く」という聖文研究のスキルに注意を向けることができる。）
- 11節によると、他の人を助け、彼らのために道を備えようと努力する人に対して主は何を約束されておられますか。（生徒が答えるとき、主は、わたしたちが他の人を助け、その人たちのために道を備えるときにわたしたちを祝福してくださるという原則をホワイトボードに書きます。）
- 福音の祝福を享受できるようにあなたの道を備えてくれたのは誰ですか。その人達は、あなたの道を備えるために何をしてくれましたか。

「開拓者」という言葉は、他の人が従うための道を備えて開くために先を歩む人と定義することもでき、これはわたしたち全員が何らかの形で開拓者になることができることを意味すると説明してもよいでしょう。少し時間を取って、福音の祝福を享受できるように他の人を助け、その人の道を備えるには何ができるかを生徒に深く考えてもらいます。数人の生徒に考えを分かち合ってもらいます。「主は、神の子供一人一人が福音を受け入れて神のみもとに戻って神とともに住むことができるように、わたしたちが一生を通じて彼らのために道を備えようと努力することを望んでおられる」ということを証します。

これらの聖徒たちが、互いを助け合い、後に続く者のために道を備えることによって主の戒めに従ったことを説明します。開拓者の最初のグループがウィンタークォーターズを去ったのは1847年4月5日でした。彼らは1,000マイル以上を旅して、1847年7月下旬にソルトレーク盆地に到着しました。1847年7月24日、ブリガム・ヤング大管長はソルトレーク盆地に入り、聖徒たちが新しい居住地を見つけたという確認を受けました。

七十人定員会のウィリアム・R・ワーカー長老の次の声明を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「皆さんが開拓者の子孫であるかどうかにかかわらず、モルモンの開拓者の信仰と犠牲の遺産は、皆さんの受け継ぎでもあります。それは末日聖徒イエス・キリスト教会の気高い遺産だからです。」（「信仰に忠実に生きる」『リアホナ』2014年5月号, 97）

- 教会の各会員が、それぞれの先祖にかかわらず、「モルモンの開拓者の信仰と犠牲の遺産」が自分たちの遺産であると理解することが重要なのはなぜだと思いますか。
- モルモンの開拓者の旅について学ぶことは、他の人に奉仕し、天の御父のみもとへ戻る旅を助ける今日の教会員に対し、どのように靈感を与えることができますか。



ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910－2008年）の次の声明を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「今日、わたしたちは彼らが尽くした大いなる働きの恩恵に浴しています。皆さんとともに、彼らに感謝したいと思います。彼らがわたしたちのためにしてくれた全てのことに対し、心からの感謝の念を持ちたいと思います。……

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは何と恵まれていることでしょうか。何というすばらしい受け継ぎを得ていることでしょうか。その中には、永遠の父なる神とその御子であるよみがえられた主イエス・キリストの犠牲、苦しみ、死、示現、信仰、知識、証も含まれます。……

わたしたちは真理の大義の中でよく奉仕することにより、先人たちに最高の誉れを与えることができます。」（「信仰に忠実に」『聖徒の道』1997年7月号，74－77）

教会の全ての会員が、福音の祝福を受けるために道を備えてくれた人によって祝福されているということを生徒に思い出してもらいます。自分の子孫を含む人達が、天の御父、そしてイエス・キリストへの信仰を持って従順に生きるために道を備えるには何ができるかを考えるように生徒を励まします。

## 生徒用資料

- 教義と聖約第136章
- ゴードン・B・ヒンクレー「信仰に忠実に」『聖徒の道』1997年7月号，74－77

## 第25課

# ユタ戦争とマウンテン メドーの虐殺

### はじめに

1850年代、末日聖徒とアメリカ合衆国政府当局との間における緊張関係と誤解から、ユタ戦争（1857–1858年）が勃発しました。1857年9月、ユタ準州南部の一部の末日聖徒と、幌馬車でカリフォ

ルニアに向かう移住者とが衝突し、怒りと恐怖に駆られた末日聖徒が約120人の移住者を虐殺する計画を立て、実行しました。この残虐な行為は、マウンテンメドーの虐殺として知られています。

### 背景となる読み物

- リチャード・E・ターリー・ジュニア, “The Mountain Meadows Massacre,” *Ensign*, 2007年9月号, 17–21
- 「19世紀の末日聖徒の平和と暴力」福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics?lang=jpn>
- ヘンリー・B・アイリング, “150th Anniversary of Mountain Meadows Massacre,” 2007年9月11日, [mormonnewsroom.org/article/150th-anniversary-of-mountain-meadows-massacre](http://mormonnewsroom.org/article/150th-anniversary-of-mountain-meadows-massacre)

### 教えるための提案

#### 初期の末日聖徒と合衆国政府との間で高まった緊張

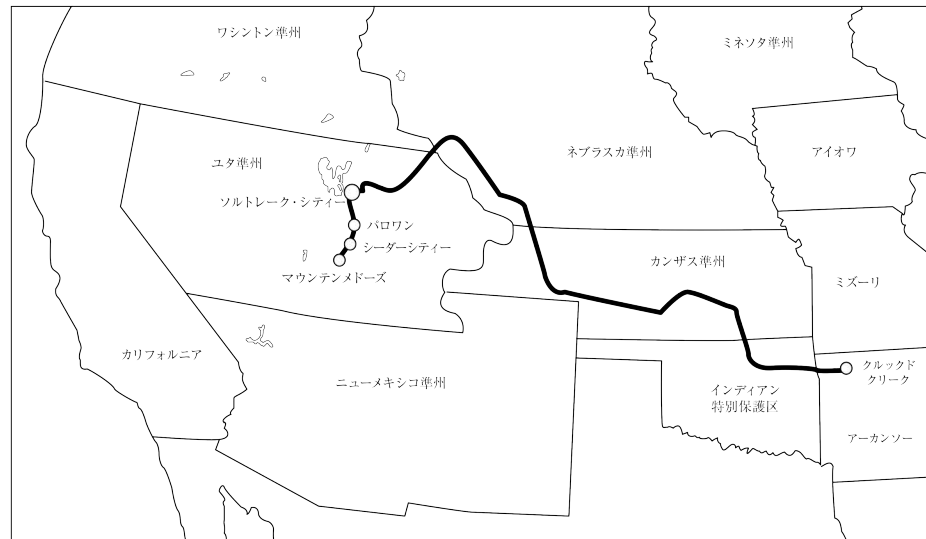


このレッスンの最後の部分にある配付資料のコピーを各生徒に配ります。一人の生徒に、配付資料の「高まる緊張が引き起こしたユタ戦争」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。

- もしあなたが1857年の末日聖徒であり、大きな軍隊があなたの住む市に進軍してきていると聞いたら、どんな心配をしたと思いますか。（生徒たちは、聖徒がオハイオ州、ミズーリ州、そしてイリノイ州から暴力的に追い出されたこと、多くの人が貴重品や土地を失ったこと、これらの迫害の中で殺害されたり亡くなったりした人がいたことを挙げるでしょう。軍隊が進軍しているという知らせは、そのようなことがユタでも起こるかもしれないと一部の聖徒を不安にさせました。）

一人の生徒に、配付資料の「準州を守る準備」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。

## 一部の末日聖徒と移住者の幌馬車隊との間に起こった対立



ここにあるものと類似した地図を掲示するか、ホワイトボードに地図を描きま  
す。

一人の生徒に、配付資料の「移住者幌馬車隊との対立」というタイトルの箇所  
を声に出して読んでもらいます。

誰かと、またはグループと対立したときのことを生徒たちに考えてもらいま  
す。一人の生徒に3ニーファイ12：25を声に出して読んでもらいます。他の生徒  
たちには一緒に黙読してもらい、イエス・キリストが教えられた、人との関係  
が悪くなったときにわたしたちを導いてくれる原則を見つけてもらいます。

- 「自分に敵意を抱いている者と、一緒にいる間に早く仲直りしなさい」と  
はどのような意味だと思いますか。

生徒たちがこの文を理解できるようにするため、一人の生徒に七十人のデビッ  
ド・E・ソレンセン長老の次の声明を声に出して読んでもらいます。



「救い主は『あなたを訴える者と一緒に道を行く時には、その途中  
で早く仲直りをしなさい』と言われました。一時的な激情が激しさ  
を増して肉体的あるいは情緒的な残酷行為に至り、わたしたちが自  
らの怒りに縛られてしまうことのないよう、主は争いを早い時期に  
解決するように命じておられます。」（「救いは苦しみを愛に変える  
であろう」『リアホナ』2003年5月号, 10）

- 3ニーファイ12：25にある主の教えはどのように要約できますか。（生徒た  
ちが答えているときに、ホワイトボードに他の人とのいさかきを主の方法  
で解決するならば、争いの悪影響を避けることができるなどのような原則  
を書きます。）

- 幌馬車隊の人々に危害を加えようと計画した人たちは、この原則をどのように自分に当てはめることができたでしょうか。

一人の生徒に、配付資料の「激化する対立」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。

- シーダーシティの教会の指導者は、ウィリアム・デーモが民兵を使わないようにと勧告したときに何をすべきでしたか。その勧告を退けた結果、彼らは何をすることとなりましたか。（生徒が答えた後、ホワイトボードに正しいことを行うようにという勧告を無視すると、良くない選択、時には罪深い選択をする可能性が高くなるという原則を書きます。教会を管理する評議会のシステムには、偉大な知恵があることを指摘してもよいでしょう。）

何人かの生徒に、配付資料の「移住者への攻撃」というタイトルの箇所を順番に声に出して読んでもらい、残りの生徒には、シーダーシティの指導者たちが勧告を無視した後でどのように罪深い選択をしたかに注意してもらいます。

- 民兵指揮官であるウィリアム・デーモの勧告に背くというシーダーシティ指導者の判断は、どのような結果を招きましたか。
- この時点で、この攻撃の責任者たちにはどのような選択肢がありましたか。（自らの行いを告白して罰を受けることも、自分の悪行と罪を隠そうとすることもできた。）

以下の質問について生徒に考えてもらいます。

- 間違ったことをしてしまったとき、どうしますか。自分の過ちを告白して罰を受けますか、それとも偽りで罪を隠そうとしますか。

### 一部の末日聖徒によって計画および実行されたマウンテンメドーの虐殺

移住者に対する攻撃に関与した教会員は、自らの罪を隠そうとする選択をしたことを説明します。数人の生徒に配付資料の「マウンテンメドーの虐殺」と「悲劇的な結果」というタイトルの箇所を交代で声に出して読んでもらい、この選択によって何が起こったのかを他の生徒たちに聞いてもらいます。

ユタ準州南部の一部の末日聖徒指導者と入植者による選択が、悲劇的なマウンテンメドーの虐殺につながったことを説明します。対照的に、ソルトレーク・シティの教会および準州の指導者は、1858年に和平交渉と折衝によって合衆国政府との対立を解決しました。後にユタ戦争と呼ばれることになるこの対立の間、合衆国軍隊とユタ民兵は威嚇行為をしましたが、戦闘になったことはありませんでした。

- マウンテンメドーの虐殺につながった選択をどのように要約しますか。
- この悲劇からどのような原則を学ぶことができますか。（生徒は、罪を隠すという選択は、さらなる罪を犯すことにつながる場合がある、罪を隠すという選択は、後悔と苦しみをもたらすなどを含む、さまざまな原則を挙げるでしょう。）

生徒に、過ちと罪の道を進み始めてしまったとしても、主に頼り、罪を悔い改めることによって、さらなる心痛と後悔を食い止めることができると約束します。

一人の生徒に、配付資料の「虐殺について知った教会の指導者」というタイトルの箇所を声に出して読んでもらいます。

多くの末日聖徒にマウンテンメドーの虐殺の計画と実行の責任があったことから、この出来事のために教会全体に悪い印象を持つ人がいることを説明します。

- 福音の真実性が一部の教会員による誤った行為によって左右されないことを理解することが大切なのはなぜですか。

一人の生徒に、配付資料の「マウンテンメドーの虐殺150年追悼記念」というタイトルの箇所にあるヘンリー・B・アイリング管長による声明を声に出して読んでもらいます。

- 教会員がイエス・キリストの教えに従って生活しなかったことが分かった場合、わたしたちはそれにどう対応すべきでしょうか。

一人の生徒にヒラマン5：12を声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには一緒に黙読してもらい、教会員がイエス・キリストの教えに従って生活しなかったことが分かった場合など、困難なときに信仰が揺らがないように証を培い、維持するためにわたしたちができる事柄を見つけてもらいます。

- ヒラマン5：12によると、証を培い、維持するために何ができますか。（生徒が答えた後、ホワイトボードに**イエス・キリストを基として信仰を築く**ことによって、**強い証を育てることができると**いう原則を書いてみましょう。）

この原則を説明するため、次を見せて一人の生徒に声に出して読んでもらいます。

「ジェームズ・サンダーズ氏は、虐殺を生き延びた子供のひ孫に当たります（彼は末日聖徒でもあります）。……サンダーズ兄弟は……自分の先祖が虐殺されたことを知っても、『わたしの信仰には何の影響も及ぼしません。なぜなら、わたしの信仰はイエス・キリストを基としているのであって、教会の誰かを基としているわけではないからです』と語ります。」（“The Mountain Meadows Massacre,” Ensign, 2007年9月号, 21）

- 教会員がイエス・キリストの教えに従わなかった出来事について知ったときに、イエス・キリストへの信仰はわたしたちをどのように強めることができますか。
- イエス・キリストを基とした信仰を築くために、あなたは何をしていますか。

救い主の教えに従って生活し、主への信仰と主の福音を基とすることの大切さを証します。これまで以上にイエス・キリストという基の上に証を築いていくにはどうすればよいかを深く考え、そのための目標を設定するよう生徒に勧めます。

## 生徒用資料

- 「19世紀の末日聖徒の平和と暴力」福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics?lang=jpn>

### ユタ戦争とマウンテンメドローの虐殺

#### 高まる緊張が引き起こしたユタ戦争

最初の末日聖徒の開拓者がソルトレーク盆地に到着してから3年後、合衆国政府はユタ準州を組織し、ブリガム・ヤングをその準州の最初の知事として任命しました。1857年中頃、末日聖徒の指導者は、連邦政府がブリガム・ヤングの代わりに多数の連邦軍兵士を従えた新しいユタ準州知事を任命する可能性があるといううわさを耳にしました。1857年7月24日、ブリガム・ヤング大管長は、聖徒たちとソルトレーク・シティー到着の10周年記念を祝っている最中に、軍隊がソルトレーク・シティーに向かっているという以前の知らせの確認状を受けました。

それまでの数年間、意見の相違と誤解が原因で、末日聖徒と合衆国政府当局との間における緊張が高まりつつありました。自分たちが選んだ指導者によって準州が治められることを望んでいた聖徒たちは、不誠実で腐敗しており、道徳観に欠けた人物さえもいる、価値観を共有しない連邦被任命者を拒否しました。連邦当局の一部は、聖徒によるこの行為と姿勢が合衆国政府に対する反逆であると考えました。

アメリカ合衆国大統領ジェームズ・ブキャナンは、新しい知事を安全にユタに送り届けるため、および聖徒の間での反逆と思われる行為を鎮圧するために、約2,500人の軍隊をソルトレーク・シティーに進軍させました。この決定は、ユタの状況についての正確な情報を得ることなく行われました（『時満ちる時代の教会歴史生徒用資料』第2版〔教会教育システム手引き〕、368–371参照）

#### 準州を守るための準備

聖徒に対する説教で、ヤング大管長とその他の教会の指導者は、迫り来る軍隊を敵と評しました。彼らは、軍隊が以前オハイオ州、ミズーリ州、およびイリノイ州から聖徒を追い出したときと同じように、ユタからも聖徒たちを追放する可能性があるかと恐れしました。聖徒たちに穀物を保存するよう長年の間求めてきたヤング大管長は、軍隊から逃げる必要があった場合に食物があるように、その指示を新たにしました。ユタ準州の知事として、ヤング大管長はユタ準州民兵にも領土を守る準備を整えるよう指示を出しました。

#### 移住者幌馬車隊との対立

末日聖徒が迫り来る合衆国軍隊から準州を守るために準備を整えていたそのとき、アーカンソー州からカリフォルニアに向けて旅をしていた移住者の幌馬車隊がユタに到着しました。移住者幌馬車隊のメンバーには、穀物を保存する指示を受けていた聖徒から大いに必要とされていた穀物を購入することが困難であったため、憤りを感じた者もいました。一部の移住者は、自分の家畜に必要とする餌や水を移住者幌馬車隊の多数の馬や牛に食べられてしまうことを嫌がる聖徒と対峙しました。

両者の緊迫状態は、カリフォルニアに向かう途中の最後の開拓地であったシーダーシティーで発火点に達しました。一部の移住者幌馬車隊メンバーと一部の末日聖徒の間で対立が生じ、幌馬車隊メンバーの中には進軍している軍隊に参加して末日聖徒と戦うと脅迫する者もいました。幌馬車隊のキャプテンはこのような脅迫を行うことについて仲間を叱責しましたが、シーダーシティーの指導者と入植者は移住者たちを敵と見なしました。幌馬車の一団は到着してから1時間余りで町を出ました。



が、シーダーシティーの指導者と入植者の何人かは、彼らの気分を害した男たちを追跡し、懲らしめたいと考えていました。

### 激化する対立

これらの聖徒は主の方法で移住者とのいさかいを解決しなかったため、状況は一層深刻になっていきました。民兵少佐であり、ステーキ会長でもあったシーダーシティー市長のアイザック・ヘイトは、近隣の開拓地パロワンに住む民兵指揮官に幌馬車隊の罪人と対決するための民兵の出動許可を要請しました。教会員である民兵指揮官のウィリアム・デームは、移住者たちの脅しを無視するように勧告しました。しかし、アイザック・ヘイトはその勧告に従う代わりに、他のシーダーシティー指導者とともに、移住者を懲らしめる手立てとして幌馬車隊を襲って牛を盗むように地域のインディアンを説得することに決めました。アイザック・ヘイトは、地元の教会員で民兵少佐のジョン・D・リーに攻撃を指揮するよう依頼し、二人はその行為の罪をインディアンに負わせようと計画しました。

### 移住者への攻撃

アイザック・ヘイトは、幌馬車隊を攻撃する計画を地元の教会、コミュニティ、および民兵の評議会の指導者たちに提案しました。一部の評議会メンバーはその計画に強く反対し、アイザック・ヘイトにこの計画についてブリガム・ヤング大管長に相談したのかと尋ねました。相談していないと答えたヘイトは、状況を説明し、対応方法を尋ねる手紙を携えたジェームズ・ハスラムを急使としてソルトレーク・シティーに送ることに同意しました。ところが、ソルトレーク・シティーはシーダーシティーからは約250マイル（402キロ）離れていたため、急使が馬をはせてソルトレーク・シティーに到着し、ヤング大管長の指示をシーダーシティーに持ち帰ったとしてもおよそ1週間かかりました。

アイザック・ヘイトが手紙を託して急使を送り出す直前、ジョン・D・リーとインディアンの一団がマウンテンメドーと呼ばれる場所の移住者キャンプを襲いました。攻撃を指揮したのはリーでしたが、インディアンのみが関与したように見せるため、自分の身分は明らかにしませんでした。移住者の一部は殺され、怪我を負い、残りの移住者は攻撃者を撃退し、リーとインディアンを退却させました。移住者は防御のため、幌馬車で素早く嚴重な円陣を作りました。5日にわたる幌馬車隊の包囲攻撃の間、攻撃はあと2回繰り返されました。

あるとき、幌馬車隊の外にいた二人の移住者に気がついたシーダーシティー民兵は、その二人に発砲し、一人を殺してしまいました。もう一人の移住者はその場を逃れ、幌馬車隊への攻撃に白人がかかわっているという知らせを幌馬車に持ち帰りました。攻撃を計画した者は、自分の偽りから逃れることができなくなってしまいました。移住者たちをカリフォルニアに行かせてしまうと、幌馬車隊攻撃の首謀者が末日聖徒だという知らせが広がることになります。共謀者たちは、この知らせが彼ら自身、そして周りの人々に悪影響を与えることを恐れました。

### マウンテンメドーの虐殺

幌馬車隊の攻撃に末日聖徒が関与したという知らせが広まることを防ごうとしたアイザック・ヘイト、ジョン・D・リー、および地元の教会と民兵のその他指導者たちは、小さな子供たちを除いた幌馬車隊全員を殺害する計画を立てました。計画を実行に移したジョン・D・リーは、移住者たちに民兵が彼らを安全にシーダーシティーに連れ戻し、今後の攻撃から守ると持ちかけました。移住者たちがシーダーシティーへ戻る途中、民兵は移住者に向かって発砲しました。入植者に雇われた数人のインディアンが隠れていた場所から飛び出し、攻撃に参加しました。その幌馬車

隊のメンバーであった約140人の移住者のうち、生き延びたのは17人の小さな子供たちだけでした。

虐殺の2日後、ジェームズ・ハスラムが幌馬車隊を放免するように指示するヤング大管長の返信を携えてシーダーシティーに戻って来ました。「ヤングの手紙を読んだヘイトは子供のようにむせび泣きながら、搾り出すように『遅すぎる、遅すぎる』という言葉の口にしました。」(リチャード・E・ターラー・ジュニア, “The Mountain Meadows Massacre,” *Ensign*, 2007年9月号, 20)

### 悲劇的な結果

マウンテンメドローの虐殺は120人の死を招いただけでなく、生き残った子供たちと被害者の親戚たちに大きな苦痛をもたらしました。一部の末日聖徒は、虐殺を生き延びた移住者の子供たちを迎え入れ、世話をしました。1859年、連邦当局が子供たちを保護し、子供たちをアーカンソーの親戚の元に連れ帰りました。パイユート・インディアンもまた、この犯罪に対して不当な非難を受けました。

### 虐殺について知った教会の指導者

「ソルトレーク・シティーにいたブリガム・ヤングと教会の指導者は虐殺後間もなくその事実を知りましたが、入植者がこの事件に関与していた度合いや、犯行の恐ろしい詳細については、時を追って次第に明らかにされていきました。1859年、アイザック・ヘイトはステーキ会長の召しから解任され、その他虐殺に関与したシーダーシティーの著名な教会の指導者もその職から解かれました。そして1870年、教会はアイザック・ヘイトとジョン・D・リーを破門しました。

準州の最高陪審員団は1874年に虐殺に関与した9名を起訴しました。最終的に彼らの大半は逮捕されましたが、裁判で審理を受けて、有罪の判決を受け、死刑に処せられたのはリーだけでした。起訴された一人の男は共犯の証言をし（自発的に他の被告人について不利な証言をした）、その他の被告人は長年の間法から逃げ続けました。虐殺に加わった他の民兵は残りの生涯を通じて、絶えず深い罪の意識にさいなまれ、自分が行ったことや目にした出来事について、繰り返し悪夢にうなされました。」(リチャード・E・ターラー・ジュニア, “The Mountain Meadows Massacre,” *Ensign*, 2007年9月号, 20)

### マウンテンメドローの虐殺150年追悼記念

ヘンリー・B・アイリング管長は次のように述べています。

「(マウンテンメドローの) 虐殺の責任は、市および軍隊の職に就いていた、マウンテンメドロー近くの地域の末日聖徒イエス・キリスト教会の地元指導者たちとその指揮下にあった教会員にあるというものでした。……

……わたしたちが信奉するイエス・キリストの福音は、男女、子供たちを殺すという冷酷な殺人を嫌悪しています。確かに、平安と赦しを主張しているのです。はるか昔に(マウンテンメドローで) 教会員によって行われた行為は、キリスト教の教えと行動からかけ離れた恐ろしく弁解の余地のない出来事でした。……虐殺の責任を負う者には、神の裁きによって妥当な罰が科されるに違いないでしょう。……

……神の独り子が自ら体現された純粋な愛と赦しの精神を互いに差し伸べることによって、わたしたちがここで亡くなった人々に敬意を払うことができますよう、息子および娘であるわたしたち全員の御父である天の神様の祝福がありますように。」 (“150th Anniversary of Mountain Meadows Massacre,” 2007年9月11日, mormonnewsroom.org/article/150th-anniversary-of-mountain-meadows-massacre)

## 第26課

# 神権についての啓示

### はじめに

伝道の業が世界中に広がりつつあった20世紀、教会の指導者はアフリカ系教会員に対する神権への聖任と神殿の儀式における制限について導きを受けるために祈りました。1978年6月1日、ソルトレーク神殿で、スペンサー・W・キンボール大管長、大管長会

顧問、そして十二使徒定員会の会員に明確な啓示が与えられました。このレッスンに参加することにより、生徒たちは信仰を持った方法で福音の疑問に取り組む方法を理解するとともに、この明確な啓示を取り巻く状況と事実を学びます。

### 背景となる読み物

- ゴードン・B・ヒンクレー, “Priesthood Restoration,” **Ensign**, 1988年10月号, 69–72)
- 「人種と神権」福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics?lang=jpn>
- アフマド・コービット, “A Personal Essay on Race and the Priesthood,” 第1–4部, Perspectives on Church Historyシリーズ, [history.lds.org/section/perspectives-on-church-history](http://history.lds.org/section/perspectives-on-church-history)

### 教えるための提案

#### 公式の宣言二の前書き

#### 福音の疑問に信仰をもって対処する

生徒に次のシナリオを紹介します。

ある放課後、スコットは最近教会の教義について疑問を持った別の教会員に話しかけられました。スコットは少しはその友人の力になることができたと感じましたが、話した後、同じような状況の教会員からまた質問を受けたときにもっと助けになるにはどうすればよいだろうかと考えました。

教会や教会の教義に真摯な疑問を抱えて質問をしてきた教会員を助けるために、これまでどのようなことをしてきたか生徒に尋ねます。

大管長会のディーター・F・ウークトドルフ管長の次の声明を掲示し、声に出して読みます。



「質問、これは証の源です。深く探るような福音の質問があるために、恥ずかしい、またはふさわしくないと感じる人もいるかもしれませんが、そのように感じる必要はありません。質問をするということは弱さの表れではなく、成長の兆しなのです。

神は質問に対する答を探すようにわたしたちを戒めておられ、『キリストを信じながら、誠心誠意』探し求めることだけを要求されませぬ（モロナイ10：4）。わたしたちがそうするとき、全ての事柄の真理が『聖霊の力によって』明らかにされることでしょう（モロナイ10：5）。

恐れずに尋ねてください。好奇心は旺盛に、しかし疑わずに。いつも信仰を固く持ち、すでに与えられた光を離さないようにしてください。」（「水に映る影」（ヤングアダルトのための教会教育システムファイヤサイド，2009年11月1日），7，ldschurchnewsarchive.com）

- 教会に関する教義，歴史，または社会的な問題についての疑問を持つ人を助けることができることについて，ウークトドルフ管長はどう教えていますか。（生徒たちがイエス・キリストへの信仰を行使すると，いずれは真摯な疑問に対する答えが天の御父から与えられるという原則を理解できるように助けてください。）

一部の教会員が疑問を持つ歴史的な問題の一つが，アフリカ系の男性が神権に聖任されることを制限する，1800年代中頃から1978年まで施行されていた教会の方針に起因するものであることを説明します。この方針は，黒人の女性と男性が神殿のエンダウメントまたは結び固めの儀式を受けることも禁じていました。一人の生徒に公式の宣言二の前書き（2013年版〔英語〕の教義と聖約に収録されている）の一部である，次の声明を声に出して読んでもらいます。この情報が，この歴史的な問題について懸念を持つ人をどのように助けることができるかを，生徒に考えてもらいます。

「モルモン書には、『黒人も白人も，束縛された者も自由な者も，男も女も……すべての人が神にとって等しい存在なのである』（2ニーファイ26：33）とある。教会の歴史を通じて，数多くの国のあらゆる人種と民族がバプテスマを受け，教会の忠実な会員として生活してきた。ジョセフ・スミスの生前にも，数人の黒人男性会員が神権に聖任された。教会の初期，教会の指導者はアフリカ系の黒人男性に神権を授けることをやめた。教会の記録にはこの慣習に対する明確な見解は記録されていない。」（公式の宣言二の前書き〔2013年版（英語）の教義と聖約から翻訳〕）

- この声明には，この問題で悩む人のためにどのような重要な真理が含まれていますか。

「教会の記録にはこの慣習に対する明確な見解は記録されていない」と書かれた行を指摘します。アフリカ系の男性が一時期神権に聖任されなかった理由を提言する人もいますが，これらの理由は正確ではない可能性があります。一人の生徒に，十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老による次の声明を声に出して読んでもらいます。



「『主はなぜこれを命じられたのか、なぜこれが命じられたのか』という質問を念頭に聖文を読むと、理由が与えられた戒めは100に一つもないことが分かります。理由を与えるというのは主のパターンではありません。わたしたち（人間）は、啓示に理由をつけることができます。戒めに理由をつけることもできます。しかし、それは独断です。今話している事柄（人種と神権）について理由をつけた人もいましたが、見事に間違っていました。……

これについて、そして他の事柄についても、啓示に理由をつけようとして過去にあった間違いを繰り返さないようにしましょう。それらの理由は、結局のところ大いに『人によるもの』であることがあらわになるのです。」（Life's Lessons Learned [2011年] , 68-69）

- 1978年以前、アフリカ系の男性が神権を授けられなかったり、神殿の儀式を受ける機会を認められなかった理由を推測しないことが賢明であるのはなぜですか。（人は限られた観点からしか語らない。神は理由をわたしたちに与えてくださっていない。）

今日教会は、黒い肌は神が嫌われたしるしまたはのろいである、黒い肌は前世での行いを反映している、異民族間の結婚は罪である、黒人やその他の人種または民族は他に比べて多少なりとも劣っているなど、過去に流布された見解を否定していることを強調してください。今日の教会の指導者たちは、いかなる形であれ、過去、現在の全ての人種差別をはっきりと非難しています。（「人種と神権」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics?lang=jpn>を参照）

- イエス・キリストに対する信仰は、1978年以前に存在していた神権の制限に関する疑問を解決するためにどのように役立ちますか。

## 公式の宣言二

### 全てのふさわしい会員に及ぶ神権と神殿の祝福

1978年以前に、あらゆる国の何千人ものアフリカ系の人々が回復された福音の真実性を知るようになったことを説明します。ソルトレーク・シティーの教会の指導者は、ナイジェリアおよびガーナのバプテスマを受けていない改宗者から、アフリカに宣教師を送ることを求める数多くの手紙を受け取りました。教会の指導者は、何年もの間この件について祈り求めましたが、アフリカに宣教師を送る時期はまだ来ていないと感じていました。ブラジルでは、忠実な黒人会員が、自らは神殿に参入できないと知っていたながら、1975年に発表されたサンパウロ神殿の建築の手助けをしました。

公式の宣言二にはスペンサー・W・キンボール大管長、大管長会の顧問、および十二使徒定員会の10人の会員が受けた啓示の公式声明が含まれていることを生徒たちに伝えます。この啓示は1978年6月1日に与えられました。一人の生徒に、「拝啓」の下にある最初の段落を声に出して読んでもらいます。他の生徒には、一緒に黙読しながら教会の指導者たちが目にしたと言っている事柄を見つけてもらいます。

- 教会の指導者は、地の至る所で何を目にしましたか。



- 教会の指導者は、主の業の進展を目にしてどのような靈感を受けましたか。

一人の生徒に、「神の永遠の計画の中で」で始まる次の段落を声に出して読んでもらいます。それぞれの靈感を受けた望みについて、教会の指導者たちがどのような行動を取ったかに注目してもらいます。質問します。

- スポンサー・W・キンボール大管長とその他教会の指導者は、靈感を受けた望みに対してどのような行動を取りましたか。
- この段落の1-3行目によると、教会の指導者たちは神権の制限について何を知っていましたか。（彼らは、いつか全てのふさわしい男性が神権を授かる機会を持つと知っていた。）

変化が起こるには啓示が必要であると知っていた大管長会と十二使徒定員会は、1978年以前も長年の間神権の制限について話し合い、祈っていたことを説明します。スパンサー・W・キンボール大管長（1895-1985年）の次の声明を掲示して、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「来る日も来る日も、わたしは厳粛な気持ちと真剣な思いをもって独りで神殿の階上の部屋に行き、自分の心をささげ、計画を前進させるために努力することを申し出ました。わたしは主が望んでおられることを行いたいと思っていました。そのことを主にお話しして言いました。『主よ、わたしは正しいことだけを行いたいと思っております。わたしたちは華々しい展開を計画してはおりません。あなたが心から望んでおられることだけを、あなたが望まれるときにだけ行いたいと思っております。』」（『歴代大管長の教え—スパンサー・W・キンボール』238）

- キンボール大管長の言葉は、預言者が掲示を求める方法について何を教えていますか。（生徒が答えた後、ホワイトボードに**預言者は教会を導くに当たり、主の御心を願い求める**という真理を書いてもよいでしょう。）

一人の生徒に、公式の宣言二の「主はわたしたちの祈りを聞いてくださいました」で始まる箇所から2段落を声に出して読んでもらいます。残りの生徒には、キンボール大管長、大管長会の顧問、そして十二使徒定員会会員に対する主の答えを見つけてもらいます。

- 主の預言者に対する主の答えは何でしたか。（この啓示から受けた**イエス・キリストの福音の祝福は、天の御父の子供たち全員が享受できる**という主のメッセージを強調してください。）

生徒たちが公式の宣言二に記録されている啓示がどのように授けられたかを理解できるように、神殿で啓示が授けられたときにその場にいたゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910-2008年）による次の声明を伝える。





「その部屋には、神聖な聖められた雰囲気は漂っていました。わたしの受けた印象は、あたかも、天の王座と、兄弟たちに付き添われ、ひざまずき懇願する預言者との間に、通路が開けたという思いがしました。そこには神の御霊がありました。そして、聖霊の力によって、わたしたちが祈り求めた事柄が正しく、その時が来たこと、そして今こそ血統を問わず、あらゆる地域のふさわしい男性に神権の驚くべき祝福が授けられるべきだ」という確信が預言者に与えられたのです。

……

わたしたちは皆、変化の時が来たこと、そしてその判断が天から来たことを知っていました。答は明白でした。わたしたちの間には、わたしたちの経験と理解における完全な一致がありました。」（“Priesthood Restoration,” *Ensign*, 1988年10月号, 70）

神権の制限を終了する啓示が与えられたすぐ後で、宣教師がアフリカに送られたことを説明します。その後、この大陸には神殿が建築され、何百ものステークが組織されて、何千人もの人々が自身のために、そして亡くなった先祖のために福音の儀式を受けました。（例として、“Mormons in Africa: A Bright Land of Hope,” [mormonnewsroom.org](http://mormonnewsroom.org); “Emerging with Faith in Africa,” 第1–3部, [lds.org/prophets-and-apostles/unto-all-the-world](http://lds.org/prophets-and-apostles/unto-all-the-world)を参照）

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老による次の声明を見せて、それを一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「全ての大陸と海の島々で、忠実な人々が末日聖徒イエス・キリスト教会に集められています。文化や言語、性別、顔かたちの違いは、会員が愛する救い主に仕える業に献身するとき、取るに足りないものとなっていきます。パウロの言葉が成就していくのです。『キリストに合うバプテスマを受けたあなたがたは、皆キリストを着たのである。』

もはや、ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。』（ガラテヤ3：27–28）

神が真にわたしたちの御父であることを理解して初めて、人は皆兄弟であることを完全に理解することができます。そうすれば、『差別の壁』ではなく『協力の橋』を築きたいと願うようになります。」（「救しと愛とを持したまへ」『聖徒の道』1994年7月, 74–75）

- 福音は、異なる経歴を持つ人々と一つになるために、わたしたちをどのように備えてくれますか。
- 異なる経歴を持つ教会員が一つになり、協力し合うという模範を見たことがありますか。

レッスンの終わりに、教会が一時期アフリカ系の男性を神権に聖任しなかった理由を聞かれたときにどのように答えるかを生徒たちに考えてもらいます。他の人には、神権の制限が始まった理由は分かっていないと説明することが適切

であり、わたしたちが知っている事柄を分かち合い、証すべきであることを確信を持って伝えます。

## 生徒用資料

- 2ニーファイ26：33；公式の宣言二
- 「人種と神権」福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics?lang=jpn>

## 第27課

# この世をイエス・キリストの再臨に備える

### はじめに

救い主は、いつの日か大いなる力と栄光を携えて地上に戻られます。その大いなる日の準備として、聖徒は、主の再臨のしるしについて研究し、聖なる場所に立ち、「導き手として聖なる御霊を受け」るこ

とによって備えるように教えられています（教義と聖約45：57）。主は、教会とその会員には主の再臨のためにこの世を準備する責任があると宣言されています。

### 背景となる読み物

- ニール・L・アンダーセン「この世を再臨に備える」『リアホナ』2011年5月号，49–52
- ダリン・H・オクス「再臨への備え」『リアホナ』2004年5月号，7–10
- 「キリストの再臨に備える」『歴代大管長の教え—ジョセフ・F・スミス』389–398

### 教えるための提案

#### 教義と聖約45：15–46，56–57

#### 再臨に先立つしるし

生徒に次の質問をします。

- 雨が降りそうだというのは、どのようにして分かりますか。

雨が降りそうだと分かる指標があることと同様に、イエス・キリストの再臨がいつであるかを知る助けとなる指標、つまりしるしがあることを説明します。マタイ24章に記されているとおり、救い主は、死の直前にオリブ山で弟子たちと会い、主の再臨のしるしについて説明されたことを生徒に伝えます。主は、教義と聖約第45章にあるとおり、わたしたちの時代にもこれらの教えの幾つかをジョセフ・スミスに再度お教えになりました。イエス・キリストの再臨に備えることは、教義と聖約全体を通じた重要なテーマであることを強調してください。教義と聖約を研究するときに、再臨に関する教えに注意して、どのように備えることができるかを深く考えるように生徒に勧めます。

生徒たちに教義と聖約45：15–17を読んでもらい、主の弟子たちが主に尋ねたこと、および主がどのようにお答えになったかを探してもらいます。

- 弟子たちはイエスに何を尋ねましたか。
- イエスはどうお答えになりましたか。

再臨に先立つしるしを生徒が見つげられるように、ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。

教義と聖約45：25－27

教義と聖約45：28－31, 33

教義と聖約45：40－43

生徒を二人一組に分け、それぞれの組にホワイトボードの聖句を一つずつ割り当てます。一緒に聖句を読み、これらの節に記されたしるしを探してもらいます。しるしの幾つかはすでに成就されている、または成就される途中であることを指摘します。30節に関連し、次の情報を伝えても良いでしょう。「異邦人が優先的に福音を受ける時代は**異邦人の時**と呼ばれている。この時代には、ユダヤ人に対して（少なくとも実質的に）福音を受け入れ、救いを得る権利が与えられる前に、ユダヤ人以外.....の者がその権利を受ける機会を得る。」（ブルース・R・マッコンキー、**Mormon Doctrine**, 第2版〔1966年〕, 721－722）

十分に時間を取ってから、それぞれの組に見つけたことを報告してもらいます。それぞれの聖典で、再臨のしるしに色を塗ることを提案しても良いでしょう。

一人の生徒に教義と聖約45：34を声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読してもらいます。その後、次の質問をします。

- 再臨に先立つ出来事やしるしを読んだり聞いたりするとき、不安になることがありますか。それはなぜですか。
- 再臨のしるしについて学ぶことは、わたしたちの生活における恐れや不安を克服するためにどのように役立ちますか。

生徒に教義と聖約45：35－38を黙読してもらい、主が再臨に先立つしるしを明らかにされた理由を学んでもらいます。

- 主の降臨のしるしが成就されていると認識することが大切であるのはなぜでしょうか。

生徒たちに教義と聖約45：32, 39, 56－57を読んでもらい、キリストの再臨に備えるための方法を探してもらいます。その後、次の質問について話し合います。

- これらの節から、再臨に備える方法について何が分かりますか。（生徒たちが各々の考えを分かち合うときに、**聖なる場所に立ち、聖霊を導き手とすることは、わたしたちがイエス・キリストの再臨に備えるために必要不可欠である**という原則を強調してください。）
- 聖霊を導き手とするためには何をする必要がありますか。
- イエス・キリストに従う人はどのように「聖なる場所に立つ」ことができると思いますか。（聖なる場所とは、神殿、礼拝堂、および家庭が含まれます。家庭は、個人および家族の祈り、聖文の研究、奉仕、家庭の夕べを常に行うことを通して聖なる場所にすることができます。聖なる場所に立つということは、わたしたちがどのように生活するかにも関連しています。わた

したちが聖霊を常に伴侶とするためにふさわしい生活をするならば、聖なる場所に立っていることとなります。この真理を教義と聖約45：32の横の余白に書き込むように生徒たちに提案してもよいでしょう。）

- 邪悪な世の中で生活しているにもかかわらず、どのように聖なる場所に立つことができましたか。
- あなたが救い主の再臨を心待ちにしている理由は何ですか。救い主が再び降臨されることについて感謝しているのはなぜですか。

### 教義と聖約29：7-9；34：5-7；39：19-23

#### この世を再臨に備える

このコースの名前が『回復の礎』であることを生徒に思い出してもらいます。生徒に質問します。

- 福音の回復とイエス・キリストの再臨との間にはどのような接点や関係があると思いますか。

ホワイトボードに次の参照聖句を書きます。生徒に、共通のテーマを探しながらこれらを調べてもらいます。

教義と聖約29：7-9

教義と聖約34：5-7

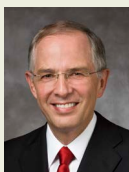
教義と聖約39：19-23

十分な時間を取ってから、隣の人とこれらの聖句の共通点を話し合ってもらいます。数人の生徒に、これらの聖文のメッセージをどのように要約するか尋ねます。（生徒たちが各々のアイデアを分かち合うときに、生徒が人々に福音を教えるとき、わたしたちはイエス・キリストの再臨のためにこの世を備えるための助けとなるという原則を見だし、理解できるように助けてください。）

生徒に教義と聖約の第29章、第34章、および第39章をもう一度開いてもらい、啓示が与えられた日付を確認してもらいます。以下を質問します。

- 教会が組織されてから、主は先ほど見つけた原則をどれだけ早く教え始められましたか。

一人の生徒に、十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老による次の声明を声に出して読んでもらいます。



「回復の初期の時代から、兄弟たちは福音を宣言するという自分たちの義務にとっても真剣に取り組んできました。教会が組織されてからわずか7年後の1837年、貧困と迫害の時期に、イギリスで福音を教えるために宣教師が遣わされました。数年後には、宣教師はオーストリア、フランス領ポリネシア、インド、バルバドス、チリ、中国で教えを説いていました。

主はこの業を祝福してこれ、教会は世界中で確立されています。……常に世界のどこかで義にかなった宣教師が救い主を証しています。『キリストの御名のほか、またその御名を通じてでなければ、どのような名も道も方法も、人の子らに救いをもたらすことはできない』（モーサヤ3：17）と大胆に宣言する5万2,000人の宣教師が持つ霊的な力について考えてみてください。……宣教師が主の業を大いに推し進めているおかげで、この世は救い主の再臨に備えられつつあります。」（「この世を再臨に備える」『リアホナ』2011年5月号、51）

次の質問について話し合います。

- 教会の宣教師によって教えられるメッセージは、イエス・キリストの再臨に対して人々をどのように備えますか。
- 救い主が再び地上に降臨される前に福音の回復が必要だったのはなぜですか。

ジョセフ・F・スミス大管長（1838－1995年）による次の声明を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「福音は人々に、主の前で、またお互いに謙遜、忠実、正直であって、義にかなうようにと教えています。そして福音の原則が実践される度合いに応じて、平和と正義が世に広まり、地上に確立されるのです。そのときは、いかなる罪や争い、流血や腐敗も見られなくなり、地球は清められて、天の方々に主なる神が来て住まわれるのにふさわしい所となります。主は福千年にこの地上に住まわれるので

す。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・F・スミス』394）

「末日聖徒イエス・キリスト教会は、神の御子が文字どおり栄光のうちにこの地上に来られ、地球を統治し、主の民とともに地上に住まわれるために備えることをその使命の一部としています。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・F・スミス』394）

生徒に次の質問をします。

- このレッスンの中で、「再臨のためにこの世を備える助けをする」という教会と教会員の責任について、どのような思いや印象を持ちましたか。
- 再臨に備えるために人々を助けることは、どのように自分自身を備えることになるでしょうか。

レッスンの締めくくりとして、異なる信仰を持つ人に回復のメッセージを伝えるために行ってきたことについて生徒に分かち合ってもらいます。



## 生徒用資料

- 教義と聖約29：7-9；34：5-7；39：19-23；45：15-46, 56-57；88：81-87
- ニール・L・アンダーセン「この世を再臨に備える」『リアホナ』2011年5月号, 49-52

## 第28課

# 救いの業を速める

### はじめに

近年、教会の指導者は主が「業を速やかに」行われるという主の預言を強調しています（教義と聖約 88：73）。救いの業には、会員伝道活動、改宗者の定着、あまり活発でない会員の活発化、神殿・家族

歴史活動、および福音を教えることが含まれます。この課は、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員としてこの業に携わる責任を生徒がよりよく理解する助けとなります。

### 背景となる読み物

- ディーター・F・ウークトドルフ「回復の業が進む間ずっと眠っていますか」『リアホナ』2014年5月号、58-62
- 「救いの業を速める」『リアホナ』2013年10月号、30-33

### 教えるための提案

#### 教義と聖約138：53-56

#### 主は御自分の業を速めておられる

ジョセフ・F・スミス大管長が、亡くなるすぐ前に、現在教義と聖約第138章に記録されている霊界についての示現を受けたことを生徒に伝えます。スミス大管長は、最後の神権時代の指導者と「ほかの多くの者」が、この世での責任のために前世で準備されていたことを学びました。一人の生徒に教義と聖約138：53-56を声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読しながら、これらの指導者が前世で与えられた責任を見つけてもらいます。

- これらの指導者は、前世でどのような責任を与えられましたか。指導者たちは、そこでどのような備えを受けましたか。
- あなたには、前世でどのような責任が与えられたと思いますか。そこでどのような備えを受けたと思いますか。（生徒たちがそれぞれの考えを分かち合うときに、わたしたちは、時満ちる時代に地上に来て、人々の霊の救いのために働くよう前世で備えられたという原則を見いだすように聖徒たちを助けてください。）

トーマス・S・モンソン大管長の次の声明を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。



「ステーキの数が100に達したとき、回復された教会は設立から98年がたったことをご存じでしょうか。しかしその後30年もたたないうちに、教会はさらに100のステーキを組織しました。そしてわずか8年後に、ステーキの数は300以上になりました。今（2014年）では3,000以上のステーキがあります。

こうした加速度的な発展を遂げているのはなぜでしょうか。わたしたちのことがもっとよく知られるようになったからでしょうか。美しい集会所があるからでしょうか。

これらのことは重要ですが、今日教会が発展を遂げている理由は、主がそのようになると述べられたからです。教義と聖約の中で、主は次のように言っておられます。『見よ、わたしは、時が来ればわたしの業を速やかに行う。』（教義と聖約 88：73）

わたしたちは天の御父の霊の子供として、この大いなる業を速めるために働けるよう、今の時代に地上に送られてきました。』（「業を速める」『リアホナ』2014年6月号，4）

- モンソン大管長によると、わたしたちが今この地上に送られたのはなぜですか。（生徒が答えるとき、わたしたちには、天の御父の業を速めることに携わる責任があるという原則を理解できるように助けてください。）
- 神の業が「速められる」ことを目の当たりにするのはどのような場合ですか。（この質問には、伝道奉仕の年齢の変更，増え続ける宣教師と神殿の数，および家族歴史活動を容易にするツールの増加を含む多くの回答があるでしょう。）

これらの答えは、主が幕の両側から御自分の業を速めておられる証拠となっていることを指摘してください。今日の教会の指導者は救いの業における5つの分野を強調しており、この末日における神の業を速めるために、わたしたちそれぞれがこれらの分野に携わることを求めていることを説明します。七十人定員会会長会のL・ホイットニー・クレートン長老による次の声明を見せて、一人の生徒に声に出して読んでもらいます。他の生徒たちには、救いの業の一部である5つの分野を見つけてもらいます。



号，23)

「生ける預言者と使徒はこう教えています。『イエス・キリストの教会の会員は「人々の霊の救いのために主のぶどう園で働く」ために遣わされる（教義と聖約138：56）。この救いの業には、会員伝道活動，改宗者の定着，あまり活発でない会員の活発化，神殿・家族歴史活動，福音を教えることが含まれる。』（『手引き第2部—教会の管理運営』5.0）」（「救いの業—昔と今」『リアホナ』2014年9月

生徒がこれらの5つの分野を見つけたら、次をホワイトボードに書きます。

会員伝道活動  
 改宗者の定着  
 あまり活発でない会員の活発化  
 神殿・家族歴史活動  
 福音を教えること

## 教義と聖約88：73

わたしたちは、それぞれが主の業を速めるために貢献することができる



一人の生徒に教義と聖約88：73を声に出して読んでもらい、他の生徒には一緒に黙読してもらいます。次に、各自が、主の業を速めるための貢献度を高める努力をするべきであると説明します。レッスンの終わりに配付資料を生徒に配り、どのように貢献度を高めることができるかについて考えるためにこの資料が役立つことを説明します。生徒たちに配付資料に書かれてある引用文の一つ、または幾つかを選んで黙読してもらい、配付資料にある質問に答える準備をしてもらいます。

生徒たちがそれらを読んで準備するために十分な時間を取ってから、一人の生徒に最初の引用文を声に出して読んでもらうことを検討します。その後、何人かの生徒に、配付資料にある会員伝道活動に焦点を当てた3つの質問に答えてもらいます。5つの引用文全てについてこの手順を繰り返します。

次の質問をして、救いの業に携わることが真理であり重要であるということを感じられるように生徒を助けてください。

- 救いの業のこれらの分野の一つ、または幾つかに携わったときに受けた祝福には何がありますか。これらの分野に携わっていたときの経験で、あなたにとって特に意味があったもの何ですか。

大管長会のディーター・F・ワークトドルフ管長の次の声明を見せて、生徒の一人に声を出して読んでもらいます。



「わたしたちは死すべき生涯を終えるとき、この重要な時代に対して、また主の業を推し進めることに対して、どのような貢献をしたかを話すことができるでしょうか。袖をまくり、心と、勢力と、思いと、力を尽くして働いたと言えるでしょうか。あるいは、人生のほとんどを傍観者として過ごしたと認めなければならないでしょうか。」（「回復の業が進む間ずっと眠っていますか」『リアホナ』2014年5月号, 59）

ナ』2014年5月号, 59)

次の質問をして、救いの業により積極的に携わるために何をするかを計画するよう生徒に勧めます。

- 他の人が主の業を速める援助をしているのを見たことがありますか。その人たちは何をしていましたか。
- 主の業を速めるために、どのような方法で貢献していこうと計画していますか。
- 回復に関する知識と証は、わたしたちがどのように救いの業により積極的に参加していく動機になりますか。

何人かの生徒に、本コースを研究することによって福音の回復について学んだ事柄について分かち合い、証してもらいます。預言者ジョセフ・スミスによる福音の回復の真実性について証を述べ、クラスを終えます。

## 生徒用資料

- ディーター・F・ウークトドルフ「回復の業が進む間ずっと眠っていますか」『リアホナ』2014年5月号, 58-62

### 救いの業を速める

救いの業の一部である5つの分野それぞれについて、次の質問について深く考えます。

- 神の業のこの分野におけるあなたの努力は、どのように他の人を救いの祝福に近づけることができますか。
- 主の救いの業のこの分野を支援することによって、どのような経験をし、どのような祝福を受けましたか。
- 現在の教会の召しを問わず、救いの業のこの分野に貢献するには何ができるでしょうか。

### 会員伝道活動

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は次のように教えています。



「兄弟姉妹、主はさらに多くの宣教師が奉仕するように靈感を下されました。同様に主は確かに、主の宣教師を受け入れるように、さらに多くの善良で正直な人々の意識を目覚めさせ、心を開かせておられます。皆さんはそのような人をすでに知っているか、または知ることでしょう。その人は皆さんの家族の中におり、また近隣に住んでいます。通りで皆さんのそばを通り過ぎ、学校で近くに座っており、インターネットで皆さんと接しています。皆さんもこの奇跡が行われるときの重要な当事者なのです

上着に宣教師の名札を付ける専任宣教師でない場合、パウロが『墨によらず生ける神の霊によって書かれ』と述べたように（2コリント3：3）、今こそ皆さんの心にそれを描く時です。……誰にも、この奇跡に貢献できるものがあります。」（「これは奇跡です」『リアホナ』2013年5月号, 78）

### 改宗者の定着

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老は、次のように教えています。



「福音のもたらす祝福を余すところなく受けられるよう、皆さんもわたしも自分にできることは全て行わなければなりません。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は皆さんやわたしに、主の共働者となって教会のための主の計画を果たす責任があることを改めて教えました。衛星放送の中で、ヒンクレー大管長は次のように語っています。

『主は、全ての作られた者に福音を教えることを戒めとしてわたしたちに与えておられます。そのために、専任宣教師とステーク宣教師全員が最善の努力をする必要があります。全てのビショップとその顧問、そしてワード評議会の全員が、最善の努力をする必要があります。』（「子羊を見いだし、羊を養う」『リアホナ』1999年7月号, 124）全ての会員が最善の努力をしなければならないのです。』（「会員が鍵である」『リアホナ』2000年9月号, 14）

### あまり活発でない会員の活発化

「わたしたちの役割は、周りの人々を愛し、彼らに仕えることに没頭すること、すなわち、困っている同僚を慰め、友人をバプテスマ会に招き、近所に住むお年寄りの庭仕事を手伝い、あまり活発でない教会員を食事に招待して、近所の人の家族歴史を手伝うことです。これらはどれも、あまり活発でない教会員や異なる信仰を持つ人々をわたしたちの生活に招き入れ、結果として福音の光を分かち合うためにできる、自然で、楽しい方法です。わたしたちの生活の楽しい時間と神聖な時間を分かち合うことが、実は『人々の霊の救いのために（イエス・キリストの）ぶどう園で働く』最も効果的な方法なのです（教義と聖約138：56）。」（「救いの業を速める」『リアホナ』2013年10月, 30）

### 神殿・家族歴史活動

十二使徒定員会クエンティン・L・クック長老は次のように教えています。



「教会の指導者たちは若者たちに向かって、高らかに響き渡る声を上げています。テクノロジーを使う道を先導して、エリヤの霊を実感し、先祖を探し、先祖のために神殿の儀式を行うようにと呼びかける声です。生者と死者の両方を救う業を速めるうえで困難な仕事の多くが、若い世代の皆さんによって行われるのです。』（「根と枝」『リアホナ』2014年4月号, 46）

### 福音を教える

「福音を教える責任は、教師としての正規の召しを受けている人に限られない。皆さんは、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、福音を教える責任がある。親や息子、娘、夫、妻、兄弟、姉妹、教会指導者、クラスの教師、ホームティーチャー、訪問教師、仕事の同僚、隣人、友人として、皆さんには福音を教える機会がある。話す言葉や証によって人々の前で直接教えることもあるが、常に模範を通して教えている。』（『教師、その大いなる召し—福音を教えるための資料集』3-4）





# 配布資料

# モルモン書 — わたしたちの宗教のかなめ石

「キリストについてのわたしたちの証のかなめ石」



「モルモン書は、わたしたちが行う全てのことのかしら石であられるイエス・キリストに対する、わたしたちの証のかなめ石となるものです。モルモン書はイエスの実在を証しています。……そこにある主についての証は明快かつ純粋で、力があります。今日キリスト教界の多くは救い主の神性を否定しています。彼らは、主の奇跡的な誕生や、完璧な生涯、栄光ある復活の真実性に疑いを抱いているのです。モルモン書はそれら全てが真実であることを分かりやすく、誤解の余地のない言葉で教えています。贖いの教義をこれほど完全に説明している書物は他にありません。」（エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 5参照）

# モルモン書 — わたしたちの宗教のかなめ石

「わたしたちの宗教のかなめ石」



「モルモン書には救いに必要な完全な教義が収められているということなのです。そして、その教義は分かりやすく簡単で、子供でさえも救いと昇栄の道を学ぶことができます。……モルモン書には救いの教義が広範囲に理解できるようになる内容がたくさん含まれています。」エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 6参照

# モルモン書 — わたしたちの宗教のかなめ石

「証のかなめ石」



「モルモン書は証のかなめ石です。かなめ石を取り外したらアーチが崩れ落ちるように、この教会の全ては、モルモン書が真実かどうかにかかっています。……モルモン書が真実ならば……回復とそれに付随する全てのことを受け入れなければなりません」（エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経—私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 6参照）。



# 教会歴史にバランスよく取り組む

七十人のスティーブン・E・スノー長老は次のように述べています。



「良い情報, 悪い情報, 真実の情報, 誤った情報など, さまざまな情報をインターネットから簡単に取り出せるようになりました。その中には教会歴史に関する情報も含まれています。教会歴史についての情報をたくさん読むことができますが, 大切なことは, 読んだ内容を文脈の中で理解することです。オンラインの情報の一部が抱えている問題は, それが文脈から切り離されており, 全体像が分かりにくいという点です。

教会を困らせようとする情報は, ほとんどの場合非常に主観的で, 不当です。わたしたちは, より客観的に当教会の信条や歴史について記した情報源を求めるべきです。一部のウェブサイトは非常に悪意があり, 物議を醸すような形で情報を発信します。教会員であるなしにかかわらず, 広く認められていて評判の高い歴史家がかかわっている情報源を探しましょう。

若い人の中には, インターネット上の反モルモン資料に驚き, ショックを受ける人がいます。そのようなものに負けない強さをまだ身に付けていないためです。将来起こることに対して自分自身を備え, 強めるという霊的な側面に十分な時間を割いてこなかったかもしれません。突如困難な経験が襲ってきたときには, いつも言われている基本的なことを行うことが重要です。すなわち, 継続して聖文を研究し, 祈りを通して天の御父と意義深い交わりを持つことです。これらの基本的なことにより, 人はあらゆる困難に備えることができます。オンラインで偶然目にする反モルモンの記事にも備えることができるのです」。(“Balancing Church History,” New Era, 2013年6月号, 21–22)

# 教会歴史にバランスよく取り組む

七十人のスティーブン・E・スノー長老は次のように述べています。



「良い情報, 悪い情報, 真実の情報, 誤った情報など, さまざまな情報をインターネットから簡単に取り出せるようになりました。その中には教会歴史に関する情報も含まれています。教会歴史についての情報をたくさん読むことができますが, 大切なことは, 読んだ内容を文脈の中で理解することです。オンラインの情報の一部が抱えている問題は, それが文脈から切り離されており, 全体像が分かりにくいという点です。

教会を困らせようとする情報は, ほとんどの場合非常に主観的で, 不当です。わたしたちは, より客観的に当教会の信条や歴史について記した情報源を求めるべきです。一部のウェブサイトは非常に悪意があり, 物議を醸すような形で情報を発信します。教会員であるなしにかかわらず, 広く認められていて評判の高い歴史家がかかわっている情報源を探しましょう。

若い人の中には, インターネット上の反モルモン資料に驚き, ショックを受ける人がいます。そのようなものに負けない強さをまだ身に付けていないためです。将来起こることに対して自分自身を備え, 強めるという霊的な側面に十分な時間を割いてこなかったかもしれません。突如困難な経験が襲ってきたときには, いつも言われている基本的なことを行うことが重要です。すなわち, 継続して聖文を研究し, 祈りを通して天の御父と意義深い交わりを持つことです。これらの基本的なことにより, 人はあらゆる困難に備えることができます。オンラインで偶然目にする反モルモンの記事にも備えることができるのです」。(“Balancing Church History,” New Era, 2013年6月号, 21–22)





# 真理と誤りを見分ける

全ての福音の神権時代では、悪の力が神と神の御業に対立してきましたが、神の業がくじかれることはありません。この末日では、石が山から切り出され、「全地に満ちるまで転がり進」みます（教義と聖約 65：2）。しかし、教会の個々の会員が惑わされることもあるため、わたしたちは「常に目を覚ましていて祈らなければ（なりません）」（3 ニーファイ 18：18）



「福音のすべてが回復されているこの時代に、完全な真理を探すために地図にない海や標識のない道路を旅する必要は、皆さんにもわたしにもないのです。愛に満ちた天の御父が道を計画してくださいました。そして、常に変わることのない道案内を備えてくださいました。それは従順です。神の戒めに従順になることによって、真理を知り、人が抱く最大の疑問への答えを得ることができます。」（トーマス・S・モンソン「従順は祝福をもたらす」『リアホナ』2013年5月号、89）



「ですから……愛する友人の皆さん、自分の信仰について疑いを持つ前に、その疑いを疑ってみよう心からお願いします。疑念のとりこになって、神の愛や平安、主イエスキリストの信仰のもたらす賜物を遠ざけてしまうことのないようにしなければなりません。」（ディーター・D・ウクトドルフ「ともに集いましょう」『リアホナ』2013年11月号、23）



「サタンは大いなる詐欺師であり、『兄弟らを訴える者』（ヨハネ 12：10）であり、『偽りの父』（ヨハネ 8：44 を参照）であって、わたしたちを打ち破るために、欺こうと絶えず努めています（教義と聖約 50：3 参照）。

……

すでに真理を受け入れている人に対して、悪魔の最初の計略は疑いの種をふくらませることです。例えば、悪魔は、教会に関してそれまでに学んだことと相いれない情報に出会った数多くの教会員をつまづかせてきました。

そのような瞬間を経験することがあったら、この情報化時代にあって、どんなことについても、またあらゆることについて、あらゆる時に、あらゆる場所で、疑いを作り出す人は大勢いるのだということを忘れないでください。……

印刷されて出回っているとか、インターネットに書かれているとか、度々繰り返されているとか、支える人たちが強力なグループを構成しているといった理由だけでは、真理を構成することにならないのだということを、いつも心にとどめることは良いことです。

時には、真実ではない要求や情報が、いかにも信頼できそうな様子で提示されることがあります。……

一見、今矛盾しているように見えることも、もっと信頼できる情報を求めたり、受けたりしたときには、完全に理解できるようになるかもしれません。」（ディーター・F・ウクトドルフ「真理とは何か」（教会教育システムディポーショナル、2013年1月13日）、lds.org/broadcasts。



「神の計画に関するわたしたちの知識、および神の言葉や生ける預言者の教えによって与えられた根拠を現代の習慣や提案と比較することから始めるとき、……永遠に安全な場所に身を置くことができると知っています。」（ダリン・H・オックス、「As He Thinketh in His Heart」〔ダリン・H・オックス長老との夕べ、2013年2月8日〕、lds.org/broadcasts）



「恐れや疑いがあるとき、困難なときには、たとえ小さくてもすでに得ている土台にしがみついてください。……問題が発生したときに、なかなか解決しないときに、すでに知っていることに固しがみついで、新たな知識を得るまで、強くあってください。」（ジェフリー・R・ホルランド「主よ、信じます」『リアホナ』2013年5月号、93 - 95）



「心から真理を求めている人には、インターネット上の情報には誤りもあることを知らせる方がいいでしょう。どんなに説得力のある情報でも誤りは誤りです。」（ニール・L・アンダーセン「ジョセフ・スミス」『リアホナ』2014年11月号、28）



「霊的な疑問に対する答えは、心をかたくなにすることなく、信仰をもって願い求め、受けると信じ、戒めを忠実に守る人に与えられます。」（ポール・V・ジョンソン、「A Pattern for Learning Spiritual Things」〔CES宗教教育者への説教、2012年8月7日〕、si.lds.org）



「離反者の目を通して……教会を研究することは、イエスキリストを理解するためにユダをインタビューするようなものです」（ニール・A・マックスウェル、「All Hell Is Moved」〔ブリガム・ヤング大学ディポーショナル、1977年11月8日〕、3、speeches.byu.edu）。



# 逆境のときも強さを保つ

## カートランドでの背教—教会指導者に忠実に従う必要性

1837年、オハイオ州カートランドの聖徒たちには経済的な問題がありました。聖徒たちが経済的にもっと自立するのを助けるために、ジョセフ・スミスと他の教会指導者たちは、「カートランド安全協会」と呼ばれる銀行のような会社を設立しました。この時期は経済不況が広がっていたため、合衆国中の銀行が破綻しました。「カートランド安全協会」も1837年秋に破綻しました。投資した200人の人々は、投資金額のほぼ全てを失い、ジョセフ・スミスの損失は他の誰よりも大きかったです。「カートランド安全協会」は教会から資金を受けていませんでしたが、聖徒の中には、「カートランド安全協会」を教会の銀行と見なし、教会の財政問題としてジョセフ・スミスを非難する人もいました。ジョセフ・スミスのことを墮落した預言者と呼ぶ人さえ出てきました。しかし、銀行の破綻にかかわらず、お金を失った他の多くの人たちは、信仰を持ち続け、預言者に忠実であり続けました。

多くの聖徒たちの間で、背教やあら探しの気運が広がり始めました。1838年6月までに、約200人から300人の背教者が教会を去りました。その中には、4人の使徒、モルモン書の三人の証人、大管長会の一人が含まれていました。しかし、ブリガム・ヤングのように、ほとんどの聖徒たちはこの試しの時期に信仰をもって応えました。彼らは主に強められ、自分たちの証に忠実であり続けました。この背教の時期に教会を去った人たちのうち何人かは、後に教会に戻り、再び主の教会に加わることを望みました。その中には、オリバー・カウドリ、マーティン・ハリス、ルーク・ジョンソン、フレデリック・G・ウイリアムズがいました。

このカートランドでの混乱のさなか、幾人かの背教者がジョセフ・スミスを殺害しようと企てていました。御霊により警告されて、1838年1月12日の夜の間に、ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンは逃れました。敵は数日間二人を追跡したが、主が二人を守られました。1838年3月14日、二人は家族とともにミズーリ州ファーウェストに到着しました。

グループで次の質問について話し合います。

- わたしたちの生活の中で、逆境に遭うときにどのように対応すればよいかについて、これらの出来事からどのような原則を学べますか。教会に反対する人たちに対してどのように対応すればよいかについて、これらの出来事からどんなことが学べますか。

- 他の人たちが教会の指導者を批判するのを聞いたとしても、わたしたちは指導者に忠実であり続けるために何ができますか。
- 預言者に従ったことで、どのように祝福を受けてきましたか。

## ミズーリ北部での抗争—逆境によく耐え忍ぶことを学ぶ

1837年と1838年に、ファーウェストで不満を抱いた教会員や破門された人たちが、教会と教会の指導者に対して訴訟を起こして嫌がらせを始めました。1838年6月、シドニー・リグドンは「塩の説教」として知られる熱烈な説教を浴びせかけました。彼はマタイ5:13を用いて、次のように言いました。「もし塩の効き目がなくなったら、もはや、何の役にも立たず、ただ外に捨てられるだけである。つまり、離反者は聖徒たちの中から追放されるべきであるということである。」2週間後の7月4日の説教で、シドニー・リグドンは、「絶滅するまでの戦い」となっても自分たちを守ることを約束しました。どちらの説教も、「平和を訴えなさい」(教義と聖約105:38)という主の教えに矛盾するように見えるにもかかわらず、出版され、末日聖徒ではない人たちに大きな警戒心を生じさせました。

この間、サンブソン・アバードという名の改宗者が、「ダイナツ」という襲撃集団を結成する仲間に加わる人たちに、秘密の誓いを立てさせました。アバードは部下たちに、神の王国を築くためだと言って、ミズーリの人たちに対して、強盗、略奪をさせました。アバードは自分の指示が大管長会からのものであると部下たちに信じ込ませました。真実は後に発覚し、アバードは破門されました。アバードの行動によって教会のイメージは大きな損失を被り、預言者がリバティーの監獄に監禁される一因となりました。

1838年10月、教会員とミズーリの民兵との間の抗争で、双方に数人の死者が出ました。抗争の誇大な報告が、ミズーリ州の知事であるリルバーン・W・ボグズ知事に届き、知事は悪名高い「撲滅令」を発しました。この命令には次のようなことが書かれています。「もしも公益のために必要であれば、モルモン教徒を敵として取り扱い、撲滅するか、本州より追放しなければならない。」(History of the Church, 第3巻, 175で引用) 間もなく、ファーウェストは末日聖徒の5倍の数の民兵に取り囲まれました。ジョセフ・スミスと他の指導者たちは、リバティーの監獄に冬の間ずっと監禁されました。残りの聖徒たちはミズーリ州を離れることを余儀なくされました。



グループで次の質問について話し合います。

- これらの出来事から、わたしたちが逆境によく耐え忍ぶためにどんな原則を学べますか。
- 危機的状況や反対するものに遭ったとき、救い主の模範に従うことがどうして重要だと思えますか。このよう

な救い主の模範に従わなかった聖徒たちがいたことで、ミズーリ北部ではどんなことが起きましたか。

- ある人の言葉や行いによって、他の人が教会に対して肯定的な見方を持つようになったのを見たことがありますか。



# 「キング・フォレット説教からの抜粋」

預言者ジョセフ・スミス（1805 – 1844年）は次のように教えています。



「もし、人が食べ、飲み、眠ることの他に何も学ばず、神の計画について何も理解していないならば、それは野獣と同じです。野獣は食べ、飲み、眠ることだけを考えていて、神については何も知りません。しかし、もしわたしたちが全能者の靈感によって理

解できなければ、野獣と同等の知識しか持っていないことになるのです。神の性質を理解しなければ、人は自分自身を理解することができません。……

わたしが第1に目指しているのは、唯一の、知恵あるまことの神の性質と、神がどのような御方であられるかを知ることです。……

神御自身、かつては今のわたしたちのようであられました。そして今は昇栄した御方であって、かなたの天で御座に着いておられます！これは大いなる奥義です。もし今日幕が裂けて、この世界を軌道上に保ち、あらゆる世界と

万物を御自身の力によって支えておられる大いなる神が御自身を現されたならば、わたしは申し上げますが、もし今日皆さんが神を目にしたならば、皆さんは神が人に似た形をしておられること、すなわち、体、形、姿が全て皆さん自身のものであられることを知るでしょう。なぜなら、アダムは神の姿、形に、神にかたどって創造されたのであり、神から教えを受け、人が人と語り、親しく交わるように、神とともに歩き、語り、言葉を交わしたのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』40）

「ですから、これが永遠の命です。すなわち、唯一の、知恵あるまことの神を知ることです。そして皆さんはどのようにして自ら神々となり、王となり、神に仕える祭司となるか学ばなければなりません。……低い階級から別の階級へ、小さな能力から大きな能力へ、恵みから恵みへ、高みから高みへと進んで行き、ついには死者の復活に達し、永遠の燃える火の中に住み、永遠の力をもって座に着いている人々のように、栄光のうちに座に着くことができるようになるのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』221）

# 「キング・フォレット説教からの抜粋」

預言者ジョセフ・スミス（1805 – 1844年）は次のように教えています。



「もし、人が食べ、飲み、眠ることの他に何も学ばず、神の計画について何も理解していないならば、それは野獣と同じです。野獣は食べ、飲み、眠ることだけを考えていて、神については何も知りません。しかし、もしわたしたちが全能者の靈感によっ

て理解できなければ、野獣と同等の知識しか持っていないことになるのです。神の性質を理解しなければ、人は自分自身を理解することができません。……

わたしが第1に目指しているのは、唯一の、知恵あるまことの神の性質と、神がどのような御方であられるかを知ることです。……

神御自身、かつては今のわたしたちのようであられました。そして今は昇栄した御方であって、かなたの天で御座に着いておられます！これは大いなる奥義です。もし今日幕が裂けて、この世界を軌道上に保ち、あらゆる世界と

万物を御自身の力によって支えておられる大いなる神が御自身を現されたならば、わたしは申し上げますが、もし今日皆さんが神を目にしたならば、皆さんは神が人に似た形をしておられること、すなわち、体、形、姿が全て皆さん自身のものであられることを知るでしょう。なぜなら、アダムは神の姿、形に、神にかたどって創造されたのであり、神から教えを受け、人が人と語り、親しく交わるように、神とともに歩き、語り、言葉を交わしたのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』40）

「ですから、これが永遠の命です。すなわち、唯一の、知恵あるまことの神を知ることです。そして皆さんはどのようにして自ら神々となり、王となり、神に仕える祭司となるか学ばなければなりません。……低い階級から別の階級へ、小さな能力から大きな能力へ、恵みから恵みへ、高みから高みへと進んで行き、ついには死者の復活に達し、永遠の燃える火の中に住み、永遠の力をもって座に着いている人々のように、栄光のうちに座に着くことができるようになるのです。」（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』221）





# 女性と神権

十二使徒定員会のダリン・H・オクス長老は次のように述べています。



「当時十二使徒定員会会長であったジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、次のように述べています。『姉妹たちは神権が与えられておらず、神権が姉妹たちに授けられていないとはいえ、主が姉妹たちに権能を与えておられないという意味ではありません。……わたしたちの救いに関連があって絶対に必要な特定の事柄を教会内で行うために、男性あるいは、姉妹に与えられている権能があります。姉妹たちが主の宮で行う業などがそれです。彼女たちには幾つかの大いなるすばらしい事柄を行う権能が与えられています。それは主にとって神聖であり、神権を持っている男性によって与えられる祝福と同様に完全に拘束力を持っています。』(『Relief Society—An Aid to the Priesthood,’ Relief Society Magazine, 1959年1月号, 4)

その重要な話の中で、スミス大管長は、女性に権能が与えられていると繰り返し語っています。女性たちにこう言っています。『皆さんは権能をもって語ることができます。主が皆さんに権能を与えられたからです。』またこうも

言っています。扶助協会には『たくさんの事柄を行う力と権能が与えられています。姉妹たちが行う業は神の権能によって行われます。』もちろん、神殿でも、あるいはワードや支部でも、女性や男性によって行われる教会の業は、神権の鍵を持っている人々の指示の下に行われます。扶助協会について語りながら、スミス大管長は次のように説明しています。こうして『〔主は〕この偉大な組織をお与えになりました。それにより、ワードのビショップの指示の下で奉仕する力を受け、……人々の霊的および物質的に必要に心を配るためです。』(『Relief Society—An Aid to the Priesthood,’ 4–5) ……

わたしたちは普通、教会の召しにおいて女性に神権の権能を持っているとは言いません。では、それは何の権能と言えるでしょうか。女性は—若くても年を取っていても—専任宣教師として福音を宣べ伝えるように任命される時、神権の働きをなす神権の権能が与えられるのです。女性が神権の鍵を持っている人の指示の下で教会の組織の中で役員や教師として務めを果たすように任命される時と同様です。神権の鍵を持っている人から受ける職や召しにおいて働く人は誰でも、割り当てられた義務を果たす際に神権の権能を行使するのです。)(『神権の鍵と権能』『リアホナ』2014年5月号, 50–51)

# 女性と神権

十二使徒定員会のダリン・H・オクス長老は次のように述べています。



「当時十二使徒定員会会長であったジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、次のように述べています。『姉妹たちは神権が与えられておらず、神権が姉妹たちに授けられていないとはいえ、主が姉妹たちに権能を与えておられないという意味ではありません。……わたしたちの救いに関連があって絶対に必要な特定の事柄を教会内で行うために、男性あるいは、姉妹に与えられている権能があります。姉妹たちが主の宮で行う業などがそれです。彼女たちには幾つかの大いなるすばらしい事柄を行う権能が与えられています。それは主にとって神聖であり、神権を持っている男性によって与えられる祝福と同様に完全に拘束力を持っています。』(『Relief Society—An Aid to the Priesthood,’ Relief Society Magazine, 1959年1月号, 4)

その重要な話の中で、スミス大管長は、女性に権能が与えられていると繰り返し語っています。女性たちにこう言っています。『皆さんは権能をもって語ることができます。主が皆さんに権能を与えられたからです。』またこうも

言っています。扶助協会には『たくさんの事柄を行う力と権能が与えられています。姉妹たちが行う業は神の権能によって行われます。』もちろん、神殿でも、あるいはワードや支部でも、女性や男性によって行われる教会の業は、神権の鍵を持っている人々の指示の下に行われます。扶助協会について語りながら、スミス大管長は次のように説明しています。こうして『〔主は〕この偉大な組織をお与えになりました。それにより、ワードのビショップの指示の下で奉仕する力を受け、……人々の霊的および物質的に必要に心を配るためです。』(『Relief Society—An Aid to the Priesthood,’ 4–5) ……

わたしたちは普通、教会の召しにおいて女性に神権の権能を持っているとは言いません。では、それは何の権能と言えるでしょうか。女性は—若くても年を取っていても—専任宣教師として福音を宣べ伝えるように任命される時、神権の働きをなす神権の権能が与えられるのです。女性が神権の鍵を持っている人の指示の下で教会の組織の中で役員や教師として務めを果たすように任命される時と同様です。神権の鍵を持っている人から受ける職や召しにおいて働く人は誰でも、割り当てられた義務を果たす際に神権の権能を行使するのです。)(『神権の鍵と権能』『リアホナ』2014年5月号, 50–51)



# 多妻結婚を理解する

## 多妻結婚

「末日聖徒は、一夫一妻制の結婚は主の不变の律法だと信じています。聖書の時代、主は、一人の男性対複数の女性という多妻結婚を行うよう一部の人たちに命じられました。1840年代初頭、主は啓示によって、教会員の中で多妻結婚を実施するようジョセフ・スミスに命じられました。半世紀以上にわたり、一部の末日聖徒は大管長の指示の下で多妻結婚を実施しました。」（「末日聖徒イエス・キリスト教会における多妻結婚」福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-the-church-of-jesus-christ-of-latter-day-saints?lang=jpn>）

## 困難な戒め

二人目の中央扶助協会会長であったエライザ・R・スノー（1804 – 1887年）は、預言者ジョセフ・スミスに結び固められました。彼女は、預言者ジョセフが弟のロレンゾ・スノーに多妻結婚の原則について教えたときの経験について次のように記録しています。

「預言者ジョセフは、多妻結婚の導入に関し、彼が感じていた気持ち、教育と社会的習慣の力によって必然的に生じる嫌悪感を克服するために経験した堪え難い精神的な試練について、心の内を（ロレンゾ・スノーに）打ち明けた。ジョセフは神の声、つまり彼に対する全能の神の戒めが規範となり、神聖な多妻結婚を確立する業を進めることを知っていた。ジョセフは、彼自身の偏見と先入観だけでなく、クリスチャン社会全体からの彼への視線とも戦い、克服しなければならないことを知っていた。しかし、至高の存在であられる神が戒めをお与えになった。神には従わなければならないのである。それでも、預言者は躊躇し、抜き身の剣を携えた神の天使が彼の傍らに立ち、多妻結婚の業を進め、確立しなければ、彼の神権は剥奪され、彼は滅ぼされるであろうと言うまで、しばしば決断を据え置いた。この反論のしようがない証は、わたしの弟に述べられただけでなく、他の人にも述べられた。」（Biography and Family Record of Lorenzo Snow [1884年], 69 – 70）

## 信仰の試し

多妻結婚の原則について悩んだ多くの人々は、この原則が真実であるという霊的な証を得ました。

「ヘレン・マー・キンボールによれば、ジョセフ・スミスはこう述べたそうです。『この原則の実践は聖徒たちにとって、自分の信仰を試される最も苛酷な試練となるでしょう。』それは彼女の人生の『最も苛酷な』試練の一つでしたが、『最もすばらしい祝福の一つ』でもあったと証しています。……

ルーシー・ウォーカーは、ジョセフ・スミスから妻になるように求められたときの心の動揺を回想し、記録しています。『わたしの魂のあらゆる感覚がそれに不快感を示しました。』しかし、数日眠れない夜を過ごして度々ひざまずいて祈った後、部屋が『まばゆい日の光』に似た『聖なる力に包まれ』、彼女は安らぎを覚えました。『わたしの魂はかつて一度も味わったことのない穏やかで心地良い平安に満たされました』と、彼女は述べています。（『カートランドとノーブーにおける多妻結婚』福音のテーマ、<https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-kirtland-and-nauvoo?lang=jpn>）

## ジョセフ・スミスと多妻結婚

多くの女性がジョセフ・スミスと結び固められたが、正確な人数は分かっていません。

「多妻結婚が実施された時代に、末日聖徒は、この世と永遠にわたる結び固めと永遠だけの結び固めを区別していました。この世と永遠にわたる結び固めには、現世を通しての義務と関係が伴い、一般に性的な関係も伴う可能性がありました。永遠だけの結び固めは来世だけの関係を意味していました。

……ジョセフ・スミスに結び固められた女性の何人かは後に、自分の結婚はこの世と永遠にわたるものであったと証言しており、また自分の関係は永遠だけのものであったと述べた人々もいました。

ジョセフ・スミスに結び固められた人々のほとんどは、結び固められたときに20歳から40歳の間でした。最年長のファニー・ヤングは56歳でした。最年少はジョセフの親友ヒーバー・C・キンボールとバイレイト・マレー・キンボールの娘、ヘレン・マー・キンボールで、15回目の誕生日の数か月前にジョセフに結び固められました。このような年齢の結婚は今日の標準では不適切ですが、その時代には合法的であり、女性の中には10代半ばで結婚した人々もいました。ヘレン・マー・キンボールは、ジョセフとの結び固めについて、『永遠だけの』ものであったと語っています。つまり、その関係は性的な関係を伴わなかったと示唆しているのです。……

ジョセフ・スミスは、……既婚者であった何人かの女性と結び固めを受けました。この女性たちもジョセフもこれらの結び固めについて多くを説明していませんが、数人の女性が、それは永遠だけのものであったと言っています。その他の女性たちの記録は残っておらず、彼女たちの結び固めがこの世と永遠にわたるものか、永遠だけのものかは分かっていません。

この制度について幾つかのことを説明できます。これらの結び固めは、ジョセフの家族と教会内の他の家族の永遠のきずなやつながりを生み出す一つの方法を提供しました。これらのつながりは、親から子に垂直方向に、ま



た一つの家族から別の家族に水平方向に延びました。今日、このような永遠のきずなは、神殿結婚によって達成されており、その人は自分の血縁の家族にも結び固められ、家族はこのような方法でももにつながれるのです。」(『カートランドとノーブーにおける多妻結婚』福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-kirtland-and-nauvoo?lang=jpn>)

預言者の死後、生前一切関連のなかった多くの女性が預言者に結び固められています。

### 多妻結婚への反対

合衆国内の多くの宗教指導者と政治指導者たちが、不道徳かつ野蛮であるとして多妻結婚に反対しました。末日聖徒は、演説、本、雑誌、新聞であざ笑われました。合衆国議会は、教会が所有できる土地を制限することによって、教会員の自由を妨げ、教会に経済的な損害を与える法律を成立させました。「この議案の通過により、当局は最終的に複数の妻を持つ男性の逮捕と拘留、選挙権の剥奪、家庭でのプライバシーへの介入、公民としての他の自由の否定という行動に出ることになるのである。」(『わたしたちの受け継ぎ—末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』87-88) 1890年には、何百人もの忠実な末日聖徒が服役しました。逮捕と投獄を避けるために身を隠す者もいました。これらの状況の中で、多くの家族がストレス、心痛、貧困、飢えに苦しみました。

多妻結婚の習慣のために世界中から嘲笑されても、多くの忠実な末日聖徒はその習慣を擁護し、これが預言者ジョセフ・スミスを通じて神が明らかにされたものであることを知っていること証しました。

これらの困難な状況のため、ウィルフォード・ウッドラフ大管長は祈りをもって聖徒の多妻結婚についての導きを

主に願い求めました。1889年、ウッドラフ大管長は教会指導者に多妻結婚の原則を教えないように指示しました。1890年には、ウッドラフ大管長の勧告に反して行われた多妻結婚以外、多妻結婚が行われることはほとんどなくなりました。しかし、一部の人は、教会が引き続き多妻結婚の実施を奨励しているという記事を出版していました。これらの記事は、教会にさらなる敵対心をもたらしました。1890年9月、ウッドラフ大管長は、現在教義と聖約の公式の宣言一として知られる声明を発表しました。

### 二つ目の「声明」

『「声明」(公式の宣言一)は、合衆国の法律に従うというウッドラフ大管長の意図を宣言していました。しかし、『声明』には他の国家の法律については記載がありませんでした。メキシコおよびカナダに植民地ができると、教会指導者たちはそれらの国で多妻結婚を執行するようになり、1890年10月以降もこれらの地域では多妻結婚が静かに行われていました。……1890年から1904年にかけて、特別な事情がある場合に限り、ごく少数の多妻結婚が行われました。とはいえ、合衆国内でそのような結婚が認められるかどうかは不確実でした。」(『「声明」と多妻結婚の終決』福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics/the-manifesto-and-the-end-of-plural-marriage?lang=jpn>)

1904年4月の総大会において、〔ジョセフ・F・〕スミス大管長は『第2の声明』として知られる断固とした宣言を発表し、新たに多妻結婚を行う者は破門に処すこととしました。」(『末日聖徒イエス・キリスト教会における多妻結婚』福音のテーマ, <https://www.lds.org/topics/plural-marriage-in-the-church-of-jesus-christ-of-latter-day-saints?lang=jpn>)



# 預言者ジョセフ・スミスの殉教

## 預言者と教会への反発

1844年の6月には、教会に対する憎悪がますます激化しました。イリノイ州住民の中には、州から生徒たちを追い出そうと話す者もいれば、預言者の殺害を計画する者もいました。預言者に対する陰謀を企てる者の中には、信仰を失って教会を去っていった者もいました。1844年6月7日、大管長会の第二顧問として奉仕したウィリアム・ロー、およびその他の背教者が、ノーブー・エクスポジターと呼ばれた新聞の創刊号を出しました。預言者と教会に対する市民の感情をあおるため、彼らはジョセフ・スミスとその他教会の指導者を中傷するのにこの新聞を利用しました。ノーブー市長としての役割を果たしていたジョセフ・スミスとノーブー市議会の大多数は、この扇動的な新聞が市に対する集団暴力につながると認識しました。彼らは、この新聞を公衆の迷惑であると宣言し、ノーブーエクスポジター新聞社の破壊を命じました。

## 無実の罪に問われたジョセフとハイラム

「市長と市議会が取った措置（ノーブーエクスポジターの破壊）に対して、イリノイ州当局は、何の根拠もなく、騒乱罪の容疑で預言者と兄のハイラム、およびその他のノーブー市会議員を告発した。イリノイ州知事のトーマス・フォードは、彼らに郡庁所在地であるイリノイ州カーセージで裁判を受けるように命じ、また彼らの保護を約束した。ジョセフは、もしカーセージに赴いたら、脅しをかけている暴徒たちによって自分の命が大きな危機にさらされることを知っていた。

暴徒が求めているのは自分たちだけであると考えたジョセフとハイラムは、命を守るために西部へ逃れる決意をした。6月23日、二人はミシシッピ川を渡ったが、同日、ノーブーからやって来た兄弟たちが預言者を探し出し、もし預言者がカーセージの当局に出頭しなければ、軍隊が市に侵攻して来るだろうと告げた。預言者は政府役人と暴徒の両方をなだめることができると願い、出頭することに同意した。6月24日、ジョセフ・スミスとハイラム・スミスは家族に別れを告げると、他のノーブー市議員たちとともに馬でカーセージに向かい、翌日、カーセージにある郡当局に任意出頭した。兄弟たちは当初の容疑に関して保釈金を払って保釈されたが、その後、イリノイ州に対する反逆罪の容疑で不当に逮捕され、審理を待つためにカーセージの監獄に勾留された。当時十二使徒の中で伝道に赴いていなかったジョン・テラー長老とウィラード・リチャーズ長老が、志願して二人に加わった。』（『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』529－530）

## カーセージの監獄での殉教

1844年6月27日、訪問者がジョセフに拳銃を渡しました。暴徒が預言者と他の男たちが拘束されている部屋に入ろうとしたとき、ハイラムは部屋にいる皆を守ろうとして銃殺されました。ジョセフはドアに飛びつき、廊下に向かって銃を撃とうとドアの枠の後ろに手を回しました。6弾のうち3弾のみが発砲され、暴徒の何人かが怪我を負いました。暴徒は次に半分閉じられたドアの隙間に銃をこじ入れましたが、ジョン・テラーは杖を彼らの銃の砲身に叩きつけました。

出入り口での対立が激化するにつれ、ジョン・テラーは窓から脱出を試みました。ジョンが窓から飛び出そうとしたとき、出入り口から太ももを撃たれ、外側にいた何者かにも銃弾を受けました。床に倒れたジョンは、窓の横にあったベッドの下に潜り込もうとしましたが、さらに3発の銃弾で重傷を負いました。一方、出入り口から銃が差し込まれ、ウィラード・リチャーズがそれらに杖で対抗し始めました。

ジョセフ・スミスは同じ窓から脱出しようとしていました。ウィラード・リチャーズがドアにいる暴徒をかわそうとしている間、預言者は開いた窓に飛びつきました。そのとき、ジョセフは監獄の内外からの銃弾に撃たれ、「おお、わたしの神、主よ」と叫びながら窓から地面に落ちました。監獄の中にいた暴徒たちは、ジョセフが死んだことを確認するために外に飛び出しました。カーセージに向かっていた教会員はいませんでした。誰かが「モルモンが来るぞ!」と叫び、暴徒たちは全員逃げました。

## 預言者ジョセフ・スミスへの賛辞

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は次のように語っています。



「ジョセフを最もよく知り、教会の指導的立場にあって彼に最も近かった人たちは、彼を預言者として愛し、支持しました。兄ハイラムはジョセフとともに死ぬことを選びました。殺害されたとき一緒にいたジョン・テラーは、こう語っています。『わたしは神と天使と人々の前で証する。彼は善良で高潔な徳高い人物であり、……私的にも公的にも人格に一点のやましきもなく、神の僕として生き、死んでいった。』（The Gospel Kingdom [1987年], 355. 教義と聖約 35:3も参照）ブリガム・ヤングはこう明言しています。『この地上に生を受けている人の中でわたし以上に（ジョセ



フ) のことを知っている人はいない。わたしは声を大にしてこう言う。イエス・キリストを除いて彼ほど立派な人物は存在しなかったし、これからも存在することはないで

あろう。』〔Discourses of Brigham Young, ジョン・A・ウイツォー選 (1954 年), 459〕(「ジョセフ人として預言者として」『聖徒の道』1996 年 7 月号, 84)



# 教会の大管長の職の継承

## 十二使徒との集会, 1844 年 3 月

ウィルフォード・ウッドラフ大管長 (1807 – 1898 年) は次のように語っています。



「わたしは〔ジョセフ・スミス〕が世を去る前に語った最後の話を覚えています。……ジョセフは 3 時間ほど立ち続けていました。部屋は焼き尽くす火のようなもので満たされ、彼の顔は琥珀のように澄んでいました。ジョセフは神の力に包まれていました。彼はわたしたちの義務について語りました。この神の大いなる業の全てについて語り、そしてこう言いました。『わたしは、神がかつて地の面に住む人に授けられた、命と救いの全ての鍵、全ての力、全ての原則を、頭上に結び固められています。これらの原則とこの神権と力は、天の神が地上に確立し始められたこの大いなる最後の神権時代に属するものです。』そして十二使徒に言いました。『今わたしは、主がわたしの頭上に結び固められた全ての鍵、全ての力、全ての原則を皆さんの頭上に結び固めました。』……

このように述べた後に、ジョセフは言いました。『皆さんに申し上げます。この王国の重荷は今や皆さんの肩に置かれています。皆さんは全世界において王国を担わなければなりません。そうしなければ罰の定めを受けるでしょう。』(『歴代大管長の教え—ジョセフ・スミス』532)

## シドニー・リグドンの主張

大管長会第一顧問のシドニー・リグドンは、1844 年 8 月 3 日にペンシルベニア州ピッツバーグからノーブーに到着した。彼は、教会員が教会の管理者を選出することができるように、8 月 6 日火曜日に特別集会を召集した。シドニー・リグドンは、十二使徒全員がアメリカ西部の伝道から戻る前に、教会員に彼の教会の管理者としての地位を承認させるためにこの集会の召集を試みたかのように見受けられる。幸いにも、ウィラード・リチャード長老とパーリー・P・プラット長老の努力により、この集会はほとんどの十二使徒がノーブーに戻った 1844 年 8 月 8 日に延期された。

シドニー・リグドンは、以前ジョセフ・スミスの代弁者として召され、聖任されたことから(教義と聖約 100:9)、「教会が正しい方法で治められるように取り計らう」のは彼の責任であると主張した(History of the Church, 第 7 巻, 229 で引用)。

## ジェームズ・ストラングの主張

ジョセフ・スミスの死後、1844 年 2 月にバプテスマを受けたジェームズ・ストラングは、ジョセフ・スミスがストラングを継承人として指名した手紙をジョセフから受け取ったと主張した。この手紙は偽造されたものであった

が、ジョセフ・スミスの署名が記されているようにも見え、ストラングがその手紙を見せたとき、それに惑わされた教会員もいた。ストラングは、彼に天使が訪れ、鍵を与えられたとも言った。

## 1844 年 8 月 7 日

ジョン・テラー長老、ウィラード・リチャーズ長老、パーリー・P・プラット長老、そしてジョージ・A・スミス長老は、シドニー・リグドンが到着したとき、すでにノーブーにいた。ブリガム・ヤングを含む残りの使徒のほとんどは、1844 年 8 月 6 日の夜に到着した。翌日の 8 月 7 日、使徒たちはジョン・テラーの家に集まり、会議を行った。その日の午後、十二使徒、高等評議員、および大祭司が集まった。ヤング大管長は、聖徒たちに彼の言いたいことを伝えるようシドニー・リグドンに依頼した。シドニー・リグドンは、示現を見たこと、そしてジョセフ・スミス以外の誰も教会の大管長の職を継承することができないことを大胆に宣言した。次に、彼は彼自身を人々の管理者として指名することを提案した。

シドニー・リグドンが語り終えた後、ブリガム・ヤング(1801 – 1877 年) は次のように言った。



「わたしは誰が教会を導くかについて関心はないが……一つ知っておかねばならないことがある。それはこの件についての神の御心である。わたしはこの件について神の御心を知る鍵と手段を持っている。……

ジョセフは、彼がこの世から連れ去られる前に、彼自身が持っていた神権の職に属する全ての鍵と力をわたしたちの頭に授けた。誰も、どんな団体も、この世、そして来世においてジョセフと十二使徒の間に割り込むことはできない。

ジョセフは十二使徒に対して、『わたしは礎を築いたので、あなたたちはその上に築いていかななくてはならない。王国はあなたたちの双肩に掛かっているからである』と何度語ったことか。(History of the Church, 第 7 巻, 230 で引用)

## 1844 年 8 月 8 日午前 10 時

1844 年 8 月 8 日、ノーブーの聖徒たちは、教会の管理者であるというシドニー・リグドンの主張を聞くため、午前 10 時に集まった。シドニー・リグドンはそこに集まった何千人もの聖徒たちに対して約 1 時間半話し、彼が教会の管理者になるべき理由を説明した。そのうちの数人が、シドニー・リグドンのスピーチは靈感のないものであったと述べている。

ブリガム・ヤング大管長は、新しい指導者を指名するためではなく、預言者を追悼するためにノーブーに戻って来たかったと手短かに話した。ヤング大管長は、指導者と教

会員の集会がその日の午後 2 時に行われることを発表した。会員の中には、ブリガム・ヤングが話したとき、彼の外見と声が変わり、預言者ジョセフ・スミスの外見と声になったと証言する者もいた。

エミリー・スミス・ホイトは、次のように振り返った。「説得の仕方、顔の表情、そして声がわたしの魂全体を震わせました。……ジョセフ・スミスが亡くなったことは知っていました。けれど、わたしはしばしばはっとしては、話しているのがジョセフではないと無意識に確かめていました。それはジョセフではなく、ブリガム・ヤングでした。」(リン・ワトキンス・ジョーガンセン, "The Mantle of the Prophet Joseph Passes to Brother Brigham: A Collective Spiritual Witness," *BYU Studies*, 第 36 巻, 4号 [1996 – 1997 年], 142 で引用)

ウィルフォード・ウッドラフは、「自分の目で彼を確かめなければ、それがジョセフ・スミスでないとなしを説得できる人はいなかったでしょう。これはこの二人との面識がある人なら誰でも証明できることです。」(*History of the Church*, 第 7 巻, 236 で引用)

### 1844 年 8 月 8 日午後 2 時

午後 2 時、この集会が大きな意味を持つものとなることを理解していた何千人もの聖徒たちが集まった。ブリガム・ヤングは、シドニー・リグドンの管理者としての職務の提案と、彼が過去 2 年間に渡ってジョセフ・スミスから遠ざかっていたことについて率直に話した。

「リグドン会長によって導かれることを人々が望むならば、それもよいだろう。しかし、わたしは世界全体における神の王国の鍵を持つのは十二使徒定員会であることを述べておく。

十二使徒は、神の指によって指名された。ここにブリガムあり。彼のひざがよろめいたことはあるか？彼の唇が震えたことはあるか？ここにヒーバー (C・キンボール) と残りの十二使徒あり。神権の鍵、すなわち世界の隅々まで伝えられる神の王国の鍵を持つ独立した団体である。これは紛れもない事実なのである。彼らはジョセフ・スミスの隣に立つ、教会の大管長会なのである。」(*History of the Church*, 第 7 巻, 233 で引用)

多くの聖徒たちが、その午後ブリガム・ヤングが話したとき、彼の外見と声がジョセフ・スミスにそっくりであったと話しています。この奇跡に加え、多くの聖徒たちが、ブリガム・ヤングと十二使徒定員会が教会を導くために神によって召されたと聖霊が証するのを感じました。この集会の終わりに、ノーブーの聖徒たちはブリガム・ヤングを頭とした十二使徒定員会が教会を導くことを満場一致で支持しました。しかし、教会の会員の全てが最終的に使徒に従うことを選んだわけではありませんでした。それぞれ独自の教会を設立したシドニー・リグドンとジェームズ・ストラングなどの人物に従うことを選んだ人々もいました。



# ユタ戦争とマウンテンメドローの虐殺

## 高まる緊張が引き起こしたユタ戦争

最初の末日聖徒の開拓者がソルトレーク盆地に到着してから3年後、合衆国政府はユタ準州を組織し、ブリガム・ヤングをその準州の最初の知事として任命しました。1857年中頃、末日聖徒の指導者は、連邦政府がブリガム・ヤングの代わりに多数の連邦軍兵士を従えた新しいユタ準州知事を任命する可能性があるといううわさを耳にしました。1857年7月24日、ブリガム・ヤング大管長は、聖徒たちとソルトレーク・シティー到着の10周年記念を祝っている最中に、軍隊がソルトレーク・シティーに向かっているという以前の知らせの確認状を受けました。

それまでの数年間、意見の相違と誤解が原因で、末日聖徒と合衆国政府当局との間における緊張が高まりつつありました。自分たちが選んだ指導者によって準州が治められることを望んでいた聖徒たちは、不誠実で腐敗しており、道徳観に欠けた人物さえもいる、価値観を共有しない連邦被任命者を拒否しました。連邦当局の一部は、聖徒によるこの行為と姿勢が合衆国政府に対する反逆であると考えました。

アメリカ合衆国大統領ジェームズ・ブキャナンは、新しい知事を安全にユタに送り届けるため、および聖徒の間での反逆と思われる行為を鎮圧するために、約2,500人の軍隊をソルトレーク・シティーに進軍させました。この決定は、ユタの状況についての正確な情報を得ることなく行われました（『時満ちる時代の教会歴史生徒用資料』第2版〔教会教育システム手引き〕、368－371参照）

## 準州を守るための準備

聖徒に対する説教で、ヤング大管長とその他の教会の指導者は、迫り来る軍隊を敵と評しました。彼らは、軍隊が以前オハイオ州、ミズーリ州、およびイリノイ州から聖徒を追い出したときと同じように、ユタからも聖徒たちを追放する可能性があるかと恐れしました。聖徒たちに穀物を保存するよう長年の間求めてきたヤング大管長は、軍隊から逃げる必要があった場合に食物があるように、その指示を新たにしました。ユタ準州の知事として、ヤング大管長はユタ準州民兵にも領土を守る準備を整えるよう指示を出しました。

## 移住者幌馬車隊との対立

末日聖徒が迫り来る合衆国軍隊から準州を守るために準備を整えていたそのとき、アーカンソー州からカリフォルニアに向けて旅をしていた移住者の幌馬車隊がユタに到着しました。移住者幌馬車隊のメンバーには、穀物を保存する指示を受けていた聖徒から大いに必要とされていた穀物を購入することが困難であったため、憤りを感じた者もいました。一部の移住者は、自分の家畜に必要と

する餌や水を移住者幌馬車隊の多数の馬や牛に食べられてしまうことを嫌がる聖徒と対峙しました。

両者の緊迫状態は、カリフォルニアに向かう途中の最後の開拓地であったシーダーシティーで発火点に達しました。一部の移住者幌馬車隊メンバーと一部の末日聖徒の間で対立が生じ、幌馬車隊メンバーの中には進軍している軍隊に参加して末日聖徒と戦うと脅迫する者もいました。幌馬車隊のキャプテンはこのような脅迫を行うことについて仲間を叱責しましたが、シーダーシティーの指導者と入植者は移住者たちを敵と見なしました。幌馬車の一団は到着してから1時間余りで町を出ましたが、シーダーシティーの指導者と入植者の何人かは、彼らの気分を害した男たちを追跡し、懲らしめたいと考えていました。

## 激化する対立

これらの聖徒は主の方法で移住者とのいさかきを解決しなかったため、状況は一層深刻になっていきました。民兵少佐であり、ステーキ会長でもあったシーダーシティー市長のアイザック・ヘイトは、近隣の開拓地パロワンに住む民兵指揮官に幌馬車隊の罪人と対決するための民兵の出動許可を要請しました。教会員である民兵指揮官のウィリアム・デームは、移住者たちの脅しを無視するように勧告しました。しかし、アイザック・ヘイトはその勧告に従う代わりに、他のシーダーシティー指導者とともに、移住者を懲らしめる手立てとして幌馬車隊を襲って牛を盗むように地域のインディアンを説得することに決めました。アイザック・ヘイトは、地元の教会員で民兵少佐のジョン・D・リーに攻撃を指揮するよう依頼し、二人はその行為の罪をインディアンに負わせようと計画しました。

## 移住者への攻撃

アイザック・ヘイトは、幌馬車隊を攻撃する計画を地元の教会、コミュニティ、および民兵の評議会の指導者たちに提案しました。一部の評議会メンバーはその計画に強く反対し、アイザック・ヘイトにこの計画についてブリガム・ヤング大管長に相談したのかと尋ねました。相談していないと答えたヘイトは、状況を説明し、対応方法を尋ねる手紙を携えたジェームズ・ハスラムを急使としてソルトレーク・シティーに送ることに同意しました。ところが、ソルトレーク・シティーはシーダーシティーからは約250マイル（402キロ）離れていたため、急使が馬をはせてソルトレーク・シティーに到着し、ヤング大管長の指示をシーダーシティーに持ち帰ったとしてもおよそ1週間かかりました。

アイザック・ヘイトが手紙を託して急使を送り出す直前、ジョン・D・リーとインディアンの一団がマウンテンメドローと呼ばれる場所の移住者キャンプを襲いました。攻撃を指揮したのはリーでしたが、インディアンのみが関与した



ように見せるため、自分の身分は明らかにしませんでした。移住者の一部は殺され、怪我を負い、残りの移住者は攻撃者を撃退し、リーとインディアンを退却させました。移住者は防御のため、幌馬車で素早く嚴重な円陣を作りました。5日にわたる幌馬車隊の包囲攻撃の間、攻撃はあと2回繰り返されました。

あるとき、幌馬車隊の外にいた二人の移住者に気がついたシーダーシティ民兵は、その二人に発砲し、一人を殺してしまいました。もう一人の移住者はその場を逃れ、幌馬車隊への攻撃に白人がかかわっているという知らせを幌馬車に持ち帰りました。攻撃を計画した者は、自分の偽りから逃れることができなくなってしまいました。移住者たちをカリフォルニアに行かせてしまうと、幌馬車隊攻撃の首謀者が末日聖徒だという知らせが広がることとなります。共謀者たちは、この知らせが彼ら自身、そして周りの人々に悪影響を与えることを恐れました。

### マウンテンメドーの虐殺

幌馬車隊の攻撃に末日聖徒が関与したという知らせが広まることを防ごうとしたアイザック・ヘイト、ジョン・D・リー、および地元の教会と民兵のその他指導者たちは、小さな子供たちを除いた幌馬車隊全員を殺害する計画を立てました。計画を実行に移したジョン・D・リーは、移住者たちに民兵が彼らを安全にシーダーシティに連れ戻し、今後の攻撃から守ると持ちかけました。移住者たちがシーダーシティへ戻る途中、民兵は移住者に向かって発砲しました。入植者に雇われた数人のインディアンが隠れていた場所から飛び出し、攻撃に参加しました。その幌馬車隊のメンバーであった約140人の移住者のうち、生き延びたのは17人の小さな子供たちだけでした。

虐殺の2日後、ジェームズ・ハスラムが幌馬車隊を放免するように指示するヤング大管長の返信を携えてシーダーシティに戻って来ました。「ヤングの手紙を読んだヘイトは子供のようむせび泣きながら、搾り出すように『遅すぎる、遅すぎる』という言葉に口を閉じました。」(リチャード・E・ターリー・ジュニア, "The Mountain Meadows Massacre," Ensign, 2007年9月号, 20)

### 悲劇的な結果

マウンテンメドーの虐殺は120人の死を招いただけでなく、生き残った子供たちと被害者の親戚たちに大きな苦痛をもたらしました。一部の末日聖徒は、虐殺を生き延びた移住者の子供たちを迎え入れ、世話をしました。1859年、連邦当局が子供たちを保護し、子供たちをアーカンソーの親戚の元に連れ帰りました。パイユート・インディアンもまた、この犯罪に対して不当な非難を受けました。

### 虐殺について知った教会の指導者

「ソルトレーク・シティにいたブリガム・ヤングと教会の指導者は虐殺後間もなくその事実を知りましたが、入植者がこの事件に関与していた度合いや、犯行の恐ろしい詳細については、時を追って次第に明らかにされていきました。1859年、アイザック・ヘイトはステーキ会長の召しから解任され、その他虐殺に関与したシーダーシティの著名な教会の指導者もその職から解かれました。そして1870年、教会はアイザック・ヘイトとジョン・D・リーを破門しました。

準州の最高陪審員団は1874年に虐殺に関与した9名を起訴しました。最終的に彼らの大半は逮捕されましたが、裁判で審理を受けて、有罪の判決を受け、死刑に処せられたのはリーだけでした。起訴された一人の男は共犯の証言をし(自発的に他の被告人について不利な証言をした)、その他の被告人は長年の間法から逃げ続けました。虐殺に加わった他の民兵は残りの生涯を通じて、絶えず深い罪の意識にさいなまれ、自分が行ったことや目にした出来事について、繰り返し悪夢にうなされました。」(リチャード・E・ターリー・ジュニア, "The Mountain Meadows Massacre," Ensign, 2007年9月号, 20)

### マウンテンメドーの虐殺 150年追悼記念

ヘンリー・B・アイリング管長は次のように述べています。

「(マウンテンメドーの) 虐殺の責任は、市および軍隊の職に就いていた、マウンテンメドー近くの地域の末日聖徒イエス・キリスト教会の地元指導者たちとその指揮下にあった教会員にあるというものでした。……

……わたしたちが信奉するイエス・キリストの福音は、男女、子供たちを殺すという冷酷な殺人を嫌悪しています。確かに、平安と赦しを主張しているのです。はるか昔に(マウンテンメドーで) 教会員によって行われた行為は、キリスト教の教えと行動からかけ離れた恐ろしく弁解の余地のない出来事でした。……虐殺の責任を負う者には、神の裁きによって妥当な罰が科されるに違いないでしょう。……

……神の独り子が自ら体現された純粋な愛と赦しの精神を互いに差し伸べることによって、わたしたちがここで亡くなった人々に敬意を払うことができますよう、息子および娘であるわたしたち全員の御父である天の神様の祝福がありますように。」("150th Anniversary of Mountain Meadows Massacre," 2007年9月11日, mormonnewsroom.org/article/150th-anniversary-of-mountain-meadows-massacre)





# 救いの業を速める

救いの業の一部である 5 つの分野それぞれについて、次の質問について深く考えます。

- 神の業のこの分野におけるあなたの努力は、どのように他の人を救いの祝福に近づけることができますか。
- 主の救いの業のこの分野を支援することによって、どのような経験をし、どのような祝福を受けましたか。
- 現在の教会の召しを問わず、救いの業のこの分野に貢献するには何ができるでしょうか。

## 会員伝道活動

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は次のように教えています。



「兄弟姉妹、主はさらに多くの宣教師が奉仕するように靈感を下されました。同様に主は確かに、主の宣教師を受け入れるように、さらに多くの善良で正直な人々の意識を目覚めさせ、心を開かせておられます。皆さんはそのような人をすでに知っているか、または知ることでしょう。その人は皆さんの家族の中におり、また近隣に住んでいます。通りで皆さんのそばを通り過ぎ、学校で近くに座っており、インターネットで皆さんと接しています。皆さんもこの奇跡が行われるときの重要な当事者なのです」

上着に宣教師の名札を付ける専任宣教師でない場合、パウロが『墨によらず生ける神の霊によって書かれ』と述べたように(2 コリント 3:3)、今こそ皆さんの心にそれを描く時です。……誰にも、この奇跡に貢献できるものがあります。」「(これは奇跡です)『リアホナ』2013年5月号、78)

## 改宗者の定着

十二使徒定員会の M・ラッセル・バラード長老は、次のように教えています。



「福音のもたらす祝福を余すところなく受けられるよう、皆さんもわたしも自分でできることは全て行わなければなりません。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は皆さんやわたしに、主の共働者となって教会のための主の計画を果たす責任があることを改めて教えました。衛星放送の中で、ヒンクレー大管長は次のように語っています。

『主は、全ての作られた者に福音を教えることを戒めとしてわたしたちに与えておられます。そのために、専任宣教師とステーク宣教師全員が最善の努力をする必要があります。全てのビショップとその顧問、そしてワード評議会の全員が、最善の努力をする必要があります。』(「子羊を見だし、羊を養う」『リアホナ』1999年7月号、124) 全ての会員が最善の努力をしなければならないの

です。」「(会員が鍵である)『リアホナ』2000年9月号、14)

## あまり活発でない会員の活発化

「わたしたちの役割は、周りの人々を愛し、彼らに仕えることに没頭すること、すなわち、困っている同僚を慰め、友人をバプテスマ会に招き、近所に住むお年寄りの庭仕事を手伝い、あまり活発でない教会員を食事に招待して、近所の人の家族歴史を手伝うことです。これらはどれも、あまり活発でない教会員や異なる信仰を持つ人々をわたしたちの生活に招き入れ、結果として福音の光を分かち合うためにできる、自然で、楽しい方法です。わたしたちの生活の楽しい時間と神聖な時間を分かち合うことが、実は『人々の霊の救いのために(イエス・キリストの) ぶどう園で働く』最も効果的な方法なのです(教義と聖約 138:56)。」「(救いの業を速める)『リアホナ』2013年10月、30)

## 神殿・家族歴史活動

十二使徒定員会クエンティン・L・クック長老は次のように教えています。



「教会の指導者たちは若者たちに向かって、高らかに響き渡る声を上げています。テクノロジーを使う道を先導して、エリヤの霊を実感し、先祖を探し、先祖のために神殿の儀式を行うようにと呼びかける声です。生者と死者の両方を救う業を速めるうえで困難な仕事の多くが、若い世代の皆さんによって行われるのです。」「(根と枝)『リアホナ』2014年4月号、46)

## 福音を教える

「福音を教える責任は、教師としての正規の召しを受けている人に限られない。皆さんは、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、福音を教える責任がある。親や息子、娘、夫、妻、兄弟、姉妹、教会指導者、クラスの教師、ホームティーチャー、訪問教師、仕事の同僚、隣人、友人として、皆さんには福音を教える機会がある。話す言葉や証によって人々の前で直接教えることもあるが、常に模範を通して教えている。」「(教師、その大いなる召し—福音を教えるための資料集) 3-4)







宗教教育  
セミナー・インスティテュート

---

末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会

JAPANESE

